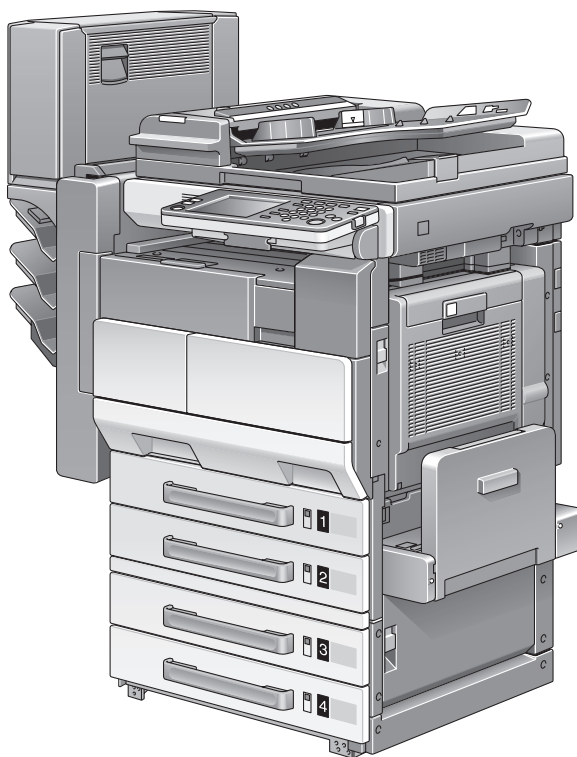


bizhub 200/250/350

ユーザーズガイド コピー機能編



本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub 200/250/350 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからないことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマークについて



本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号 第 05 117 011 号

bizhub 200/250/350 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

■ エコマーク Version2.0 とは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が 2005 年 8 月 1 日 (Version2.0) に制定した規準です。「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

1
設置・
取扱い
の注意

2
ご使用
いただく
前に

3
基本機能

4
コピー
補助機能

5
トラブル
の処理

6
仕様・保守
サービス

7
用紙・原稿
について

8
応用機能

9
トナー・ポ
ストリ
スケー
パチ

10
日頃の
管理

11
設定
メニュー

12
付録

■ 両面コピー機能について

両面コピー機能とは、1枚の用紙を自動的に反転させ、用紙のオモテ面／ウラ面の両面にコピーする機能です。

本機は、両面コピー機能が設定可能です。

■ 商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- Compact-VJE
Copyright 1986-2003 VACS Corp.
- RC4[®] is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA[®] BSAFE[™]
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、RSA Security Inc. の RSA[®] BSAFE[™] ソフトウェアを搭載しています。

OpenSSL Statement

- OpenSSL License

Copyright © 1998-2000 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)”

4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact opensslcore@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
 “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@crypt-Soft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

- Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.

The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young’ s, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
 “This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@crypt-soft.com)”
 The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related.

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

“This product includes software written by Tin Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに	1
国際エネルギースタープログラムについて	1
エコマークについて	1
エコマーク Version2.0 とは？	1
両面コピー機能について	2
商標、著作権等について	2
もくじ	5
こんな機能があります	13
ページの見かた	19
原稿および用紙の呼び方と表示	20
幅と長さ	20
□ と ▢	20
マニュアル体系について	21
ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞	21
ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）	21
ユーザーズガイド（ボックス機能編）	21
ユーザーズガイド（SIP ファクス機能編）	21
ユーザーズガイド（プリンタ機能編）	21
クイックガイド（プリンタ機能編）	21
ユーザーズガイド（拡張スキャナ機能編）	21
ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）	22
コピー禁止事項	23
法律によりコピーを禁止されているもの	23
著作権の対象となっているもの	23
注意を必要とするもの	23
機械・消耗品のリサイクル／リユース	24
機械・消耗品のリサイクル／リユース	24
第 1 章 設置・取扱いの注意	1-1
1.1 安全にご使用いただくために	1-2
絵表示の意味	1-2
図記号の例	1-2
1.2 適合宣言文	1-9
レーザー安全性	1-9
内部レーザー放射	1-9
レーザー安全ラベル	1-10
オゾン放出	1-10
電波障害について	1-10
高調波対策ガイドライン	1-10
物質エミッションについて	1-11
1.3 注意表記・注意ラベル	1-12
1.4 設置スペース	1-13
1.5 使用上のご注意	1-14
設置電源	1-14
使用環境	1-14
コピーの保存について	1-14

トナーカートリッジの取り扱いについて	1-14
再生紙の使用について	1-15
各種運転モードにおけるエネルギー消費および省エネルギー機能	1-15
換気について	1-15
第2章 ご使用いただく前に	2-1
2.1 各部の名称とはたらき	2-2
オプション構成	2-2
本体外部	2-4
本体内部 / 本体背部	2-6
自動両面原稿送り装置 DF-605	2-8
給紙キャビネット PC-202 / PC-402	2-9
中綴じ機 SD-502 / メールビン MT-501	2-11
フィニッシャー FS-508 / 排紙トレイ OT-601 / パンチユニット PU-501	2-12
操作パネル	2-14
基本的な設定をする画面（基本画面）	2-16
タッチパネル内で表示されるアイコンについて	2-17
タッチパネルを拡大表示するとき	2-18
2.2 操作パネルの角度をかえる	2-19
操作パネルの角度のかえかた	2-19
2.3 主電源と副電源を入れる	2-21
電源の入れかた	2-21
ウォームアップ中に読み込む	2-22
電源の切りかた	2-24
自動的に初期設定にもどる（オートリセット）	2-25
自動的に優先画面に切替える	2-25
自動的に節電状態にする（ローパワー）	2-25
自動的に節電状態にする（スリープ）	2-26
タッチパネルを暗くする（LCD バックライトオフ）	2-26
ユーザ認証（本体認証）にしたがって本機を使用する	2-27
ユーザ認証（外部サーバ認証）にしたがって本機を使用する	2-30
管理設定にしたがって使用者を制限する（部門管理）	2-33
ユーザ認証（外部サーバ認証）と部門管理にしたがって本機を使用する	2-36
ユーザ認証（本体認証）と部門管理にしたがって本機を使用する	2-41
ユーザ認証（本体認証）と部門管理を連動させて本機を使用する	2-45
2.4 第1 / 第2 給紙トレイへ用紙をセットする	2-48
2.5 LCT へ用紙をセットする	2-50
2.6 手差しトレイへ用紙をセットする	2-52
第3章 基本機能	3-1
3.1 コピー操作の流れ	3-2
3.2 組合わせできない操作について	3-5
あとから設定したものが優先される場合	3-5
先に設定したものを優先する場合	3-6
3.3 原稿をセットする	3-8
ADF に原稿をセットする	3-8
原稿ガラス上に原稿をセットする	3-10

原稿を連続して読込む（連続読込み）	3-12
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする	3-14
3.4 原稿を設定する	3-16
サイズの異なる原稿をセットする（混載 / Z 折れ）	3-16
原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）	3-18
原稿セット方向の設定のしかた	3-19
とじ代を設定する（原稿のとじ代）	3-20
とじ代の設定のしかた	3-21
3.5 用紙を選ぶ	3-22
自動的に用紙を選択させる（自動用紙）	3-22
手動で目的の用紙を指定する	3-23
3.6 倍率を選ぶ	3-24
自動的に倍率を設定させる（自動倍率）	3-24
原稿と同じ倍率にする（等倍）	3-25
原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）	3-26
倍率を微調整してコピーする	3-27
「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）	3-28
テンキーで倍率を指定する	3-29
タテとヨコの倍率を個別に設定する（独立ズーム）	3-31
登録倍率から選択する	3-33
目的の倍率を登録する	3-34
3.7 原稿とコピーの片面 / 両面を選ぶ	3-36
片面コピーを選択する	3-37
両面コピーを選択する	3-38
3.8 画質 / 濃度を選ぶ	3-39
画質を設定する	3-40
コピー濃度を調整する（濃度）	3-41
3.9 集約コピーを選ぶ	3-42
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約）	3-44
3.10 コピーの仕上りを選ぶ	3-45
部数ごとに分けて排紙する（ソート）	3-48
ページごとに分けて排紙する（グループ）	3-49
ステープルでとじて排紙する（ステープル）	3-50
パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）	3-52
用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）	3-54
3.11 プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約）	3-56
3.12 ジョブを中断／削除する	3-57
第 4 章 コピー補助機能	4-1
4.1 コピーの設定を確認する（設定内容）	4-2
設定の確認のしかた	4-2
設定の変更のしかた	4-3
4.2 1 部プリントしてコピーの仕上りを確認する（確認コピー）	4-4
4.3 割込んでコピーする（割込み）	4-6

4.4	コピープログラムを使用する（プログラム）	4-7
	コピープログラムを登録する	4-7
	コピープログラムを呼出してコピーする	4-9
	コピープログラムの内容を確認する	4-10
	登録したコピープログラムを削除する	4-11
4.5	操作パネルの設定をする（ユニバーサル）	4-13
	ユニバーサル画面を表示させる	4-13
	画面モードを設定する	4-14
	キーリピートを設定する	4-15
	オートリセット確認の表示を設定する	4-16
	受付完了画面の表示を設定する	4-17
	音量を設定する	4-18
	音の高さを設定する	4-19
4.6	ジョブリストについて	4-20
	ジョブについて	4-20
	マルチジョブ機能について	4-20
	ジョブリスト画面について	4-20
4.7	ジョブ操作をする	4-21
	実行中のジョブを確認する	4-21
	プリント順を確認する	4-22
	ジョブを削除する	4-23
第5章	トラブルの処理	5-1
5.1	「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）	5-2
5.2	「紙づまりです」と表示されたら	5-4
	表示と紙づまり箇所	5-4
	紙づまり位置表示	5-5
	ADFでの紙づまり処理のしかた	5-6
	定着部での紙づまり処理のしかた	5-8
	両面ユニットでの紙づまり処理のしかた	5-12
	手差しトレイでの紙づまり処理のしかた	5-12
	第1／第2給紙トレイでの紙づまり処理のしかた	5-14
	第3／第4給紙トレイでの紙づまり処理のしかた	5-16
	LCTでの紙づまり処理のしかた	5-17
	フィニッシャーでの紙づまり処理のしかた	5-18
	メールビンでの紙づまり処理のしかた	5-21
	中綴じ機での紙づまり処理のしかた	5-23
5.3	「用紙を補給してください」と表示されたら	5-25
5.4	「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	5-26
5.5	「トナーを交換してください」と表示されたら	5-27
5.6	「ステープル針がありません」と表示されたら	5-28
5.7	簡単なトラブルの処理	5-29
5.8	おもなメッセージと処理のしかた	5-32

第 6 章	仕様・保守サービス	6-1
6.1	仕様	6-2
	本体仕様	6-2
	自動両面ユニット	6-3
	自動両面原稿送り装置 DF-605	6-4
	給紙キャビネット PC-202	6-5
	給紙キャビネット PC-402	6-5
	フィニッシャー FS-508	6-5
	パンチユニット PU-501	6-6
	中綴じ機 SD-502	6-7
	排紙トレイ OT-601	6-7
	メールビン MT-501	6-7
	セパレータ JS-502	6-8
6.2	保守サービス	6-9
第 7 章	用紙・原稿について	7-1
7.1	用紙について	7-2
	使用できる用紙サイズ	7-2
	用紙種類および用紙容量	7-4
	専用紙について	7-5
	用紙使用上の注意	7-6
	用紙の保管	7-6
	ATS 機能（オートトレイスイッチ）	7-7
	給紙トレイ切換え順位	7-7
7.2	手差しトレイの用紙設定について	7-8
	用紙サイズを指定する（設定変更）	7-8
	不定形サイズの用紙をセットする（不定形サイズ）	7-10
	目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズ）	7-12
	専用紙として設定する（設定変更）	7-15
7.3	原稿について	7-17
	ADF にセットできる原稿	7-17
	ADF にセットする原稿についての注意	7-18
	原稿ガラス上にセットできる原稿	7-19
	原稿ガラス上にセットする原稿についての注意	7-19
第 8 章	応用機能	8-1
8.1	表紙をつける（カバーシート）	8-2
8.2	挿入紙をつける（インタシート）	8-5
8.3	OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）	8-8
8.4	コピーにとじ代をつける（とじ代作成）	8-10
8.5	原稿の不要部分を消去してコピーする（イレース）	8-12
8.6	画像を繰返しコピーする（イメージリピート）	8-14
8.7	ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）	8-17
8.8	中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）	8-21

8.9	付属情報を印字してコピーする（画像付加）	8-23
	管理用ナンバを印字する（ナンバリング）	8-23
	コピー画像の中心に定形文字を印字する（スタンプ）	8-25
8.10	画像を重ねてコピーする（オーバレイ）	8-27
	オーバレイ画像を登録する（オーバレイ登録）	8-27
	オーバレイ画像を呼出す	8-30
	オーバレイ画像を確認する	8-32
8.11	原稿の濃淡を反転してコピーする（白黒反転）	8-34
8.12	連続読込み	8-35
第 9 章 トナーボトル交換／ステープル針交換／パンチくず処理		9-1
9.1	トナーボトルを交換する	9-2
	トナーボトル交換のしかた	9-4
9.2	ステープル針を交換する	9-7
	フィニッシャーのステープルカートリッジ交換のしかた	9-7
	中綴じ機のステープルカートリッジ交換のしかた	9-11
9.3	ステープル針がつまったら	9-14
	フィニッシャーの針づまり処理のしかた	9-14
	中綴じ機の針づまり処理のしかた	9-19
9.4	パンチくずを処理する	9-23
	パンチくず処理のしかた	9-23
第 10 章 日頃の管理		10-1
10.1	清掃のしかた	10-2
	外装カバー	10-2
	原稿ガラス	10-2
	操作パネル	10-3
	原稿押えパッド	10-3
	スリットガラス	10-4
10.2	カウントを確認する（カウンタ）	10-5
10.3	「定期点検時期です」と表示されたら	10-6
第 11 章 設定メニュー		11-1
11.1	設定メニューの概要	11-2
	登録・設定項目一覧表	11-2
11.2	ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス）	11-9
	優先混載原稿	11-11
	言語選択（表示用）	11-11
	本体認証パスワード変更	11-11
	優先原稿 ▶ コピー	11-12
	優先オート	11-12
	優先用紙	11-12
	特殊紙設定	11-12
	集約 / 小冊子倍率	11-13
	ローパワー	11-13

スリープ	11-13
LCD バックライトオフ	11-13
オートリセット	11-14
使用者変更時オートリセット	11-14
4in1 ページ順指定	11-14
優先画質 / 濃度モード	11-14
優先濃度レベル (コピー)	11-15
プリント濃度設定	11-15
優先ソート	11-15
ソート / ノンソート自動切換え	11-16
ビン割当て	11-16
小サイズ原稿	11-17
折目 / センタステーブル	11-17
優先画面	11-18
主機能設定	11-18
画質 (ADF)	11-18
11.3 ユーザ保守を設定する (ユーザ保守)	11-19
音の設定	11-20
パネルクリーニング	11-20
トナー補給	11-20
11.4 管理者保守画面を表示させるには (管理者保守)	11-21
11.5 初期設定を行う (初期設定)	11-23
日付時刻設定	11-23
11.6 管理者設定を行う (管理者設定)	11-24
管理者番号変更	11-25
設定枚数制限	11-25
スリープしない	11-25
11.7 管理方法を設定する (認証設定)	11-26
認証形態	11-28
認証指定なしプリント	11-28
11.8 部門データ管理を設定する (部門データ)	11-29
部門データを登録する	11-30
部門データを管理する	11-32
部門データを削除する	11-33
認証指定なしプリントを設定する	11-35
11.9 管理者を設定する (ユーザ認証)	11-36
外部サーバ認証を登録する	11-37
本体認証を登録する	11-40
本体認証を管理する	11-43
本体認証を削除する	11-45
11.10 機能の状態を設定する (ソフトウェア DIPSW)	11-47
ソフトウェア DIPSW の設定のしかた	11-48
コピー機能の使用禁止を設定する (モード 307)	11-50
拡大表示方法を設定する (モード 311)	11-51
自動用紙と自動倍率を同時に設定する (モード 403)	11-51
ADF を使用したコピー終了時の設定に関する指定をする (モード 429)	11-52
ログアウトするときの【ID】押下の指定 (モード 438)	11-52

ユーザ認証で登録した情報を使用してLDAPサーバにログインする (モード 466)	11-53
アクセスロック、パスワード規約、画像データの消去方法を指定する (モード 469)	11-54
ユーザ認証画面でのユーザー一覧表示を設定する (モード 471)	11-55
文字入力画面の〔削除〕キーの削除方式を指定する (モード 478)	11-56
ユーザ認証をスキャン機能のみに限定する (モード 479)	11-56
11.11 セキュリティ設定を行う (セキュリティ設定)	11-57
セキュリティ強化を設定する前に	11-58
セキュリティ強化で変更される機能について	11-59
セキュリティ強化を設定する (セキュリティ強化)	11-59
アクセスロックを解除する (ペナルティ解除)	11-61
11.12 メモリ管理を行う (メモリ管理)	11-63
11.13 パスワード規約	11-65
第 12 章 付録	12-1
12.1 文字を入力するには	12-2
英数字を入力する	12-3
ひらがなを入力する	12-3
カタカナを入力する	12-5
漢字を入力する	12-5
入力文字一覧	12-7
12.2 用語集	12-8
12.3 使用別索引	12-11
12.4 項目別索引	12-16

こんな機能があります

用紙を自動的に選択する

原稿のサイズと選択した倍率に合わせて、用紙を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは、p. 3-22 をごらんください。

用紙サイズに合わせてコピーする

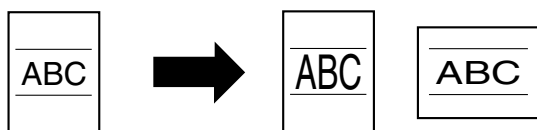
原稿のサイズと選択した用紙のサイズに合わせて、倍率を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは、p. 3-24 をごらんください。

縦と横の倍率を別々に設定する

縦、横それぞれの倍率を変えることで、原稿の画像を変形させてコピーできます。



詳しくは、p. 3-31 をごらんください。

原稿を分割して読込む

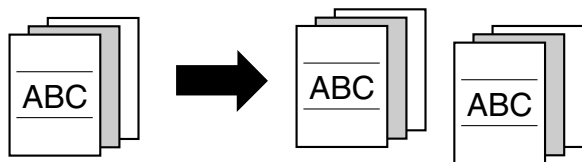
大量の原稿を分割し、連続して読込ませることができます。原稿ガラスを使用して両面コピーをとったり、ADFと原稿ガラスを切換えて読込み、1つのジョブとして1度に出力できます。



詳しくは、p. 3-12、p. 3-14 をごらんください。

仕分けしてコピーする

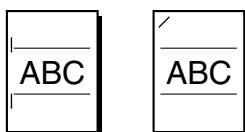
コピーした用紙の仕分け方法を選択できます。



詳しくは、p. 3-48、p. 3-49 をごらんください。

ステープルでとじる

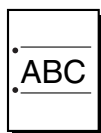
コピーした用紙をステープルでとじることができます。



詳しくは、p. 3-50 をごらんください。

パンチ穴をあける

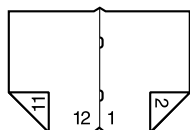
コピーした用紙にファイリング用のパンチ穴をあけられます。



詳しくは、p. 3-52 をごらんください。

中とじする

コピーした用紙の中央を折り曲げ、ステープルでとじて出力できます。



詳しくは、p. 3-54 をごらんください。

複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする

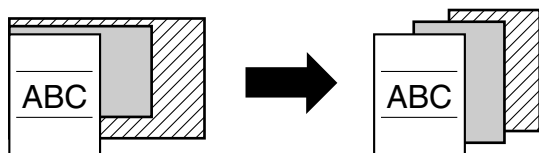
複数枚の原稿を、1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



詳しくは、p. 3-42 をごらんください。

サイズが異なる原稿を一緒にコピーする

サイズが異なる原稿を、一度に読込んでコピーできます。



詳しくは、p. 3-16 をごらんください。

原稿の画質に合わせてコピーする

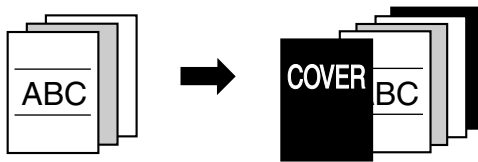
原稿の画質に合った画像でコピーできます。



詳しくは、p. 3-39 をごらんください。

表紙をつける

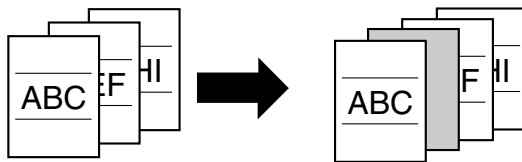
コピーに表紙をつけられます。



詳しくは、p. 8-2 をごらんください。

コピーの途中に色紙など挿入する

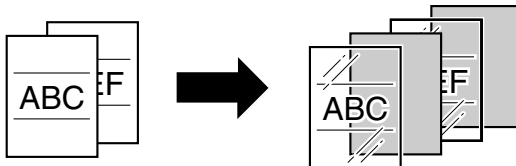
指定した位置に別の用紙（色紙など）を挿入してコピーできます。



詳しくは、p. 8-5 をごらんください。

OHP フィルムの間に合紙（仕切り紙）を差込んでコピーする

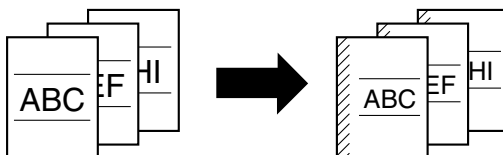
OHP フィルムを 1 枚コピーするごとに、合紙を挿入できます。



詳しくは、p. 8-8 をごらんください。

とじ代をつけてコピーする

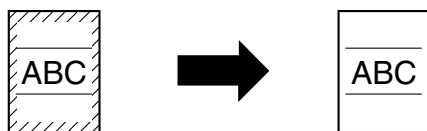
ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつくってコピーできます。



詳しくは、p. 8-10 をごらんください。

原稿の一部を消してコピーする

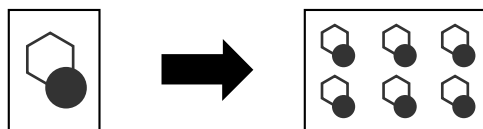
パンチ穴の影や受信したファクスの通信記録などを消してコピーできます。



詳しくは、p. 8-12 をごらんください。

画像を繰り返してコピーする

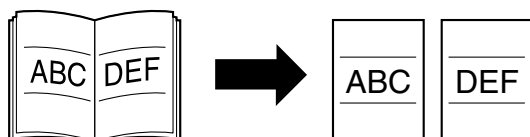
1枚の原稿の画像を1枚の用紙に繰り返してコピーできます。



詳しくは、p. 8-14 をごらんください。

見開きを左右別々にコピーする

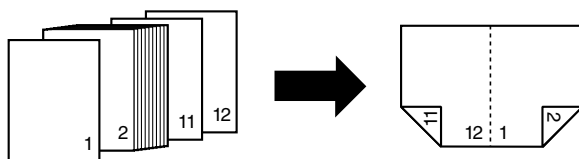
本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページごとに分割してコピーできます。



詳しくは、p. 8-17 をごらんください。

本や雑誌のようなレイアウトでコピーする

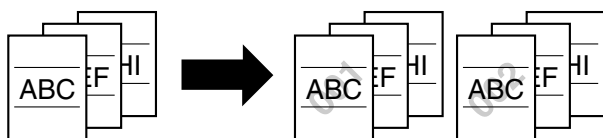
本や雑誌のようなレイアウトになるように、ページを入れ換えてコピーできます。



詳しくは、p. 8-21 をごらんください。

管理用ナンバやスタンプを印字する

コピーに1部ごとに管理用のナンバや定型文字のスタンプを印字できます。



詳しくは、p. 8-23 をごらんください。

画像を重ねてコピーする

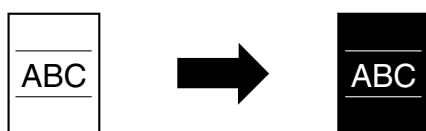
あらかじめ登録した画像を原稿の画像に重ねてコピーできます。



詳しくは、p. 8-27 をごらんください。

白黒反転してコピーする

画像の白黒を反転させてコピーできます。



詳しくは、p. 8-34 をごらんください。

コピージョブを確認する

プリント待ち状況などを確認できます。



詳しくは、p. 4-20 をごらんください。

コピーの設定を登録する

よく使うコピーの設定を登録し、必要なときに呼出してコピーできます。



詳しくは、p. 4-7 をごらんください。

設定内容を確認する

設定した内容を確認できます。また設定した内容の変更もできます。



詳しくは、p. 4-2 をごらんください。

タッチパネルの文字サイズを大きくする

タッチパネルの文字やキーを見やすい大きな表示にし、操作をしやすくします。



詳しくは、p. 2-18 をごらんください。

割込んでコピーする

コピーしているジョブを中断し、割込んでコピーできます。



詳しくは、p. 4-6 をごらんください。

1 部コピーして条件を確認する

大量部数のコピーをする前に 1 部だけテストプリントし、コピーの仕上りを確認できます。



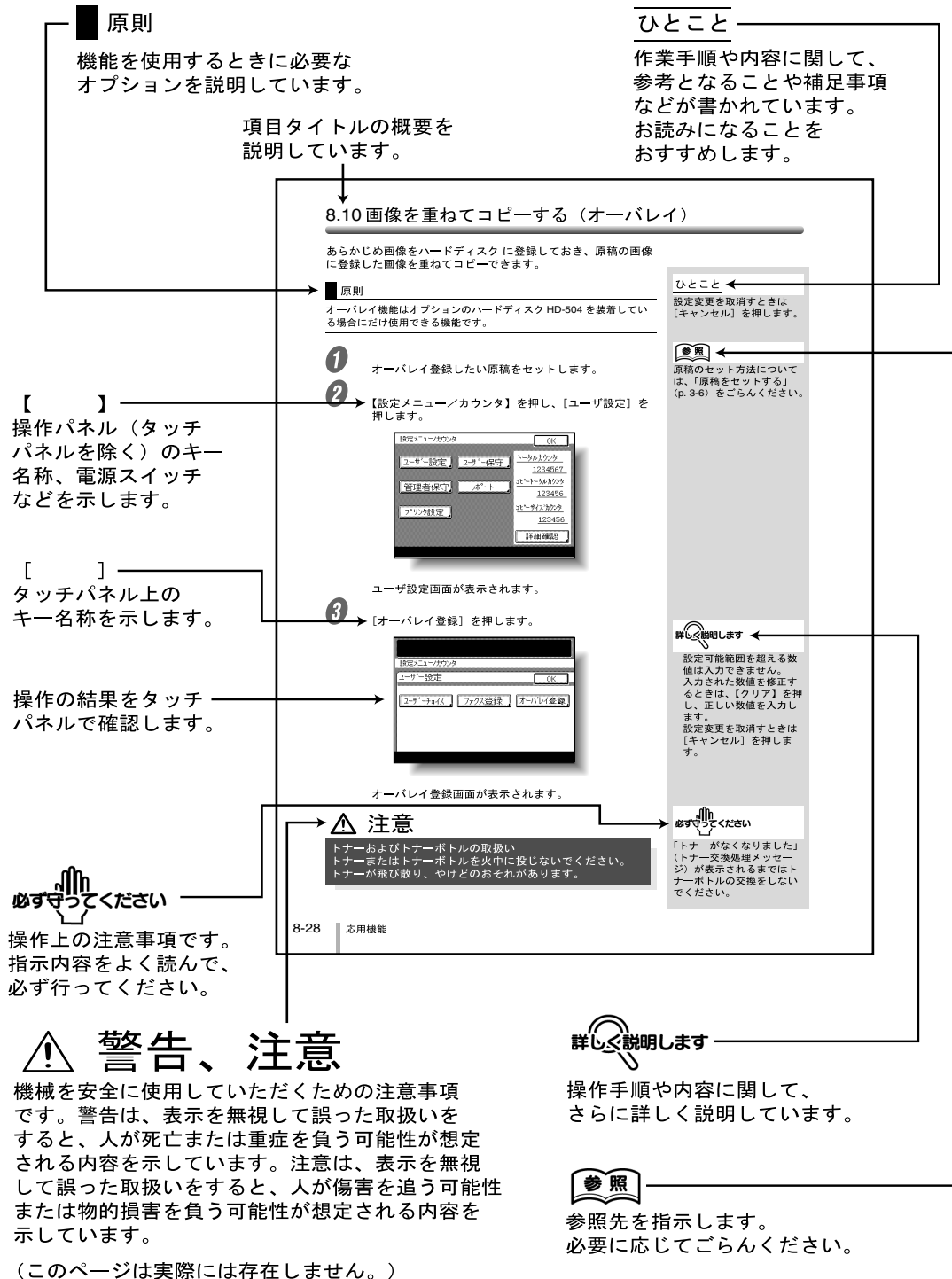
詳しくは、p. 4-4 をごらんください。

コピーの内容を保存する

オプションのハードディスクを装着している場合、原稿の内容をボックスに保存できます。



詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

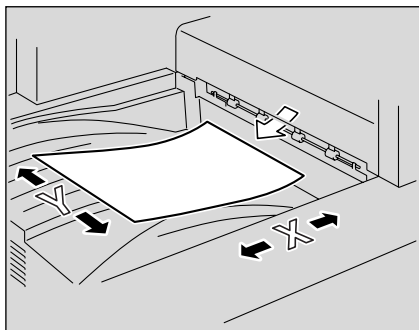


原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

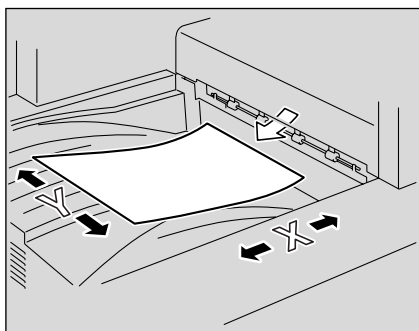
■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅と呼び、X 辺を長さと呼びます。

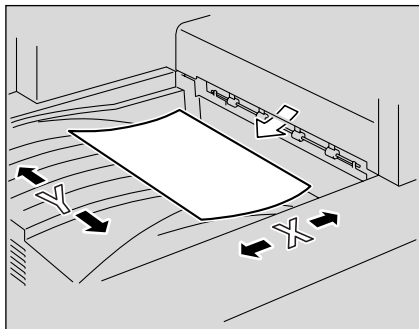


■ □ と ▢

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを □ と表示します。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを ▢ と表示します。



マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方／切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）

標準装備のネットワークの設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB、インターネットファックスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- 確認プリント、機密プリントのほか、オプションのハードディスクを利用したボックスへのドキュメント保存、ネット配信など機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（SIP ファクス機能編）

SIP ファクス機能の操作について記載しています。

- FAXキットを装着した場合のSIPファクス機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（プリンタ機能編）

標準装着のプリンタコントローラで設定できるプリント機能について記載しています。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、User Software CD-ROM 内のユーザーズガイド（PDF データ）をごらんください。

■ クイックガイド（プリンタ機能編）

標準装着のプリンタコントローラで設定できるプリント機能について記載しています。

- プリンタ機能の基本的な使い方を知りたい場合は、このクイックガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（拡張スキャナ機能編）

オプションのスキャナユニット装着時に使用できる機能の操作について記載しています。

- IP アドレス FAX、IP 中継、Scan to PC、らくらくスキャナの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）

ファクシミリ機能の操作について記載しています。

- FAX キットを接続した場合のファクシミリ機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

とくに法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

■ 機械・消耗品のリサイクル／リユース

弊社の環境基準に従い回収された機械やカートリッジなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

使用済みのトナーボトル、イメージングユニット、感光体は、再使用、マテリアルリサイクル、再資源化など適正に処理するため、回収にはご協力を御願い致します。

使用済みのトナーカートリッジ・イメージングユニット

- 使用済みのトナーカートリッジ、イメージングユニットは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
回収したトナーカートリッジ、イメージングユニットは、再資源化しています。

使用済みのドラム（感光体）

- 使用済みのドラムは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
回収したドラムは、再資源化しています。

機械の廃棄について

- 機械を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。
機械を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。
回収した機械は、再資源化しています。

2次電池（充電式リチウム電池）の使用について

- 本機では、2次電池は一切使用しておりません。

第 1 章

設置・取扱いの注意

設置や取扱いの注意について説明します。

1.1 安全にご使用いただくために	1-2
1.2 適合宣言文	1-9
1.3 注意表記・注意ラベル	1-12
1.4 設置スペース	1-13
1.5 使用上のご注意	1-14

1.1 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。



- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

KM_Ver. 01J_C







※ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

	この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。 例)  「高温注意」を示す図記号
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。 例)  「分解禁止」を表わす図記号
	この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。 例)  「電源プラグを抜く」を表わす図記号

分解・改造について

警告

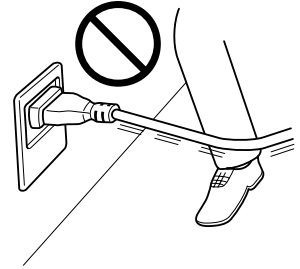
- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。
- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



電源コードについて

警告

- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。
- この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っばったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



電源について

⚠ 警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。



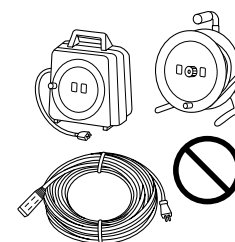
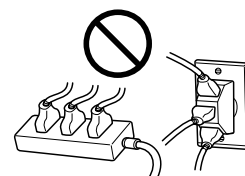
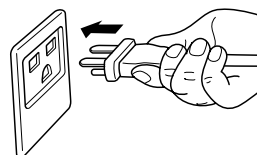
- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。



- コンセントが2口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。



- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠ 注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグについて

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

**⚠ 注意**

- プラグを抜くときは電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



アース接続について

⚠ 警告

- 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。



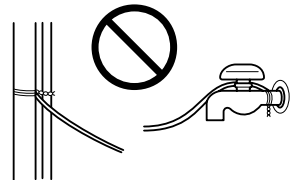
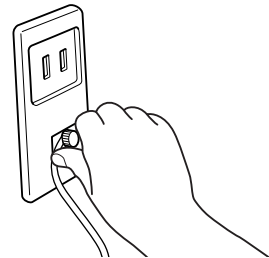
※ アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事を施してある接地端子（第D種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けしないでください。

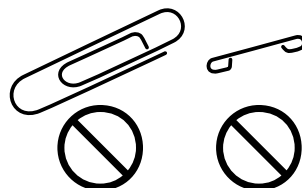
- ガス管（ガス爆発の原因になります）
- 電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
- 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）



設置について

⚠ 警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。


⚠ 注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。(床置き型製品の場合)



- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。



- 本製品の周囲で引火性のスプレーや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



換気について

⚠ 注意

- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。



異常が見られたら

⚠ 警告

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。

**⚠ 注意**

- 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



消耗品について

⚠ 警告

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

**⚠ 注意**

- トナーボトルや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるときは

⚠ 注意

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



<オプションの FAX キット FK-503 を装着していない場合>

長期間使用しないときは

⚠ 注意

- 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



1.2 適合宣言文

■ レーザー安全性

本機は、レーザーを使用するデジタル機器です。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス 1 レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることはありません。

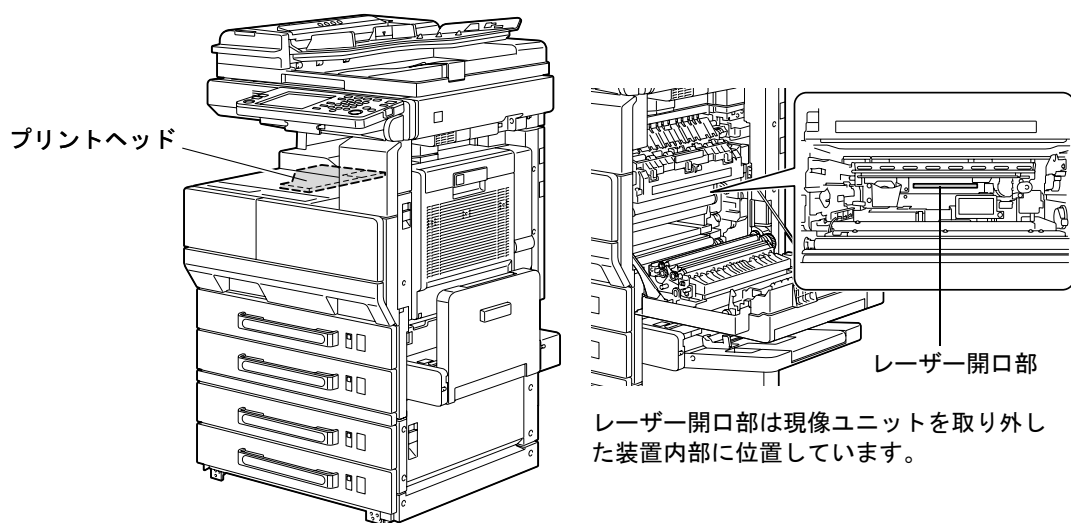
■ 内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドの開口部で $28.9 \mu\text{W}$

波長：770-795 nm

本機は、クラス 3B のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。



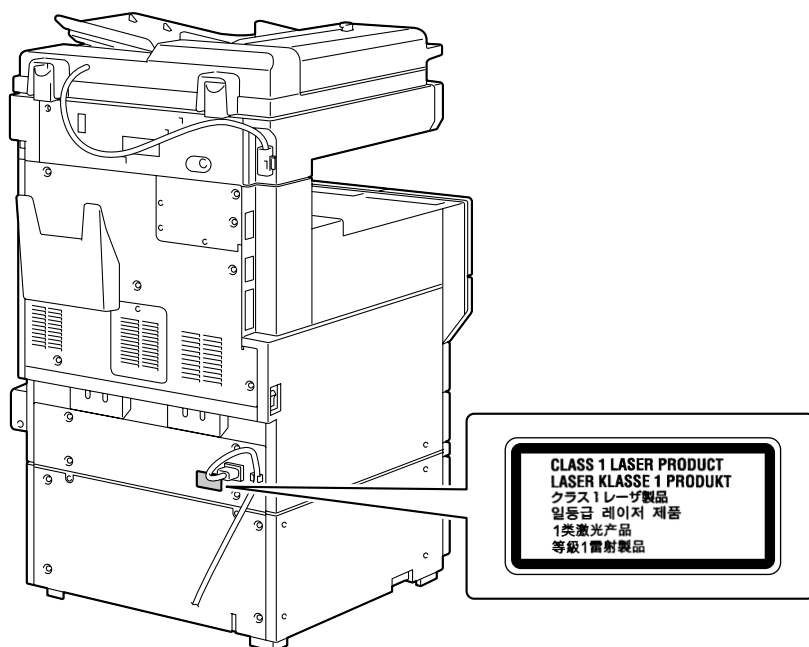
注意

ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。

これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 5 mW で波長は 770-795 nm です。

■ レーザー安全ラベル

下図に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



■ オゾン放出

本機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー／プリントを行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために部屋の換気をおすすめします。

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

■ 高調波対策ガイドライン

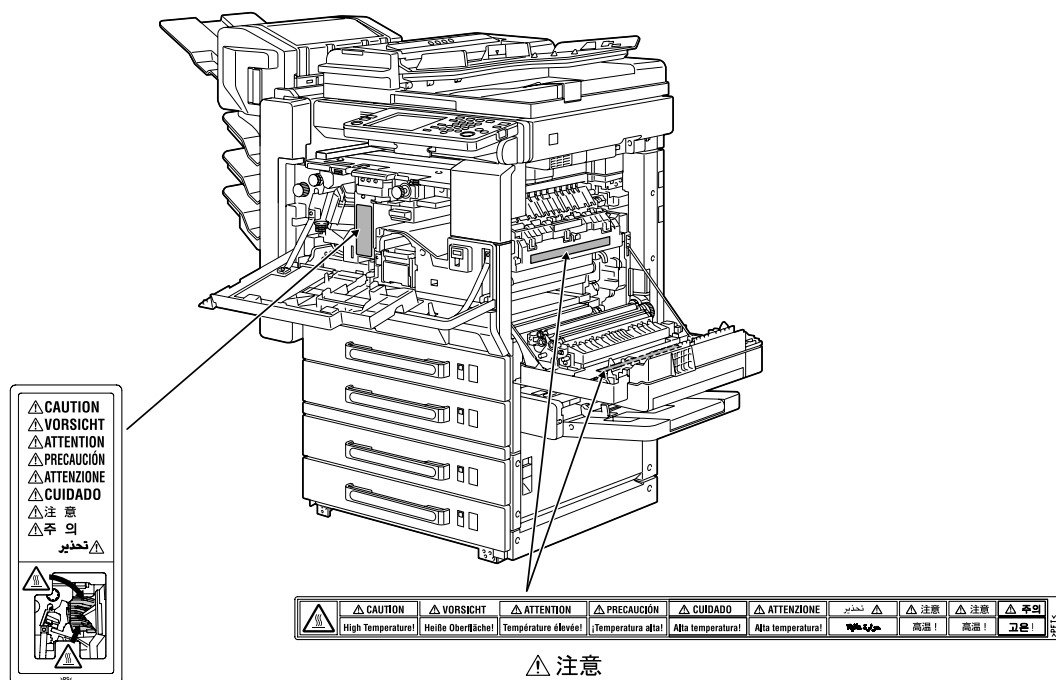
本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

■ 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117 「複写機 Version2.0」の物質エミッション放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用の推奨純正品を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2003 の付録 4 に基づき試験を実施しました。）

1.3 注意表記・注意ラベル

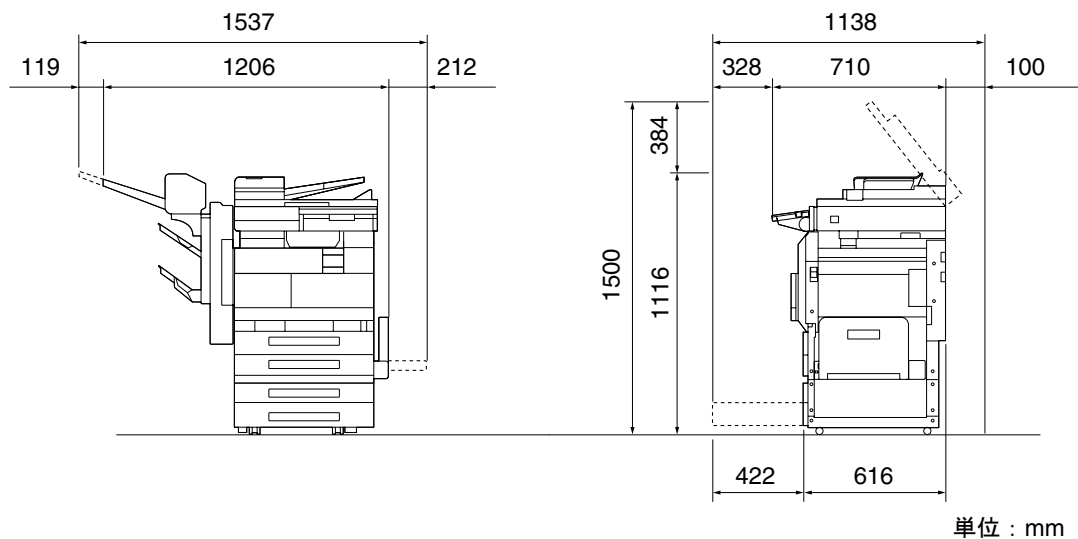
本機には以下に示す位置に安全に関する注意表記や注意ラベルがあります。
紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。



1.4 設置スペース

1

プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるように、十分な設置スペースを確保してください。



必ず守ってください

とくに本機の背面には排熱用の排気ダクトがあるため、背面は必ず 100 mm 以上壁から離してください。

1.5 使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。
電圧変動率：AC 100 V \pm 10% 以内
周波数変動：50 Hz/60 Hz \pm 2.5 Hz 以内

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10°C ~ 32°C 温度変化率 10°C/h
- 湿度 15% ~ 85% 湿度変化率 20%/h

ただし、気温 32°C の環境下では、湿度 65% 以下を保証の範囲とします。

■ コピーの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。

■ トナーカートリッジの取り扱いについて

トナーカートリッジを取り扱う場合、以下の項目をよく読み取り扱いには十分に注意してください。

- トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手に付いた場合
石鹸を使って水で良く洗い流してください。
- トナーを吸入した場合
新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合
直ちに流水で 15 分以上よく洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合
口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーカートリッジは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ 再生紙の使用について

本機は、古紙パルプ 100% 再生紙で、エコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」がご使用できます。

■ 各種運転モードにおけるエネルギー消費および省エネルギー機能

各種運転モード時のエネルギー消費値は以下の通りです。

ローパワーモードの消費電力	ローパワーモードへの移行時間	ローパワーモードからの復帰時間	スリープモードの消費電力	スリープモードへの移行時間	スリープモードからの復帰時間
4.4 W	1 分	14 秒	4.4 W	1 分	14 秒以下

省エネルギー機能には、以下を搭載しています。

● ローパワー機能

ローパワー機能は、本機の消費電力を節約するため、本機を操作しなくなってから設定した時間が経過すると、タッチパネルの表示を消すなど、自動的に節電状態にする機能です。待機中の消費電力を 4.4 W 以下に抑えることができ、電気料金の節約にも寄与しています。出荷時設定では、無操作時間が 15 分を経過すると、自動的にローパワー機能が働き消費電力を節約します。ローパワー機能は、1 分～240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

● スリープ機能

スリープ機能は、ローパワー機能よりもさらに節電効果が得られ、待機中の消費電力を 4.4 W 以下に抑えることができます。通常は、ローパワー機能が働いてから一定時間経過すると、自動的にスリープ機能が働きます。出荷時設定では、無操作時間が 15 分間継続すると、自動的にスリープ機能が働き消費電力を節約します。スリープ機能は、1 分～240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

ローパワー機能設定時間	出荷時設定	スリープ機能設定時間	出荷時設定
1 分	15 分	1 分～240 分	1 分

■ 換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量のコピーを行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス環境が保てない原因となります。また、複写動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

第 2 章

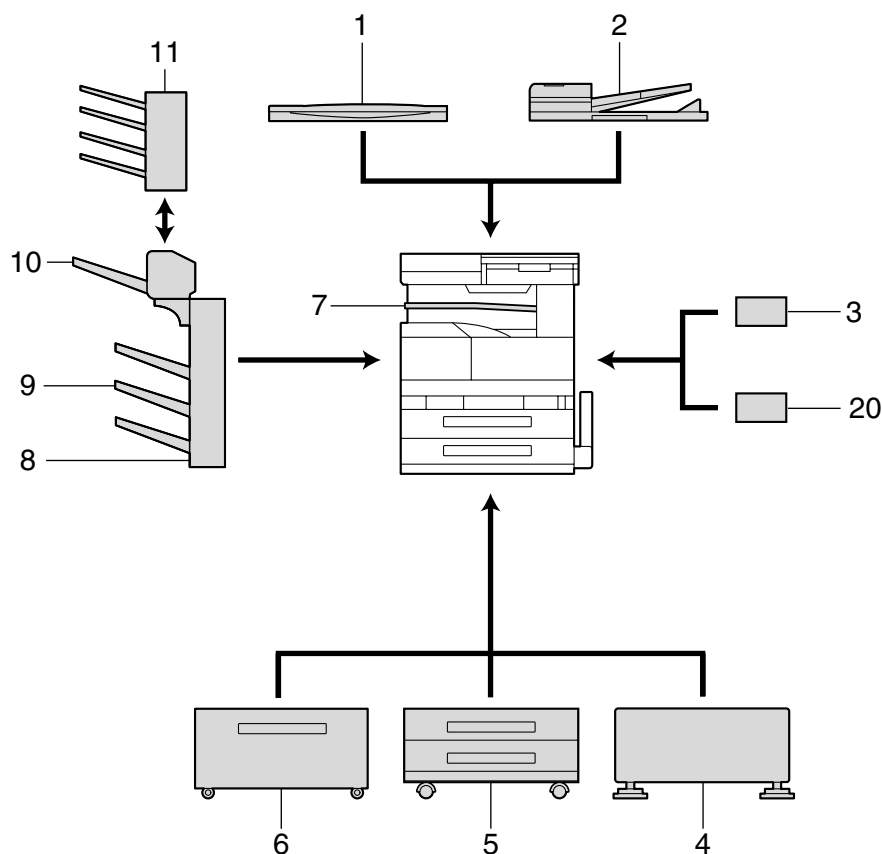
ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことや準備しておくことについて説明します。

2.1 各部の名称とはたらき	2-2
2.2 操作パネルの角度をかえる	2-19
2.3 主電源と副電源を入れる	2-21
2.4 第 1 / 第 2 給紙トレイへ用紙をセットする	2-48
2.5 LCT へ用紙をセットする	2-50
2.6 手差しトレイへ用紙をセットする	2-52

2.1 各部の名称とはたらき

■ オプション構成



No	名称	説明
	本体部	スキャナ部で原稿が読み込まれ、読取った画像がプリンタ部でプリントされます。 以降、本文中では本機、本体と呼びます。
1	オリジナルカバー OC-502	セットした原稿が動かないように押えます。以降、本文中ではオリジナルカバーと呼びます。
2	自動両面原稿送り装置 DF-605	原稿を自動的に1枚ずつ送り出し、読み込みます。両面原稿はタッチパネルで設定することにより、自動的に反転して読み込みます。 以降、本文中ではADFと呼びます。
3	ハンドセット HS-501	本機を通話にも使用する場合に取付けます。 FAXキットを取付けたときだけに装着できるオプションです。
4	専用デスク DK-501	専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
5	給紙キャビネット PC-202	上段・下段に各550枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では2段給紙キャビネットと呼びます。

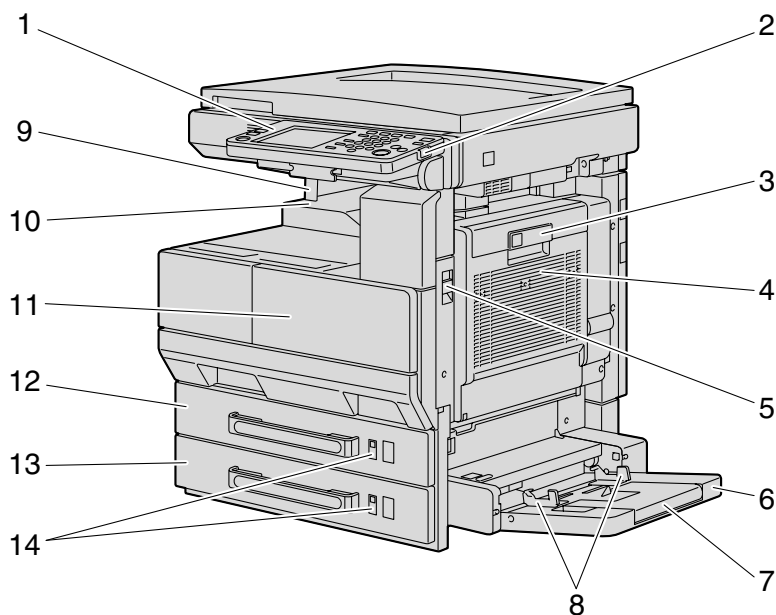
No	名称	説明
6	給紙キャビネット PC-402	2,500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では LCT と呼びます。
7	セパレータ JS-502	印刷された用紙を仕分けすることができます。 用紙をとるときは、レバーを引きます。 以降本文中ではセパレータと呼びます。
8	フィニッシャー FS-508	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能には、部数単位（ソート）、ページ順単位（グループ）、ステープルとじ（ステープル）、パンチ穴（パンチ）があります。 以降本文中ではフィニッシャーと呼びます。
9	排紙トレイ OT-601	フィニッシャーに装着する排紙トレイです。印刷された用紙を仕分けすることができます。 以降本文中では増設排紙トレイと呼びます。
10	中綴じ機 SD-502	フィニッシャーに装着することにより、ステープルとじ、中とじができます。 以降本文中では中綴じ機と呼びます。
11	メールピン MT-501	フィニッシャーに装着すると、個人やグループごとにピンを割り当てて（PC プリント時のみ有効）、印刷された用紙を仕分けすることができます。 以降本文中ではメールピンと呼びます。
12	パンチユニット PU-501*	フィニッシャーに装着することにより、パンチ穴をあけることができます。 以降本文中ではパンチユニットと呼びます。
13	FAX キット FK-503*	本機をファクス機として使用する場合に取付けます。
14	スキャナユニット SU-501*	内蔵型のネットワークスキャナキットです。本機をネットワーク対応のスキャナとして使用することができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。
15	ハードディスク HD-504*	原稿読み込み枚数を増やすことができます。また、複数のジョブを読み込むことができます。
16	拡張メモリ EM-303、304、305*	メモリ容量を拡張することにより、メモリへの原稿読取り枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリと呼びます。
17	回線拡張キット ML-502*	ファクス専用の電話回線を増設する場合に取付けます。
18	防湿ヒータ 1C*	給紙キャビネットまたは専用デスクに取付け、用紙の湿気を防止します。
19	ローカル接続キット EK-502*	本機とコンピュータをローカル接続する場合に使用します。
20	データコントローラ D-103	磁気カードにより、各部門のプリント枚数などのデータ管理を行います。 以降本文中ではデータコントローラと呼びます。 詳しくは、データコントローラの取扱説明書をごらんください。

2.1 各部の名称とはたらき

No	名称	説明
21	取り付けキット MK-709*	本機をリモート管理するときに取付けます。 FAX キットを装着している場合、本オプションは必要ありません。
22	ファックス済みスタンプユニット SP-501*	ADF に取付けて使用します。 ファックス送信時、読取りが完了した原稿にファクス済みのスタンプを付けます。
23	セキュリティキット SC-504*	ハードディスクに保存されるデータを暗号化し、より安全にハードディスクを使用できます。

* 印は本体内蔵のため図解してありません。

■ 本体外部

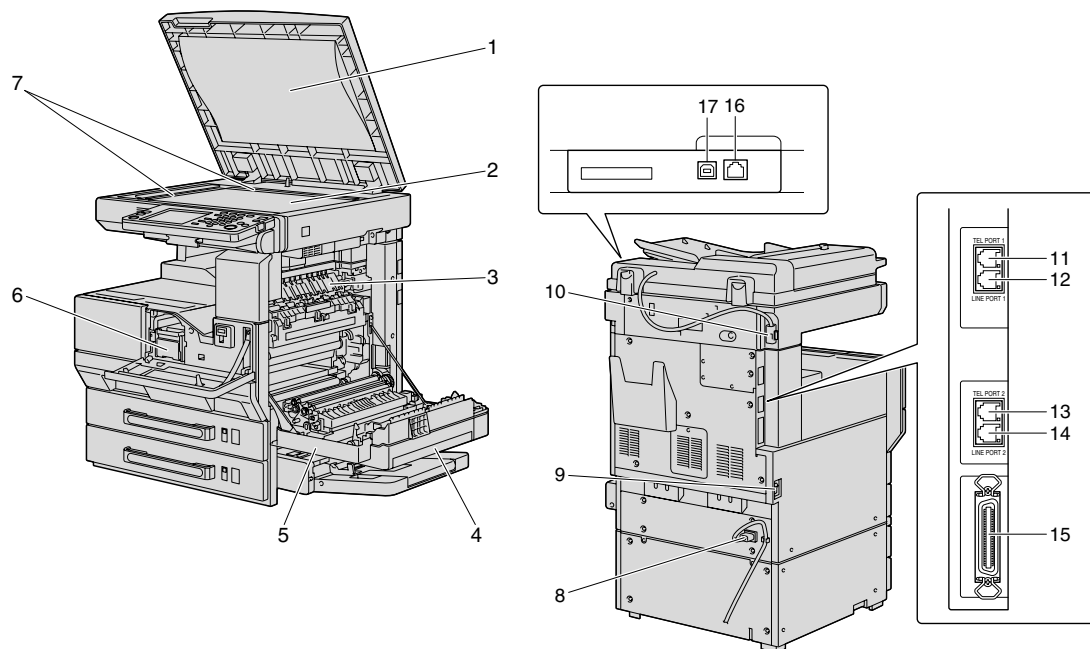


※本図は本体にオプションのオリジナルカバーを装着しています。

No	名称	説明
1	操作パネル	本機での各種設定、コピースタートなどの操作に使用します。
2	副電源スイッチ	コピー、プリント、スキャニングなど本機の動作をON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
3	両面ユニットドア解除レバー	両面ユニットドアを開くときに使用します。
4	両面ユニットドア	両面ユニット内で紙づまりした用紙を取り出すときに開きます。
5	右ドア解除レバー	右ドアを開くときに使用します。

No	名称	説明
6	マルチ手差しトレイ	給紙トレイにセットされていないサイズの内紙や厚紙、OHP フィルム、官製はがき、封筒、ラベル用紙にプリントするときに使います。 普通紙は 150 枚、厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙は 50 枚、封筒は 10 枚までセットできます。 以降本文中では、手差しトレイと呼びます。(p. 2-52)
7	補助トレイ	大きいサイズの内紙をセットするときに開いて使います。
8	ガイド板	内紙の幅に合わせて調整します。
9	ストッパー	プリントされた内紙が落下するのを防ぎます。オプションのセパレータ装着時に使います。
10	排紙トレイ	プリントされた内紙が下向きで排紙されます。
11	前ドア	トナーボトルを交換するときに開きます。(p. 9-2)
12	第 1 給紙トレイ	550 枚までの内紙をセットします。 内紙サイズを自由に変更できます。(p. 2-48)
13	第 2 給紙トレイ	550 枚までの内紙をセットします。 内紙サイズを自由に変更できます。(p. 2-48)
14	内紙残量窓	給紙トレイの内紙が減るにつれて、赤く表示されるエリアが増えます。

■ 本体内部 / 本体背部



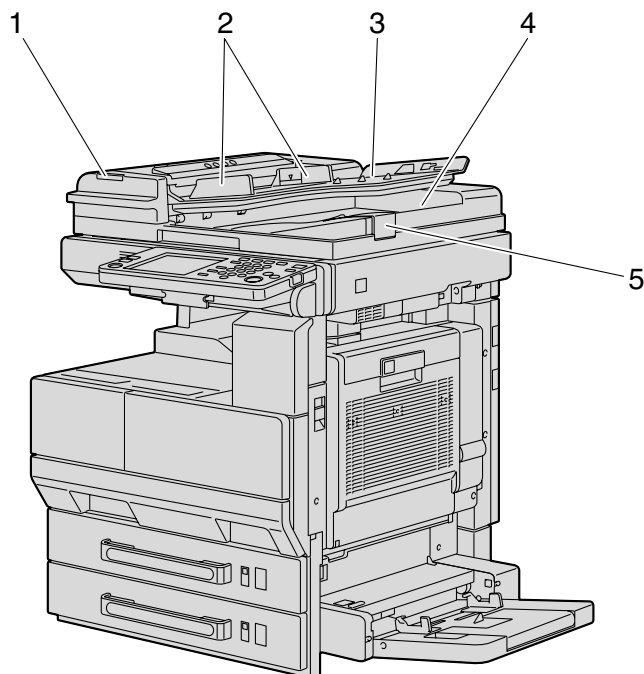
※本図は本体にオプションのオリジナルカバー、ADF を装着しています。

No	名称	説明
1	原稿押さえパッド	原稿ガラス上にセットされた原稿を押さえます。
2	原稿ガラス	セットした原稿の画像を読み込みます。(p. 3-8)
3	反転ユニット	本機の内部にあり、両面プリントするときに、用紙を反転します。
4	両面ユニット	両面プリントをするときに、用紙を反転します。
5	右ドア	右ドアユニット部、定着部での紙づまりの処理をするときに開きます。
6	トナーホッパー	トナーボトルを取付けたり、交換するときに使用します。
7	原稿スケール	スケールの表示に合わせて原稿をセットします。(p. 3-8)
8	電源コード	本機に電源を供給します。
9	主電源スイッチ	本機の電源の ON/OFF を行います。(p. 2-21)
10	ADF 用コネクタ	ADF のコードを接続します。
11	外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT1)	外付け電話機を接続するときに使用します。

No	名称	説明
12	ポート 1 回線コネクタ (LINE PORT1)	一般加入電話回線を接続するときに使用します。
13	外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT2)	外付け電話機のコードを接続します。
14	マルチポート用ポート 2 回線コネクタ (LINE PORT2)	一般加入電話回線を接続するときに使用します。 オプションのマルチポートを装着した場合に使用します。
15	IEEE1284 ポート (タイプ C)	パラレルケーブルでコンピュータと本機を接続するときに使用します。
16	ネットワーク用ポート (10Base-T/100Base-TX)	本機をネットワークプリンタ、ネットワークスキャナとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
17	USB ポート (タイプ B) USB2.0/1.1 仕様準拠	USB ケーブルでコンピュータと本機を接続するときに使用します。
18	オゾンフィルタ *	機内で発生したオゾンを回収します。
19	フィルタ *	機内で発生したトナー粉などを回収します。

* 印は本体内部のため図解してありません。

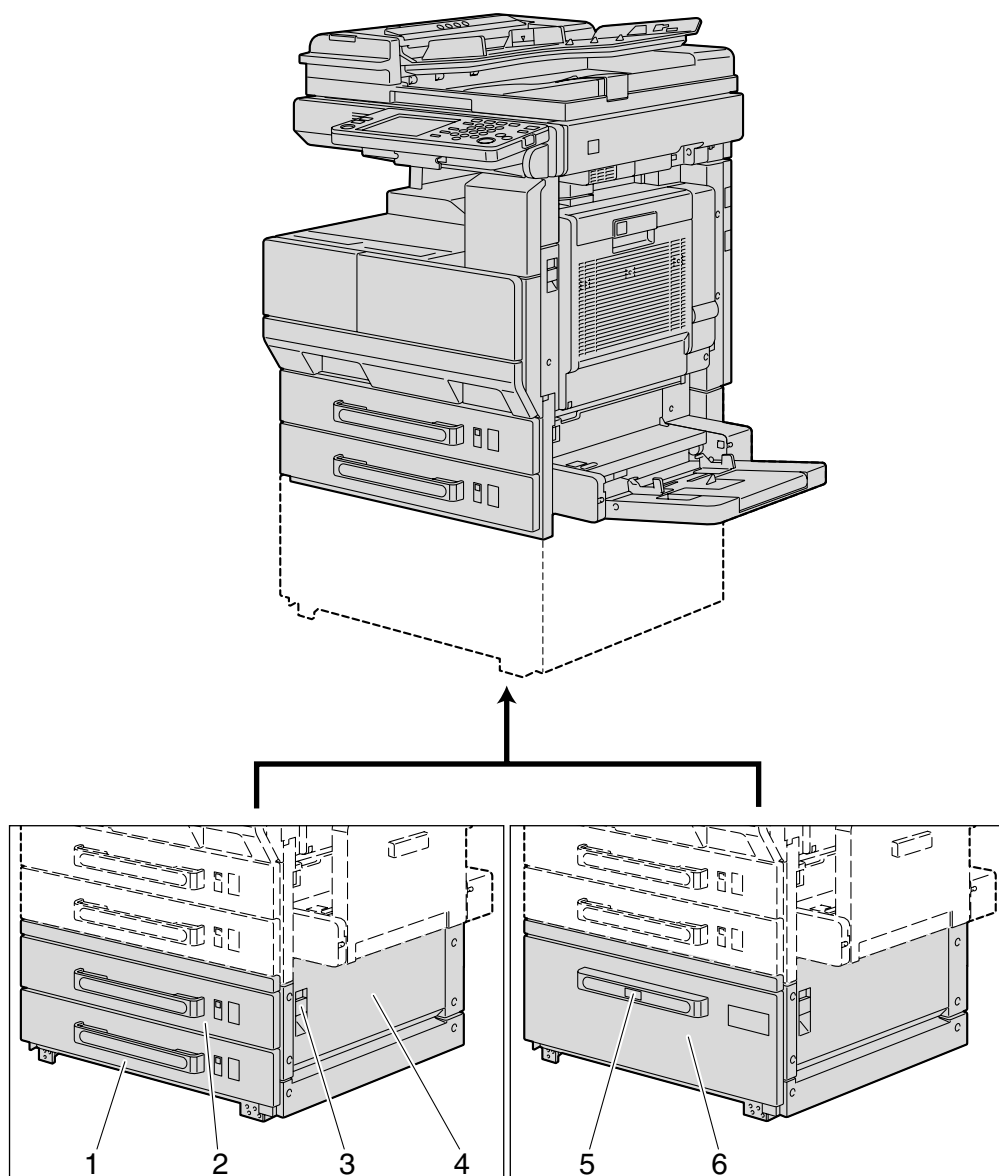
■ 自動両面原稿送り装置 DF-605



No	名称	説明
1	プリントランプ	本機の状態に合わせて点灯・点滅します。
2	原稿セットガイド	原稿の幅に合わせて調整します。(p. 3-8)
3	原稿給紙トレイ	読込む原稿を上向きセットします。
4	原稿排紙トレイ	読込みの終わった原稿が排紙されます。
5	原稿ストッパー	大きいサイズ of 原稿などが原稿排紙トレイから落ちないように、立てて使用します。

■ 給紙キャビネット PC-202 / PC-402

2



2.1 各部の名称とはたらき

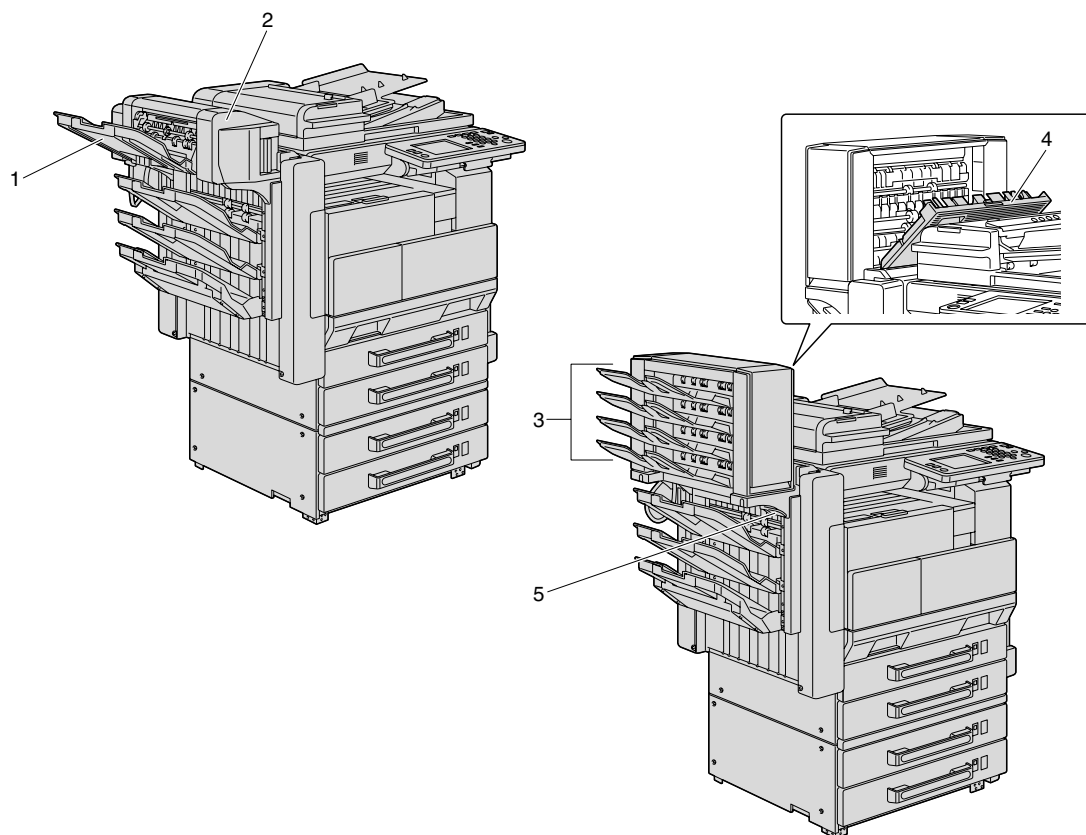
給紙キャビネット PC-202

No	名称	説明
1	第 4 給紙トレイ	550 枚までの用紙をセットできます。
2	第 3 給紙トレイ	550 枚までの用紙をセットできます。
3	右下ドア解除レバー	右下ドアを開けるときに使用します。
4	右下ドア	紙づまりの処置をするときに開きます。

給紙キャビネット PC-402

No	名称	説明
5	トレイ解除キー	LCT を引き出すときに押します。
6	LCT	2,500 枚までの用紙をセットできます。

■ 中綴じ機 SD-502 / メールビン MT-501



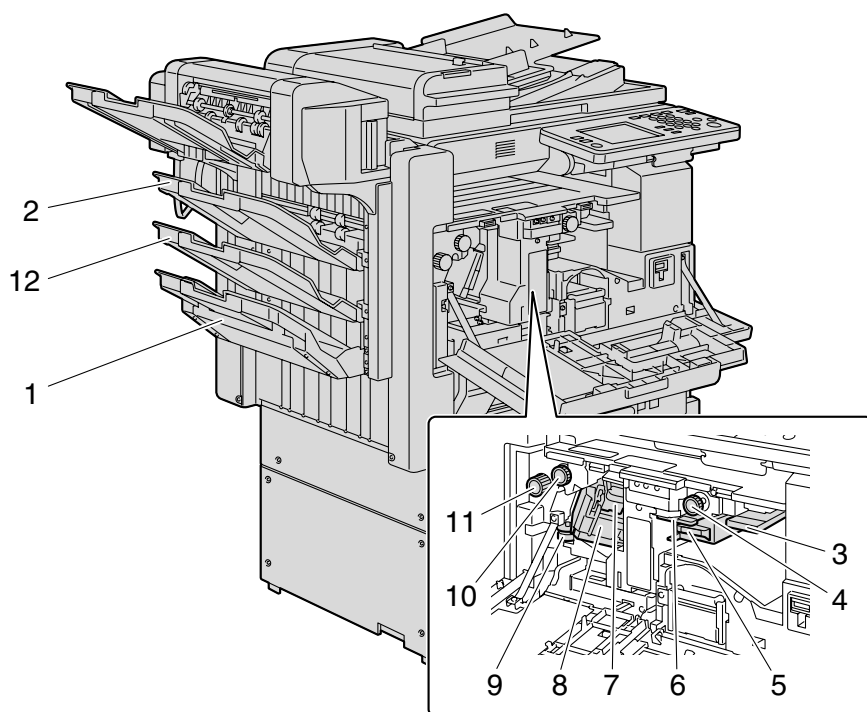
中綴じ機 SD-502

No	名称	説明
1	排紙トレイ	用紙が排紙されます。
2	ジャム処理ドア	フィニッシャー内で紙づまりを起こした用紙を取出すときに開きます。

メールビン MT-501

No	名称	説明
3	メールビン	プリントされた用紙が排紙されます。
4	排紙トレイカバー	紙づまりの処理をするときに開きます。
5	ジャム処理ドア	紙づまりの処理をするときに開きます。

■ フィニッシャー FS-508 / 排紙トレイ OT-601 / パンチユニット PU-501



フィニッシャー FS-508

No	名称	説明
1	第2 排紙トレイ (エレベートトレイ)	用紙が排紙されます。
2	第1 排紙トレイ (ノンソートトレイ)	用紙が排紙されます。
3	レバー FN1	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに押し下げます。
4	ダイヤル FN2	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに回します。
5	パンチ廃棄ボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取り出します。
6	レバー FN3	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに押し下げます。
7	レバー FN4	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに押し下げます。
8	ステープルホルダ	ステープルカートリッジ交換や針づまりのときにステープルユニットから取り出します。

No	名称	説明
9	ダイヤル	ステーブルカートリッジ交換や針づまりのときに回し、ステーブルホルダを手前に移動させます。
10	ダイヤル FN5	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに回します。
11	ダイヤル FN6	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに回します。

排紙トレイ OT-601

No	名称	説明
12	増設排紙トレイ	用紙が排紙されます。

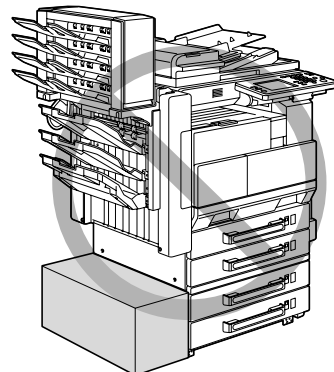
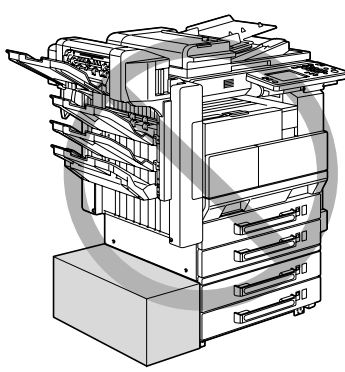
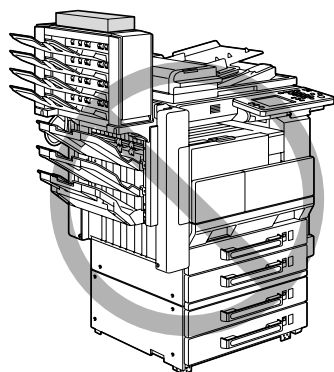
パンチユニット PU-501

No	名称	説明
13	パンチユニット*	フィニッシャーにパンチユニットを装着することで、プリントされた用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけます。

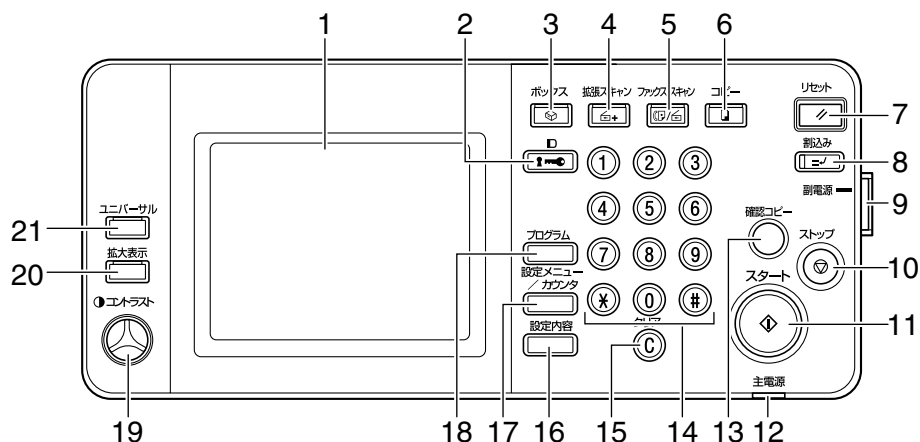
* 印はフィニッシャーに内蔵するため図解してありません。

＜フィニッシャー使用時のご注意＞

- 中綴じ機、メールビンの上に物を置かないでください。
- フィニッシャーの排紙トレイの下に物を置かないでください。



■ 操作パネル



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	ID キー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、ユーザ名とパスワード（ユーザ認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
3	ボックスキー	ボックス機能に切り替わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
4	拡張スキャンキー	拡張スキャン機能に切り替わります。 拡張スキャン機能中は【拡張スキャン】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」および「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。
5	ファクス／スキャンキー	ファクス／スキャン機能に切り替わります。 ファクス／スキャン機能中は【ファクス／スキャン】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」および「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。
6	コピーキー	コピー機能に切り替わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。
7	リセットキー	操作パネル、またはタッチパネルで入力したすべての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。

No	名称	説明
8	割込みキー	割込み機能に切り替わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。
9	副電源スイッチ	コピー、プリント、スキャンなど本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
10	ストップキー	コピー中に【ストップ】を押すと、コピーが一時的に停止します。
11	スタートキー	コピーを開始します。本機がコピーを開始できる状態のときは【スタート】が緑色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。一時停止中のジョブが再開します。ジョブについて詳しくは「ジョブリストについて」(p. 4-20) をご覧ください。
12	主電源ランプ	主電源スイッチが ON のときに緑色に点灯します。
13	確認コピーキー	複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけプリントして仕上がりを確認できます。(p. 4-4)
14	テンキー	部数を設定します。 倍率を入力します。 各種の設定値を入力します。
15	クリアキー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）が取消されます。
16	設定内容キー	各設定の確認画面に切り替わります。
17	設定メニュー / カウンタキー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切り替わります。
18	プログラムキー	目的のコピーの設定を登録（書込み）したり、登録したコピープログラムを呼出してコピーできます。(p. 4-7)
19	コントラスト調整ダイヤル	タッチパネルのコントラストを調整します。
20	拡大表示キー	拡大表示機能に切り替わります。
21	ユニバーサルキー	ユニバーサル機能の設定画面に切り替わります。



タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

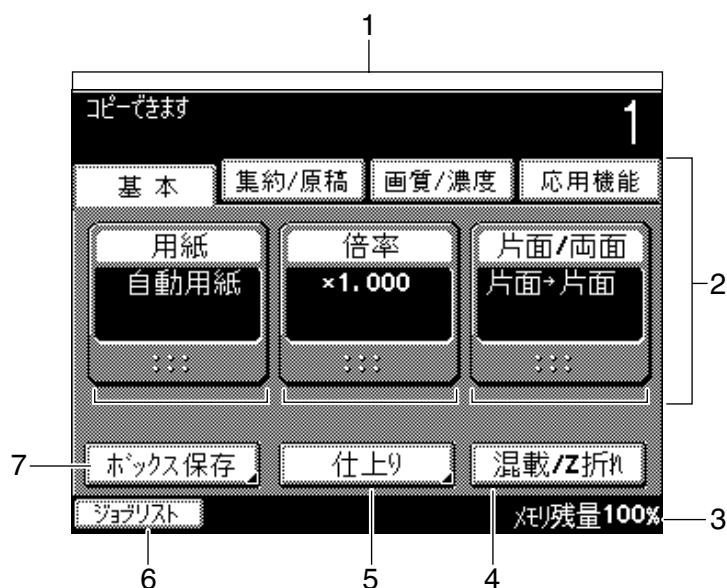


コピー読み込み中、コピー読み込み停止中は、コピー機能以外の機能に切り換えることはできません。

■ 基本的な設定をする画面（基本画面）

電源を入れてコピー可能な状態になると、基本画面が表示されます。

画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能やモードを選択できます。



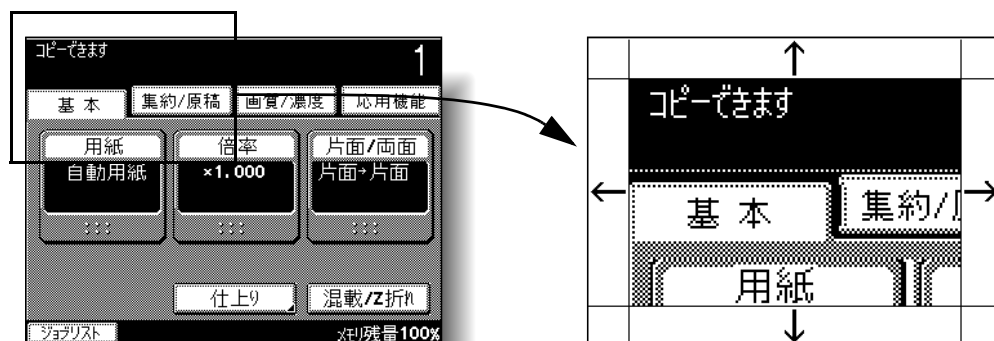
No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態やそのときにしなければならない操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切り換わります。
3	ステータス表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンやメモリ残量を表示します。
4	〔混載 /Z 折れ〕 キー	サイズの異なる原稿をセットして読込ませるときに押します。(p. 3-16)
5	〔仕上り〕 キー	ソート・グループ仕分け、ステープルとじ、パンチ穴あけなどの設定をします。(p. 3-45)
6	〔ジョブリスト〕 キー	現在実行中、および待機中のジョブを確認できます。(p. 4-20)
7	〔ボックス保存〕 キー（ハードディスクを装着した場合に表示）	読込んだ原稿のデータをボックスに保存するときに押します。保存先のボックス作成や、文書ファイル名の指定、保存した文書をプリントするときの設定などができます。詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をご覧ください。

■ タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	コピー中であることを示します。
	プリント中であることを示します。
	プリント中にプリントが停止したことを示します。
	プリント待ちを示します。
	PC プリンタのデータを受信していることを示します。
	プリント待ちの PC プリンタのデータが残っていることを示します。
	選択した給紙トレイの用紙がなくなったことを示します。
	トナーボトルの交換が必要となったことを示します。
	イメージングユニットの交換が必要となったことを示します。
	本機の定期点検が必要となったとき、点検時期を過ぎても点検がなされなかった場合に示されます。
	本機をユーザ認証または部門管理で使用していることを示します。
	確認コピー中にコピーが停止したことを示します。
	セキュリティ強化設定が適用されていることを示します。

■ タッチパネルを拡大表示するとき

【拡大表示】を押します。さらにタッチパネルを押すと、押した部分を中心に拡大表示されます。もう一度【拡大表示】を押すと、元の表示に戻ります。拡大した状態でもタッチパネルの操作を行うことができます。

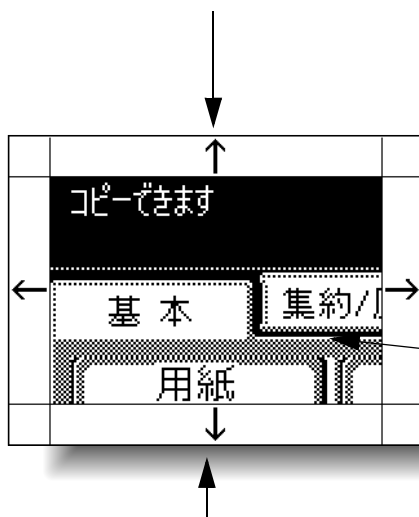


この部分を押すと、左上方向にスクロールします。

矢印を押すと、上方方向にスクロールします。

この部分を押すと、右上方向にスクロールします。

矢印を押すと、左方向にスクロールします。左端までスクロールすると、一行分改行して右端を表示します。



矢印を押すと、右方向にスクロールします。右端までスクロールすると、一行分改行して左端を表示します。

キー操作をして他の画面に切換えると元の表示に戻りますが、もう一度タッチパネルを押すと、拡大表示に戻ります。

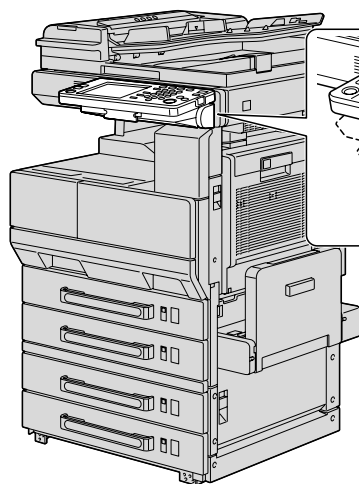
この部分を押すと、左下方向にスクロールします。

矢印を押すと、下方方向にスクロールします。

この部分を押すと、右下方向にスクロールします。

2.2 操作パネルの角度をかえる

本機の操作パネルは、操作面の角度を3段階に設定できます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。

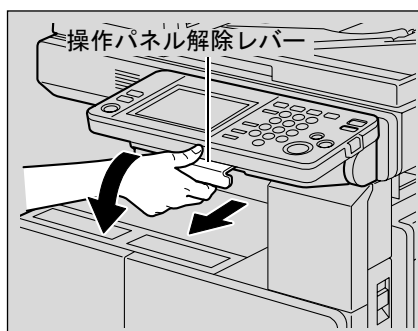


- ① 上段位置（ホーム位置）
- ② 中段位置
- ③ 下段位置

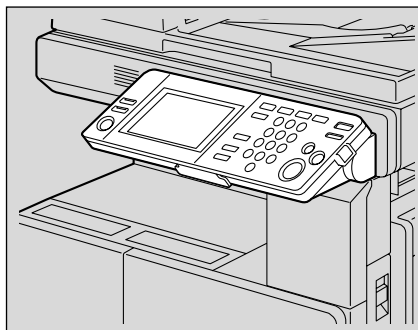
■ 操作パネルの角度のかえかた

1

操作パネル解除レバーを手前に引き、操作パネルを押し下げます。



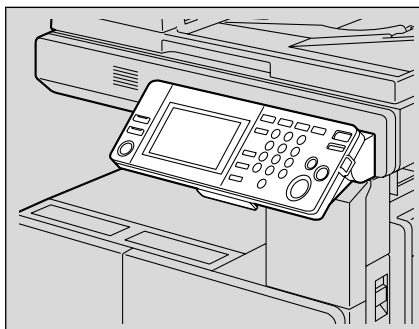
操作パネルが中段位置で止まります。



2

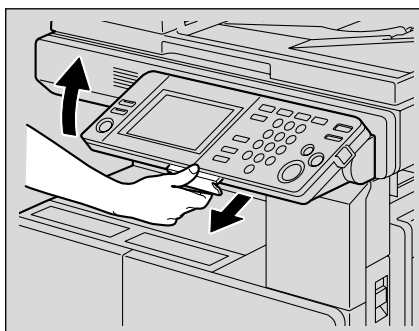
さらに角度を付けたいときには、再度操作パネル解除レバーを手前に引き、操作パネルを押し下げます。

操作パネルが下段位置で止まります。



3

操作パネルを上段位置にもどしたいときには、操作パネル解除レバーを手前に引き、操作パネルを持ち上げます。



2.3 主電源と副電源を入れる

本機には、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】の2つの電源スイッチがあります。

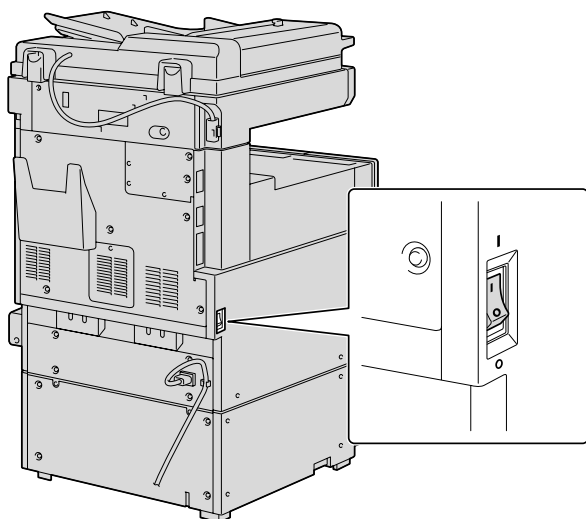
■ 電源の入れかた

【主電源スイッチ】は、本機のすべての機能に対して ON/OFF します。通常、【主電源スイッチ】は ON の状態にします。

【副電源スイッチ】では、コピー、プリント、スキャンなど本機の動作に対して ON/OFF をします。【副電源スイッチ】を OFF にすると節電状態となります。

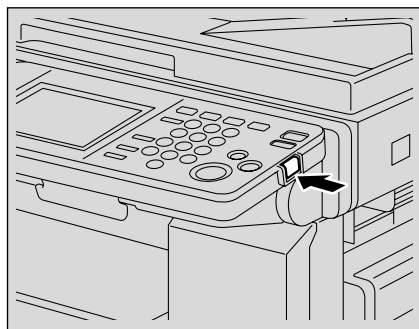
1

【主電源スイッチ】の【I】を押します。



2

【副電源スイッチ】を押します。



詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にすると、【スタート】がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。数秒後、メッセージが「ウォームアップ中です。読み込みできます」に切り替わり、【スタート】が緑色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。詳しくは、「ウォームアップ中に読み込みする」(p. 2-22) をご覧ください。

ウォームアップ完了後に、読み込んだ画像がプリントされます。ウォームアップ時間は、室温 23°C で 14 秒以内です。(【主電源スイッチ】が ON の状態から【副電源スイッチ】を ON にした場合)

詳しく説明します

電源を ON にしてから操作パネル、タッチパネルで設定をする前の状態、または【リセット】を押して操作パネル、タッチパネルで入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更できます。詳しくは、「ユーザチョイスを設定する (ユーザチョイス)」(p. 11-9) をご覧ください。

工場出荷時に設定されている本機の状態を出荷時設定といいます。

■ ウォームアップ中に読み込む

1

【副電源スイッチ】を ON にします。

【スタート】がオレンジ色に点灯します。

2

タッチパネルにウォームアップ画面が表示されます。



ウォームアップ画面に続いて、基本画面が表示されます。

数秒間、「ウォームアップ中です。読み込みできます。」のメッセージが表示されたあと、「コピーできます。」のメッセージに変わります。

【スタート】が緑色に点灯します。



3

必要に応じて、コピーの内容を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定します。

5

原稿をセットします。

詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にして出力できるまでのウォームアップ中に、コピーの内容を設定し、原稿を読み込むコピー予約ができます。ウォームアップが完了すると、自動的に出力できます。

参照

電源の入れ方については、「電源の入れかた」(p. 2-21)をごらんください。

参照

コピー部数設定については、「コピー操作の流れ」(p. 3-2)をごらんください。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」(p. 3-8)をごらんください。

6

【スタート】を押します。

原稿の読み込みをし、待機中のジョブに追加されます。

7

原稿の読み込みが終了していることを確認し、次の原稿をセットします。

8

新たにコピーの内容／コピー部数を設定し、【スタート】を押します。

○ ウォームアップが完了すると、ジョブの順番どおりに自動で出力を開始します。



プリント中にプリントジョブを停止したいときは、【ストップ】を押します。詳しくは、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をごらんください。

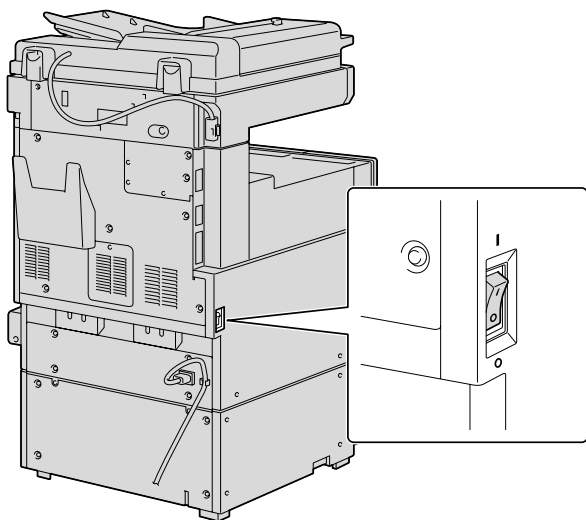
■ 電源の切りかた

1

【副電源スイッチ】を押します。
タッチパネルの表示が消えます。

2

【主電源スイッチ】の【○】を押します。



必ず守ってください

- 主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。
- プリント中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。
- 画像の読み込み中や、送受信中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。読み込み中のデータや、通信中のデータは削除されてしまいます。
- 登録されたジョブや、蓄積されたジョブのプリント待機中に【主電源スイッチ】を OFF にしないでください。プリントされていないジョブは削除されてしまいます。

詳しく説明します

【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にすると、以下の項目が取消されます。

- 登録されていない設定
- プリント待機中のジョブ

■ 自動的に初期設定にもどる（オートリセット）

【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、コピー枚数など登録されていない設定が取消され、初期設定にもどります。

これをオートリセットといいます。

出荷時設定では1分を経過するとオートリセット機能がはたります。



- オートリセット機能がはたらくまでの時間や、オートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「オートリセット」(p. 11-14)をごらんください。
- 使用者が交代したときのオートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「使用者変更時オートリセット」(p. 11-14)をごらんください。

■ 自動的に優先画面に切替える

本機を操作しなくなしてから一定時間経過すると、自動的に優先画面に切替わります。

出荷時設定では、1分を経過するとコピー機能画面になります。



切替わる優先画面は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「優先画面」(p. 11-18)をごらんください。

■ 自動的に節電状態にする（ローパワー）

本機は節電のため、本機を操作しなくなしてから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消し、節電状態となります。

これをローパワーモードといいます。

ローパワーモードのときでも、本機はジョブを受け付けることができます。

出荷時設定では15分を経過するとローパワーモードになります。



ローパワーモードに切替わる時間は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「ローパワー」(p. 11-13)をごらんください。

<ローパワーモードからの復帰のしかた>

1

操作パネル上のキー、またはタッチパネル面を押します。

- オリジナルカバーを開けたり、ADFに原稿をセットしたときもローパワーモードから復帰します。

2

ウォームアップ中にジョブを受け付けます。

- タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、プリントを開始できるようになります。
(室温 23°C で 14 秒以内)

■ 自動的に節電状態にする（スリープ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

ローパワーモードよりも節電効果が得られます。

出荷時設定では1分を経過するとスリープモードになります。

＜スリープモードからの復帰のしかた＞

1

操作パネル上のキー、またはタッチパネル面を押します。

- オリジナルカバーを開けたり、ADFに原稿をセットしたときもスリープモードから復帰します。

2

ウォームアップ中にジョブを受け付けます。

- タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、プリントを開始できるようになります。
(室温 23°C で 30 秒以内)

■ タッチパネルを暗くする（LCD バックライトオフ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消し、節電状態となります。

出荷時設定では1分を経過するとタッチパネルの表示が消えます。

＜LCD バックライトオフからの復帰のしかた＞

1

操作パネル上のキー、またはタッチパネル面を押します。

- オリジナルカバーを開けたり、ADFに原稿をセットしたときも LCD バックライトオフから復帰します。

2

ただちにジョブを受け付けます。



スリープモードに切り替わる時間は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「スリープ」(p. 11-13) をご覧ください。



LCD バックライトオフに切り替わる時間は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「LCD バックライトオフ」(p. 11-13) をご覧ください。

■ ユーザ認証（本体認証）にしたがって本機を使用する

本機は、管理者によって本体認証設定が行われると、本体認証の中で登録されたユーザだけが本機を使用できるようになります。

原則

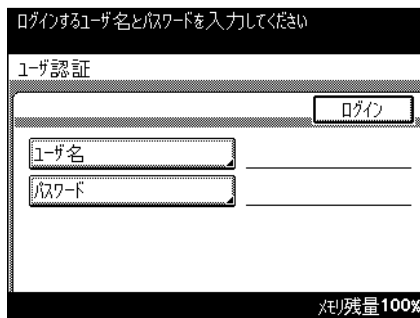
本体認証機能を使用すると、登録されたユーザ名およびパスワードを、ユーザ認証において入力した方が本機を使用できるようになります。

ユーザ名およびパスワードは、管理者の方にご確認ください。

本体認証のユーザは 100 件まで登録できます。

1

「ユーザ名」を押します。



2

ユーザ名を入力し、「OK」を押します。



詳しく説明します

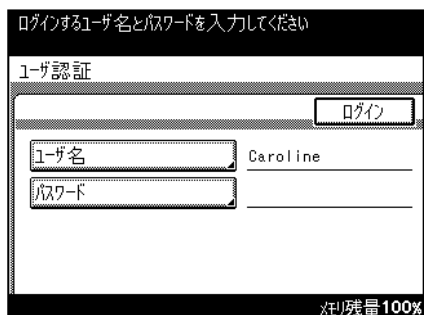
- 本体認証は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- 管理者設定によって、ユーザ名の一覧が表示されている場合は、一覧から目的のユーザ名を選択できます。[ユーザー一覧]を押して目的のユーザ名を選択し、[OK]を押します。ただし、セキュリティ強化を[する]に設定した場合、[ユーザー一覧]は表示されません。

参照

- 本体認証の設定手順については、「本体認証を登録する」(p. 11-40) をご覧ください。
- 外部サーバ認証が設定されているときのログインについては、「ユーザ認証（外部サーバ認証）にしたがって本機を使用する」(p. 2-30) をご覧ください。

3

[パスワード] を押します。



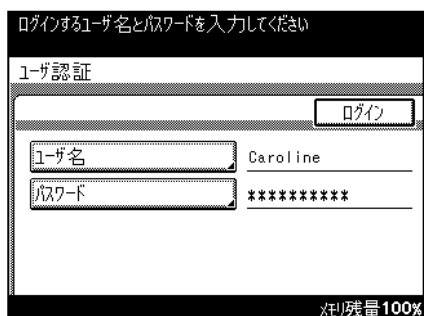
4

パスワードを入力し、[OK] を押します。



5

[ログイン] を押します。



ユーザ認証画面が消え、基本画面が表示されます。

6

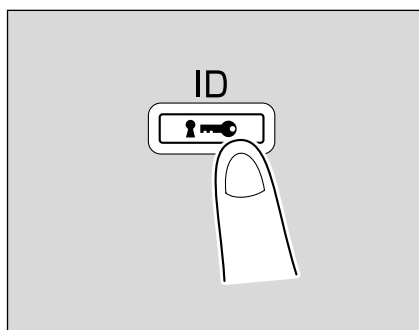
目的の機能でコピーします。

ひとこと

- ユーザ名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しいユーザ名、パスワードを入力し、[ログイン] を押してください。
- [ログイン] の代わりに【ID】を押して操作を完了することもできます。

7

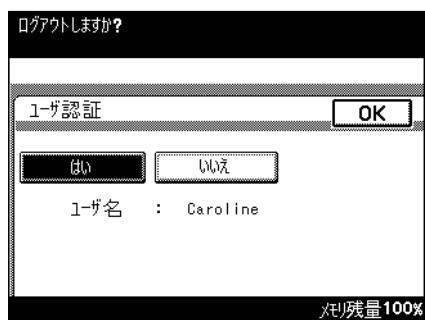
プリントが終了したら、【ID】を押します。



ログアウト確認画面が表示されます。

8

【はい】 を押し、【OK】 を押します。



ユーザ認証画面が表示されます。

2

■ ユーザ認証（外部サーバ認証）にしたがって 本機を使用する

本機は、ネットワーク管理者によって外部サーバ認証設定が行われると、外部サーバで登録されたユーザだけが本機を使用できるようになります。

■ 原則

外部サーバ認証機能を使用すると、外部サーバに登録されたユーザ名およびパスワードを、ユーザ認証において入力した方だけが本機を使用できるようになります。

ユーザ名およびパスワードは、ネットワーク管理者の方にご確認ください。

外部サーバ認証を行うためのユーザ名登録やパスワード設定は、外部サーバで登録、管理してください。



詳しく説明します

外部サーバ認証は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。

1

[ユーザ名] を押します。

2

ユーザ名を入力し、[OK] を押します。

3

[パスワード] を押します。

詳しく説明します

- 外部サーバ認証の設定手順については、「外部サーバ認証を登録する」(p. 11-37) をごらんください。
- ユーザ認証で外部サーバ認証に Active Directory を設定されており、管理者設定でデフォルトドメイン名の表示が ON に設定されている場合は [ドメイン名] が表示され、デフォルト設定のドメイン名が表示されます。[ドメイン名] を押すと Active Directory に登録されたドメインの一覧が表示され、目的のドメインを選択できます。外部サーバ認証の設定手順については、「外部サーバ認証を登録する」(p. 11-37) をごらんください。
- 管理者設定でデフォルトドメイン名の表示が OFF に設定されている場合は、[ドメイン選択] が表示されます。[ドメイン選択] を押すと Active Directory に登録されたドメインの一覧が表示され、目的のドメインを選択できます。ただし、ドメインが複数登録されていない場合、[ドメイン選択] は表示されません。

2

4

パスワードを入力し、[OK] を押します。



5

[ログイン] を押します。



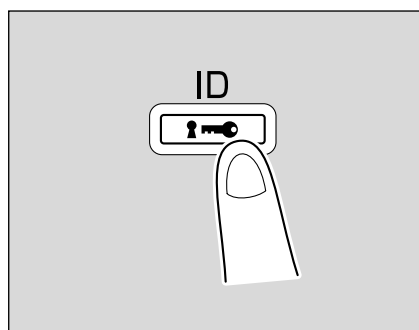
ユーザ認証画面が消え、基本画面が表示されます。

6

目的の機能でコピーします。

7

プリントが終了したら、【ID】を押します。



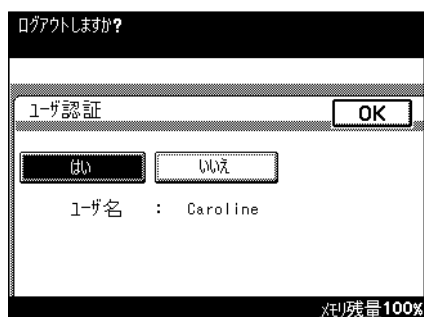
ログアウト確認画面が表示されます。

ひとこと

- ユーザ名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しいユーザ名、パスワードを入力し、[ログイン] を押してください。
- [ログイン] の代わりに【ID】を押して操作を完了することもできます。

8

〔はい〕 を押し、〔OK〕 を押します。



ユーザ認証画面が表示されます。

■ 管理設定にしたがって使用者を制限する（部門管理）

本機は、管理者によって部門管理設定が行われると、部門登録された特定の方だけが本機を使用できます。また部門管理ごとのプリント枚数などを管理できます。

これを部門管理といいます。

原則

部門管理機能を使用すると、登録された部門名およびパスワードを入力した方だけが、本機を使用できます。パスワードは管理者の方にご確認ください。部門名は 1000 件まで登録できます。



部門管理の設定手順については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」（p. 11-29）をごらんください。

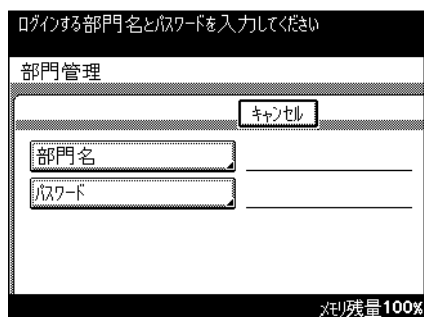


詳しく説明します

部門管理は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。

1

〔部門名〕 を押します。



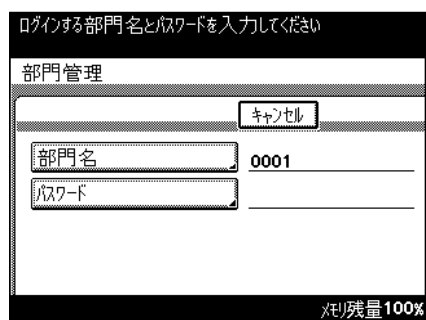
2

「部門名」を入力し、「OK」を押します。



3

「パスワード」を押します。



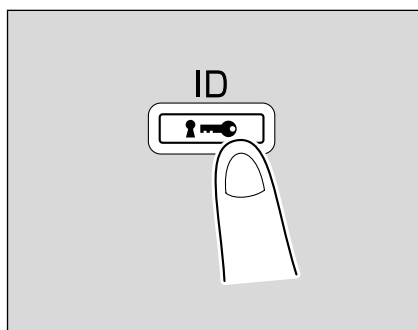
4

パスワードを入力し、「OK」を押します。



5

【ID】を押します。



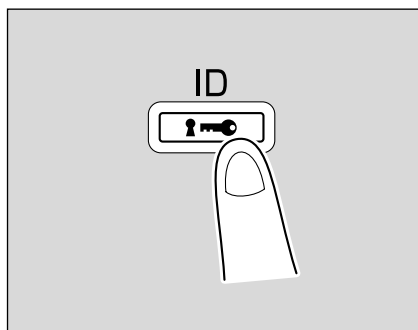
部門管理画面が消え、基本画面が表示されます。

6

目的の機能でコピーします。

7

プリントが終了したら、【ID】を押します。



ログアウト確認画面が表示されます。

8

【はい】 を押し、【OK】 を押します。



部門管理画面が表示されます。

ひとこと

部門名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しい部門名、パスワードを入力し、【ID】を押してください。

2

■ ユーザ認証（外部サーバ認証）と部門管理にしたがって本機を使用する

管理者によってユーザ認証の設定と部門管理の登録が行われると、そのユーザの本機の使用状況を、部門ごとに管理できます。複数の部門に登録されているユーザの場合、ログインする部門を切り換えて、本機を使用することができます。ここでは、ユーザ認証に外部サーバ認証を設定した場合を例に説明します。

■ 原則

パスワードは管理者の方にご連絡ください。
外部サーバ認証を行うためのユーザ名登録やパスワード設定は、外部サーバで登録、管理してください。



詳しく説明します

外部サーバ認証と部門管理は、設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。

1

[ユーザ名] を押します。

2

外部サーバ認証を設定したユーザ名を入力し、[OK] を押します。

3

[パスワード] を押します。

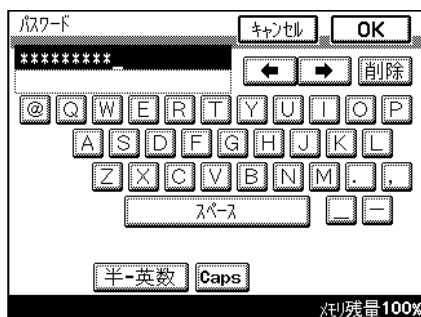
詳しく説明します

- 外部サーバ認証の設定手順については、「外部サーバ認証を登録する」(p. 11-37) をごらんください。
- ユーザ認証で外部サーバ認証に Active Directory を設定されており、管理者設定でデフォルトドメイン名の表示が ON に設定されている場合は [ドメイン名] が表示され、デフォルト設定のドメイン名が表示されます。[ドメイン名] を押すと ActiveDirectory に登録されたドメインの一覧が表示され、目的のドメインを選択できます。外部サーバ認証の設定手順については、「外部サーバ認証を登録する」(p. 11-37) をごらんください。
- 管理者設定でデフォルトドメイン名の表示が OFF に設定されている場合は、[ドメイン選択] が表示されます。[ドメイン選択] を押すと Active Directory に登録されたドメインの一覧が表示され、目的のドメインを選択できます。ただし、ドメインが複数登録されていない場合、[ドメイン選択] は表示されません。

2

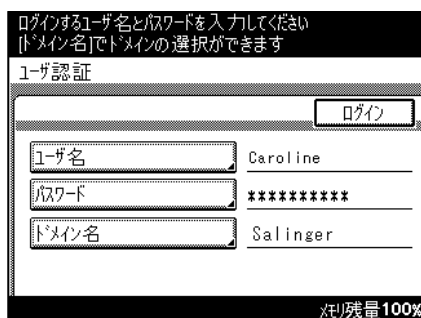
4

パスワードを入力し、[OK] を押します。



5

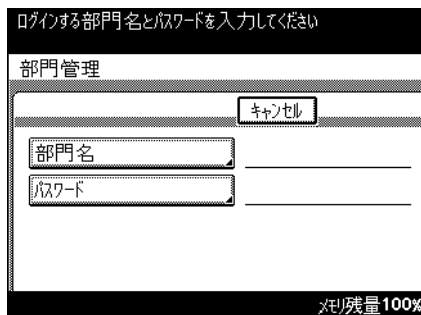
[ログイン] を押します。



ユーザー認証画面が消え、部門管理画面が表示されます。

6

[部門名] を押します。



ひとこと

- ユーザー名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しいユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] を押してください。
- [ログイン] の代わりに【ID】を押して操作を完了することもできます。

ひとこと

- ユーザー認証に本体認証が設定されている場合は、部門管理と連動させることができます。
- ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、ユーザー認証画面でログインすると基本画面が表示されます。詳しくは「ユーザー認証（本体認証）と部門管理を連動させて本機を使用する」(p. 2-45) をごらんください。

7

[部門名] を入力し、[OK] を押します。

8

[パスワード] を押します。

9

パスワードを入力し、[OK] を押します。

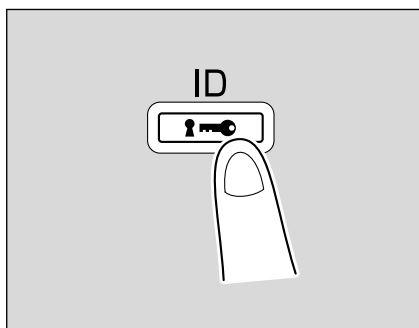


部門管理の設定手順については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」（p. 11-29）をごらんください。

2

10

【ID】を押します。



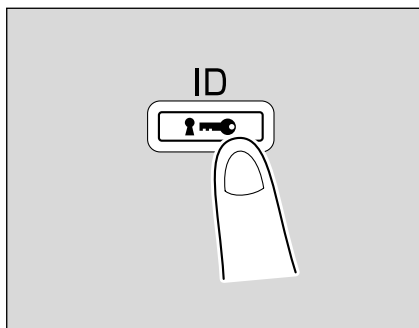
部門管理画面が消え、基本画面が表示されます。

11

目的の機能でコピーします。

12

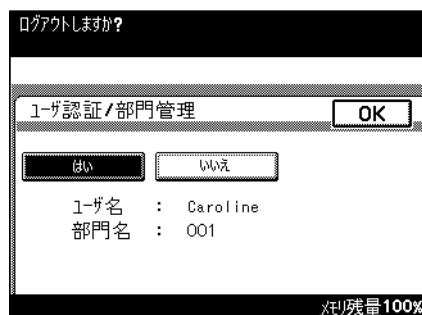
プリントが終了したら、【ID】を押します。



ログアウト確認画面が表示されます。

13

【はい】を押し、【OK】を押します。



ユーザ認証画面が表示されます。

ひとこと

部門名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しい部門名、パスワードを入力し、【ID】を押してください。

■ ユーザ認証（本体認証）と部門管理にした がって本機を使用する

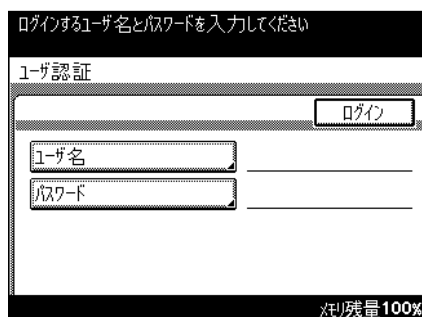
管理者によってユーザ認証の設定と部門管理の登録が行われると、そのユーザの本機の使用状況を、部門ごとに管理できます。複数の部門に登録されているユーザの場合、ログインする部門を切り換えて、本機を使用することができます。ここでは、ユーザ認証に本体認証を設定した場合を例に説明します。

原則

パスワードは管理者の方にご連絡ください。
本体認証のユーザは 100 件、部門名は 1000 件まで登録できます。

1

[ユーザ名] を押します。



2

本体認証設定を行ったユーザ名を入力し、[OK] を押します。



詳しく説明します

本体認証と部門管理は、設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。

詳しく説明します

- 本体認証は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- 管理者設定によって、ユーザ名の一覧が表示されている場合は、一覧から目的のユーザ名を選択できます。[ユーザー一覧]を押して目的のユーザ名を選択し、[OK]を押します。ただし、セキュリティ強化を[する]に設定した場合、[ユーザー一覧]は表示されません。

参照

- 本体認証の設定手順については、「本体認証を登録する」(p. 11-40) をご覧ください。
- 外部サーバ認証が設定されているときのログインについては、「ユーザ認証（外部サーバ認証）にしたがって本機を使用する」(p. 2-30) をご覧ください。

3

「パスワード」を押します。

4

パスワードを入力し、「OK」を押します。

5

「ログイン」を押します。

ユーザ認証画面が消え、部門管理画面が表示されます。

ひとこと

- ユーザ名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しいユーザ名、パスワードを入力し、「ログイン」を押してください。
- 「ログイン」の代わりに【ID】を押して操作を完了することもできます。

6

[部門名] を押します。

ログインする部門名とパスワードを入力してください

部門管理

キャンセル

部門名

パスワード

残り100%

7

[部門名] を入力し、[OK] を押します。

8

[パスワード] を押します。

ログインする部門名とパスワードを入力してください

部門管理

キャンセル

部門名 0001

パスワード

残り残量 100%



部門管理の設定手順については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」（p. 11-29）をごらんください。

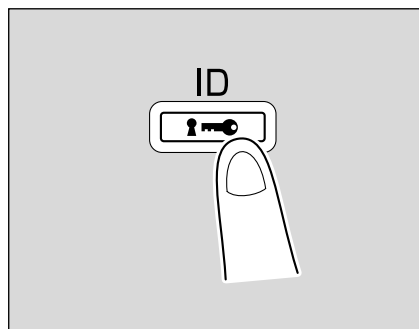
9

パスワードを入力し、[OK] を押します。



10

【ID】を押します。



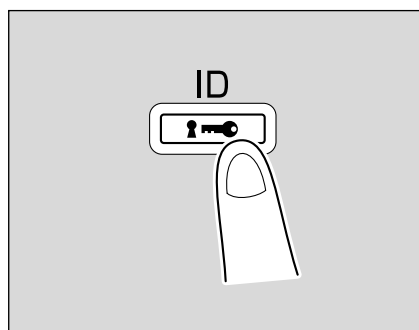
部門管理画面が消え、基本画面が表示されます。

11

目的の機能でコピーします。

12

プリントが終了したら、【ID】を押します。



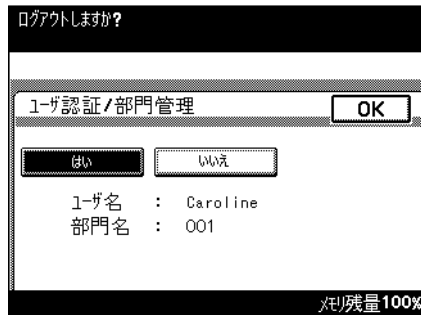
ログアウト確認画面が表示されます。

ひとこと

部門名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しい部門名、パスワードを入力し、【ID】を押してください。

13

[はい] を押し、[OK] を押します。



ユーザ認証画面が表示されます。

■ ユーザ認証（本体認証）と部門管理を連動させて本機を使用する

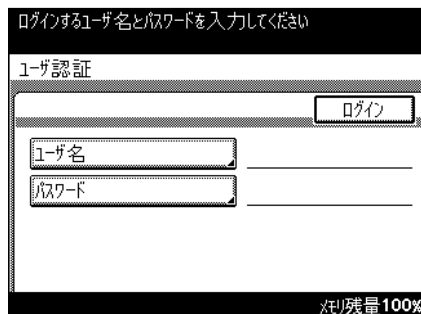
ユーザ認証に本体認証が設定された場合、部門管理との連動設定ができます。ユーザ認証画面からログインできます。

原則

パスワードは管理者の方にご連絡ください。
本体認証のユーザは 100 件、部門名は 1000 件まで登録できます。

1

[ユーザ名] を押します。



詳しく説明します

- 本体認証は設定メニューの管理者設定で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- 本体認証設定の際、管理者設定によって、ユーザ名の一覧が表示されている場合は、一覧から目的のユーザ名を選択できます。[ユーザー一覧] を押し、目的のユーザ名を選択し、[OK] を押します。ただし、セキュリティ強化を[する]に設定した場合、[ユーザー一覧] は表示されません。

参照

- 本体認証の設定手順については、「本体認証を登録する」(p. 11-40) をご覧ください。
- 外部サーバ認証が設定されているときのログインについては、「ユーザ認証（外部サーバ認証）にしたがって本機を使用する」(p. 2-30) をご覧ください。

2

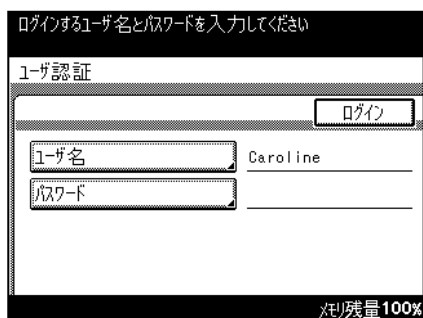
2

本体認証設定を行ったユーザ名を入力し、[OK] を押します。



3

[パスワード] を押します。



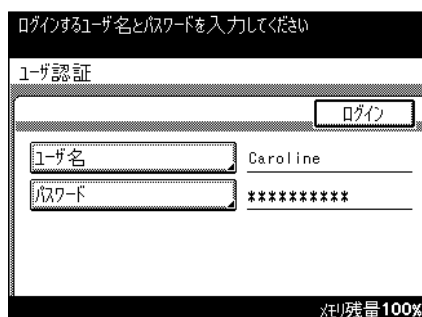
4

パスワードを入力し、[OK] を押します。



5

「ログイン」を押します。



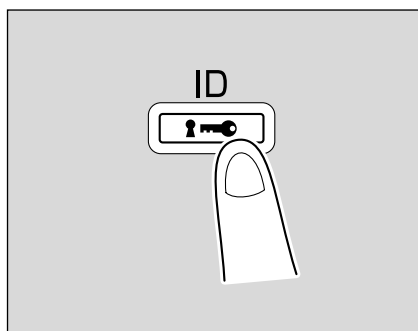
ユーザ認証画面が消え、基本画面が表示されます。

6

目的の機能でコピーします。

7

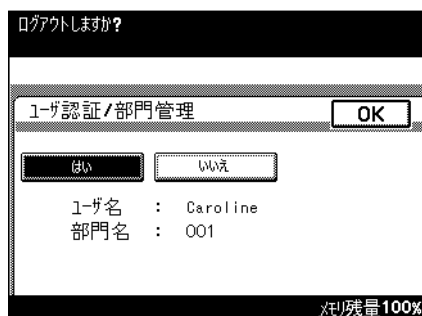
プリントが終了したら、「ID」を押します。



ログアウト確認画面が表示されます。

8

「はい」を押し、「OK」を押します。



ユーザ認証画面が表示されます。

ひとこと

- ユーザ名、パスワードに間違いがあった場合、再度、入力画面が表示されます。正しいユーザ名、パスワードを入力し、「ログイン」を押してください。
- 「ログイン」の代わりに「ID」を押して操作を完了することもできます。
- 本体認証に連動設定した部門名が変更されていたり、削除された場合は「所属する部門が削除されています 管理者に連絡してください」というメッセージが表示されます。

2

2.4 第1／第2給紙トレイへ用紙をセットする

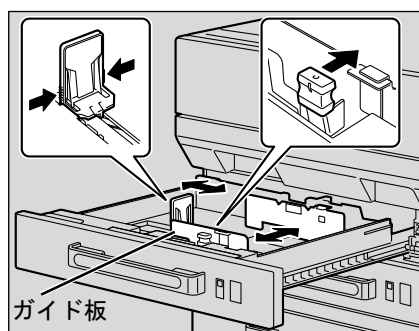
第1／第2給紙トレイ、オプションの2段給紙キャビネット（第3／第4給紙トレイ）へは、以下の手順で用紙をセットします。

1

セットしたい給紙トレイを引き出します。

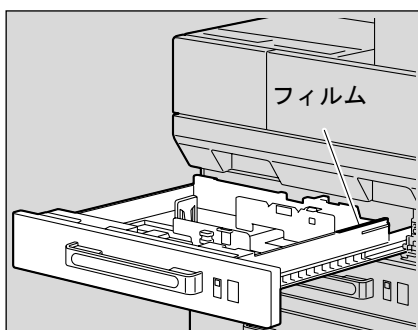
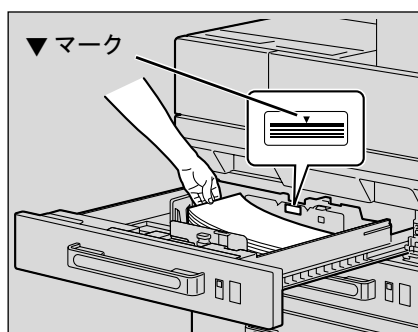
2

ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



3

プリントしたい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。



必ず守ってください

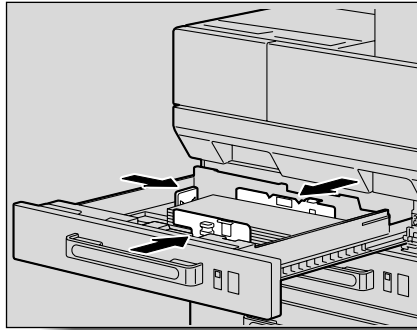
- セットした用紙に対して、ガイド板の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。必ずガイド板は、セットした用紙サイズの位置に合わせてください。
- 第1／第2給紙トレイで使用する用紙については「用紙・原稿について」（p. 7-1）をごらんください。

必ず守ってください

- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- 用紙は▼マークをこえないようにセットしてください。最大、550枚までセットできます。
- フィルムには手を触れないように注意してください。

4

もう 1 度、ガイド板を用紙のサイズに合わせます。



5

給紙トレイを閉じます。

2

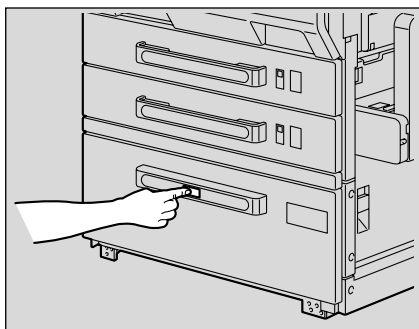
2.5 LCT へ用紙をセットする

1

トレイ解除キーを押します。

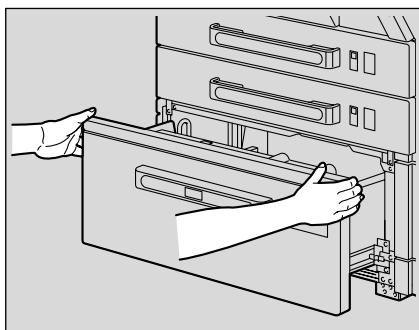
原則

【主電源スイッチ】が ON になっている場合でも、【副電源スイッチ】が OFF になっているときは、トレイ解除キーを押しても LCT を引き出すことができません。【副電源スイッチ】も ON にしてください。



2

LCT を引き出します。

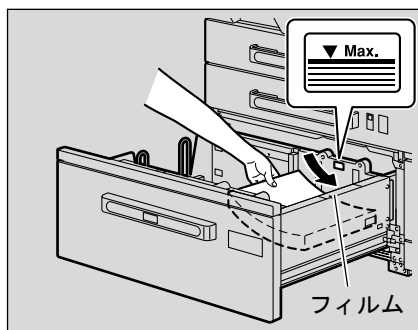


ひとこと

スリープモード時にトレイ解除キーを押しても LCT は引き出すことができません。スリープモードから復帰してください。

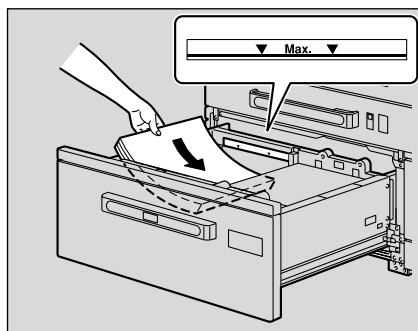
3

LCT の右段に、プリントしたい面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



4

LCT の左段に、プリントしたい面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



5

LCT を閉じます。

必ず守ってください

- フィルムには手を触れないように注意してください。
- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- 用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。最大、2,500 枚までセットできます。
- LCT で使用できる用紙については「用紙・原稿について」(p. 7-1) をご覧ください。

2

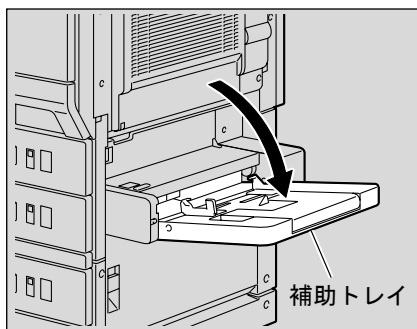
2.6 手差しトレイへ用紙をセットする

給紙トレイにセットされていないサイズの内紙や、厚紙、官製はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙にプリントしたい場合に手差しトレイを使用します。

1

手差しトレイを開きます。

- 大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。

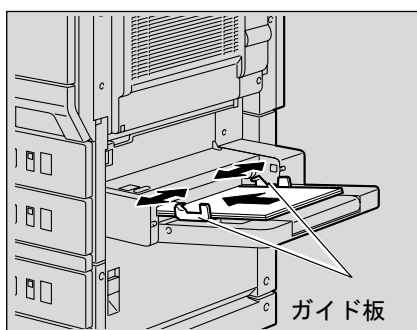


2

プリントしたい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

3

ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



手差しトレイの内紙サイズの設定については「用紙サイズを指定する（設定変更）」(p. 7-8) をご覧ください。

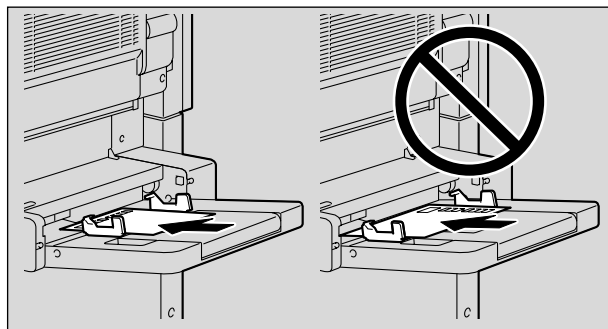


- 用紙は▼マークをこえないようにセットしてください。最大、150 枚の普通紙をセットできます。
- ガイド板を確実に用紙の端面に合わせてください。
- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。

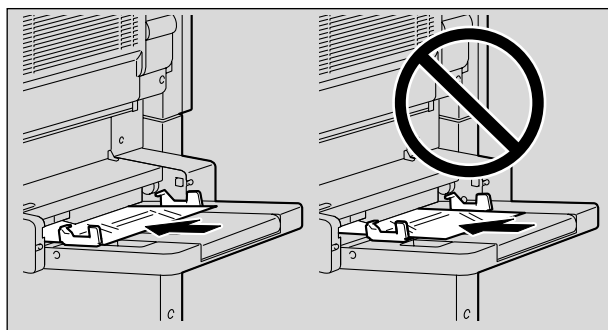


セットする用紙の下面に画像がプリントされます。

＜官製はがきの場合＞



＜OHP フィルムの場合＞



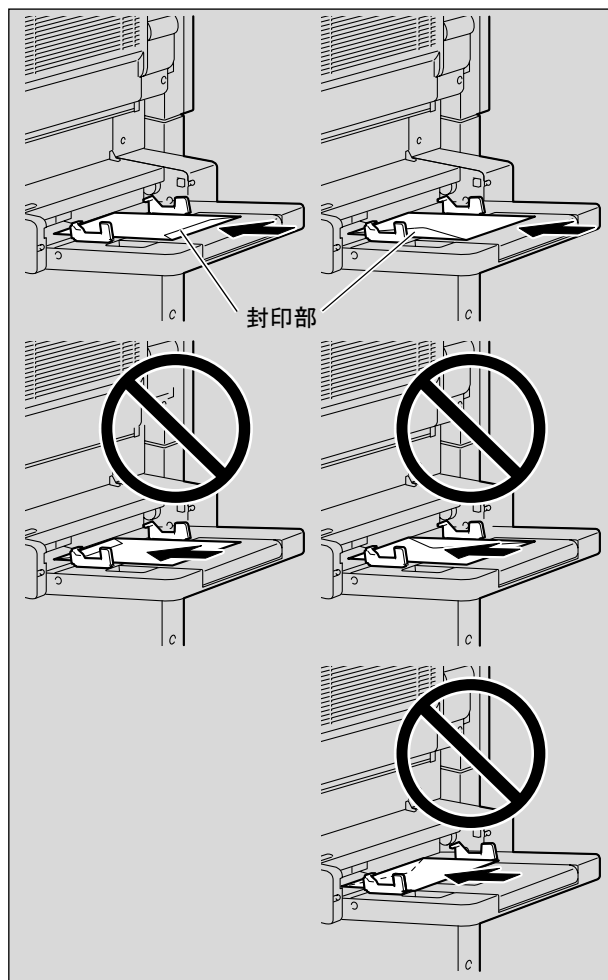
必ず守ってください

- 官製はがきをセットする場合は、図のように → 方向にセットしてください。← 方向にはセットしないでください。
- 手差しトレイには最大 50 枚の官製はがきをセットできます。

必ず守ってください

手差しトレイには最大 50 枚の OHP フィルムをセットできます。

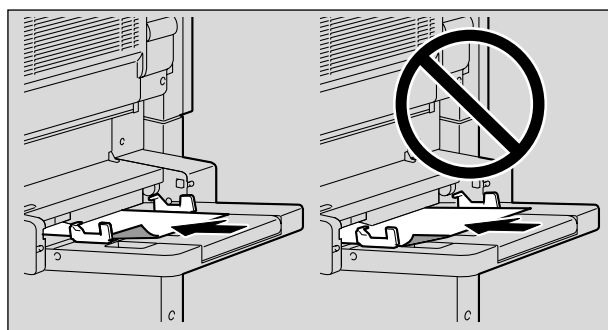
<封筒の場合>



必ず守ってください

- 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折目がしっかり押さえられていないと、紙にしわができたリ、紙づまりの原因になります。
- 封筒をセットする場合は、図のように封印部を上側にしてセットしてください。封印部を下側にしてセットすると紙づまりの原因になります。封印部側にプリントはできません。
- 手差しトレイには最大 10 枚の封筒をセットできます。
- 用紙をセットした後は、タッチパネルにて手差し用紙種類を設定してください。用紙種類を封筒に設定した場合は、原稿のセット方向に対して天地の向きが逆にコピーされます。

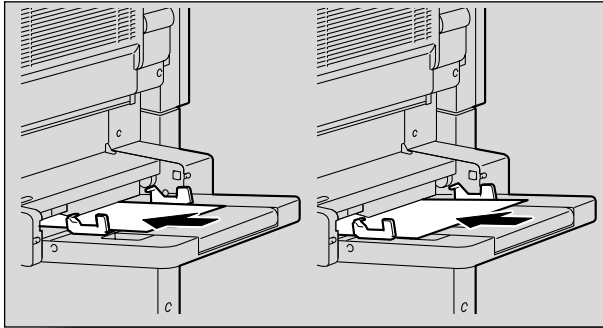
<ラベル用紙の場合>



必ず守ってください

- プリント面は下向きにセットしてください。
- 手差しトレイには最大 50 枚のラベル用紙をセットできます。

<薄紙の場合>



4

用紙種類を設定します。



必ず守ってください

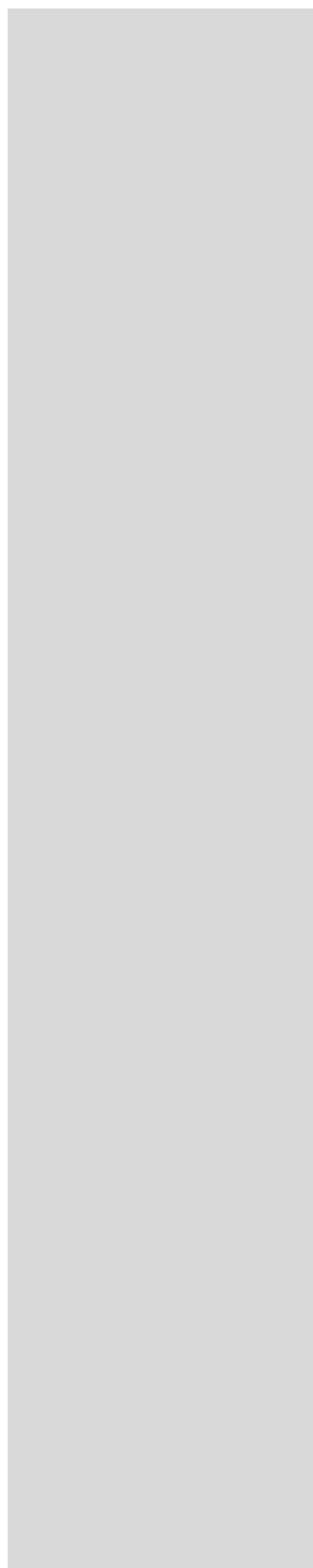
手差しトレイには最大 150 枚の薄紙をセットできます。

ひとこと

ラベル用紙を使用する場合は、厚紙に設定してください。



用紙サイズの詳細については、「用紙について」(p. 7-2)をごらんください。



第 3 章

基本機能

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

3.1 コピー操作の流れ	3-2
3.2 組み合わせできない操作について	3-5
3.3 原稿をセットする	3-8
3.4 原稿を設定する	3-16
3.5 用紙を選ぶ	3-22
3.6 倍率を選ぶ	3-24
3.7 原稿とコピーの片面 / 両面を選ぶ	3-36
3.8 画質 / 濃度を選ぶ	3-39
3.9 集約コピーを選ぶ	3-42
3.10 コピーの仕上りを選ぶ	3-45
3.11 プリント中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）	3-56
3.12 ジョブを中断／削除する	3-57

3.1 コピー操作の流れ

コピーをとるときの操作の流れを説明します。

ここでは、片面原稿を基本的な操作でコピーする方法を説明します。

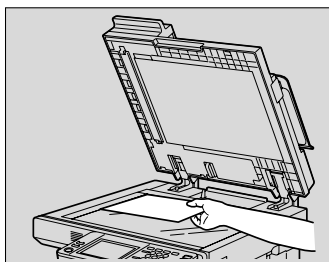
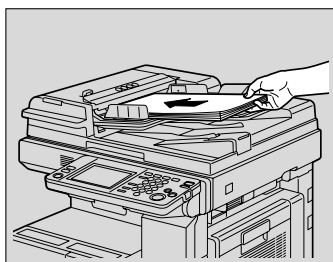
1

【コピー】を押し、コピー機能画面を表示させます。

2

原稿をセットします。

○ 原稿のセットのしかたについては、(p. 3-8) をご覧ください。



3

必要に応じて各機能の設定をします。



- 出荷時設定では、初期設定として以下の設定がされています。
 - [用紙]：自動用紙
 - [倍率]：等倍 (×1.000)
 - [片面 / 両面]：片面→片面
 - [画質 / 濃度]：文字
- 原稿の設定については、(p. 3-16) をごらんください。
- 用紙サイズの設定については、(p. 3-22) をごらんください。
- 倍率の設定については、(p. 3-24) をごらんください。
- 原稿とコピー機能の設定については、(p. 3-36) をごらんください。
- 原稿の画質とコピー濃度の設定については、(p. 3-39) をごらんください。
- 集約コピーの設定については、(p. 3-42) をごらんください。
- コピーの仕上がりについては、(p. 3-45) をごらんください。
- 中とじの設定については、(p. 8-21) をごらんください。
- 応用機能の設定については、(p. 8-1) をごらんください。

参照

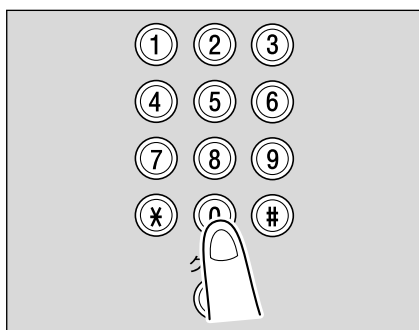
各機能には組合わせて設定できないものがあります。組合わせて設定できない機能については、「組合わせてできない操作について」(p. 3-5) をごらんください。

ひとこと

オプションのハードディスクを装着している場合、コピー機能画面に「ボックス保存」が表示されます。「ボックス保存」を設定した状態でコピーすると、コピーした原稿内容がボックスに保存されます。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

4

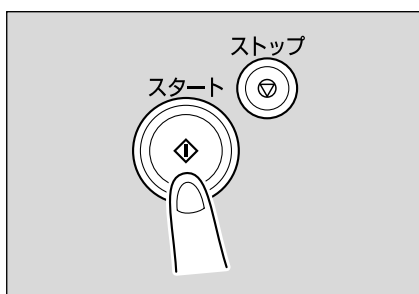
テンキーでコピー部数を入力します。



- コピー部数を間違えて入力した場合、【クリア】を押してもう1度入力しなおしてください。

5

【スタート】を押します。



- コピーを中断したい場合は、【ストップ】を押してください。詳しくは、(p. 3-57) をごらんください。
- コピーの途中で次のコピーを予約できます。詳しくは、予約コピーをごらんください。(p. 3-56)

詳しく説明します

コピー読み込み中、コピー読み込み停止中は、コピー機能以外の機能に切換えることはできません。

3.2 組み合わせできない操作について

各設定には組合わせて設定できないものがあります。

組合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の2種類があります。

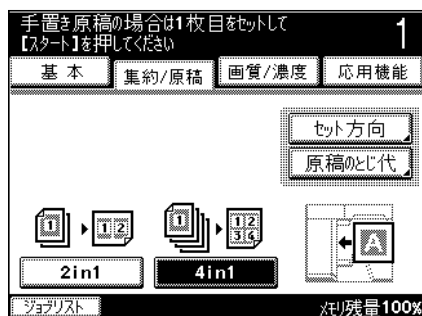
- あとから設定したものが優先される。(先に設定したものは解除される。)
- 先に設定したものが優先される。(警告メッセージが表示される。)

■ あとから設定したものが優先される場合

ここでは、4 in 1 を設定してからブック連写を設定する場合について説明します。

1

4 in 1 を設定します。



2

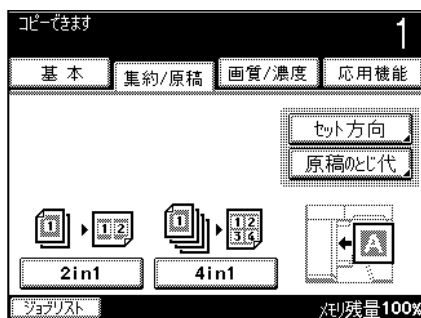
ブック連写を設定します。



ひとこと

組み合わせた操作および選択した用紙種類によっては、設定できるが動作しない場合もあります。

3



4 in 1 は自動で解除され、ブック連写が有効になります。

■ 先に設定したものを優先する場合

組合わせ禁止の警告メッセージが表示された場合、それらの機能は組合わせできません。

ここでは、小冊子を設定してからコーナーステップルを設定する場合について説明します。

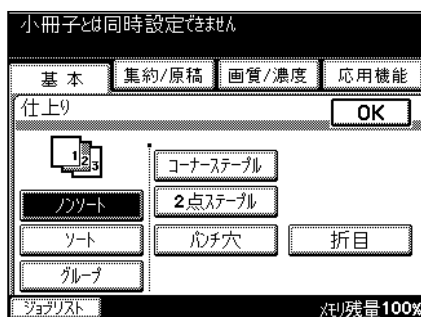
1

小冊子を設定します。



2

コーナーステップルを設定します。



「小冊子とは同時設定できません」と表示され、コーナーステップルは設定できません。

小冊子が有効となり、コーナーステップルは無効となります。

コーナーステップルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度コーナーステップルの設定を行います。

3.3 原稿をセットする

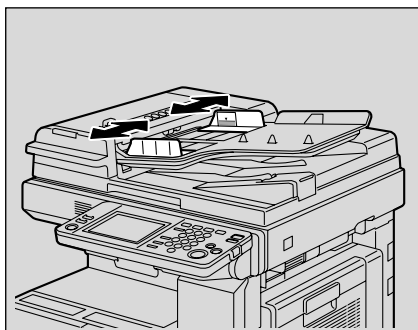
原稿のセット方法には、オプションの ADF にセットする方法と、原稿ガラス上にセットする方法の 2 とおりがあります。

原稿セット方法	特長
ADF の場合	複数枚の原稿の上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読みます。両面原稿も自動的に読み込むことができます。
原稿ガラスの場合	原稿を原稿ガラス上に直接セットして原稿を読み込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読み込むのに適しています。

■ ADF に原稿をセットする

1

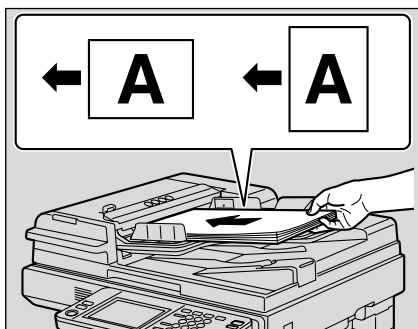
原稿セットガイドを原稿のサイズに合わせます。



2

原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。

○ 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



 **必ず守ってください**

クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。



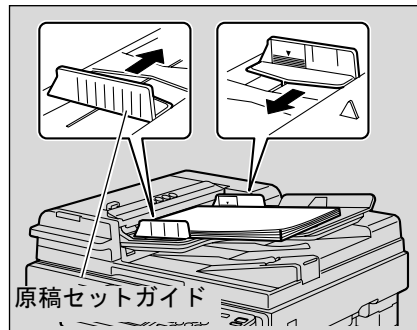
ADF にセットできる原稿については、「原稿について」(p. 7-17) をごらんください。

 **必ず守ってください**

- 原稿は 80 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 80 枚を超える場合でも、原稿を分割して読み込ませることができます。詳しくは、「原稿を連続して読み込む（連続読み込み）」(p. 3-12) をごらんください。
- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

3

原稿セットガイドを原稿に沿わせます。



参照

- サイズの異なる原稿（混載 /Z 折れ）のセット方法については、「サイズの異なる原稿をセットする（混載 /Z 折れ）」(p. 3-16) をごらんください。
- 原稿の向きの指定については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」(p. 3-18) をごらんください。
- 原稿のとじ代の指定については、「とじ代を設定する（原稿のとじ代）」(p. 3-20) をごらんください。

3

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

1 オリジナルカバーまたは ADF を開きます。

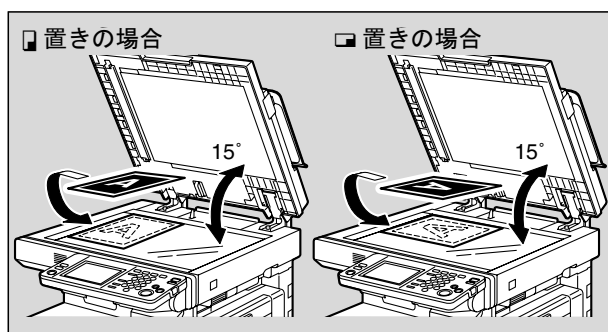
原則

原稿をセットするときは、必ずオリジナルカバーまたは ADF を 15° 以上開いてください。

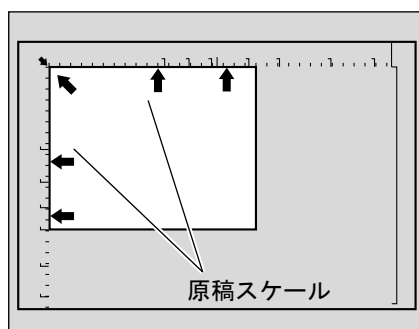
15° 以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズを検出できない場合があります。

2 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。

○ 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



3 原稿スケール左奥側の ▲ マークに合わせて原稿をセットします。



原稿ガラス上にセットできる原稿については、「原稿について」(p. 7-17) をご覧ください。

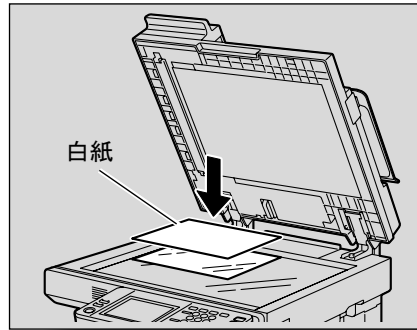


- 原稿ガラス上には 2 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。
- ぶ厚い本や立体物の場合は、オリジナルカバーまたは ADF を閉じずに読んでください。読込むとき、光が漏れることがありますので、原稿ガラス面を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはありません。

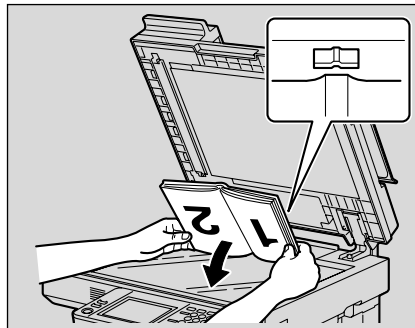


- 原稿の向きを指定したい場合は、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」(p. 3-18) をご覧ください。
- 原稿のとり代を指定については、「とり代を設定する（原稿のとり代）」(p. 3-20) をご覧ください。

- 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



- 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、図のように原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、原稿スケールのブックマークに合わせます。



ブック原稿のコピーのとりかたについては、「ブック原稿を左右1ページずつ分けてコピーする（ブック連写）」（p. 8-17）をごらんください。

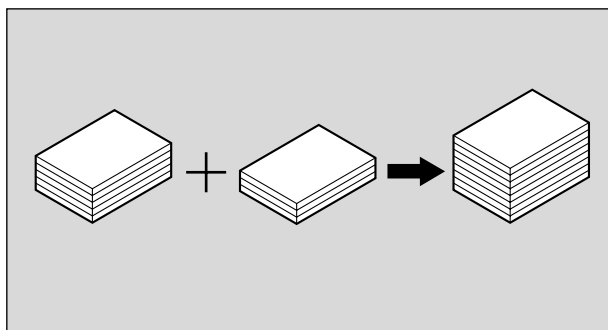
4

オリジナルカバーまたは ADF を閉じます。

■ 原稿を連続して読込む（連続読込み）

大量にある原稿をいくつかに分け、連続して読込ませることができます。

ADFに1度にセットできる原稿枚数は最大80枚までですが、連続読込みでコピーすることにより、80枚をこえる原稿を読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。また、原稿ガラス上にセットして読込ませたり、途中でADFに切替えることもできます。



1

応用機能画面の「連続読込み」を押します。

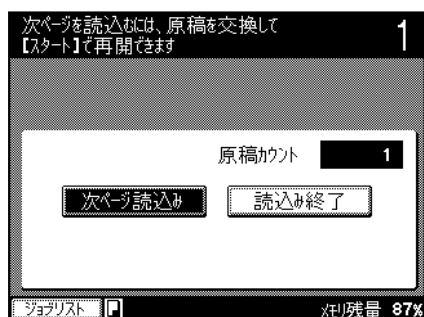


ひとこと

連続読込みを解除するとき
は、再度「連続読込み」を
押します。

2

初めの原稿をセットし、【スタート】を押します。
読み込みが開始されます。



「次ページを読み込むには、原稿を交換して【スタート】で再開できます」と表示されます。

- 次の原稿をセットし、【スタート】を押します。
- ADFにセットできないような原稿は原稿ガラス上にセットしてください。セットできる原稿については、「原稿について」(p. 7-17)をごらんください。

3

すべての原稿を読み込んだあと、【読み込み終了】を押します。

4

【スタート】を押します。

詳しく説明します

- 手順2を繰り返して、すべての原稿を読み込みます。画面右下の「メモリ残量」表示で、メモリの残量が確認できます。
- 読み込んだデータを削除したいときは、【ストップ】を押して、ジョブの削除を行ってください。詳しくは、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をごらんください。またはジョブリスト画面から削除することもできます。詳しくは、「ジョブを削除する」(p. 4-23)をごらんください。

3

■ 複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする

両面コピーや集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットし、読込ませます。ここでは、原稿ガラスを使用して片面→両面コピーをとる場合の手順を説明します。

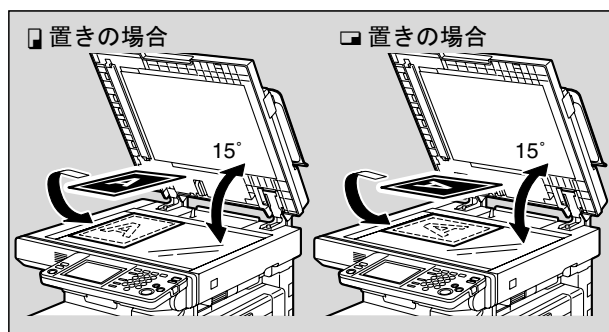
1

オリジナルカバーまたは ADF を開きます。

2

1 枚目または 1 面目の原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上にセットします。

○ 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」(p. 3-10) をご覧ください。



3

オリジナルカバーまたは ADF を閉じます。

4

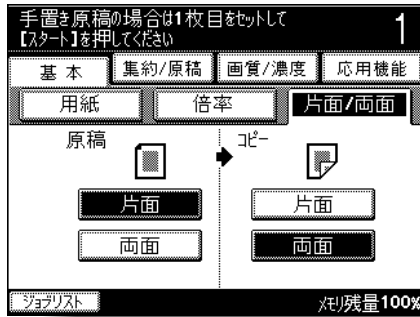
基本画面の [片面 / 両面] を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

5

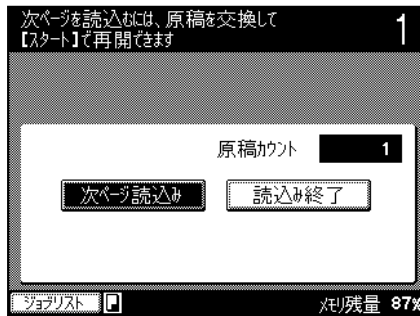
「原稿」の〔片面〕、「コピー」の〔両面〕を押します。



6

【スタート】を押します。

読み込みが開始されます。



「次ページを読み込むには、原稿を交換して【スタート】で再開できます」と表示されます。

7

2 枚目または 2 面目の原稿をセットし、【スタート】を押します。

○ 残りの原稿がある場合、手順 5～7 を繰り返し行います。

8

すべての原稿を読み込んだあと、〔読み込み終了〕を押します。

9

【スタート】を押します。

3

3.4 原稿を設定する



















コピーをとる原稿の種類を設定する方法を説明します。

■ サイズの異なる原稿をセットする（混載 /Z 折れ）

サイズの異なる原稿を一度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。

混載原稿一覧

「混載 /Z 折れ」で可以使用できる定形紙の組み合わせは以下のとおりです。

最大原稿幅 ^{*1} → ↓ 原稿サイズ ^{*2}	A3 	A4 	B4 	B5 	A4 	A5 	B5 	A5 	B6 
A3 	○	○	—	—	—	—	—	—	—
A4 	○	○	—	—	—	—	—	—	—
B4 	○	○	○	○	—	—	—	—	—
B5 	○	○	○	○	—	—	—	—	—
A4 	○	○	○	○	○	○	—	—	—
A5 	—	—	○	○	○	○	—	—	—
B5 	—	—	○	○	○	○	○	—	—
A5 	—	—	—	—	—	—	○	○	—
B6 	—	—	—	—	—	—	—	○	○

○：可

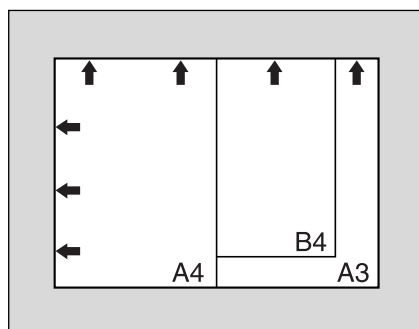
—：不可

1

原稿セットガイドを最も大きな原稿のサイズに合わせます。

2

原稿を図のようにコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにして揃えます。



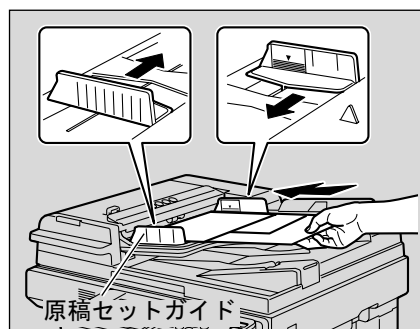
詳しく説明します

- 混載できる原稿サイズの組み合わせは、セットする原稿の最大幅（ADF の原稿セットガイドの開き幅）により異なります。
- *1 混載原稿の中で、最も幅（ADF 原稿セットガイドの開き幅）が長い原稿を示します。
- *2 最大原稿幅と同時にセットできる原稿サイズを示します。

3

原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。
原稿セットガイドを原稿に沿わせます。

- 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。



4

基本画面の「混載 / Z 折れ」を押します。



5

【スタート】を押します。
読み込みが開始されます。

詳しく説明します

- 原稿は 80 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 80 枚を超える場合でも、原稿を連続して読み込ませることができます。詳しくは、「原稿を連続して読み込む（連続読み込み）」(p. 3-12) をご覧ください。
- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。


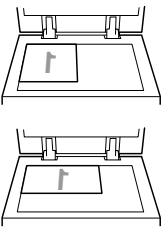


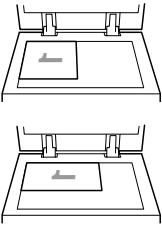

ひとこと

- 混載 / Z 折れ機能を解除するときは、再度「混載 / Z 折れ」を押します。
- 「混載 / Z 折れ」を選択した場合、両面コピーは指定できません。

■ 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）

両面原稿からのコピー、両面コピーや集約コピーなどを使用する場合、原稿のセット方向を設定してください。原稿のセット方向を設定しないと、ページ順やオモテ面とウラ面の配置が正しくコピーできないことがあります。

原稿のセット方向について

ADF を使用	原稿ガラスを使用	アイコン	説明
			原稿の天部（上側）を奥側にしてセットした場合に選択します。
			原稿の天部（上側）を左側にしてセットした場合に選択します。

ひとこと

出荷時設定では、A（天部（上側）を奥側にしてセット）が選択されています。

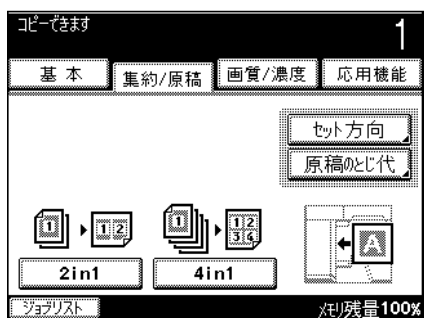
■ 原稿セット方向の設定のしかた

- 1 原稿をセットします。
- 2 基本画面の「集約 / 原稿」を押します。



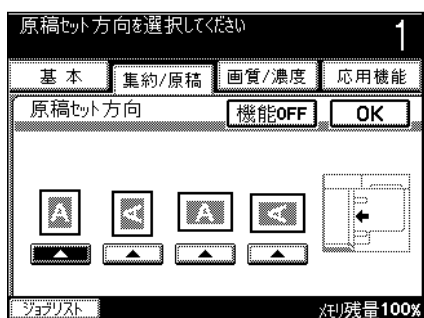
集約 / 原稿画面が表示されます。

- 3 「セット方向」を押します。



原稿セット方向画面が表示されます。

- 4 セット方向を設定します。原稿の向きに合っているセット方向のキーを選択し、「OK」を押します。



原稿セット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8)をごらんください。

3


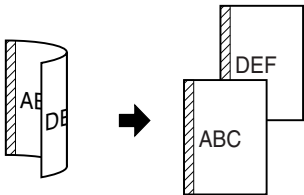
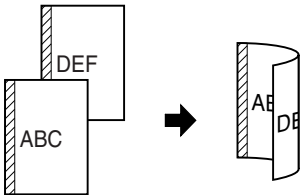

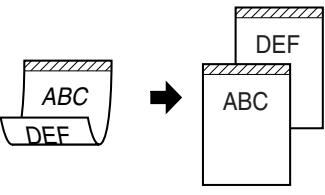
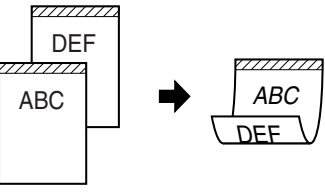
ひとこと

原稿セット方向の設定を解除するときは、「機能 OFF」を押します。

■ とじ代を設定する（原稿のとじ代）

とじ代のある両面原稿から片面コピーをとるとき、また、とじ代のある片面原稿から両面コピーをとるときに、2 枚目（偶数ページ）のとじ代位置を調整できます。

原稿のとじ代位置について

アイコン	説明
	<p>原稿の左側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両面原稿、片面コピー  <ul style="list-style-type: none"> ・ 片面原稿、両面コピー 
	<p>原稿の上側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両面原稿、片面コピー  <ul style="list-style-type: none"> ・ 片面原稿、両面コピー 

ひとこと

出荷時設定では、とじ代の設定は、[機能 OFF] に設定されています。

■ とじ代の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

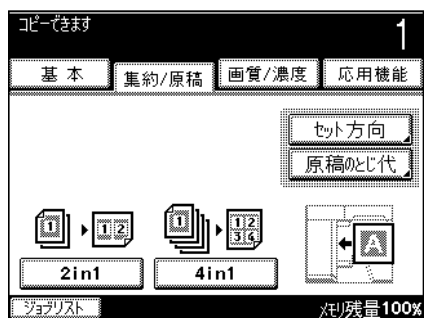
基本画面の「集約 / 原稿」を押します。



集約 / 原稿画面が表示されます。

3

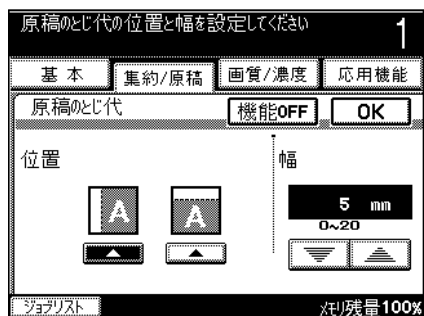
「原稿のとじ代」を押します。



原稿のとじ代画面が表示されます。

4

とじ位置を設定します。左とじまたは上とじのキーを選択し、[OK] を押します。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をご覧ください。

ひとこと

とじ代のある原稿をセットする場合は、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしてください。

ひとこと

原稿のとじ代の設定を解除するときは、[機能 OFF] を押します。

3.5 用紙を選ぶ

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピーの設定に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。

■ 自動的に用紙を選択させる（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

1

基本画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

「自動用紙」を押します。



ひとこと

出荷時設定では、「自動用紙」が選択されています。

詳しく説明します

- 原稿サイズが検知できなかった場合は、再度原稿をセットし直してください。
- イレギュラーなサイズの原稿をセットするときは、手動で用紙を指定してください。(p. 3-23)

詳しく説明します

自動倍率と自動用紙は、出荷時設定では同時に設定できません。自動倍率を設定していても、自動用紙を選択すると、倍率は等倍に切り替わります。

なお、ソフトスイッチの設定により、自動倍率と自動用紙選択の同時設定ができるようになります。詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。

■ 手動で目的の用紙を指定する

1

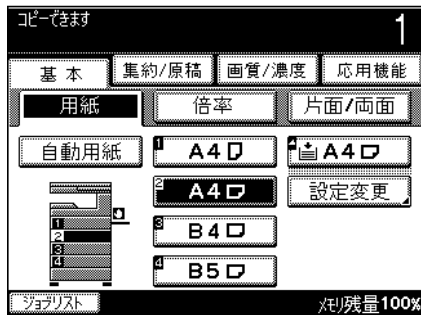
基本画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

目的の用紙がセットされた給紙トレイを選択します。



詳しく説明します

自動倍率と合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。自動倍率については、「自動的に倍率を設定させる（自動倍率）」(p. 3-24) をご覧ください。

3

3.6 倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの手紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときには倍率を設定できます。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

■ 自動的に倍率を設定させる（自動倍率）

原稿サイズと選択した手紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。

1

基本画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「自動倍率」を押します。



詳しく説明します

- 自動倍率と自動用紙は、出荷時設定では同時に設定できません。自動用紙が設定されている場合は、自動倍率を選択すると用紙画面に切り替わります。用紙画面で目的にあった用紙を選択してください。なお、ソフトスイッチの設定により、自動倍率と自動用紙選択の同時設定ができるようになります。詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47)をご覧ください。
- 出荷時設定では、「等倍」が選択されています。

■ 原稿と同じ倍率にする（等倍）

原稿を原寸（等倍）でコピーします。

1

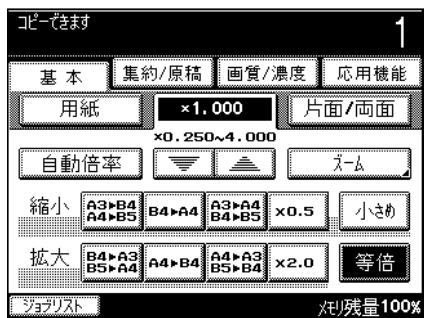
基本画面の「倍率」を押します。





倍率画面が表示されます。

2

「等倍」を押します。



詳しく説明します

- 出荷時設定では、「等倍」が選択されています。
-  を押すと拡大側へ、 を押すと縮小側へ×0.001単位で倍率が設定できます。

3

■ 原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）

画像を、原稿サイズより、わずかに縮小（×0.930）してコピーします。

1

基本画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「小さめ」を押します。



詳しく説明します

小さめコピーの倍率は、目的の倍率（×0.900～×0.999）に変更し、登録できます。小さめコピーの倍率変更／登録については「目的の倍率を登録する」（p. 3-34）をご覧ください。

詳しく説明します

- 出荷時設定では、[等倍]が選択されています。
- ▲を押すと拡大側へ、▼を押すと縮小側へ×0.001単位で倍率が設定できます。

■ 倍率を微調整してコピーする

拡大または縮小率を 0.001 単位で変更し、目的の倍率でコピーできます。

1



基本画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

倍率を調整します。

- 拡大するときは 、縮小するときは  を押します。
- 倍率が 0.001 単位で増減します。
- キーを押し続けると、倍率の変化が大きくなります。



■「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）

よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの下紙にコピーする場合の最適な倍率が、あらかじめ設定されています。

1

基本画面の「倍率」を押します。





倍率画面が表示されます。

2

原稿と用紙サイズから最適な倍率を選択します。



詳しく説明します

- 出荷時設定では、[等倍]が選択されています。
-  を押すと拡大側へ、 を押すと縮小側へ ×0.001 単位で倍率が設定できます。

■ テンキーで倍率を指定する

テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに $\times 0.250 \sim \times 4.000$ の間でコピー倍率を直接入力できます。

1

基本画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「ズーム」を押します。

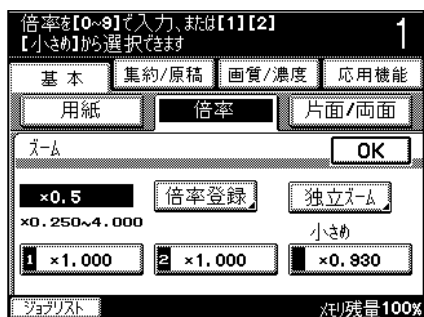


ズーム画面が表示されます。

3

3

テンキーで目的の倍率を入力します。



4

[OK] を押します。
倍率画面にもどります。

詳しく説明します

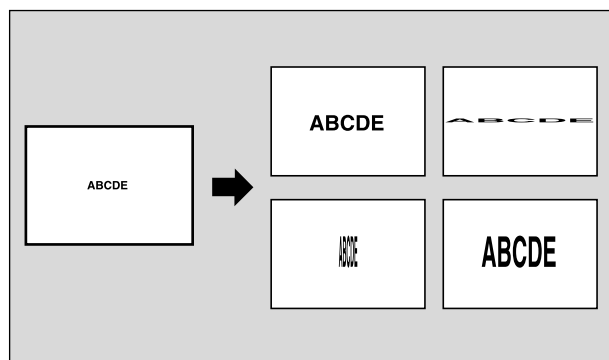
- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

参照

入力した倍率を登録できます。登録のしかたについては、「目的の倍率を登録する」(p. 3-34)をごらんください。

■ タテとヨコの倍率を個別に設定する（独立ズーム）

テンキーを使用して、縦（ $\times 0.250 \sim \times 4.000$ ）と横（ $\times 0.250 \sim \times 4.000$ ）の比率を変えてコピー倍率を直接入力できます。タテとヨコの倍率を変えると、下図のような画像が得られます。



1

基本画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

「ズーム」を押します。



ズーム画面が表示されます。

3

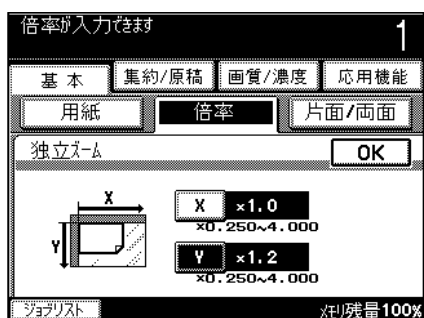
「独立ズーム」を押します。



独立ズーム画面が表示されます。

4

テンキーで X 辺と Y 辺の倍率をそれぞれ設定します。
($\times 0.250 \sim \times 4.000$)



5

「OK」を押します。

倍率画面にもどります。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

■ 登録倍率から選択する

登録されているコピー倍率を、必要に応じて呼出し設定します。
また、登録されているコピー倍率を変更することもできます。

1

基本画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2

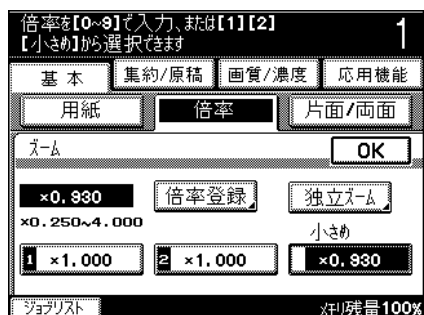
「ズーム」を押します。



ズーム画面が表示されます。

3

目的の倍率を選択します。



参照

登録倍率には、目的の倍率を登録することができます。倍率の登録のしかたについては、「目的の倍率を登録する」(p. 3-34)をごらんください。

3

詳しく説明します

登録倍率にはあらかじめ、 $\times 1.000$ 、 $\times 1.000$ 、 $\times 0.930$ が登録されています。

4

[OK] を押します。
倍率画面にもどります。

■ 目的の倍率を登録する

よく使用する2件の倍率と小さめ倍率を登録できます。

1

基本画面の[倍率]を押します。



倍率画面が表示されます。

2

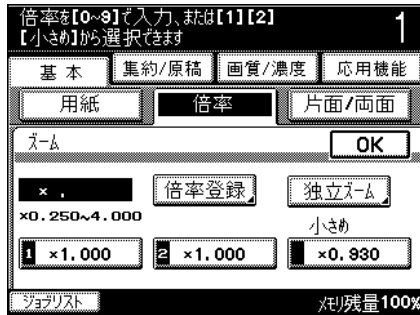
[ズーム]を押します。



ズーム画面が表示されます。

3

「倍率登録」を押します。



倍率登録画面が表示されます。

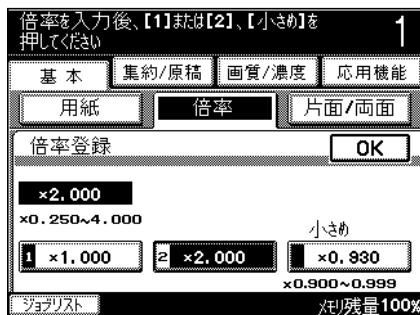
4

テンキーで目的の倍率を入力します。(×0.250 ~ ×4.000)



5

登録するいずれかのキー、または「小さめ」を押します。



6

「OK」を押します。

倍率設定画面にもどります。

詳しく説明します


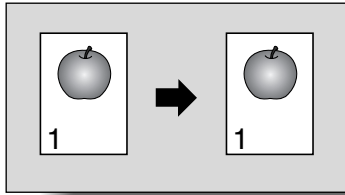

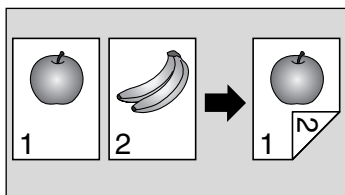

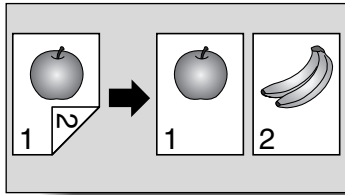

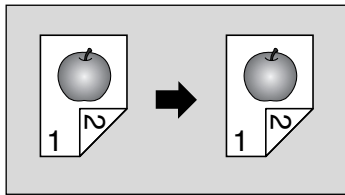
- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- 【小さめ】の倍率を登録する場合は、×0.900 ~ ×0.999 の範囲の中から目的の倍率を入力してください。

ひとこと

登録倍率にはあらかじめ、×1.000、×1.000、×0.930 が登録されています。選択したキーの登録倍率は、新たに入力した倍率に上書きされます。

3.7 原稿とコピーの片面 / 両面を選ぶ

原稿とコピーの片面 / 両面には以下の 4 つの設定があります。

片面 / 両面	説明
片面→片面 	片面原稿を用紙の片面にコピーします。 
片面→両面 	2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。 
両面→片面 	両面原稿を 2 枚の用紙の片面にコピーします。 
両面→両面 	両面原稿を用紙の両面にコピーします。 

ここでは、原稿とコピー機能の設定のしかたについて説明します。

■ 片面コピーを選択する

1

基本画面の「片面 / 両面」を押します。

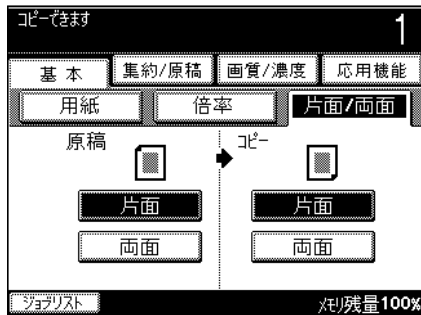


片面 / 両面画面が表示されます。

2

セットした原稿に合わせて片面コピーを設定します。

- 片面原稿の場合は、「原稿」の「片面」、「コピー」の「片面」を押します。
- 両面原稿の場合は、「原稿」の「両面」、「コピー」の「片面」を押します。



ひとこと

- 出荷時設定では、原稿「片面」、コピー「片面」が設定されています。
- 原稿「両面」、コピー「片面」を選択した場合、原稿のとじ代位置および原稿セット方向を設定してください。設定せずにコピーをとると、目的のコピーにならないことがあります。

原稿のとじ代については「とじ代を設定する（原稿のとじ代）」(p. 3-20)を

ごらんください。
原稿セット方向については「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」(p. 3-18)をごらんください。



原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読み込む場合は、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」(p. 3-14)をごらんください。

■ 両面コピーを選択する

1

基本画面の「片面 / 両面」を押します。

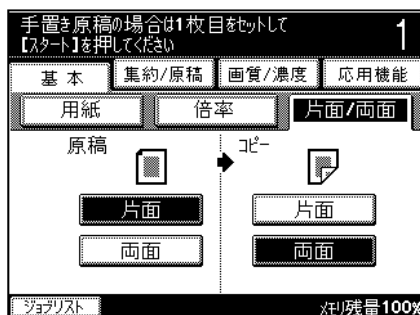


片面 / 両面画面が表示されます。

2

セットした原稿に合わせて両面コピーを設定します。

- 片面原稿の場合は、「原稿」の「片面」、「コピー」の「両面」を押します。
- 両面原稿の場合は、「原稿」の「両面」、「コピー」の「両面」を押します。



ひとこと

- 出荷時設定では、原稿「片面」、コピー「片面」が設定されています。
- 両面コピーを選択した場合、原稿のとじ代位置および原稿セット方向を設定してください。設定せずにコピーをとると、目的のコピーにならないことがあります。

原稿のとじ代については「とじ代を設定する（原稿のとじ代）」(p. 3-20)を
ごらんください。

原稿セット方向については「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」(p. 3-18)を
ごらんください。







原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読み込む場合は、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」(p. 3-14)を
ごらんください。

3.8 画質 / 濃度を選ぶ




原稿の文字や画像のタイプに合わせて画質を選択し、よりよいコピー画質に調整します。

画質には以下の設定があります。

画質の種類について

アイコン	説明
 文字	文字だけで構成された原稿からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい文字が得られます。
 文字 / 写真	文字と写真が混在するパンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適した機能です。
 写真	パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適した機能です。 通常のコピーでは再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能な限り再現します。
 薄文字	文字だけで構成された原稿で、濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）が混在した原稿からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字の濃度を濃く再現し、読みやすい文字が得られます。

濃度調整について

アイコン	説明
 	濃度を 9 段階で調整できます。 [こく] を押すごとに濃度が 1 段階ずつ増し、[うすく] を押すごとに濃度が 1 段階ずつ薄くなります。
	セットした原稿に合わせて、自動的に濃度を調整するオート濃度が機能します。

ここでは、画質の設定とコピー濃度の調整について説明します。

ひとこと

出荷時設定では、[文字] が設定されています。

ひとこと

出荷時設定では、真ん中の 5 段目の濃度に設定されています。[オート] を選択した場合の濃度は、[ふつう] の濃度が設定されています。



初期設定の濃度、および [オート] を選択した場合の濃度については、設定メニューで変更できます。詳しくは、「優先濃度レベル（コピー）」（p. 11-15）をご覧ください。

■ 画質を設定する

1

原稿をセットします。

2

基本画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

3

セットした原稿に合った画質を選択します。

- 文字だけの原稿の場合、[文字] を押します。
- 文字や写真の混在した原稿の場合、[文字 / 写真] を押します。
- 写真原稿の場合、[写真] を押します。
- 文字の薄い原稿の場合、[薄文字] を押します。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

■ コピー濃度を調整する（濃度）

1

基本画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

2

目的の濃度に調整します。



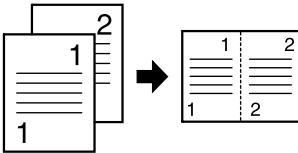
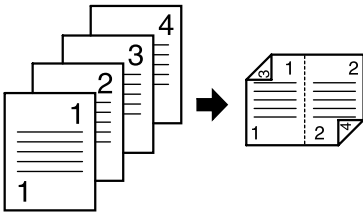
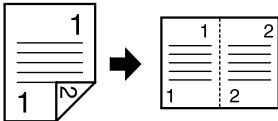
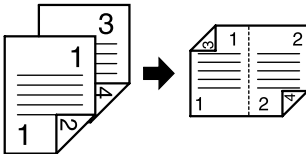
詳しく説明します

- 「うすく」、「こく」を押すごとに、1段階ずつ濃度が増減します。
- 「オート」を押すと、セットした原稿に合わせて、自動的に濃度を調整するオート濃度が機能します。

3.9 集約コピーを選ぶ

複数枚（おもに2枚、4枚、8枚）の原稿を、1枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

片面/両面画面で設定する原稿の種類（片面、両面）、コピーのとりかた（片面、両面）の設定によって、以下のような集約コピーをとることができます。

項目	原稿／コピーの設定と説明
2 in 1 (p. 3-44)	<p>片面 → 片面 2枚の片面原稿を1枚の用紙の片面にコピーします。</p> 
	<p>片面 → 両面 4枚の片面原稿を1枚の用紙の両面にコピーします。</p> 
	<p>両面 → 片面 1枚の両面原稿を1枚の用紙の片面にコピーします。</p> 
	<p>両面 → 両面 2枚の両面原稿を1枚の用紙の両面にコピーします。</p> 

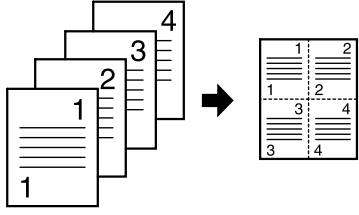
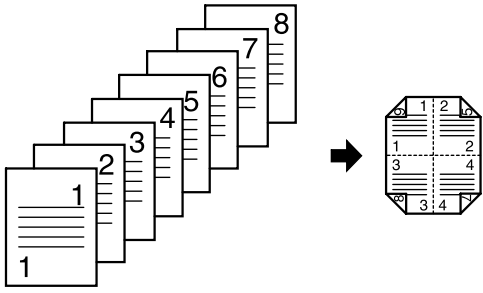
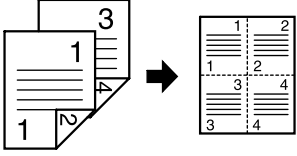
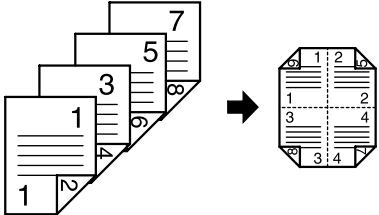
詳しく説明します

集約コピーを選択すると、おすすめ倍率を呼び出し、倍率を縮小してコピーします。おすすめ倍率は、以下のよう

- 2 in 1 : $\times 0.707$
- 4 in 1 : $\times 0.500$

ひとこと

- 出荷時設定では、おすすめ倍率を「呼び出す」が設定されています。
- おすすめ倍率を呼出さないように設定できます。詳しくは、「集約/小冊子倍率」(p. 11-13)をご覧ください。
- 図では説明していない枚数（3枚、5枚、6枚、7枚）の原稿でも集約コピーをとることができます。

項目	原稿／コピーの設定と説明
4 in 1 (p. 3-44)	<p>片面 → 片面 4 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の片面にコピーします。</p> 
	<p>片面 → 両面 8 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。</p> 
	<p>両面 → 片面 2 枚の両面原稿を 1 枚の用紙の片面にコピーします。</p> 
	<p>両面 → 両面 4 枚の両面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。</p> 

ここでは、集約コピーの設定のしかたについて説明します。

詳しく説明します

[4 in 1] を選択した場合のページ順（縦順、横順）を指定できます。詳しくは、「4in1 ページ順指定」（p. 11-14）を参照してください。

■ 複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約）

1

片面 / 両面画面で目的の集約コピーに合った「原稿」、「コピー」を設定します。

2

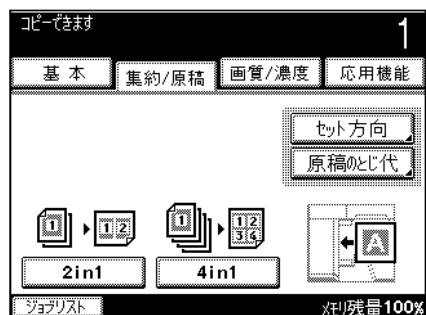
基本画面の「集約 / 原稿」を押します。



集約 / 原稿画面が表示されます。

3

目的の集約コピーを選択します。



「原稿」、「コピー」の設定のしかたについては、「原稿とコピーの片面 / 両面を選ぶ」(p. 3-36) をごらんください。

ひとこと

設定を解除するときは、再度選択したキーを押します。

3



仕上り機能には以下の 6 つの設定があります。

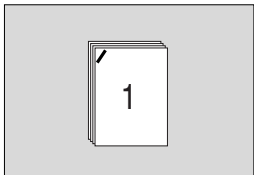
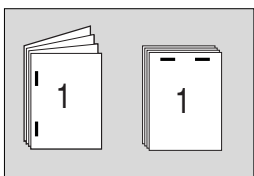
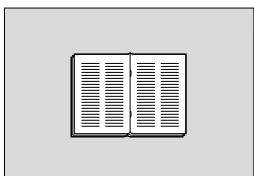
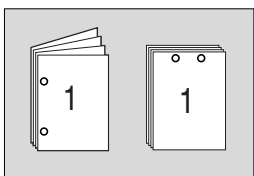
ひとこと

出荷時設定では、ノンソートが設定されています。



詳しく説明します

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を  方向と  方向にセットする
- 自動用紙を設定する
- 混載 /Z 折れを設定していない
- カバーシート、インターシートを設定していない
- イメージリピートを設定していない

項目	説明
コーナーステープル	<p>コピーの完了した用紙のコーナー（左上）をステープル（針）でとじます。</p> 
2点ステープル	<p>コピーの完了した用紙の2点をステープル（針）でとじます。</p> 
中とじ（折目 + 2点ステープル）	<p>コピーの完了した用紙に2つ折りの折目を付け、センター2箇所をステープル（針）でとじます。</p> 
パンチ穴	<p>コピーの完了した用紙にファイリング用のパンチ穴をあけます。</p> 

詳しく説明します

中とじ（折目 + 2点ステープル）を仕上りモードに設定する場合、応用設定の連写 / リピートで「小冊子」を選択してください。

仕上り機能とオプションの関係

項目	必要なオプション
ノンソート	—
ソート	—
シフトソート	フィニッシャー
交互ソート	— *
グループ	—
シフトグループ	フィニッシャー
交互グループ	— *
コーナーステープル	フィニッシャー
2点ステープル	フィニッシャー
中とじ（折目 + 2点ステープル）	フィニッシャー + 中綴じ機
パンチ穴	フィニッシャー + パンチユニット

* 交互ソート、交互グループは、フィニッシャー装着時、選択できません。

ここでは、仕上りモードの設定のしかたについて説明します。

■ 部数ごとに分けて排紙する（ソート）

1

基本画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「ソート」を押します。



ひとこと

出荷時設定では、ノンソートが設定されています。

詳しく説明します

フィニッシャーを装着していない状態で「ソート」を選択した場合、以下の条件をすべて満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を □ 方向と ▢ 方向にセットする
- 自動用紙を設定する
- 混載 /Z 折れを設定していない
- カバーシート、インターシートを設定していない
- イメージリポートを設定していない

フィニッシャーを装着した状態で「ソート」を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

■ ページごとに分けて排紙する（グループ）

1

基本画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「グループ」を押します。



ひとこと

出荷時設定では、ノンソートが設定されています。

詳しく説明します

フィニッシャーを装着していない状態で「グループ」を選択した場合、以下の条件をすべて満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を □ 方向と ▢ 方向にセットする
- 自動用紙を設定する
- 混載 / Z 折れを設定していない

フィニッシャーを装着した状態で「グループ」を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

■ ステープルでとじて排紙する（ステープル）

<フィニッシャー装着時>

用紙坪量	用紙サイズ	積載量（いずれかで検知）	
56 g/m ² ~ 90 g/m ²	A4 □/□、B5 □/□、A5 □	1,000 枚	150 mm
	A3 □、B4 □	500 枚	75 mm

1

基本画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

詳しく説明します

ステープルとじする場合、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 用紙の幅は 182 mm 以上、297 mm 以下
- 用紙の長さは 140 mm 以上、432 mm 以下
- 混載原稿の場合、プリントされる用紙の幅が同じ

ひとこと

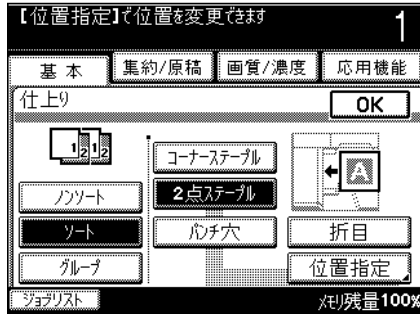
ステープルとじする場合、原稿をセットする方向を設定してください。原稿セット方向が設定されていない場合、目的のとおりステープルとじされないことがあります。

原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-18）をごらんください。

2

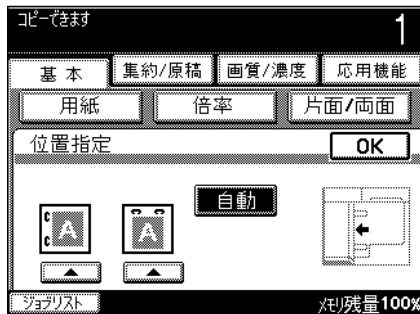
〔コーナーステープル〕または〔2点ステープル〕を押します。

- 〔コーナーステープル〕を選択した場合は、コピーした用紙のコーナー（左上）をステープル（針）でとじます。
- 〔2点ステープル〕を選択した場合は、画面に〔位置指定〕キーが表示されます。同じ位置を指定するため、手順3へ進みます。



3

〔位置指定〕を押し、目的の同じ位置を選択します。



4

〔OK〕を押します。

仕上り画面にもどります。

ひとこと

- ステープル機能を選択した場合、自動的に〔ソート〕が選択されます。
- ステープル機能を解除するときは、再度〔コーナーステープル〕または〔2点ステープル〕を押します。

ひとこと

- 〔自動〕を押すと、セットした原稿の方向から自動的に判断します。

■ パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）

<フィニッシャー装着時>

用紙坪量	用紙サイズ
60 g/m ² ~ 90 g/m ²	A3 ☐ ~ B5 ☐/☒

1

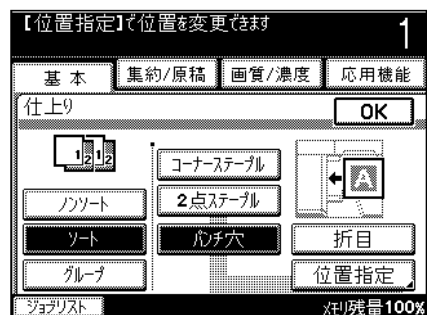
基本画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「パンチ穴」を押します。



ひとこと

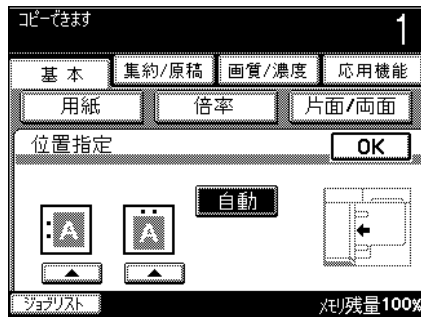
パンチ穴をあける場合、原稿をセットする方向を設定してください。原稿セット方向が設定されていない場合、目的のとおりにはパンチされることがあります。原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」(p. 3-18)をごらんください。

ひとこと

- パンチ穴機能を解除するときは、再度「パンチ穴」を押します。

3

[位置指定] を押し、目的の位置を選択します。



4

[OK] を押します。
仕上り画面にもどります。

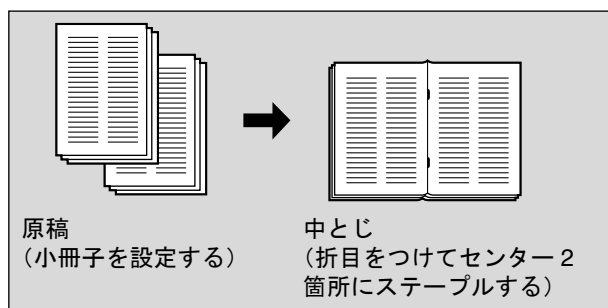
ひとこと

- [自動] を押すと、セットした原稿の方向から自動的に判断します。

3

■ 用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）

用紙に2つ折りの折目を付け、センター2箇所にてステープルして出力します。



用紙坪量	用紙サイズ	とじ枚数
56 g/m ² ~ 90 g/m ²	A3☐、B4☐、 A4☐	2枚 ~ 15枚

1

応用設定の連写 / リピートで「小冊子」を選択します。

2

基本画面の「仕上り」を押します。



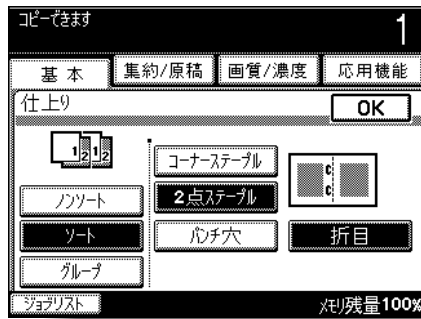
仕上り画面が表示されます。



小冊子の設定のしかたについては、「中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）」（p. 8-21）をごらんください。

3

〔2点ステープル〕と〔折目〕を押します。



4

〔OK〕を押します。
基本画面にもどります。

ひとこと

中とじ機能を解除するときは、再度〔2点ステープル〕と〔折目〕を押します。

参照

折目を付ける用紙の位置と、センターステープルの位置を設定メニューで調整できます。詳しくは、「折目/センターステープル」(p. 11-17)をごらんください。

3

3.11 プリント中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）

現在のコピージョブのプリント中に、次のコピージョブの設定や原稿読み込みを行い、プリント完了後に続けて次のコピーをプリントします。

原則

- ・コピー予約は、オプションのハードディスクを装着した場合にのみ使用できる機能です。
- ・コピー予約は、現コピーを含めて5件まで設定できます。

1

【スタート】を押して、読み込み・プリントを開始します。



原稿読み込み中の画面が表示されます。

2

「コピー予約できます」と表示されたら次のコピーの内容を設定します。



3

【スタート】を押します。

4

実行中のコピージョブ終了後、次コピーを開始します。

ひとこと

- ・セットした原稿の読み込み終了後にコピー予約できます。
- ・原稿読み込み中に次のジョブを予約できません。



原稿セット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8)をごらんください。



詳しく説明します

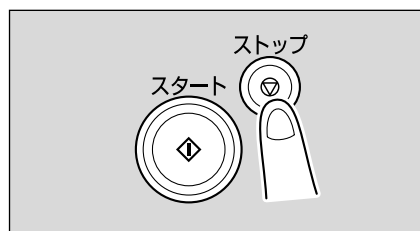
予約したジョブを削除するときは、【ストップ】を押します。詳しくは、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をごらんください。またはジョブリスト画面から削除することもできます。詳しくは、「ジョブを削除する」(p. 4-23)をごらんください。

3.12 ジョブを中断／削除する

原稿の読み込みやプリントの読み込みの動作を中断および削除したいときは、以下の手順にしたがってください。

1

ジョブの読み込み・プリント中に【ストップ】を押します。



「もうすぐ止まります」のメッセージが表示されたあと、読み込み・プリントが停止します。



ジョブのストップ画面が表示されます。

2

目的の操作を行います。

- 中断したジョブ、または予約したジョブを削除する場合は、削除したいジョブのキーを選択すると、ジョブが削除されます。
- 中断したジョブを再開する場合は、【スタート】を押します。

3

ひとこと

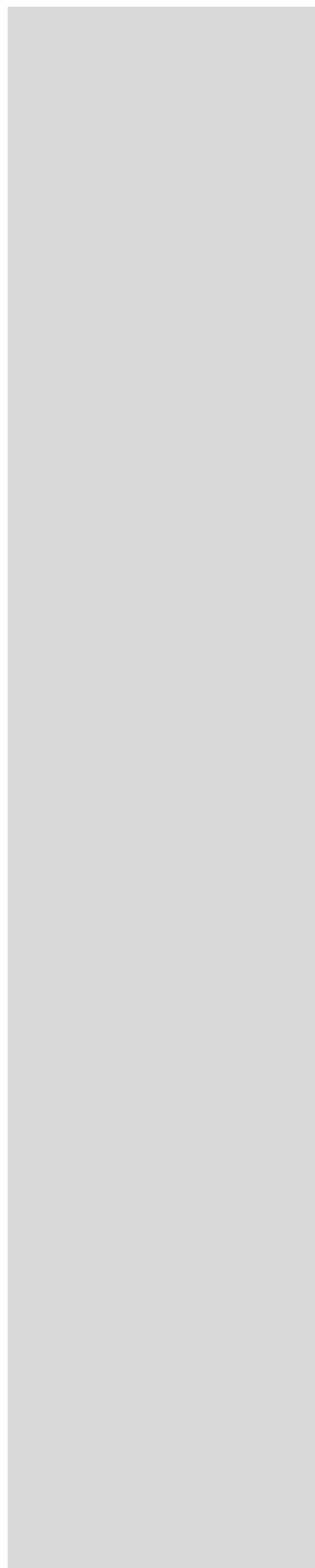
読み込み中ジョブがある場合は、【ストップ】を押すと、プリントと読み込みの両方が停止します。



ジョブリスト画面からジョブを削除することもできます。詳しくは、「ジョブを削除する」(p. 4-23)をごらんください。



コピー読み込み中、コピー読み込み停止中、およびプリント停止中は、コピー機能以外の機能に切替えることはできません。



第4章

コピー補助機能

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

4.1 コピーの設定を確認する（設定内容）	4-2
4.2 1部プリントしてコピーの仕上りを確認する（確認コピー）	4-4
4.3 割込んでコピーする（割込み）	4-6
4.4 コピープログラムを使用する（プログラム）	4-7
4.5 操作パネルの設定をする（ユニバーサル）	4-13
4.6 ジョブリストについて	4-20
4.7 ジョブ操作をする	4-21

4.1 コピーの設定を確認する（設定内容）

設定内容画面で、現在設定されているコピーの設定を確認、変更できます。

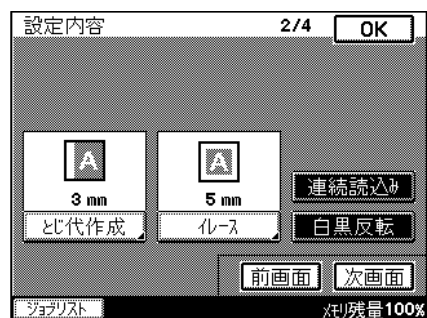
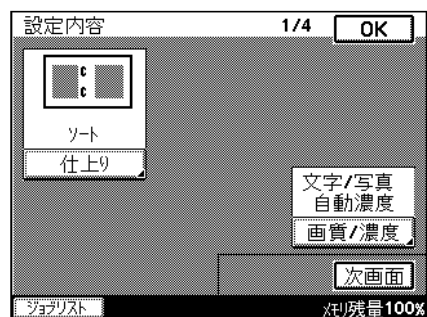
■ 設定の確認のしかた

1

【設定内容】を押します。

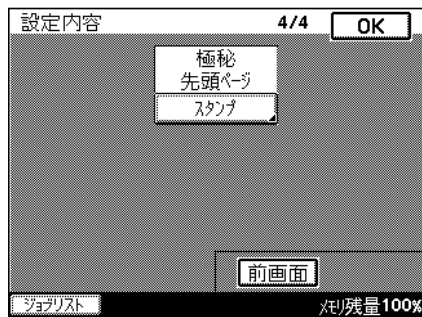
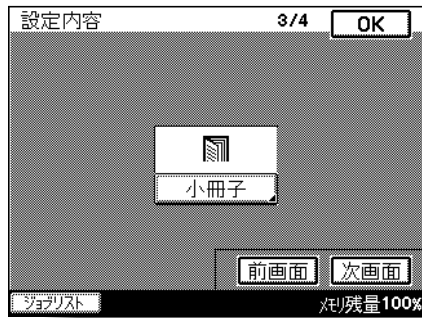


設定内容画面が表示されます。



詳しく説明します

- 設定内容画面は4画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- [前画面] を押すと1つ前の画面に、[次画面] を押すと次の画面に切り替わります。
- 出荷時設定から設定を変更した機能は、反転表示されます。



2

設定内容の確認が終了したら、[OK] または【設定内容】を押します。

基本画面にもどります。

■ 設定の変更のしかた

1

【設定内容】を押します。

2

[前画面] または [次画面] を押して変更する機能のある画面を表示します。

3

変更する機能のキーを押します。

各機能の設定画面が表示されます。

4

各機能の設定方法にしたいが、変更を行ってください。

4.2 1部プリントしてコピーの仕上りを確認する（確認コピー）

大量のコピーを行うとき、1部だけプリントして仕上りを確認できます。ミスコピーの発生を未然に防ぐことができます。

1

原稿をセットします。

2

目的のコピーの内容を設定します。

3

【確認コピー】を押します。



1部プリントされます。

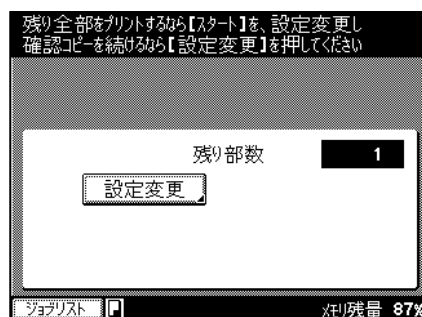
4

コピー結果を確認します。

- コピーを確認して問題なければ、手順8へ進みます。
- コピーの設定を変更するときは、手順5へ進みます。

5

確認コピー画面の【設定変更】を押します。



原稿セット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8)をごらんください。

ひとこと

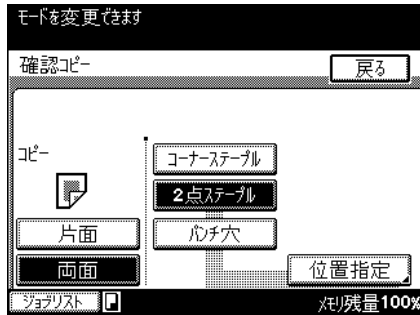
確認コピーは、部数が2部以上に設定されている場合にだけ使用できます。



- 設定変更画面の仕上り機能は、確認コピーしたジョブに設定されていた場合だけ表示されます。
- コピーの設定を変更できないときは、確認コピーを中断してください。次に【リセット】を押してコピーの設定を取消してから、設定をしなおしてください。

6

設定変更画面でコピーの設定を変更します。



7

【確認コピー】を押して、確認コピーを繰り返します。

- 確認コピープリント後、確認コピー画面表示中、設定変更画面表示中にコピーを中断する場合は、【リセット】を押してジョブのストップ画面を表示させます。削除したいジョブのキーを選択すると、ジョブが削除されます。



8

【スタート】を押します。

設定したコピーの内容がジョブとして登録されます。

詳しく説明します

確認コピーでプリントした枚数は、設定した部数に含まれます。設定変更を行った場合は、再度テンキーにて部数を入力し直してください。

参照

読み込み中またはプリント中の確認コピーを中断する場合は、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をごらんください。

4

4.3 割込んでコピーする（割込み）

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー設定でコピーできます。

急いでコピーをしたいときなどに便利です。

1

原稿をセットします。

2

【割込み】を押します。

- 現在のジョブがプリント中の場合は、「もうすぐ止まります」と表示されます。



割込みランプが緑色に点灯し、プリント中のジョブは中断されます。

3

目的のコピーの内容を設定します。

4

【スタート】を押します。

割込みコピーを開始します。

5

割込みジョブのプリントが終了したら、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。

割込みコピー前のコピー設定が復帰します。



原稿セット方法については、「ADFに原稿をセットする」（p. 3-8）をごらんください。



詳しく説明します

- 原稿読み込み中は【割込み】を押すことができません。
- 【割込み】を押すと、コピー部数以外のコピー設定が初期設定にもどります。

ひとこと

割込みコピーを解除すると、割込み前に中断したジョブのプリントが自動的に再開されます。

4.4 コピープログラムを使用する（プログラム）

コピーの設定をコピープログラムとして、10 件まで登録（書込み）できます。

また、登録したコピープログラムを呼出して、コピーをとることができます。

■ コピープログラムを登録する

1

タッチパネルのキーおよび操作パネルのキーを使って、登録するコピーの内容を設定します。

2

【プログラム】を押します。



プログラム画面が表示されます。

3

【登録】を押します。



ひとこと

【設定内容】を押すと、現在設定されているコピーの設定を確認できます。詳しくは、「コピーの設定を確認する（設定内容）」(p. 4-2)をご覧ください。

詳しく説明します

以降の操作途中に登録を中断する場合は、【リセット】または【プログラム】を押します。いずれの画面が表示されていても、登録操作は中断されます。

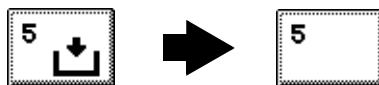
4

登録するプログラムナンバを押します。

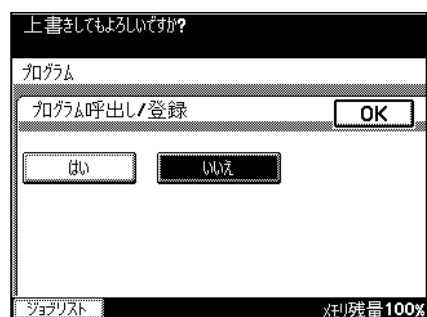
- 未登録のプログラムナンバを押した場合、ナンバーキーのアイコン表示が消えて、登録済みであることを示します。

未登録

登録済み



- 登録済みのプログラムナンバを押した場合、上書き確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を押し、[OK] を押します。登録をキャンセルする場合は「いいえ」を押し、[OK] を押します。



詳しく説明します

未登録のプログラムナンバがない場合は、登録済みのプログラムナンバに上書きします。上書きする前に元の登録内容を確認したい場合は、「コピーの設定を確認する（設定内容）」（p. 4-2）をごらんください。

■ コピープログラムを呼出してコピーする

登録したコピープログラムを呼出してコピーをとります。

1

原稿をセットします。

2

【プログラム】を押します。



プログラム画面が表示されます。

3

【呼出し】を押します。



4

呼出したいコピーの設定が登録されているプログラムナンバのキーを押します。

登録されているコピーの設定が呼出され、基本画面に戻ります。

5

【スタート】を押します。

呼出したコピープログラムでコピーを開始します。



原稿セット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。



- コピープログラムの呼出しを中断する場合は、【リセット】または【プログラム】を押します。
- コピープログラムを呼出す前に登録内容を確認にしたい場合は、「コピーの設定を確認する（設定内容）」(p. 4-2) をごらんください。
- プログラムナンバのキーを押さずに【OK】を押して基本画面にもどった場合は、コピープログラムは呼出されません。

■ コピープログラムの内容を確認する

登録されているコピープログラムの内容を確認します。

1

【プログラム】を押します。



プログラム画面が表示されます。

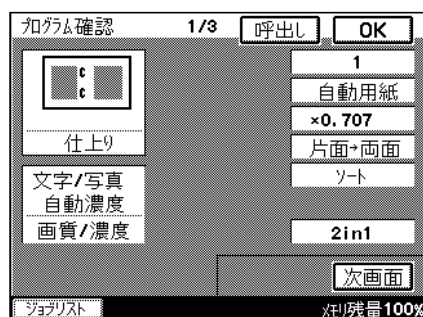
2

【確認】を押します。



3

内容を確認したいコピープログラムが登録されているプログラムナンバのキーを押します。



設定内容画面が表示されます。

詳しく説明します

- 設定内容画面は3画面あります。[次画面]を押すと次の画面に、[前画面]を押すと前の画面に切り替わります。
- 設定内容画面では、設定変更できません。

4

選択したプログラムナンバに登録されているコピーの設定を確認します。

- 設定内容画面でコピーの設定を確認しているプログラムを呼出すこともできます。[呼出し]を押すと、登録されているコピーの設定が呼出され、基本画面にもどります。

5

[OK] を押します。

プログラム画面にもどります。

■ 登録したコピープログラムを削除する

登録されているコピープログラムを削除します。

1

【プログラム】を押します。



プログラム画面が表示されます。

2

[削除] を押します。

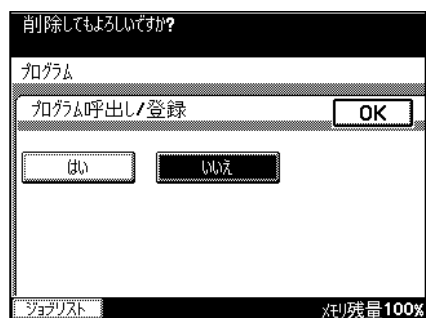


4

3

削除したいコピープログラムが登録されているプログラムナンバーのキーを押します。

削除確認画面が表示されます。



4

「はい」を押し、「OK」を押します。削除をキャンセルする場合は「いいえ」を押し、「OK」を押します。

プログラム画面にもどります。

4.5 操作パネルの設定をする（ユニバーサル）

操作パネルに関する設定を変更する方法と、タッチパネルの調整について説明します。

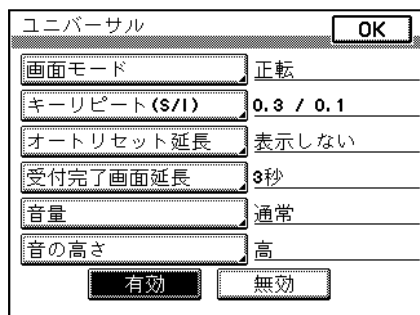
■ ユニバーサル画面を表示させる

1

【ユニバーサル】を押します。



ユニバーサル画面が表示されます。



2

設定を変更したいユニバーサル機能のキーを押します。

選択したキーの設定画面が表示されます。

詳しく説明します

- ユニバーサル画面から基本画面にもどるときは、【ユニバーサル】、【リセット】、[OK]、[有効]、[無効] のいずれかを押します。
- ユニバーサル画面の「無効」を押して基本画面にもどった場合、ユニバーサル画面で設定した内容は反映されず、基本画面は出荷時設定の状態になります。
- ユニバーサル画面の「有効」または「OK」を押して基本画面にもどった場合、ユニバーサル画面で設定した内容が反映された基本画面になります。

■ 画面モードを設定する

タッチパネルの表示を白黒反転するかどうかを設定します。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

「画面モード」を押します。

画面モード画面が表示されます。

3

タッチパネルの表示を選択します。

○ 「反転」を押すと、タッチパネルの表示が反転します。

○ 「正転」を押すと、元の表示にもどります。



4

「OK」を押します。

ユニバーサル画面にもどります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」(p. 4-13) をご覧ください。

ひとこと

出荷時設定では、「正転」に設定されています。

■ キーリピートを設定する

タッチパネル内の数値設定のキーを押してから数値が変わりはじめるまでの時間と、次の数値に変わるまでの時間を設定できます。

1



ユニバーサル画面を表示させます。

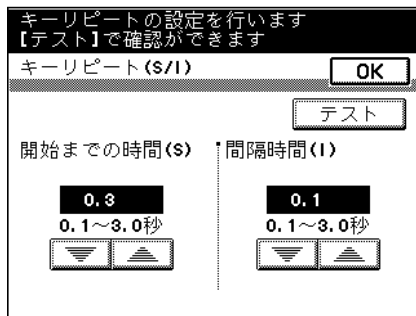
2



「キーリピート」を押します。

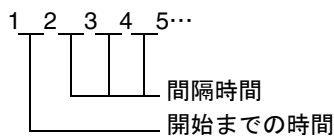
キーリピート画面が表示されます。

3

、 を押して、キーリピートの開始までの時間と間隔時間を設定します。



開始までの時間と間隔時間は、、 を押し続けて数値を変えるとき、数値の表示が切り替わる速さの設定となります。



4

「OK」を押します。

ユニバーサル画面にもどります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」(p. 4-13) をご覧ください。

4

ひとこと

- 出荷時設定では、開始までの時間は「0.3 秒」、間隔時間は「0.1 秒」に設定されています。
- 「テスト」を押し続けると、キーリピートの設定を確認できます。

■ オートリセット確認の表示を設定する

本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、オートリセット機能がはたらいてタッチパネルの表示は初期設定にもどります。初期設定にもどる直前に表示される確認画面の表示時間を設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

[オートリセット延長] を押します。

オートリセット延長画面が表示されます。

3

オートリセット確認画面の表示時間を選択します。

- [30 秒]、[60 秒]、[90 秒]、[120 秒] のいずれかを選択します。
- [表示しない] を選択した場合、オートリセット確認画面は表示されずに初期設定へもどります。



4

[OK] を押します。

ユニバーサル画面にもどります。



- オートリセット機能については、「自動的に初期設定にもどる（オートリセット）」（p. 2-25）をごらんください。
- ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」（p. 4-13）をごらんください。

ひとこと

出荷時設定では、「表示しない」に設定されています。



詳しく説明します

ローパワー、スリープ、LCD バックライトオフ機能は、オートリセット確認画面で設定した時間に左右されず、機能します。オートリセット確認画面の表示時間を設定する場合は、ローパワー、スリープ、LCD バックライトオフに切り換わる時間よりも短い時間を設定してください。

■ 受付完了画面の表示を設定する

コピー完了後の受付番号、またはジョブ番号を確認するための受付完了画面の表示時間を設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

[受付完了画面延長] を押します。

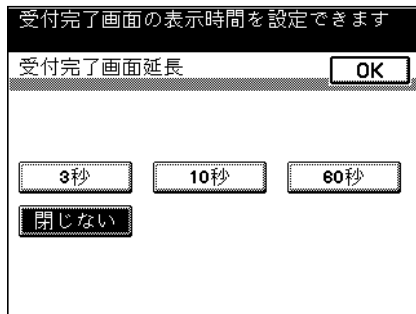
受付完了画面延長画面が表示されます。

3

受付完了画面の表示時間を選択します。

○ [3 秒]、[10 秒]、[60 秒] のいずれかを選択します。

○ [閉じない] を選択した場合、受付完了画面で [OK] を押すまで受付完了画面は表示されます。



4

[OK] を押します。

ユニバーサル画面にもどります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」(p. 4-13) をご覧ください。

ひとこと

出荷時設定では、「3 秒」に設定されています。

4

■ 音量を設定する

タッチパネルのキーを押したときの操作音や、本機に異常が発生した場合のアラーム音などの音量を設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

〔音量〕を押します。

音量画面が表示されます。

3

〔通常〕または〔大〕を押します。



4

〔OK〕を押します。

ユニバーサル画面にもどります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」(p. 4-13) をごらんください。

ひとこと

- 出荷時設定では、「通常」に設定されています。
- キーの操作音、アラーム音などの音量は設定メニューで変更できます。詳しくは、「音の設定」(p. 11-20) をごらんください。

■ 音の高さを設定する

タッチパネルのキーを押したときの操作音や、本機に異常が発生した場合のアラーム音などの音の高さを設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

「音の高さ」を押します。
音の高さ画面が表示されます。

3

「低」、 「中」、 「高」 のいずれかを押します。



4

「OK」を押します。
ユニバーサル画面にもどります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」(p. 4-13) をご覧ください。

ひとこと

出荷時設定では、「高」に設定されています。

4

4.6 ジョブリストについて

■ ジョブについて

コピーの準備をし、【スタート】を押すと、1件のコピー動作が本機に登録されます。登録された動作をジョブと呼びます。同様に、読み込み動作やスキャナ、PC プリント指示もジョブとして登録されます。

- ジョブリスト画面で、実行中のジョブや待機中のジョブを確認したり、削除できます。
- プリント順の一番上にあるジョブからプリントされます。

■ マルチジョブ機能について

- 1つのジョブのプリント中でも、別のジョブを登録できます。コピージョブは5件まで登録できます。
- 1つのジョブのプリントが完了すると、次に登録されたジョブを自動的に開始します。

■ ジョブリスト画面について



ジョブリスト画面は以下の各機能ごとに表示されます。

- ジョブ：実行中の機能が表示されます。
- プリント順：コピー、PC プリントなどで印刷中、および印刷待ちの文書の順番が表示されます。
- プリント：コピーおよびPC プリント文書に関する印刷動作の状態が表示されます。
- 通信：ファクス機能で使します。
- 文書：ファクス機能およびボックス機能で使します。



- ジョブリストの「通信」については、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をらんください。
- ジョブリストの「文書」については、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」または「ユーザーズガイド ボックス機能編」をらんください。

4.7 ジョブ操作をする

■ 実行中のジョブを確認する

1

【ジョブリスト】を押します。



ジョブリスト画面が表示されます。

2

実行中のジョブを確認します。

- 、 を押すと次の画面に切り替わります。
- 実行中のジョブは、8 件まで表示されます。



実行中のジョブやプリント待ちなどで待機中になっているジョブを削除できます。詳しくは、「ジョブを削除する」(p. 4-23)をごらんください。また、【ストップ】を押してジョブを削除することもできます。詳しくは、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をごらんください。

■ プリント順を確認する

1

【ジョブリスト】を押します。



ジョブリスト画面が表示されます。

2

【プリント順】を押します。



3

プリント順を確認します。

- 、 を押すと次の画面に切り替わります。
- プリント順は、8 件まで表示されます。



実行中のジョブやプリント待ちなどで待機中になっているジョブを削除できます。詳しくは、「ジョブを削除する」(p. 4-23)をごらんください。また、【ストップ】を押してジョブを削除することもできます。詳しくは、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をごらんください。

■ ジョブを削除する

実行中、待機中のジョブを削除できます。

1

【ジョブリスト】を押します。



ジョブリスト画面が表示されます。

2

削除したいジョブを選択します。

○ 削除したいジョブが表示されていないときは、



を押すと次の画面に切り替わります。



選択したジョブの削除画面が表示されます。



【ストップ】を押してジョブを削除することもできます。詳しくは、「ジョブを中断／削除する」(p. 3-57)をご覧ください。

4

3

ジョブの内容を確認し、[消去] を押します。



選択したジョブが削除されます。

4

[OK] を押します。

ジョブリスト画面に戻ります。

第 5 章

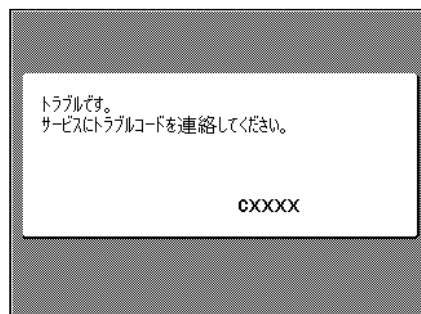
トラブルの処理

トラブルの処理方法について説明します。

5.1 「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）	5-2
5.2 「紙づまりです」と表示されたら	5-4
5.3 「用紙を補給してください」と表示されたら	5-25
5.4 「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	5-26
5.5 「トナーを交換してください」と表示されたら	5-27
5.6 「ステープル針がありません」と表示されたら	5-28
5.7 簡単なトラブルの処理	5-29
5.8 おもなメッセージと処理のしかた	5-32

5.1 「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処理できないトラブルが起こったとき、「トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください」というメッセージが表示されます。（サービスコール画面）



1

サービスコール画面のトラブルコード（例：C-0001）を書き留めてください。

 必ず守ってください

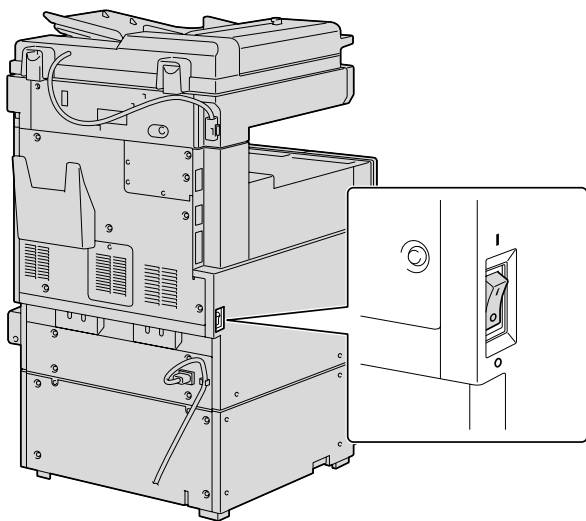
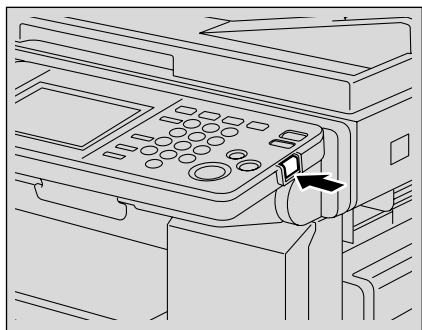
- 故障の原因になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示されたら、速やかに左記の手順にしたがってサービス技術者にご連絡ください。
- CS リモートケアが行われている機械の場合は、「すでに自動通報により サービスに通知しました。お急ぎの時は担当営業所へ連絡願います。」の表示後に【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】をOFFにして、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

ひとこと

サービス技術者による CS リモートケアが行われている機械の場合は、自動でサービス技術者にトラブルコードが連絡されます。

2

【副電源スイッチ】と【主電源スイッチ】を OFF にします。



3

本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

4

サービス技術者に連絡し、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

5

5.2 「紙づまりです」と表示されたら

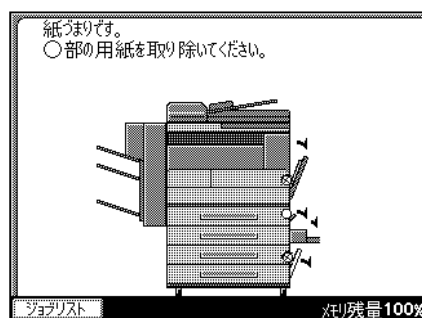
コピー／プリント中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。(紙づまり位置表示画面)

このとき、紙づまりが適切に処理されるまでは、コピー／プリントができなくなっています。

■ 表示と紙づまり箇所

“x” マークの箇所が紙づまり発生位置です。また、“○” マークが点灯している箇所は、紙づまりの可能性のある位置ですので確認してください。

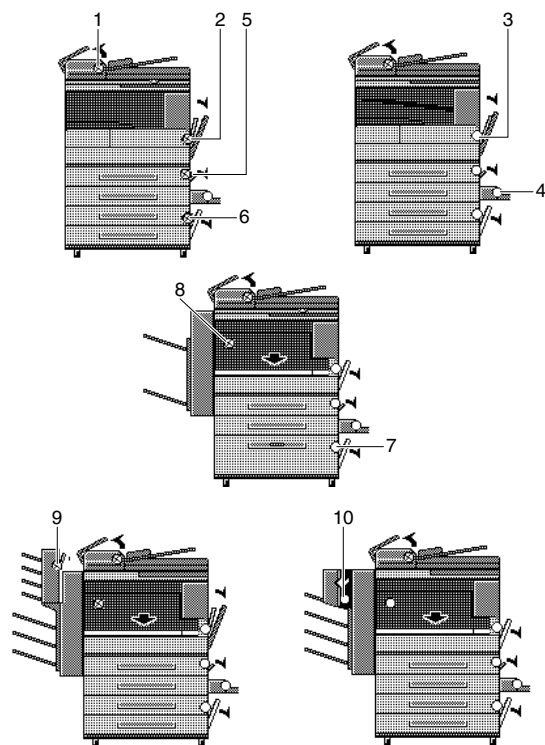
例：給紙トレイで紙づまりが発生した場合のメッセージ



ひとこと

紙づまりが発生した箇所により紙づまり処理手順が異なります。紙づまり位置表示を見て、それぞれの説明にしたがって用紙を取り除いてください。

■ 紙づまり位置表示

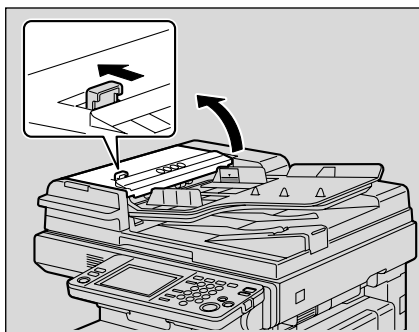


No	説明
1	ADF での紙づまり (p. 5-6)
2	両面ユニットでの紙づまり (p. 5-12) 第 1 給紙トレイでの紙づまり (p. 5-14)
3	定着部での紙づまり (p. 5-8)
4	手差しトレイでの紙づまり (p. 5-12)
5	第 2 給紙トレイでの紙づまり (p. 5-14)
6	第 3 / 第 4 給紙トレイでの紙づまり (p. 5-16)
7	LCT での紙づまり (p. 5-17)
8	フィニッシャーでの紙づまり (p. 5-18)
9	メールビンでの紙づまり (p. 5-21)
10	中綴じ機での紙づまり (p. 5-23)

■ ADF での紙づまり処理のしかた

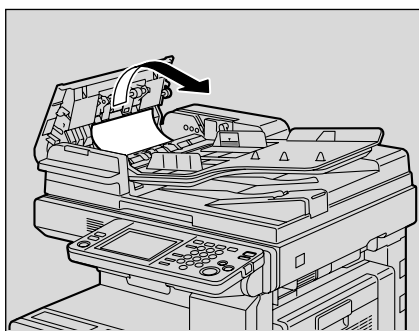
1

原稿給紙カバーのつまみを引き、原稿給紙カバーを開きます。



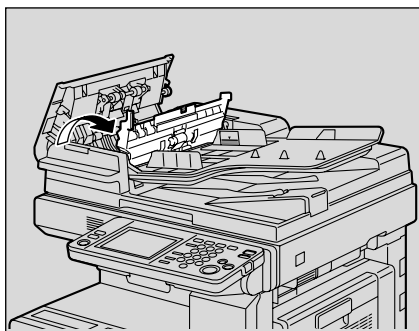
2

用紙を静かに引き抜きます。



3

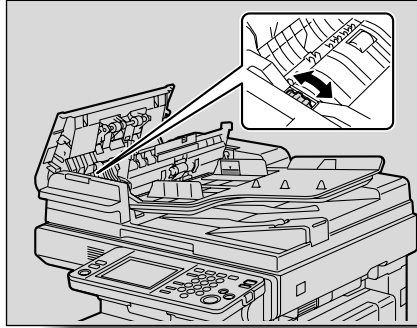
原稿ガイドのつまみを引きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

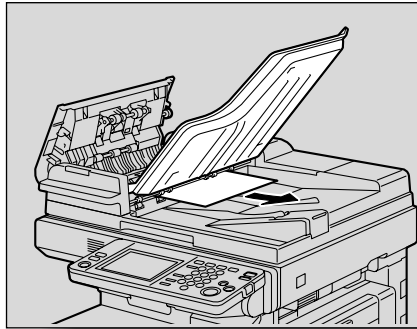
4

ダイヤルを回し、用紙を送り出します。



5

原稿給紙トレイを右手で支えながら、用紙をゆっくりと引き出します。



6

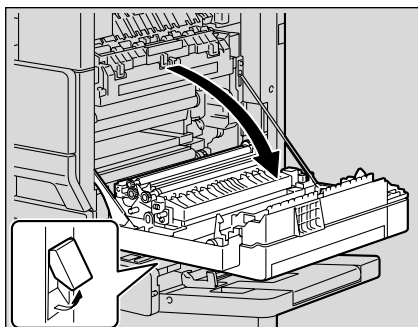
原稿ガイドを元に戻し、原稿給紙カバーを閉じます。

5

■ 定着部での紙づまり処理のしかた

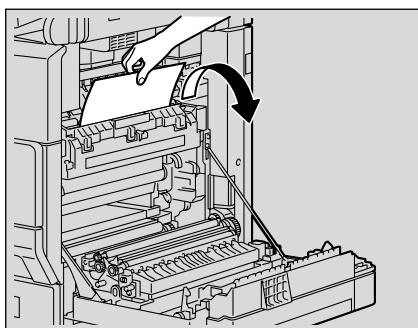
1

右ドア解除レバーを引き、右ドアを開きます。



2

用紙を静かに引き抜きます。

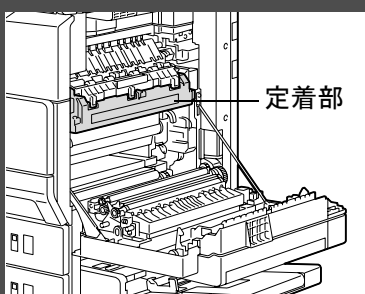


紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

⚠ 注意

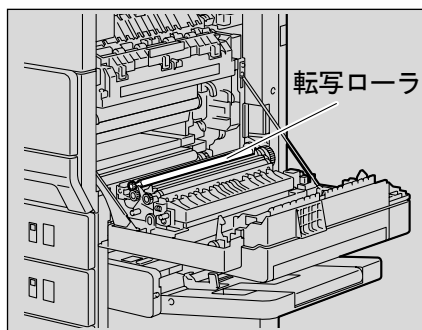


定着部周辺は高温になっています。やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

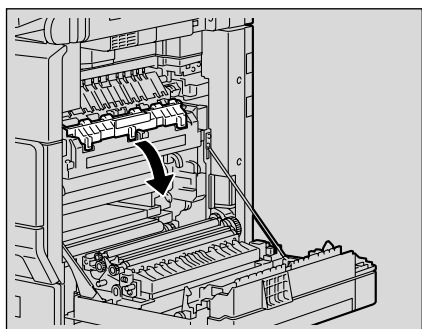


転写ローラの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。

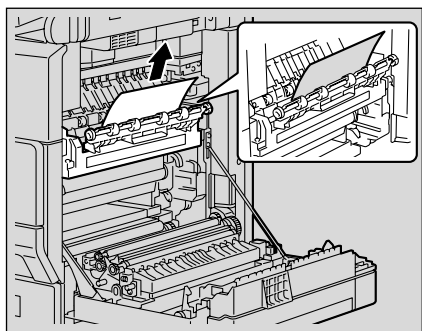
転写ローラの表面に触れないように注意してください。

**3**

定着開閉ガイドを開きます。

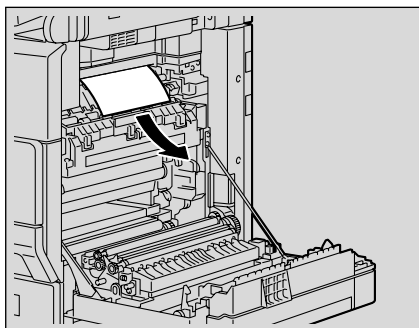
**4**

用紙を静かに取り除きます。



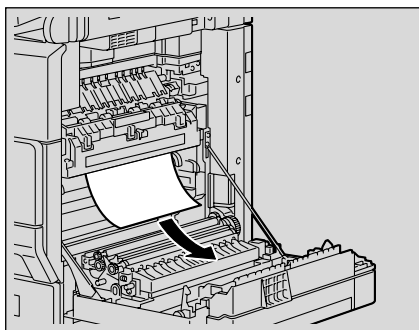
5

切替えガイドを開き、反転ユニットにつまっている用紙を静かに引き抜きます。



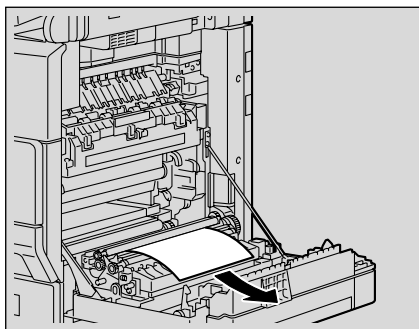
6

定着部から用紙を静かに引き抜きます。



7

転写ローラ部から用紙を静かに取り除きます。



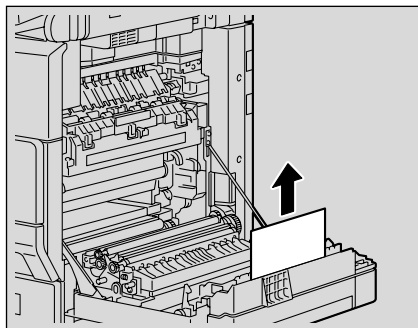
必ず守ってください

用紙が以下のようになっている場合は、サービス技術者にご連絡ください。

- 用紙が定着ユニット内部のローラに巻きついている場合
- 用紙が定着ユニット内部のローラに折れ曲がり噛みこんでいる場合
- 取除いた用紙が破れ、定着ユニット内に残ってしまった場合

8

用紙を静かに取り除きます。



9

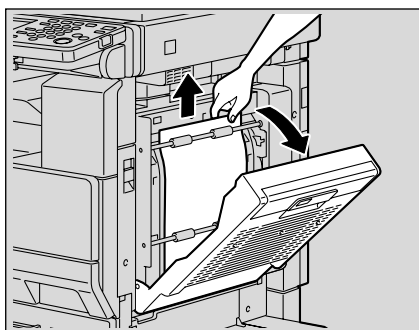
右ドアを閉じます。

5

■ 両面ユニットでの紙づまり処理のしかた

1

両面ユニットドアを開きます。



2

用紙を静かに引き抜きます。

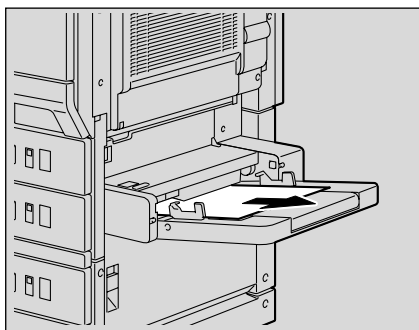
3

両面ユニットドアを閉じます。

■ 手差しトレイでの紙づまり処理のしかた

1

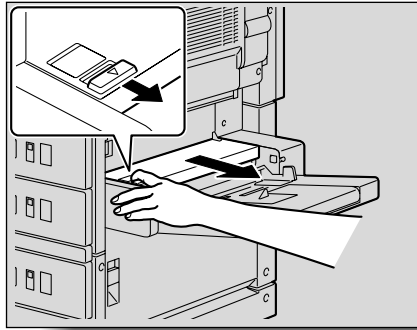
手差しトレイの用紙を取り除きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5) をごらんください。

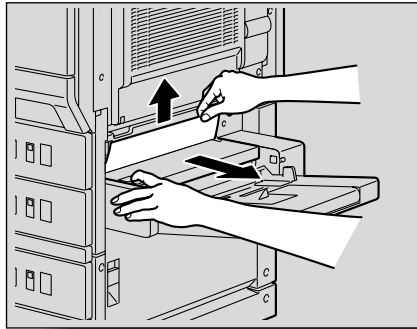
2

用紙を取り除けなかったときは、手差しトレイのスライド板つまみを引き、スライド板を手前に引きます。



3

左手でスライド板を押さえ、用紙を静かに引き抜きます。



4

手差しトレイを元にもどします。



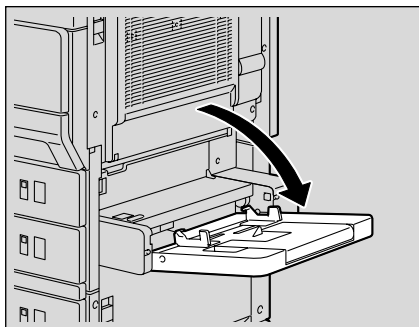
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

5

■ 第1／第2給紙トレイでの紙づまり処理のしかた

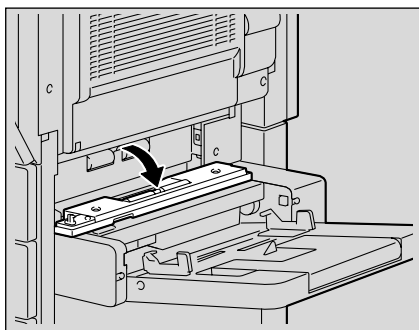
1

手差しトレイを開きます。



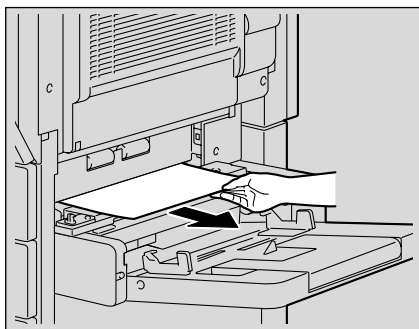
2

タッチパネルに表示されている箇所の右下ドアのつまみを引き、ドアを開きます。



3

用紙を静かに引き抜きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

4

右下ドアを閉じます。

5

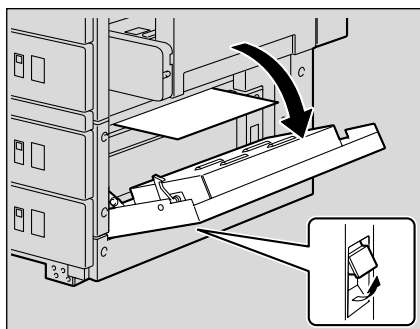
手差しトレイを閉じます。

5

■ 第3／第4給紙トレイでの紙づまり処理のしかた

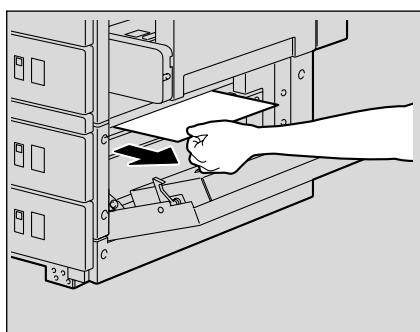
1

右下ドアのつまみを引き、ドアを開きます。



2

用紙を静かに引き抜きます。



3

右下ドアを閉じます。

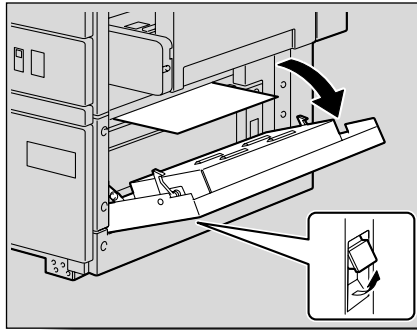


紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

■ LCT での紙づまり処理のしかた

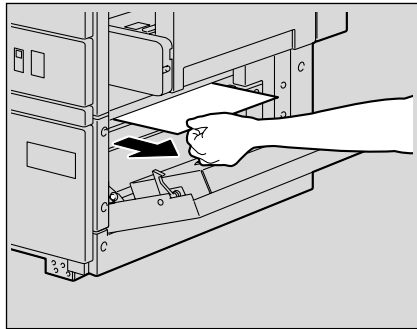
1

右下ドアのつまみを引き、ドアを開きます。



2

用紙を静かに引き抜きます。



3

右下ドアを閉じます。



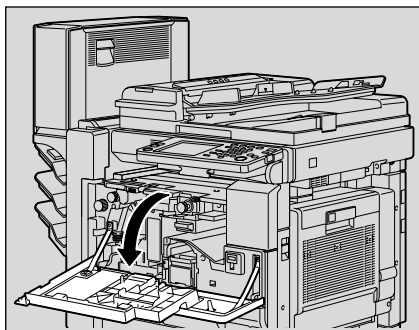
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5) をご覧ください。

5

■ フィニッシャーでの紙づまり処理のしかた

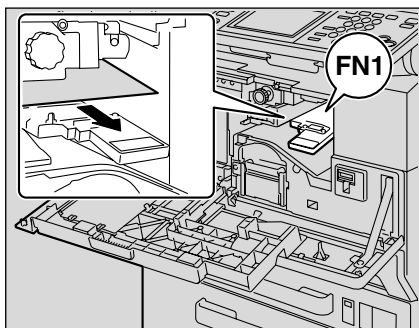
1

前ドアを開きます。



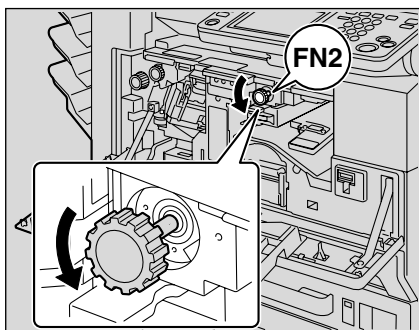
2

レバー【FN1】を下げ、用紙を取り除きます。



3

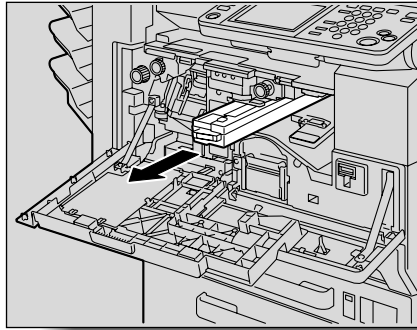
ダイヤル【FN2】を回します。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

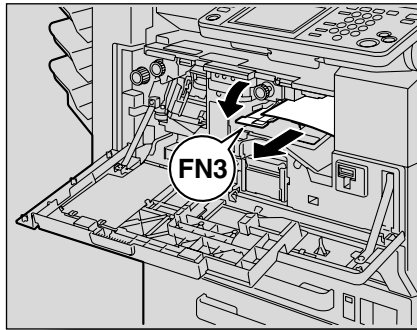
4

パンチキット装着時は、パンチボックスを引き出します。



5

レバー【FN3】を下げ、用紙を取り除きます。



6

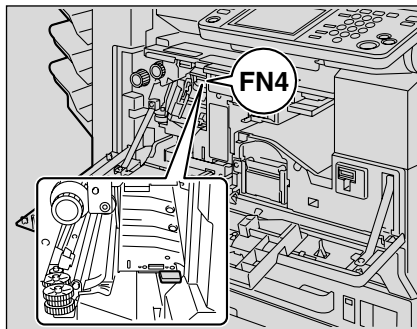
レバー【FN1】、レバー【FN3】をもどします。

7

パンチキット装着時は、パンチボックスを元の位置にはめ込みます。

8

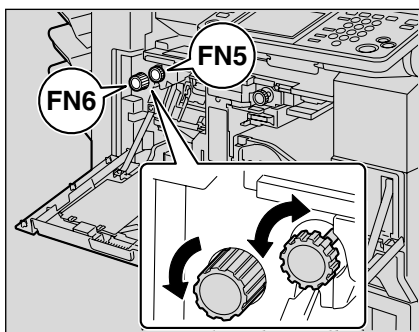
レバー【FN4】を下げます。



5

9

ダイヤル【FN5】またはダイヤル【FN6】を回して、
用紙を取り除きます。



10

レバー【FN4】をもどします。

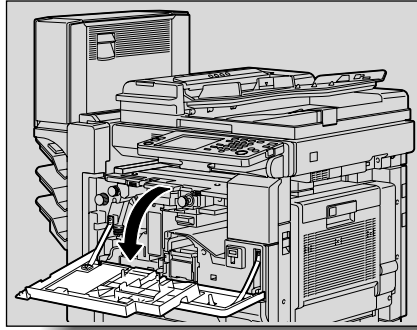
11

前ドアを閉じます。

■ メールビンでの紙づまり処理のしかた

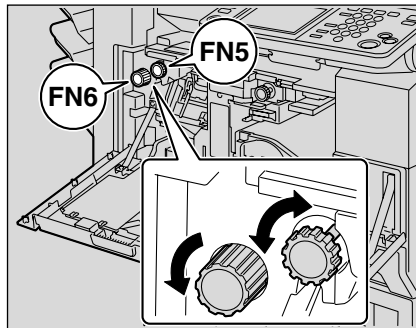
1

前ドアを開きます。



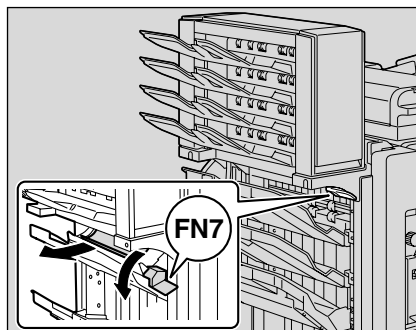
2

ダイヤル【FN5】またはダイヤル【FN6】を回して、用紙を送り出します。



3

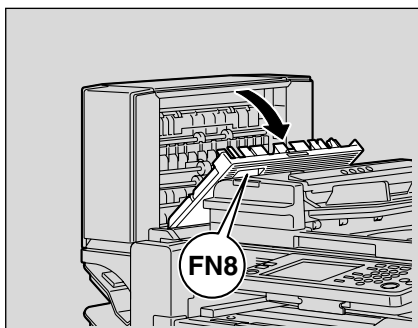
レバー【FN7】を押し下げながら用紙を取り除きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

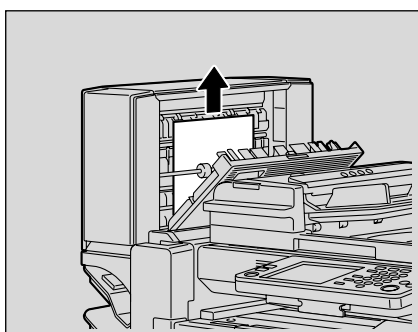
4

取手【FN8】を引き、ジャム処理ドアを開けます。



5

メールビン内の用紙を取り除きます。



6

ジャム処理ドアを閉じます。

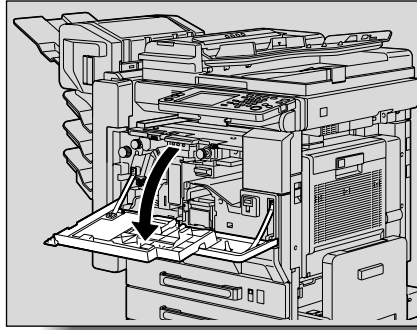
7

前ドアを閉じます。

■ 中綴じ機での紙づまり処理のしかた

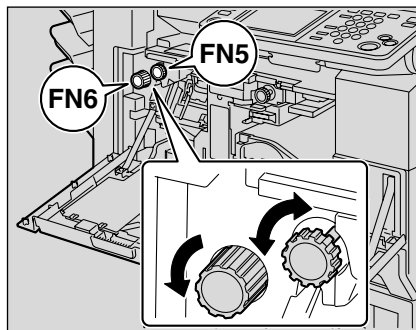
1

前ドアを開きます。



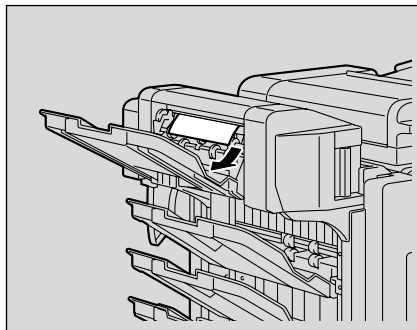
2

ダイヤル【FN5】またはダイヤル【FN6】を回して、用紙を送り出します。



3

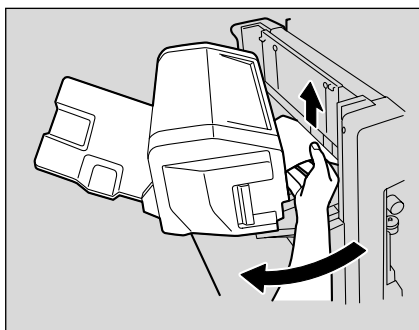
排紙トレイの用紙を引き抜きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 5-5)をごらんください。

4

ジャム処理ドアを開き、用紙を取り除きます。



5

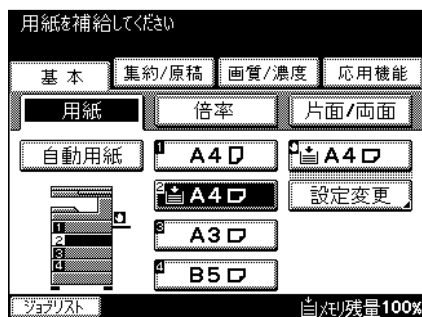
ジャム処理ドアを閉じます。

6

前ドアを閉じます。

5.3 「用紙を補給してください」と表示されたら

コピー中またはプリント終了後に用紙がなくなったときは、「用紙を補給してください」と表示されます。



1

反転表示されているトレイを確認して、用紙を補給します。



用紙の補給について詳しくは、「第1／第2 給紙トレイへ用紙をセットする」(p. 2-48)、「LCT へ用紙をセットする」(p. 2-50)、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52) をごらんください。

5

5.4 「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら

本機はメモリを使用してコピーを行っています。

メモリの容量には限りがありますので、原稿の読み込み中にメモリ残量不足を起こし、読み込んだジョブを破棄したときに「メモリ残量不足のため、読み込み中ジョブを削除しました」のメッセージが表示されます。



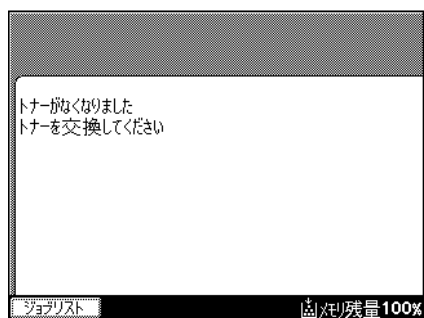
5.5 「トナーを交換してください」と表示されたら

トナーの残量が少なくなると、「トナーを交換してください」のメッセージが表示されます。



<トナー終了時の表示>

トナーがなくなると、以下のメッセージが表示されます。速やかにトナーボトルを交換してください。



詳しく説明します

「トナーを交換してください」が表示されてから、約500枚（A4）プリントできます。メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってトナーボトル交換の準備を行ってください。「トナーがなくなりました」が表示されると、本機は停止します。

参照

トナーボトルの交換については、「トナーボトルを交換する」(p. 9-2) をごらんください。

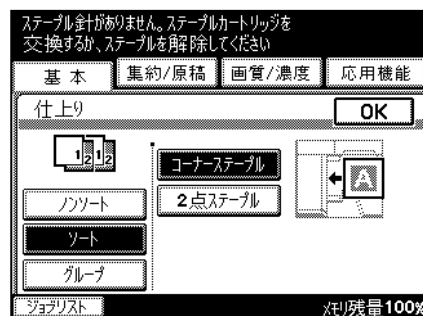
5

5.6 「ステープル針がありません」と表示されたら

ステープル針がなくなると、「ステープル針がありません」のメッセージが表示されます。

ステープルカートリッジを交換してください。

例：フィニッシャーのステープル針が不足したときのメッセージ



必ず守ってください

ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前に、ステープルカートリッジを取外すと故障の原因になります。



ステープルカートリッジの交換については、「ステープル針を交換する」(p. 9-7)をごらんください。

5.7 簡単なトラブルの処理

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本体	【主電源スイッチ】を入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
		【副電源スイッチ】はONになっていますか？	【副電源スイッチ】をONにしてください。
	コピーがスタートしない	本体右ドアを確実に閉じていますか？	本体右ドアを確実に閉じてください。
		原稿に見合った適正な用紙が入っていますか？	適正なサイズ of の用紙を給紙トレイにセットしてください。
	画像がうすい／色がうすい	濃度の設定が、[うすく] になっていませんか？	濃度画面で [こく] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。(p. 3-41)
		用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 2-48)、(p. 2-50)、(p. 2-52)
	画像がこい／色がこい	濃度の設定が、[こく] になっていませんか？	濃度画面で [うすく] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。(p. 3-41)
		原稿が原稿ガラス上から浮き上がっていませんか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。(p. 3-10)
	画像がにじむまたはボケる	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 2-48)、(p. 2-50)、(p. 2-52)
		原稿が原稿ガラス上から浮き上がっていませんか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。(p. 3-10)
	プリントの全体が汚れる プリントにスジが表れる	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 10-2)
		原稿送りベルトが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿送りベルトを清掃してください。
		第2原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていますか？	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。(p. 3-10)
		両面原稿を使っていますか？	うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、おもて面の原稿に写ってしまうことがあります。コピー画質を薄文字に設定してください。(p. 3-39)

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
プリントの画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに、正しくセットしてください。(p. 3-10) 原稿を ADF にセットし、原稿セットガイドを原稿サイズに正しく合わせてください。(p. 3-8)
	ADF に適した原稿がセットされていますか？	ADF に適していない原稿の場合は、原稿ガラスを使用してコピーしてください。(p. 3-10)
	原稿ガラスに異物が付着していませんか？ (ADF 使用時)	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 10-2)
	給紙トレイのガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんとガイド板を合わせてください。
	カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手で直して給紙トレイにセットしなおしてください。
プリントされた用紙が反っている	お使いになる用紙 (再生紙など) によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
		吸湿していない、新しい用紙に交換してください。
画像の周りが汚れる	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿送りベルトを清掃してください。(p. 10-3)
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ (等倍×1.000 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。(p. 3-24)
	原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ (等倍×1.000 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？ (縮小コピー倍率手動入力時)	用紙サイズにあった倍率を選択してください。(p. 3-24) または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。(p. 3-24)
紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取除いてください。(p. 5-5)
両面→片面、両面→両面機能にならない	組合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組合わせをご確認ください。
部門管理設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	「部門別トータルカウンタが上限値になりました」が表示されていませんか？	管理責任者にご確認ください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
A D F	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
		仕様以外の原稿を使用していない せんか？	原稿ガラス上に原稿をセットしな おしてください。
		正しく原稿をセットしてありま すか？	原稿を正しくセットしてください。 (p. 3-8)
フ ィ ニ ッ シ ャ ー	フィニッシャーが作動し ない	コネクタへの接続は確実にす か？	コードをコネクタへ確実に接続し てください。
	ステープルができない	ステープル針がなくなっていま せんか？	ステープル針を補給してください。 (p. 9-7)
	ステープルの位置が 90 度ずれる	ステープルの位置指定は合っ ていますか？	ステープルの位置を目的の位置に 指定してください。(p. 3-50)
	排紙される用紙が均一に 積載されず、パンチ穴や ステープルの位置がずれ る	用紙が大きくカールしていま せんか？	給紙トレイ内にセットされている 用紙を、裏表逆にセットしてくだ さい。
		用紙をセットしている給紙トレ イのガイド板と用紙の間に隙間 がありませんか？	給紙トレイのガイド板を用紙に突 き当て、隙間ができないようにし てください。
	パンチを設定してもパン チされない（パンチユ ニット装着時）	「パンチくずがいっぱいです」が 表示されていませんか？	パンチ廃棄ボックスからパンチく ずをすててください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。
処理してもトラブルがなおらない場合は、サービス技術者にご連絡ください。

5.8 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
原稿ガラスに原稿が残っています	原稿ガラス上に原稿を置き忘れてあります。	原稿ガラス上の原稿を取除いてください。
原稿サイズが検出できません 用紙を選択してください	① 原稿が正しくセットされていない。 ② 不定形サイズまたは、検出できない小サイズ of 原稿を使用している。	① 原稿を正しくセットしてください。 ② コピー用紙を選択して、コピーしてください。
〇〇〇 とは同時設定できません	同時に設定できない機能を選択しています。	どちらか一方の機能でコピーしてください。
トレイの容量オーバーです → のトレイの紙を取り除いてください	表示されているフィニッシャートレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	表示されているトレイ上のコピー用紙をすべて取除いてください。
ログインするユーザ名とパスワードを入力してください	ユーザ認証されています。ユーザ名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	ユーザ名と正しいパスワードを入力してください。「ユーザ認証（本体認証）にしたがって本機を使用する」（p. 2-27）をごらんください。
ログインする部門名とパスワードを入力してください	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。「管理設定にしたがって使用者を制限する（部門管理）」（p. 2-33）をごらんください。
部門別トータルカウンタが上限値になりました 管理者に連絡してください	プリントできる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
矢印部が開いています 確実に閉めてください	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、コピーができません。	本体のドアやカバー、オプションを確実にセットしてください。
イメージングユニットを装着してください	イメージングユニットが正しくセットされていません。	イメージングユニットおよび交換部品をセットしなおしてください。またはサービス技術者に連絡してください。
用紙を補給してください	表示されているトレイに用紙がありません。	コピー用紙を補給してください。「第1／第2給紙トレイへ用紙をセットする」（p. 2-48）、「LCTへ用紙をセットする」（p. 2-50）、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-52）をごらんください。
トナーを交換してください	トナーが残り少なくなったときに表示されます。	保守契約にしたがってトナーボトル交換の準備をしてください。
トナーがなくなりました	トナーがなくなったため、コピーできません。	保守契約にしたがってトナーボトルを交換してください。

メッセージ	原因	処理のしかた
ステープル針がありません。ステープルカートリッジを交換するか、ステープルを解除してください	ステープル針がなくなりました。	ステープルカートリッジを交換してください。 「ステープル針を交換する」(p. 9-7) をごらんください。
紙づまりです。	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取除いてください。「紙づまりです」と表示されたら」(p. 5-4) をごらんください。
以下の枚数の原稿を戻してください 〇〇	紙づまり処理が終わったあと、ADF から排紙された原稿をもどす必要があるときに表示します。	表示枚数の原稿を ADF にセットしなおしてください。
トラブルです。 サービスにトラブルコードを連絡してください。	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス技術者に連絡してください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

第 6 章

仕様・保守サービス




本体およびオプションの仕様・保守サービスについて説明します。

6.1 仕様	6-2
6.2 保守サービス	6-9

6.1 仕様

■ 本体仕様

仕様	
形式	デスクトップ／コンソール
原稿台方式	原稿台固定式（ミラースキャン）
感光体	OPC
光源	冷陰極管
複写方式	乾式レーザ静電転写方式
現像方式	HMT 現像方式（HMT-OR）
定着方式	ヒートローラ定着方式
解像度	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック（見開き）、立体物 サイズ：最大 A3（11 × 17） 厚み：最大 210 g/m ² （ADF）、重量：2 kg（立体物）
複写紙種類	普通紙（56 g/m ² ～ 90 g/m ² ）、厚紙*（91 g/m ² ～ 210 g/m ² ）、 薄紙*（50 g/m ² ～ 55 g/m ² ）、 特殊紙、OHP フィルム*、官製はがき*、封筒*、ラベル紙* *手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	< 第 1 / 第 2 給紙トレイ > A3 □ ～ A5 □ 11 × 17 □ ～ 8 × 10-1/2 □ < 手差しトレイ > A3 □ ～ B6 □、A6 □、官製はがき、 11 × 17 □ ～ Letter □ 幅：90 mm ～ 297 mm、長さ：140 mm ～ 432 mm
用紙収容枚数	< 第 1 給紙トレイ > 普通紙：550 枚 < 第 2 給紙トレイ > 普通紙：550 枚 < 手差しトレイ > 普通紙：150 枚、厚紙：50 枚、OHP フィルム／官製はがき／ラベル 紙：50 枚、封筒：10 枚、薄紙：150 枚
排紙トレイ積載枚数	普通紙：500 枚、厚紙：20 枚、OHP フィルム：20 枚
ウォームアップタイム	【主電源スイッチ】を ON にしてから 24 秒以下（FAX キット、ス キャナユニット装着時は 26 秒以下） 【副電源スイッチ】を ON にしてから 14 秒以下 ※室温 23°C のとき
画像欠損	先端 4 mm、後端 4 mm、奥側 4 mm、手前側 4 mm
ファーストコピータイム	< bizhub 200/250 > 5.3 秒以下（A4 □、第 1 給紙トレイ使用時） < bizhub 350 > 4.8 秒以下（A4 □、第 1 給紙トレイ使用時）








仕様	
連続複写速度	< bizhub 200 > 20 枚／分 (A4  の場合) < bizhub 250 > 25 枚／分 (A4  の場合) < bizhub 350 > 35 枚／分 (A4  の場合)
複写倍率	等倍 : $\times 1.000$ 拡大 : $\times 1.154$ 、 $\times 1.224$ 、 $\times 1.414$ 、 $\times 2.000$ 縮小 : $\times 0.866$ 、 $\times 0.816$ 、 $\times 0.707$ 、 $\times 0.500$ 小さめ ($\times 0.930$) * ズーム : $\times 0.250 \sim \times 4.000$ (0.001 ステップ) 倍率登録 3 * 小さめ倍率 ($\times 0.900 \sim \times 0.999$)
連続複写枚数	1 ~ 999 枚
濃度調整	マニュアル濃度調整 (9 段階) オート濃度調整 (5 段階)
電源	AC100 V、13.2 A \pm 10%、50/60 Hz
最大消費電力	1,350 W \pm 10%
エネルギー消費効率 *1	bizhub 200 : 20wh/h、bizhub 250 : 27wh/h、bizhub 350 : 31wh/h
大きさ	幅 677 mm \times 奥行 710 mm \times 高さ 718 mm
機械占有寸法 *2	幅 1,001 mm \times 奥行 710 mm
メモリ容量	標準メモリ : 192 MB、ファイル用 : 32 MB
質量	約 74 kg

*1 ローパワー設定 1 分、スリープ設定 1 分でのエネルギー消費効率です。

*2 機械占有寸法は、手差しトレイを最大に開いた状態の寸法です。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 自動両面ユニット

仕様	
用紙種類	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A3  、B4  、A4  /  、B5  /  、A5 
電源	本体から供給
最大消費電力	10 W 以下
大きさ	幅 89 mm \times 奥行 419 mm \times 高さ 358 mm
質量	2.2 kg

■ 自動両面原稿送り装置 DF-605



























仕様	
原稿通紙機能	標準機能：片面原稿、両面原稿 混載 / Z 折れ機能：片面原稿、両面原稿混載
原稿種類	片面：普通紙（35 g/m ² ～ 128 g/m ² ） 両面・混載：普通紙（50 g/m ² ～ 128 g/m ² ）
原稿サイズ	片面原稿 / 両面原稿：A3  、B4  、A4  /  、B5  /  、A5  、 B6  混載原稿：表 1 を参照
原稿積載量	片面原稿 / 両面原稿：最大 80 枚以下（80 g/m ² ）
電源	本体から供給
最大消費電力	48 W 以下
大きさ	幅 582 mm × 奥行 558 mm × 高さ 145 mm
質量	9.4 kg

表 1（混載原稿時の組み合わせ表）

最大原稿幅→ ↓ 原稿サイズ	A3 	A4 	B4 	B5 	A4 	A5 	B5 	A5 	B6 
A3 	○	○	—	—	—	—	—	—	—
A4 	○	○	—	—	—	—	—	—	—
B4 	○	○	○	○	—	—	—	—	—
B5 	○	○	○	○	—	—	—	—	—
A4 	○	○	○	○	○	○	—	—	—
A5 	—	—	○	○	○	○	—	—	—
B5 	—	—	○	○	○	○	○	—	—
A5 	—	—	—	—	—	—	○	○	—
B6 	—	—	—	—	—	—	—	○	○

○：可

—：不可

■ 給紙キャビネット PC-202

仕様	
用紙種類	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □
収容枚数	上段 (トレイ 3) : 550 枚 (80 g/m ²) 下段 (トレイ 4) : 550 枚 (80 g/m ²)
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 570 mm × 奥行 548 mm × 高さ 263 mm
質量	26 kg
ユニット構成	ペーパートレイ 2 段

■ 給紙キャビネット PC-402

仕様	
用紙種類	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A4 □
収容枚数	2,500 枚 (80 g/m ²)
電源	本体から供給
最大消費電力	45 W 以下
大きさ	幅 570 mm × 奥行 548 mm × 高さ 263 mm
質量	26 kg

■ フィニッシャー FS-508

仕様	
排紙トレイ	第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ
通紙機能	ノンソート、ソート、グループ、ステープル
用紙種類	<第 1 排紙トレイ> 普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) 厚紙 (91 g/m ² ~ 210 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、封筒、ラベル紙 パンチ : 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) <第 2 排紙トレイ> 普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) ステープル : 普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) パンチ : 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)

仕様	
用紙サイズ	<第1排紙トレイ> A3 ☐ ~ B6 ☐、A6 ☐ <第2排紙トレイ> A3 ☐ ~ B6 ☐、A6 ☐
用紙積載量	<第1排紙トレイ> 普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 200 枚 厚紙 (91 g/m ² ~ 210 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、封筒、ラベル紙 : 20 枚 <第2排紙トレイ> 普通紙 (80 g/m ²) : 片面 1,000 枚、両面 500 枚
シフト量	30 mm
ステープル機能	用紙サイズ (とじ枚数) : A3 ☐ ~ B5 ☐、A4 ☐ ~ A5 ☐ (2 ~ 50 枚)
パンチ機能	用紙サイズ : A3 ☐ ~ B5 ☐/☐ パンチ穴数 : 2
電源	本体から供給
最大消費電力	66 W 以下
大きさ	幅 319 (435) mm × 奥行 558 mm × 高さ 573 mm () はトレイ引出し時
質量	約 21.4 kg (水平搬送部を含む)
消耗品	ステープル針 MS-5D (50 枚とじ用 5,000 針入り) × 2 個

■ パンチュユニット PU-501

仕様	
パンチ穴数	2 穴
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A3 ☐ ~ B5 ☐/☐
電源	フィニッシャーより供給
大きさ	幅 114 mm × 奥行 461 mm × 高さ 136 mm
質量	約 1.9 kg 以下

■ 中綴じ機 SD-502

仕様	
ビン数	1 ビン
用紙種類	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □ ~ B5 □
用紙積載量	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 最大 200 枚または 20 部
ステーブル機能	とじ枚数 : 2 ~ 15 枚
大きさ	幅 445 (576) mm × 奥行 203 (281) mm × 高さ 478 mm () はトレイ引出し時
質量	9.3 kg
消耗品	MS-2C 1 カートリッジ (2000 本用)
電源	フィニッシャーより供給




■ 排紙トレイ OT-601

仕様	
ビン数	1 ビン
用紙積載量	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 最大 200 枚 官製はがき／封筒／OHP フィルム／ラベル用紙 : 最大 20 枚
大きさ	幅 282 mm × 奥行 368 mm × 高さ 57 mm
質量	0.7 kg

■ メールビン MT-501

仕様	
ビン数	4 ビン
用紙種類	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	A4 □、B5 □、A5 □
用紙積載量	各ビン 125 枚まで (80 g/m ²)
大きさ	幅 624 mm × 奥行 503 mm × 高さ 390 mm
質量	約 8 kg (製品質量) 12 kg 以下 (貨物総質量)
電源	フィニッシャーより供給

■ セパレータ JS-502

仕様	
ビン数	1 ビン
用紙種類	普通紙 (56 g/m ² ~ 90 g/m ²) 厚紙 (91 g/m ² ~ 210 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、封筒、 ラベル紙 薄紙 (50 g/m ² ~ 55 g/m ²)
用紙サイズ	A3  ~ A6 
用紙積載量	A4  : 100 枚
大きさ	幅 450 mm × 奥行 443 mm × 高さ 75 mm
質量	約 1.7 kg

6.2 保守サービス

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーチャージシステム

機械を安定した状態でお使いいただくための保守サービスをご提供し、イメージングユニットをお貸しいたします。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備及び部品交換を行います。

その対価としてコピーチャージ料金を申し受けるシステムです。

- スポットシステム

機械の保守サービスと、イメージングユニット、トナー、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後7年間です。

第 7 章

用紙・原稿について

本機で使用する用紙と原稿の条件について説明します。

7.1 用紙について	7-2
7.2 手差しトレイの用紙設定について	7-8
7.3 原稿について	7-17

7.1 用紙について

以下の条件を満たす用紙をご使用ください。

■ 使用できる用紙サイズ

不定形サイズ紙：

給紙口・その他	用紙幅	用紙長
手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第1 給紙トレイ	—	—
第2 給紙トレイ		
第3 給紙トレイ		
第4 給紙トレイ		
LCT		
両面プリント	—	—

定形紙：

給紙口・その他	用紙サイズ
手差しトレイ	A3 ☐ ~ B6 ☐、11 × 17 ☐ ~ Letter ☐、官製はがき ^{*2}
第1 給紙トレイ	A3 ☐ ~ A5 ☐、11 × 17 ☐ ~ 8 × 10-1/2 ☐
第2 給紙トレイ	
第3 給紙トレイ	A3 ☐、B4 ☐、A4 ☐/☐、B5 ☐/☐、A5 ☐
第4 給紙トレイ	
LCT	A4☐
両面プリント	A3☐、B4☐ ~ A5☐

積載する装置	積載可能サイズ
フィニッシャー (FS-508)	<第 1/2 排紙トレイ、増設排紙トレイ> 90 mm × 140 mm ~ 297 mm × 432 mm グループ/ソート : 182 mm × 140 mm ~ 297 mm × 432 mm ステープル : 182 mm × 182 mm ~ 297 mm × 432 mm パンチ機能 : 127 mm × 140 mm ~ 297 mm × 432 mm ^{*3}
排紙トレイ (OT-601)	
中綴じ機 (SD-502)	折目/中とじ : A3 □、B4 □、A4 □、B5 □、11 × 17 □、11 × 14 □、Letter □、182 mm × 257 mm ~ 297 mm × 432 mm
メールビン (MT-501)	182 mm × 182 mm ~ 297 mm × 297 mm パンチ機能 : 182 mm × 182 mm ~ 297 mm × 297 mm ^{*3}
セパレータ (JS-502)	A3 □、B4 □ ~ A5 □、A6 □
排紙トレイ (標準)	A3 □、B4 □ ~ A5 □、A6 □、8-1/2 × 13 □ ^{*1} 、11 × 17 □、11 × 14 □、Legal □、Letter □/□、Executive □/□、5-1/2 × 8-1/2 □/□、不定形サイズ、官製はがき ^{*2}

*1 Foolscap には 8-1/2 × 13 □^{*1}、8-1/4 × 13 □^{*1}、8 × 13 □^{*1}、220 mm × 330 mm □^{*1} の 4 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

*2 官製はがきは、□ 方向にのみセット可能です。

*3 フィニッシャー にオプションのパンチユニットを装着した場合に使用できます。

■ 用紙種類および用紙容量

用紙種類 坪量 (g/m ²) 給紙口・その他	普通紙	厚紙	薄紙	再生紙
	56 g/m ² ～ 90 g/m ²	91 g/m ² ～ 210 g/m ²	50 g/m ² ～ 55 g/m ²	56 g/m ² ～ 90 g/m ²
手差しトレイ	150 枚	50 枚	150 枚	150 枚
第 1 給紙トレイ	550 枚	—	—	550 枚
第 2 給紙トレイ	550 枚			550 枚
第 3 給紙トレイ	550 枚			550 枚
第 4 給紙トレイ	550 枚			550 枚
LCT	2,500 枚			2,500 枚
両面プリント	○	—	—	○

用紙種類 給紙口・その他	OHP フィルム	官製はがき	封筒	ラベル用紙
手差しトレイ	50 枚	50 枚	10 枚	50 枚
第 1 給紙トレイ	—	—	—	—
第 2 給紙トレイ				
第 3 給紙トレイ				
第 4 給紙トレイ				
LCT				
両面プリント	—	—	—	—

■ 専用紙について

OHP フィルムや再生紙など、普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。OHP フィルムや再生紙などをセットした給紙トレイは、必ず専用紙として設定してください。誤使用を防止できます。

用紙種類	アイコン	説明
OHP フィルム		OHP フィルムをセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（オートトレイスイッチ）時、用紙を自動選択しません。
厚紙		坪量 91 g/m ² ~ 210 g/m ² の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（オートトレイスイッチ）時、用紙を自動選択しません。
薄紙		坪量 50 g/m ² ~ 55 g/m ² の薄手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（オートトレイスイッチ）時、用紙を自動選択しません。
封筒		封筒をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（オートトレイスイッチ）時、用紙を自動選択しません。
両面不可紙		両面にプリントしたくない用紙（すでに 1 面にプリントがされている用紙など）をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、優先して用紙を選択します。 両面プリント時、用紙を自動選択しません。
再生紙		再生紙などの優先して使用したくない用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
特殊紙		特定のメーカーの用紙や普段頻繁に使用したくないような特別な用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（オートトレイスイッチ）時、用紙を自動選択しません。

ひとこと

- 給紙トレイによって設定できる専用紙は異なります。
- OHP フィルム、厚紙、薄紙、封筒は手差しトレイにだけ設定できます。手差しトレイを OHP フィルム、厚紙、薄紙、封筒として設定する方法については「専用紙として設定する（設定変更）」（p. 7-15）をごらんください。
- 給紙トレイを両面不可紙、再生紙、特殊紙として設定する方法については「特殊紙設定」（p. 11-12）をごらんください。

■ 用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。

プリント品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンタやインクジェットプリンタでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダ用の穴が空いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

■ 用紙の保管

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、または包装紙から取出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てて置かず水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

■ ATS 機能（オートトレイスイッチ）

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙がなくなった場合は、以下の動作条件を満たした他の給紙トレイがあれば、自動的に給紙トレイを切換えてプリントを続けます。オプションの LCT を装着した場合は、最大 3,750 枚（A4□の場合）の連続プリントが可能となります。

＜動作条件＞

- 同じサイズの用紙
- 同じ向きの用紙
- 同じ種類の用紙

■ 給紙トレイ切換え順位

出荷時設定では ATS 機能（オートトレイスイッチ）がはたらいた場合、以下の優先順位で給紙トレイが選択されます。

第 1 給紙トレイ→第 2 給紙トレイ→第 3 給紙トレイ /LCT →第 4 給紙トレイ→手差しトレイ

7.2 手差しトレイの用紙設定について

ここでは、手差しトレイにセットされた用紙サイズおよび用紙種類の設定方法について説明します。

■ 用紙サイズを指定する（設定変更）

手差しトレイにセットした用紙の定型サイズを指定できます。
例えばインチサイズの用紙など、自動的にサイズ検出されない用紙を設定しておく便利です。

1

用紙を手差しトレイにセットします。

2

基本画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

3

手差しトレイのキーを押します。



4

「設定変更」を押します。



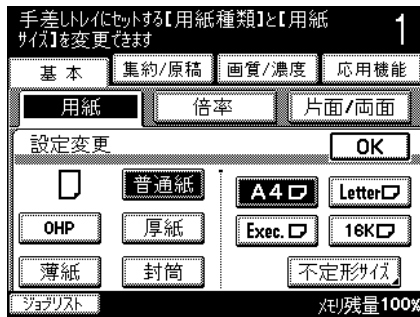
サイズ指定された用紙サイズ以外の用紙をセットした場合は、用紙サイズを自動検出しないため、紙づまりの原因となります。



手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52) をごらんください。

5

手差しトレイにセットした用紙のサイズを選択します。



6

[OK] を押します。

用紙画面にもどります。

手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

ひとこと

手差しトレイにセットした用紙の種類を選択できます。詳しくは、「専用紙として設定する（設定変更）」(p. 7-15) をごらんください。

7

■ 不定形サイズ用の紙をセットする（不定形サイズ）

不定形サイズの用紙は、手差しトレイだけにセットできます。
不定形サイズの用紙を使用する場合は、用紙サイズを入力する必要があります。

1

基本画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

手差しトレイのキーを押します。



3

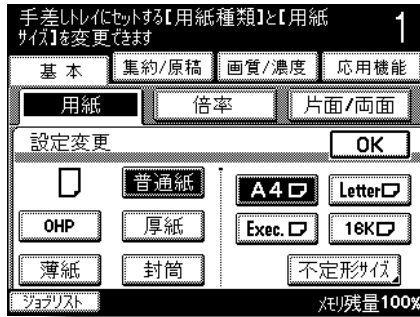
「設定変更」を押します。



手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52) をごらんください。

4

「[不定形サイズ]」を押します。

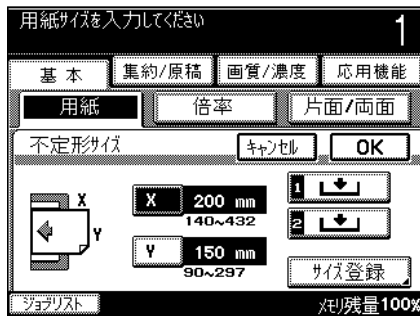


不定形サイズ画面が表示されます。

5

用紙の長さ [X] / 幅 [Y] を入力します。

- [X] が選択されていることを確認し、テンキーで X 辺の長さを入力します。(140 mm ~ 432 mm)
- [Y] を押し、テンキーで Y 辺の長さを入力します。(90 mm ~ 297 mm)



6

「[OK]」を押します。

用紙画面にもどります。

不定形サイズ用紙が設定されます。

ひとこと

手差しトレイにセットした用紙の種類を選択できます。詳しくは、「専用紙として設定する（設定変更）」(p. 7-15) をご覧ください。

ひとこと

- 入力した不定形サイズは、2 つまで登録できます。詳しくは、「目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズ）」(p. 7-12) をご覧ください。
- 登録した用紙サイズは [1] または [2] を押して呼出します。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値は入力できません。
- 入力された数値を修正するときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

7

■ 目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズ）

手差しトレイで使用する不定形サイズを2つまで登録できます。よく使用する用紙サイズを登録しておけば、次回使用するとき用紙サイズを入力する必要がなくなります。

1

基本画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

手差しトレイのキーを押します。



3

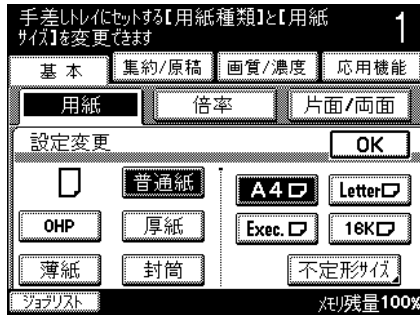
「設定変更」を押します。



手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52) をごらんください。

4

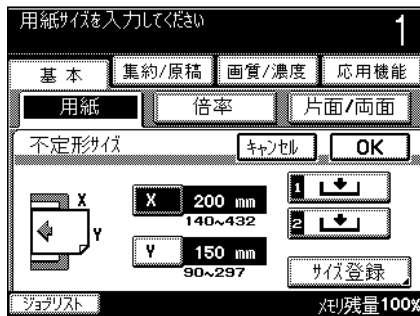
「[不定形サイズ]」を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

5

「[サイズ登録]」を押します。

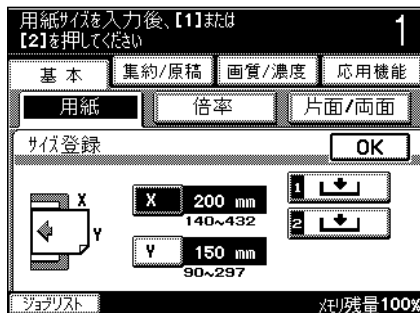


サイズ登録画面が表示されます。

6

用紙の長さ [X] / 幅 [Y] を入力します。

- [X] が選択されていることを確認し、テンキーで X 辺の長さを入力します。(140 mm ~ 432 mm)
- [Y] を押し、テンキーで Y 辺の長さを入力します。(90 mm ~ 297 mm)



ひとこと

手差しトレイにセットした用紙の種類を選択できます。詳しくは、「専用紙として設定する(設定変更)」(p. 7-15)をごらんください。

7

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値は入力できません。
- 入力された数値を修正するときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

7

登録する [1] または [2] のメモリキーを押します。

- 未登録のメモリキーを押した場合、メモリキーのアイコンが登録した用紙サイズの表示になり、登録済みであることを示します。

未登録

登録済み



8

[OK] を 2 回押します。

用紙画面にもどります。

不定形サイズの用紙が登録されます。

ひとこと

登録した用紙サイズは、不定形サイズ画面で [1] または [2] を押して呼出します。

■ 専用紙として設定する（設定変更）

OHP フィルムや特殊紙などを専用紙として設定しておくことで、自動用紙機能や ATS（オートトレイスイッチ）がはたらいたとき、専用紙として設定された給紙トレイは自動選択されなくなります。ただし、両面不可紙は自動用紙機能時、優先して選択されます。

ここでは手差しトレイでの OHP フィルム、厚紙、薄紙、封筒の設定方法を説明します。

1

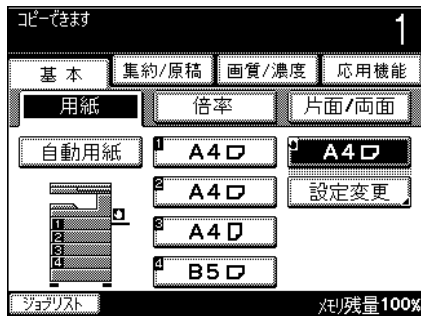
基本画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

手差しトレイのキーを押します。



3

「設定変更」を押します。



手差しトレイに OHP フィルムや厚紙をセットした場合、必ず該当する専用紙の種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。



手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52) をごらんください。

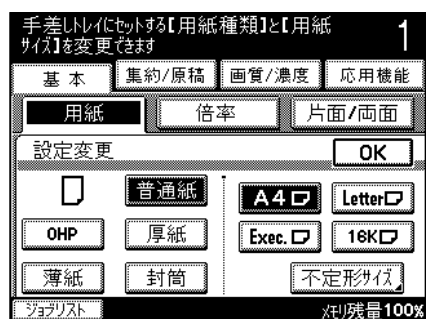


- 専用紙については、「専用紙について」(p. 7-5) をごらんください。
- 給紙トレイを両面不可紙、再生紙、特殊紙として設定する方法については、「特殊紙設定」(p. 11-12) をごらんください。
- 両面不可紙、再生紙、特殊紙に設定した手差しトレイも OHP フィルム、厚紙、薄紙、封筒として設定できます。

7

4

専用紙の種類を選択します。



5

[OK] を押します。

用紙画面にもどります。

手差しトレイに専用紙が設定されます。

詳しく説明します

給紙トレイによりセットできる専用紙に制限があります。セット可能な用紙種類については、「仕様」(p. 6-2)、「用紙種類および用紙容量」(p. 7-4)をごらんください。

7.3 原稿について

原稿をコピーするときは、ADF または原稿ガラス上にセットします。

ADF にセットできない原稿は、原稿ガラス上に直接セットしてコピーしてください。



■ ADF にセットできる原稿

ADF を使用する場合、2 つの設定があります。

- 通常設定
- 混載 /Z 折れ（混載原稿）設定

各設定によりセット可能な原稿種類に制限があります。

通常設定

	片面原稿	両面原稿
原稿種類／坪量	普通紙：35 g/m ² ～ 128 g/m ²	普通紙：50 g/m ² ～ 128 g/m ²
原稿サイズ	A3  ～ B6 	
積載量	80 枚（80 g/m ² ）	

混載 /Z 折れ（混載原稿）設定

	片面原稿	両面原稿
原稿種類／坪量	普通紙：50 g/m ² ～ 128 g/m ²	
原稿サイズ	混載原稿一覧（p. 3-16）参照	
積載量	80 枚（80 g/m ² ）	

■ ADF にセットする原稿についての注意

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原図などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿
- 129 g/m² 以上の厚手の原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせてある原稿
- 切取りや切抜きのある原稿
- ラベル用紙
- オフセットマスター
- とじ穴の空いた原稿
- 本機でプリントした直後の原稿



2 つ折り、Z 折り原稿など
折目のついた原稿を ADF に
セットするときは折目をよ
く伸ばしてください。

■ 原稿ガラス上にセットできる原稿

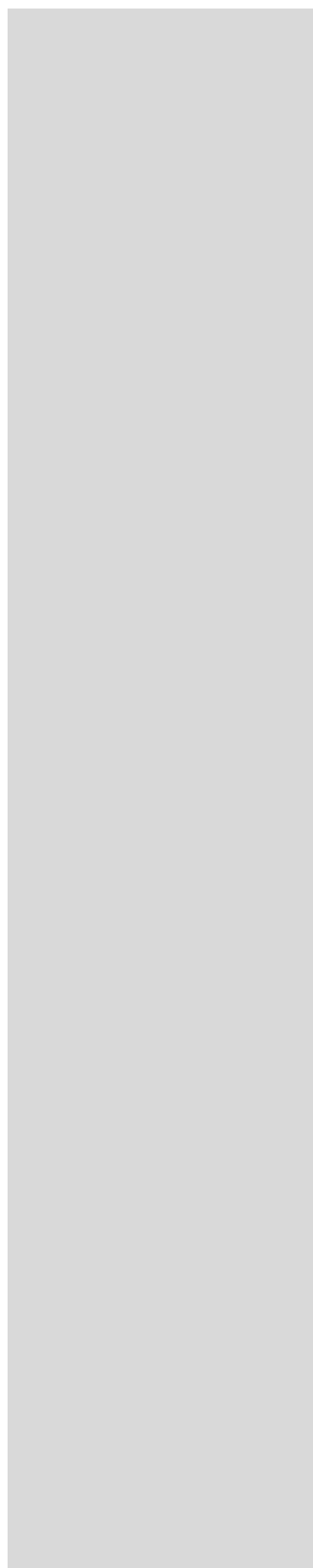
ADFにセットできない原稿などを、原稿ガラス上に直接セットしてコピーします。

原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
原稿サイズ	A3 □ 以下 11 × 17 □ 以下
最大質量	2 kg

■ 原稿ガラス上にセットする原稿についての注意

以下のような原稿を原稿ガラス上にセットする場合は注意が必要です。

- 11 × 17、11 × 14、8 1/2 × 13 などのインチサイズの原稿は、原稿サイズを自動検出しません。サービス技術者による設定が必要です。詳しくはサービス技術者にご相談ください。
- 不定形サイズの原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できないため、自動用紙および自動倍率機能が使用できません。不定形サイズの原稿をセットした場合は、コピーする用紙サイズを選択してください。
- OHPフィルムや第2原図などの透明度の高い原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できません。原稿と同じサイズの白紙を重ねてセットしてください。
- 質量が2 kgを超えるような立体原稿は、故障の原因となりますので、原稿ガラス上にはセットしないでください。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。故障の原因となります。



第 8 章

応用機能

便利な応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

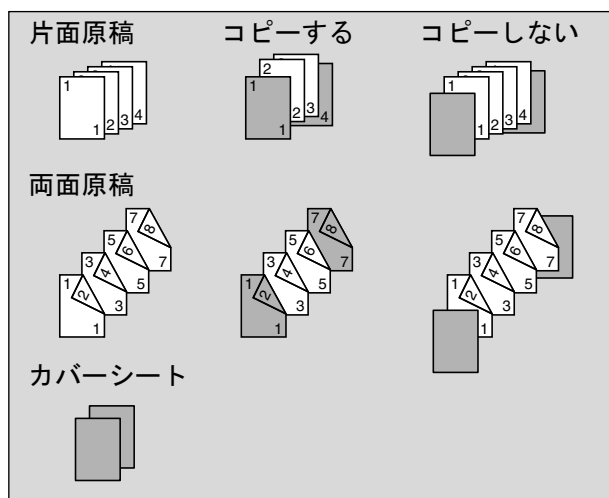
8.1 表紙をつける（カバーシート）	8-2
8.2 挿入紙をつける（インタシート）	8-5
8.3 OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）	8-8
8.4 コピーにとじ代をつける（とじ代作成）	8-10
8.5 原稿の不要部分を消去してコピーする（イレース）	8-12
8.6 画像を繰り返しコピーする（イメージリピート）	8-14
8.7 ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）	8-17
8.8 中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）	8-21
8.9 付属情報を印字してコピーする（画像付加）	8-23
8.10 画像を重ねてコピーする（オーバーレイ）	8-27
8.11 原稿の濃淡を反転してコピーする（白黒反転）	8-34
8.12 連続読み込み	8-35

8.1 表紙をつける（カバーシート）

表紙にしたい用紙を指定して、コピーにオモテ表紙やウラ表紙を挿入できます。

また、原稿の最初のページや最後のページをコピーすることもできます。

表紙	機能名	説明
オモテ表紙	[コピーする]	原稿の最初のページがオモテ表紙にコピーされます。
	[コピーしない]	コピーの先頭にオモテ表紙が挿入されます。
ウラ表紙	[なし]	ウラ表紙は挿入されません。
	[コピーする]	原稿の最後のページがウラ表紙にコピーされます。
	[コピーしない]	コピーの最後にウラ表紙が挿入されます。



原則

カバーシート機能はオプションの ADF を装着している場合にだけ使用できる機能です。

1

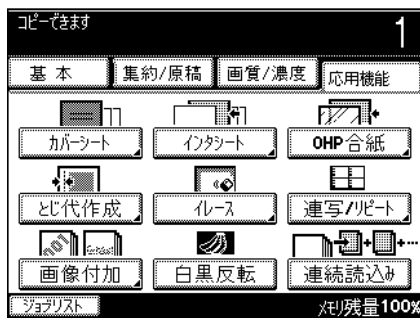
原稿を ADF にセットします。

2

表紙用の用紙と本文用の用紙をそれぞれ目的の給紙トレイにセットします。

3

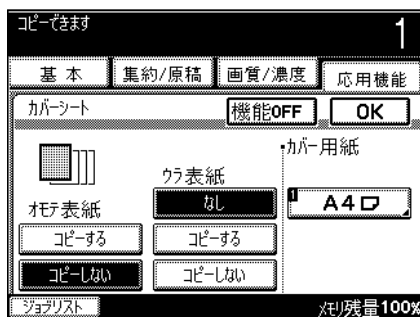
〔応用機能〕 を押し、〔カバーシート〕 を押します。



カバーシート画面が表示されます。

4

表紙の設定を選択します。



5

「カバー用紙」のキーを押します。

カバー用紙画面が表示されます。

参照

- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。
- 原稿枚数が 80 枚を超える場合は、「原稿を連続して読込む（連続読み）」(p. 3-12) をごらんください。

ひとこと

表紙用の用紙と本文用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。

参照

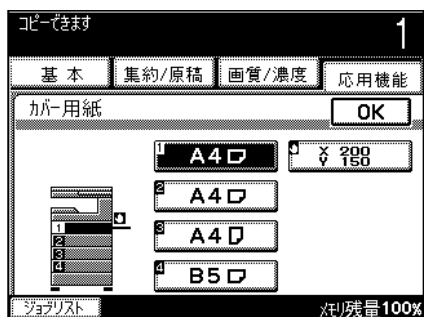
表紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について「用紙種類および用紙容量」(p. 7-4)、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52) をごらんください。

ひとこと

カバーシート機能を解除するときは〔機能 OFF〕を押します。

6

表紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



7

[OK] を2回押します。

8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

テンキーでコピー部数を入力します。

10

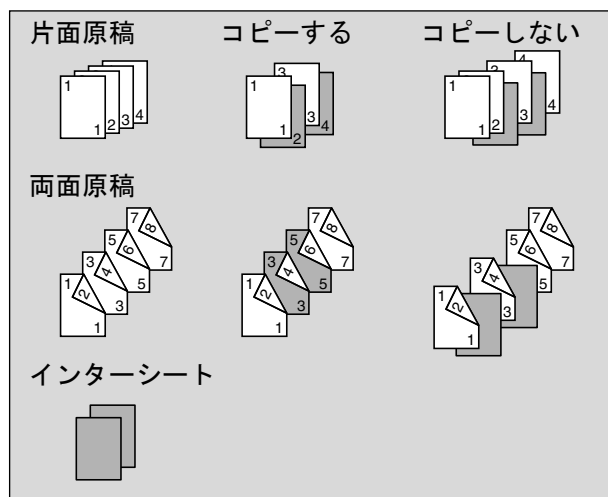
【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

8.2 挿入紙をつける（インタシート）

カラーペーパーなどの用紙を、コピーの途中に挿入紙（インタシート）として挿入できます。

インタシートには「コピーする」と「コピーしない」の設定があり、挿入する用紙にコピーするかどうか設定できます。

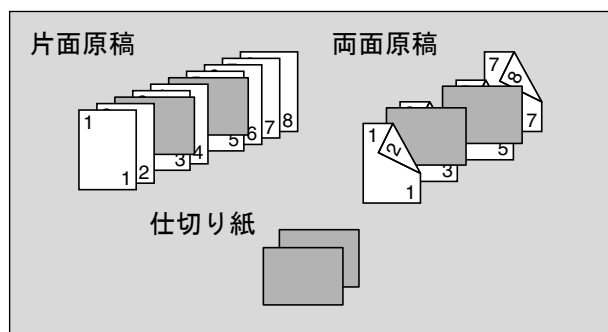


原則

インタシート機能はオプションの ADF を装着している場合にだけ使用できる機能です。

1

原稿の任意の場所に仕切り紙を差込み、ADF にセットします。



詳しく説明します

インタシートを挿入したい場所に、原稿とは異なる幅の用紙を仕切り紙として差込みます。

参照

- 原稿のセット方法については、「サイズの異なる原稿をセットする（混載 / Z 折れ）」(p. 3-16) をご覧ください。
- 原稿枚数が 80 枚を超える場合は、「原稿を連続して読込む（連続読込み）」(p. 3-12) をご覧ください。

2

挿入用の用紙と本文用の用紙をそれぞれ目的のトレイにセットします。

3

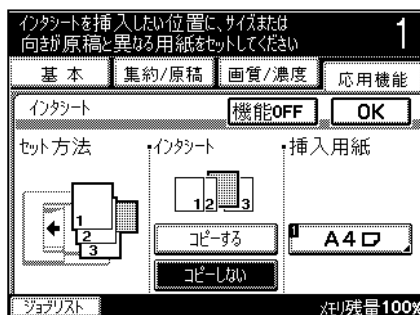
「[応用機能]」を押し、「[インタシート]」を押します。



インタシート画面が表示されます。

4

「[コピーする]」または「[コピーしない]」を押します。



5

「挿入用紙」のキーを押します。
挿入用紙画面が表示されます。

ひとこと

挿入用の用紙と本文用の用紙には同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。



挿入用の用紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について「用紙種類および用紙容量」(p. 7-4)、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52)をごらんください。

ひとこと

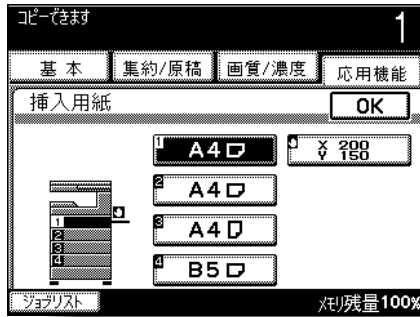
インタシート機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。



- 「[コピーする]」に設定した場合は、差込んだ仕切り紙の次のページが挿入用の用紙にコピーされます。両面コピーのときは差込んだ仕切り紙の次の2ページが挿入用の用紙に両面コピーされます。
- 「[コピーしない]」に設定した場合は、仕切り紙を差込んだ場所に挿入用の用紙が挿入されます。

6

挿入用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



7

[OK] を2回押します。

8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

テンキーでコピー部数を入力します。

10

【スタート】を押します。

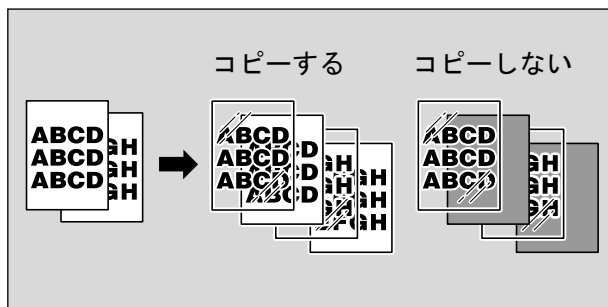
コピーが開始されます。

8

8.3 OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする (OHP 合紙)

OHP フィルムにコピーする場合に、コピー後の熱で OHP フィルム同士が密着するのを防ぐため、間に用紙（合紙）を挿入します。

OHP 合紙には「コピーする」と「コピーしない」の設定があり、合紙にコピーするかどうか設定できます。



原則

フィニッシャー機能は使用できません。

1

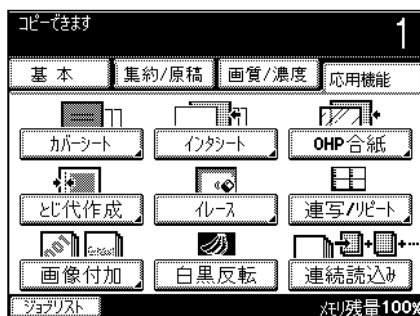
原稿をセットします。

2

OHP フィルムを手差しトレイにセットします。合紙用の用紙を目的のトレイにセットします。

3

「応用機能」を押し、「OHP 合紙」を押します。



OHP 合紙画面が表示されます。

参照

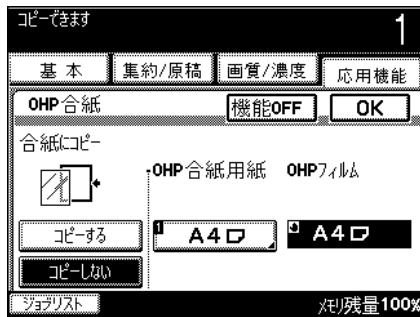
- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8)をごらんください。
- OHP フィルムの補給方法については、「用紙種類および用紙容量」(p. 7-4)、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-52)、「専用紙として設定する(設定変更)」(p. 7-15)をごらんください。

ひとこと

合紙用の用紙は OHP フィルムと同じサイズの用紙を使用し、OHP フィルムと同じ方向にセットしてください。

4

「[コピーする] または [コピーしない]」を押します。

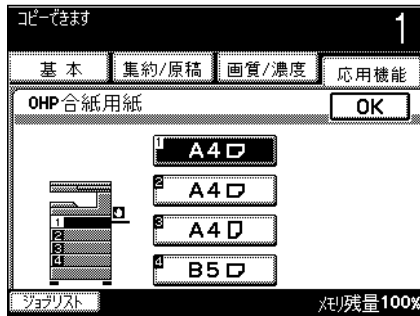


5

「OHP 合紙用紙」のキーを押します。

6

合紙用の用紙をセットした給紙トレイを選択します。



7

「[OK]」を2回押します。

8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

ひとこと

OHP 合紙機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。

詳しく説明します

- 「[コピーする]」に設定した場合は、OHP フィルムと交互に合紙が挿入され、原稿の同じページが OHP フィルムと合紙のそれぞれにコピーされます。
- 「[コピーしない]」に設定した場合は、OHP フィルムと交互に白紙の合紙が挿入されます。

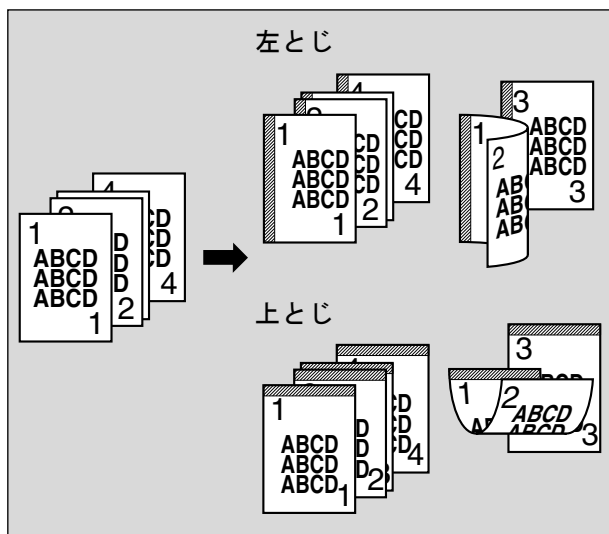
8

詳しく説明します

コピー部数は1です。設定変更できません。

8.4 コピーにとじ代をつける（とじ代作成）

原稿の画像をファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつかってコピーできます。とじ代作成機能を使用して両面コピーする場合は、とじ代位置に合わせてコピーする画像の向きを補正します。また、とじ代をつくらずに画像の向きだけを補正できます。



1

原稿をセットします。

2

〔応用機能〕を押し、〔とじ代作成〕を押しします。



とじ代作成画面が表示されます。

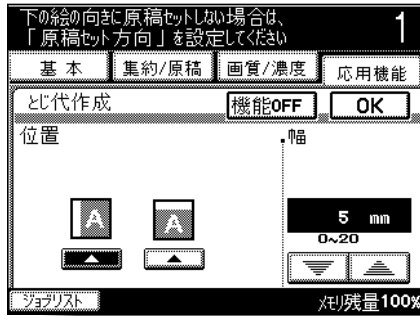


原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

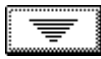
3

とじ代位置を選択します。

○ 左または上の位置キーを押します。



4



でとじ代量を設定します。

5

[OK] を押します。

6

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7

テンキーでコピー部数を入力します。

8

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

ひとこと

- とじ代機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。
- とじ代位置は、それぞれ原稿に対応した位置を示します。

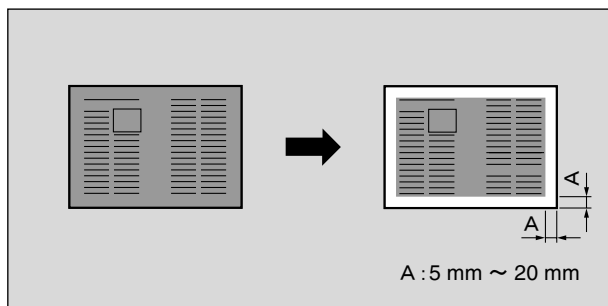
詳しく説明します

とじ代量を 0 mm に設定すると、両面コピーのときに画像の向きだけを補正できます。

とじ代量の数値を保持したまま、とじ代位置を変更できます。

8.5 原稿の不要部分を消去してコピーする（イレース）

受信したファクス用紙の受信記録や、パンチ穴の影など、原稿の周囲の不要部分を消去してコピーします。



1

原稿をセットします。

2

〔応用機能〕を押し、〔イレース〕を押しします。

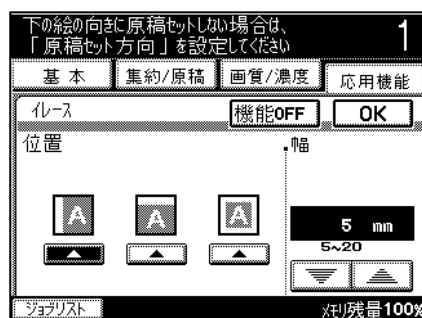


イレース画面が表示されます。

3

イレース位置を選択します。

○ 左、上、枠の位置キーを押します。



4



でイレース量を設定します。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

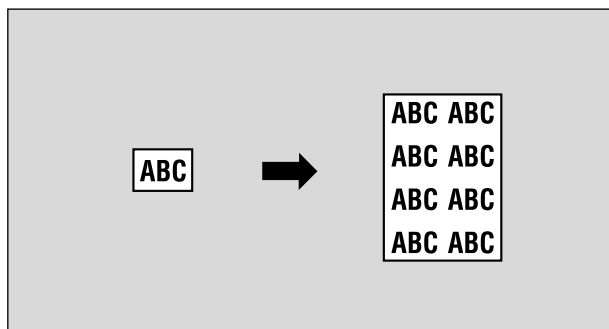
ひとこと

- ・イレース機能を解除するときは〔機能 OFF〕を押します。
- ・枠は、原稿の周囲 4 辺が同じ量で消去されます。
- ・イレース位置は、それぞれ原稿に対応した位置を示します。

- 5 [OK] を押します。
- 6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 7 テンキーでコピー部数を入力します。
- 8 【スタート】を押します。
コピーが開始されます。

8.6 画像を繰返しコピーする（イメージリポート）

指定した読み込み範囲を、1枚の用紙に繰返してコピーします。



1

原稿をセットします。

2

使用する用紙を目的のトレイにセットします。

3

〔応用機能〕を押し、〔連写／リピート〕を押しします。



連写／リピート画面が表示されます。

4

〔イメージリポート〕を押しします。



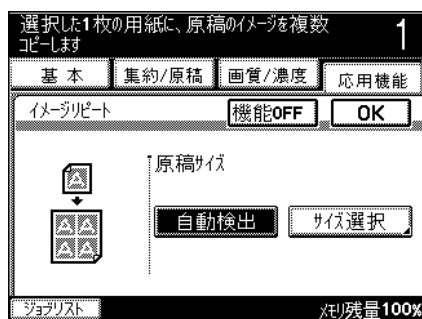
原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

ひとこと

- 連写／リピート機能を解除するときは〔機能OFF〕を押しします。

5

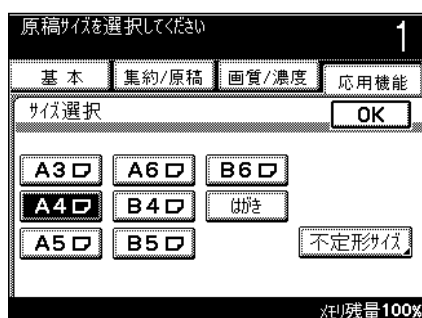
原稿の読み込む範囲に合わせて、[自動検出] または [サイズ選択] を押します。



- [自動検出] を選択した場合は、原稿が定形サイズで読み込まれます。手順 8 へ進みます。
- [サイズ選択] を選択した場合は、サイズを選択または不定形サイズを入力できます。サイズ選択画面が表示されます。

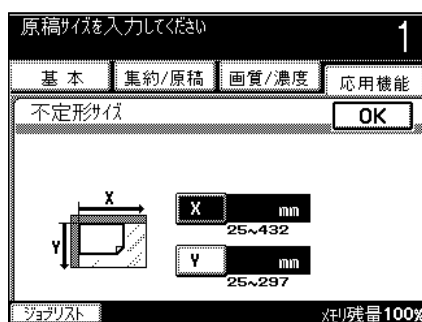
6

読み込み範囲のサイズを選択します。



- [不定形サイズ] を押すと不定形サイズ画面が表示されます。[X] または [Y] を押し、テンキーで数値を入力して [OK] を押します。

<不定形サイズ画面>



ひとこと

イメージリポート機能を解除するときは [機能 OFF] を押します。

詳しく説明します

- ・設定可能範囲を超える数値は入力できません。
- ・入力された数値を修正するときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- ・イメージリポートをプログラム登録する場合、定型サイズと不定形サイズの両方を登録することができます。プログラム登録方法について、詳しくは、「コピープログラムを使用する（プログラム）」(p. 4-7) をご覧ください。

8

7

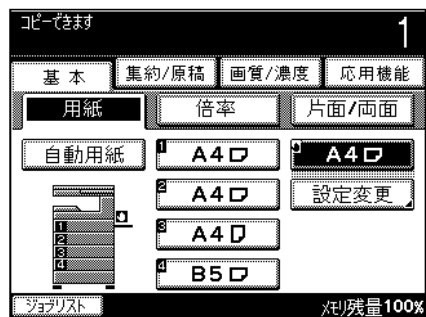
[OK] を押します。

8

[OK] を2回押します。

9

基本画面で「用紙」を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。



10

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11

テンキーでコピー部数を入力します。

12

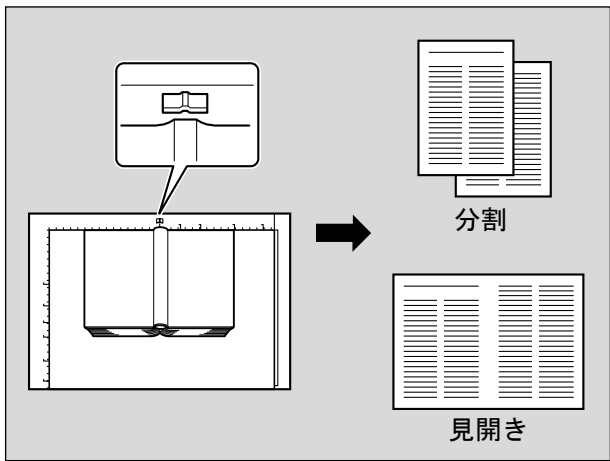
【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

8.7 ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする (ブック連写)

本やカタログなどのブック原稿をコピーする場合に、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとしてコピーできます。またページ揃えやブックイレーズ機能を合わせて設定できます。ブック連写には以下の種類があります。

機能名	説明
[分割]	ブック原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割してコピーされます。使用する用紙サイズに合わせて原稿を読込みます。
[見開き]	ブック原稿が 1 ページ分の原稿としてコピーされます。



原則

原稿は原稿ガラス上にセットします。

1

ブック原稿を原稿ガラス上にセットします。

2

使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

3

〔応用機能〕を押し、〔連写／リピート〕を押しします。



連写／リピート画面が表示されます。

4

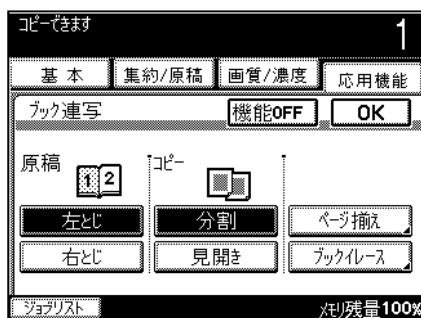
〔ブック連写〕を押しします。



ブック連写画面が表示されます。

5

原稿のとじ方向にあわせて〔左とじ〕または〔右とじ〕を押しします。



ひとこと

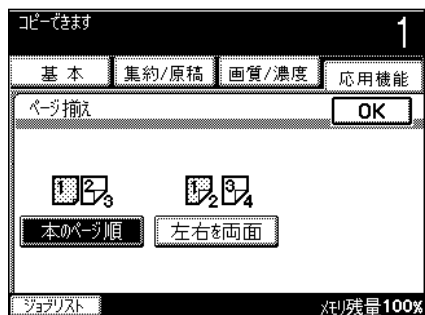
- 連写／リピート機能を解除するときは〔機能OFF〕を押しします。

6

〔分割〕または〔見開き〕を押します。

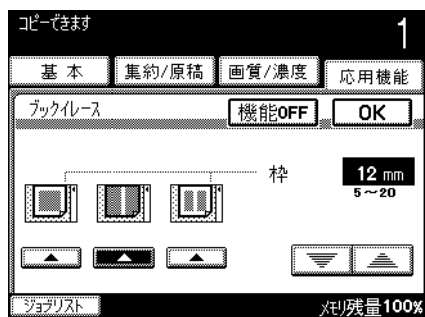
- ページを分割して用紙の両面にコピーする場合は、〔ページ揃え〕を押してページ揃え機能を設定します。〔本のページ順〕または〔左右を両面〕を押し、〔OK〕を押します。

<ページ揃え画面>



- 必要に応じて、〔ブックイレース〕を押してブックイレース機能を設定します。「枠」のキーを選択し、イレース量を 、 で設定して〔OK〕を押します。

<ブックイレース画面>



7

〔OK〕を2回押します。

詳しく説明します

- 〔ページ揃え〕を〔本のページ順〕に設定した場合は、原稿の左右ページを2枚の用紙へ、原稿と同じページ順になるようにコピーします。
- 〔ページ揃え〕を〔左右を両面〕に設定した場合は、原稿の左右ページを1枚の用紙のオモテとウラにコピーします。
- 「ブックイレース」を設定すると、周囲や中央部にできる黒い影を消すことができます。

ひとこと

ページ揃え機能を解除するときは〔機能 OFF〕を押します。

8

8

基本画面で「用紙」を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。



9

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10

テンキーでコピー部数を入力します。

11

【スタート】を押します。

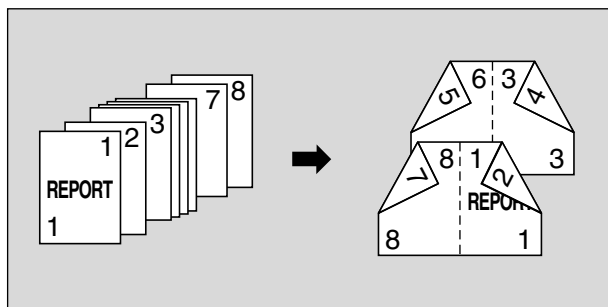
コピーが開始されます。



【ページ揃え】を【本のページ順】に設定した場合の原稿の読み込みについては、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」(p. 3-14)をご覧ください。

8.8 中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）

2つ折りにしたとき中とじ本の仕上りになるように、原稿のページを並べ換えて両面コピーします。オプションのフィニッシャーが装着されている場合は、ステープルでとじることができます。



1

原稿をセットします。

2

〔応用機能〕を押し、〔連写 / リピート〕を押します。



連写 / リピート画面が表示されます。

詳しく説明します

原稿枚数は片面原稿の場合は4の倍数、両面原稿の場合は2の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。

参照

ステープルとじについては、「用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）」（p. 3-54）をごらんください。

参照

- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-8）をごらんください。
- 原稿枚数が80枚を超える場合は、「原稿を連続して読込む（連続読込み）」（p. 3-12）をごらんください。

詳しく説明します

とじ代幅は自動的に設定されます。

3

「小冊子」を押します。



4

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5

テンキーでコピー部数を入力します。

6

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

ひとこと

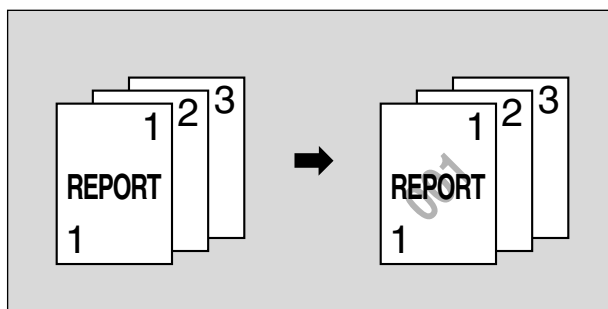
小冊子機能を解除するときは再度「小冊子」を押します。

8.9 付属情報を印字してコピーする（画像付加）

用紙背景の中央に、複数部コピーする場合の管理用ナンバを入れたり、「至急」などのスタンプを入れたりしてコピーできます。

画像付加機能には以下の種類があります。

機能名	説明
[ナンバリング]	コピー部数ごとに3桁の管理用ナンバが印字されます。
[スタンプ]	選択した定形文字パターン（極秘、複製厳禁、至急、CONFIDENTIAL、DRAFT、仮、回収、回覧）が印字されます。



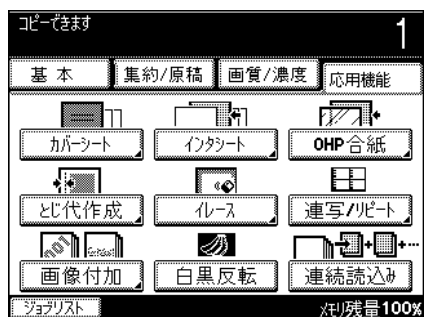
■ 管理用ナンバを印字する（ナンバリング）

1

原稿をセットします。

2

[応用機能] を押し、[画像付加] を押します。



画像付加画面が表示されます。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

3

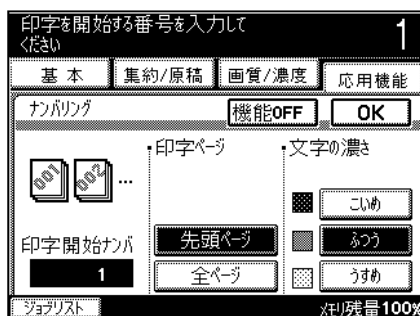
「ナンバリング」を押します。



ナンバリング画面が表示されます。

4

テンキーで「印字開始ナンバ」を入力します。



5

「印字ページ」および「文字の濃さ」をそれぞれ選択します。

6

「OK」を2回押します。

7

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8

テンキーでコピー部数を入力します。

9

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

ひとこと

画像付加機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。



オプションのハードディスクを装着している場合、オーバレイ機能を使用できます。詳しくは、「画像を重ねてコピーする（オーバレイ）」(p. 8-27)をご覧ください。

ひとこと

ナンバリング機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。



詳しく説明します

- ・「印字開始ナンバ」は0～999の範囲で入力します。
- ・管理用ナンバは常に3桁で印字されます。「印字開始ナンバ」に「1」を入力した場合、印字は「001」となります。
- ・【クリア】を押すと、「印字開始ナンバ」は「1」に設定されます。



詳しく説明します

- ・「印字ページ」を「先頭ページ」に設定した場合は、コピーの先頭ページにだけ管理ナンバが印字されます。[全ページ]に設定した場合は、すべてのページに管理ナンバが印字されます。
- ・「文字の濃さ」を選択すると、印字される管理ナンバの色の濃さを設定できます。

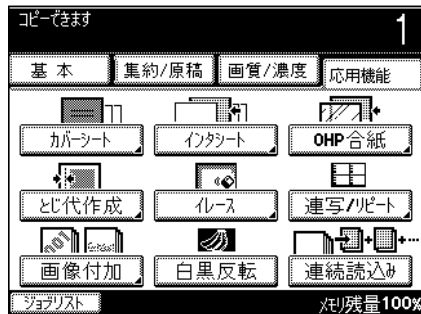
■ コピー画像の中心に定形文字を印字する（スタンプ）

1

原稿をセットします。

2

〔応用機能〕 を押し、〔画像付加〕 を押します。



画像付加画面が表示されます。

3

〔スタンプ〕 を押します。



スタンプ画面が表示されます。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をご覧ください。

ひとこと

画像付加機能を解除するときは〔機能 OFF〕を押します。

8

4

スタンプのパターンおよび「印字ページ」をそれぞれ選択します。



詳しく説明します

「印字ページ」を「先頭ページ」に設定した場合は、コピーの先頭ページにだけスタンプが印字されます。「全ページ」に設定した場合は、すべてのページにスタンプが印字されます。

ひとこと

スタンプ機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。

5

「OK」を2回押します。

6

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7

テンキーでコピー部数を入力します。

8

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

8.10 画像を重ねてコピーする（オーバレイ）

あらかじめ画像をハードディスクに登録しておき、原稿の画像に登録した画像を重ねてコピーできます。

■ 原則

オーバレイ機能はオプションのハードディスクを装着している場合にだけ使用できる機能です。

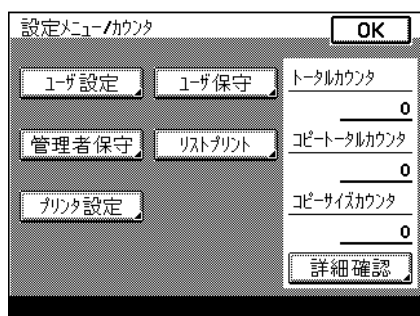
■ オーバレイ画像に登録する（オーバレイ登録）

1

オーバレイ登録したい原稿をセットします。

2

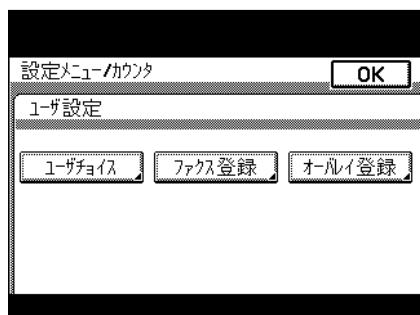
【設定メニュー／カウンタ】を押し、[ユーザ設定]を押しします。



ユーザ設定画面が表示されます。

3

[オーバレイ登録] を押しします。



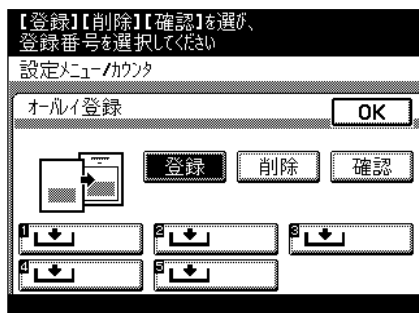
オーバレイ登録画面が表示されます。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

4

「登録」を押し、画像を登録する [1] ～ [5] の番号キーを押します。



- 未登録の番号キーを押した場合、番号キーのアイコンが登録した画像サイズの表示になり、登録済みであることを示します。

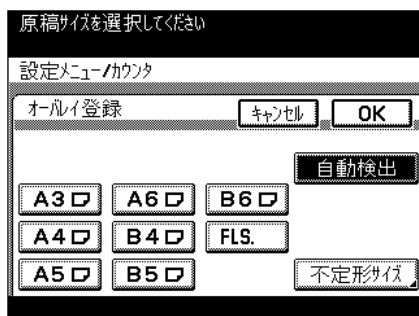
未登録

登録済み



5

読み込み範囲のサイズを選択します。



- 「自動検出」を押すと原稿の画像に応じて読み込み範囲が自動検出されます。

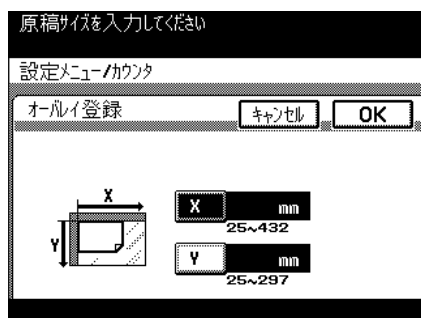
詳しく説明します

- 画像が登録されている番号キーには読み込み範囲のサイズが表示されます。
- 画像が登録されている番号キーに登録する場合は、登録を削除してから再度「登録」を押し、番号キーを押します。
- 登録を削除する場合は、「削除」を押して画像が登録されている番号キーを押します。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値は入力できません。
- 入力された数値を修正するときは、「クリア」を押し、正しい数値を入力します。
- 設定変更を取消するときは「キャンセル」を押します。

- [不定形サイズ] を押すと不定形サイズの入力画面が表示されます。[X] または [Y] を押し、テンキーで数値を入力して [OK] を押します。

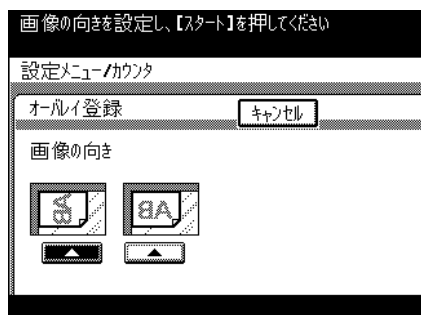


6

[OK] を押します。

7

原稿の向きを選択します。



8

【スタート】を押します。

読み込みが開始され、オーバーレイ画像が登録されます。

ひとこと

設定変更を取消すときは
[キャンセル] を押します。

8

■ オーバレイ画像を呼出す

登録したオーバーレイ画像を呼出し、原稿の画像と重ねてコピーします。

1

原稿をセットします。

2

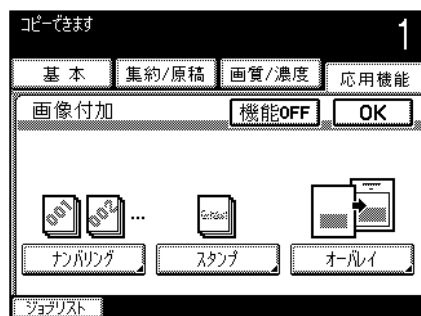
〔応用機能〕 を押し、〔画像付加〕 を押します。



画像付加画面が表示されます。

3

〔オーバーレイ〕 を押します。



オーバーレイ画面が表示されます。



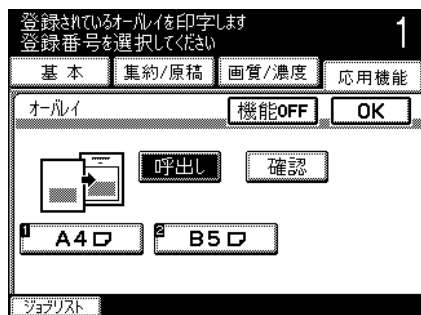
原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

ひとこと

画像付加機能を解除するときは〔機能 OFF〕 を押します。

4

「[呼出し]」を押し、画像が登録されている番号キーを選択します。



5

印字位置を設定します。

○ トップ、センター、ボトムの位置キーを押します。



6

「印字ページ」を選択します。

7

「[OK]」を3回押します。

8

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9

テンキーでコピー部数を入力します。

10

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

詳しく説明します

登録済みの番号キーには読み込み範囲のサイズが表示されます。

ひとこと

オーバーレイ機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。

詳しく説明します

「印字ページ」を「先頭ページ」に設定した場合は、コピーの先頭ページにだけオーバーレイ画像が重ねてコピーされます。[全ページ]に設定した場合は、すべてのページにオーバーレイ画像が重ねてコピーされます。

ひとこと

設定変更を取消すときは「キャンセル」を押します。

■ オーバレイ画像を確認する

オーバーレイ画面またはオーバーレイ登録画面から、登録した画像だけを印字して確認できます。

ここでは応用機能のオーバーレイ画面から確認する方法を説明します。

1

〔応用機能〕 を押し、〔画像付加〕 を押します。



画像付加画面が表示されます。

2

〔オーバーレイ〕 を押します。



オーバーレイ画面が表示されます。

ひとこと

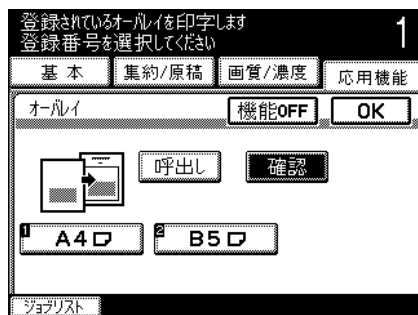
オーバーレイ登録画面から確認する場合は、オーバーレイ登録画面を表示し、手順3に進んで同じ手順を行います。オーバーレイ登録画面の表示方法については、「オーバーレイ画像を登録する（オーバーレイ登録）」(p. 8-27) をご覧ください。

ひとこと

画像付加機能を解除するときは〔機能 OFF〕 を押します。

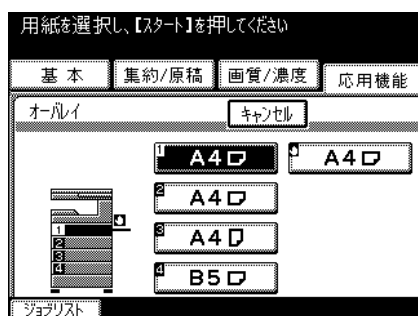
3

【確認】を押し、画像が登録されている番号キーを選択します。



4

用紙をセットしたトレイを選択します。



5

【スタート】を押します。
オーバーレイ画像の印字が開始されます。

詳しく説明します

登録済みの番号キーには読み込み範囲のサイズが表示されます。

ひとこと

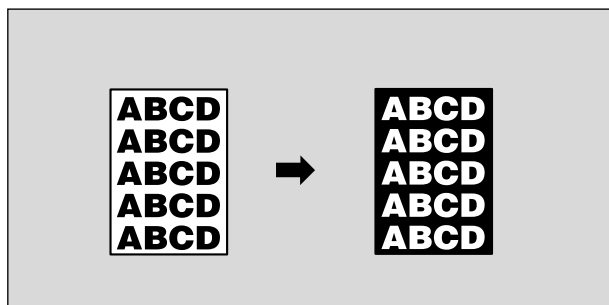
オーバーレイ機能を解除するときは「機能 OFF」を押します。

ひとこと

設定変更を取消すときは「キャンセル」を押します。

8.11 原稿の濃淡を反転してコピーする（白黒反転）

原稿の濃淡および白黒（階調）を反転させてコピーします。



1

原稿をセットします。

2

〔応用機能〕 を押し、〔白黒反転〕 を押します。



3

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

4

テンキーでコピー部数を入力します。

5

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 3-8) をごらんください。

ひとこと

白黒反転機能を解除するときは再度〔白黒反転〕を押します。

8.12 連続読込み

原稿を連続して読込めるように設定します。

1

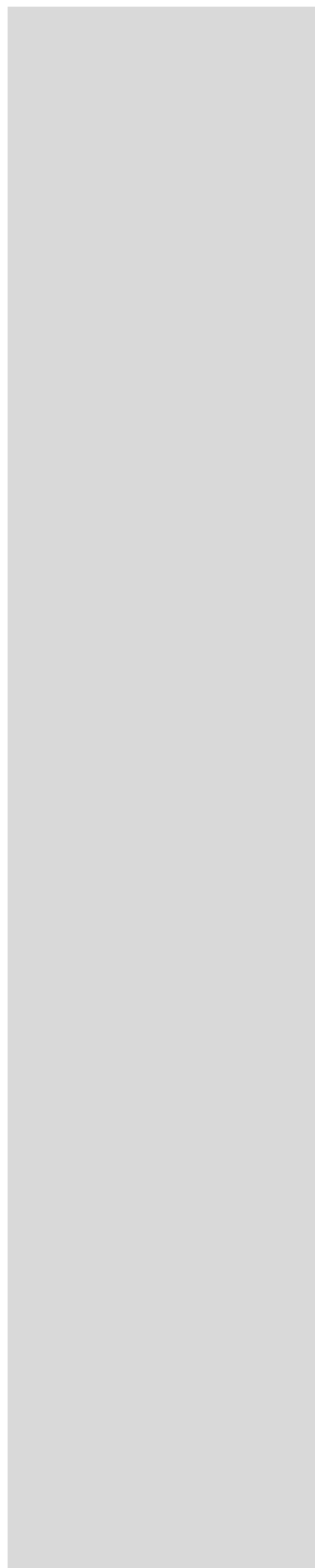
〔応用機能〕を押し、〔連続読込み〕を押します。



原稿を連続で読込む方法については、「原稿を連続して読込む（連続読込み）」(p. 3-12)をごらんください。

ひとこと

連続読込み機能を解除するときは再度〔連続読込み〕を押します。



第 9 章

トナーボトル交換／ ステープル針交換／パンチくず処理

トナーボトルの交換やステープル針の交換、処理などについて説明します。

9.1 トナーボトルを交換する	9-2
9.2 ステープル針を交換する	9-7
9.3 ステープル針がつまったら	9-14
9.4 パンチくずを処理する	9-23

9.1 トナーボトルを交換する

トナーが残り少なくなると、下図の事前通知メッセージが表示されます。



トナーがなくなると、下図のトナー交換処理メッセージが表示され、コピーができなくなります。



詳しく説明します

はじめに「トナーを交換してください」が表示され、そのあと「トナーがなくなりました」が表示されると本機は停止します。「トナーを交換してください」が表示されてから、「トナーがなくなりました」が表示されるまでのプリント枚数は、プリント条件、消耗品、交換部品によって異なります。最初のメッセージが表示されたら、保守契約にしたがってトナーボトル交換の準備を行ってください。

ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってトナーボトルの交換を行ってください。

参照

トナーボトルの交換のしかたについては、「トナーボトル交換のしかた」(p. 9-4)をごらんください。

⚠ 注意

トナーおよびトナーボトルの取扱い
トナーまたはトナーボトルを火中に投じないでください。
トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

必ず守ってください

「トナーがなくなりました」
(トナー交換処理メッセージ)が表示されるまではトナーボトルの交換をしないでください。

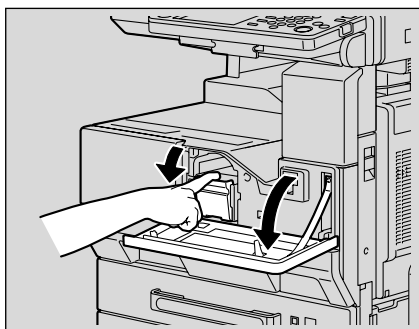
■ トナーボトル交換のしかた

1

前ドアを開きます。

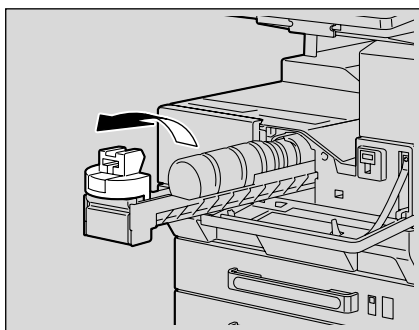
2

トナーホッパーを手前に最後まで引出します。



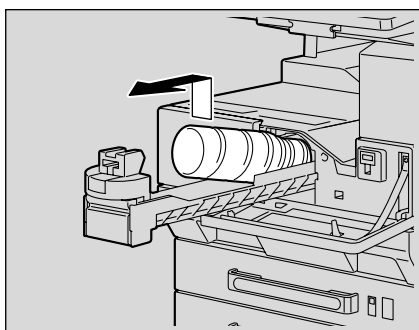
3

つまみを引きながらトナーホルダを起こします。



4

使い終わったトナーボトルをゆっくり引出します。



必ず守ってください

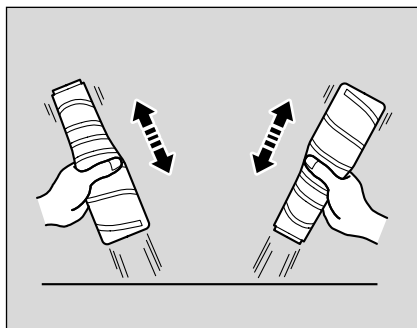
トナーボトルは指定のものをご使用ください。異なるトナーボトルを使用すると故障の原因になります。

必ず守ってください

トナーボトルはサービス技術者が回収しますので、捨てずに保管してください。

5

新しいトナーボトルを机やテーブルなどの固い場所で、4～5回ずつ向きを変えて落とします。

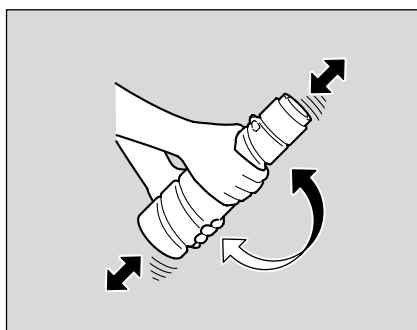


必ず守ってください

トナーボトル内でトナーが固まっていることがありますので、必ずこの動作を行って、トナーをよく砕いてからトナーボトルの交換をしてください。

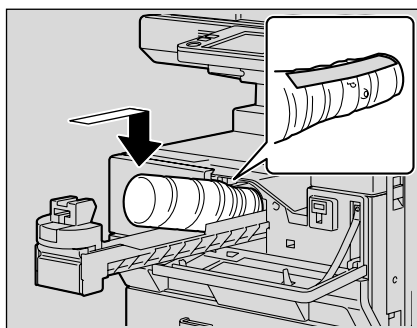
6

新しいトナーボトルを、上下に5回よく振ります。



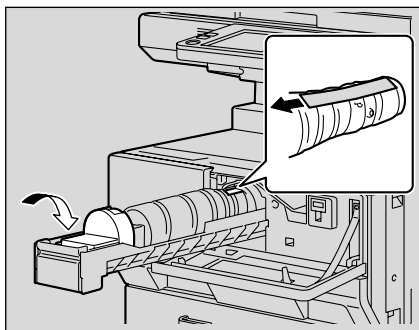
7

トナーボトルのシール部を上に向け、トナーホッパーにセットします。



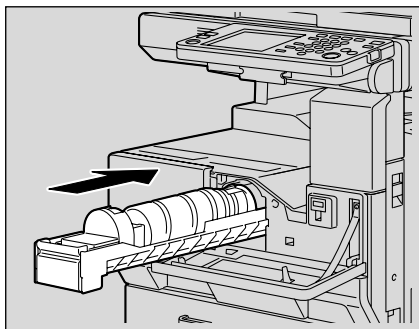
8

トナーホルダをロックするまで倒します。トナーボトルのシール部を持ち、手前にゆっくりと引抜きます。



9

トナーホッパーを“カチッ”と音がするまでもどします。



10

前ドアを閉じます。

必ず守ってください

前ドアを閉じると、自動的にトナー補給が開始されます。

トナー補給中は、電源を切ったり他のドアを開けたりしないでください。

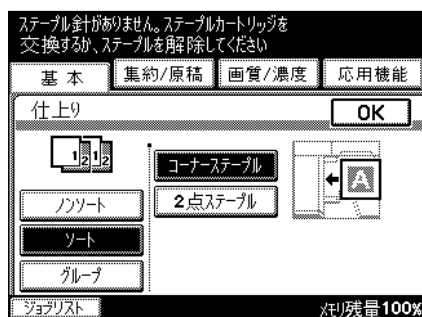
ひとこと

トナーボトルを交換した直後で印刷が薄い場合は、トナー補給を行ってください。トナー補給について詳しくは「トナー補給」(p. 11-20)をごらんください。

9.2 ステープル針を交換する

ステープル針がなくなると下図のメッセージが表示されます。

例：フィニッシャーのステープル針が不足したときのメッセージ



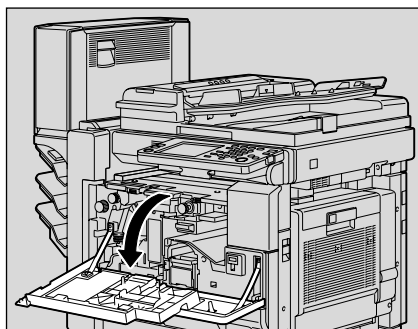
 **必ず守ってください**

ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前に、ステープルカートリッジを取外すと故障の原因になります。

■ フィニッシャーのステープルカートリッジ交換のしかた

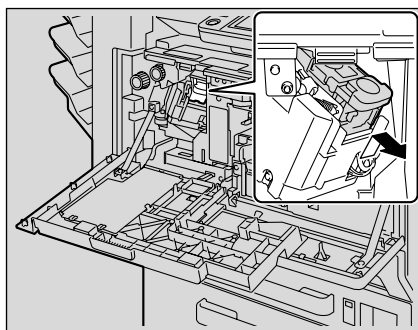
1

前ドアを開きます。



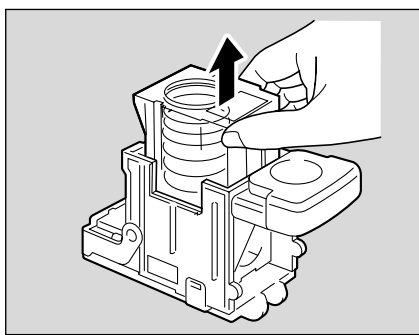
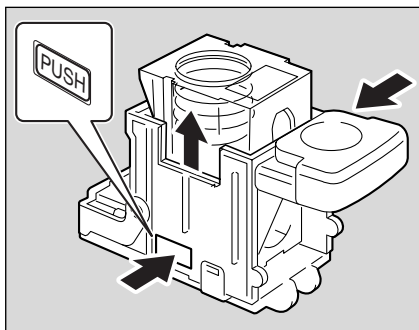
2

ステープルホルダを押上げて手前に引抜きます。



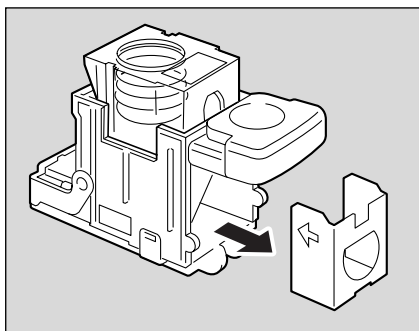
3

【PUSH】部分を押しします。ステープルホルダのロックが解除されます。



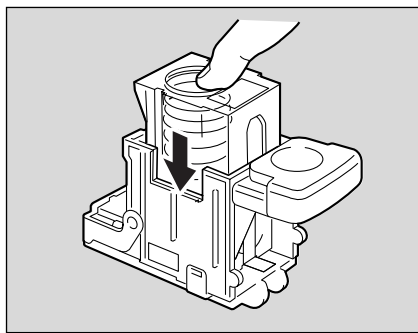
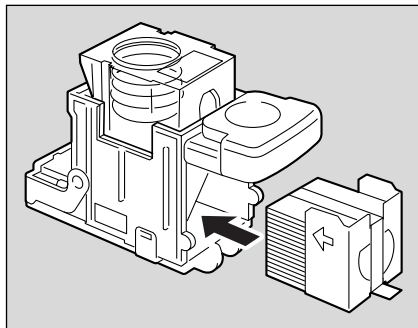
4

ステープルホルダから空になったステープルカートリッジを取出します。



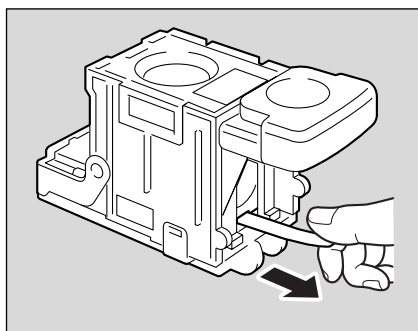
5

新しいステープルカートリッジをステープルホルダに
セットします。



6

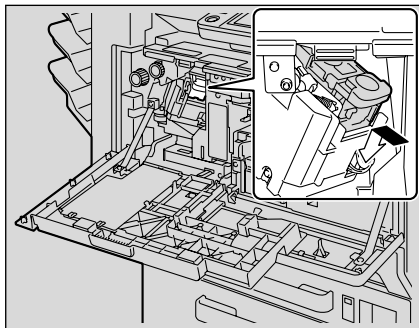
ストッパーシールを静かに引抜きます。



9

7

ステープルホルダを差込んで“カチッ”と音がするまで押下げます。



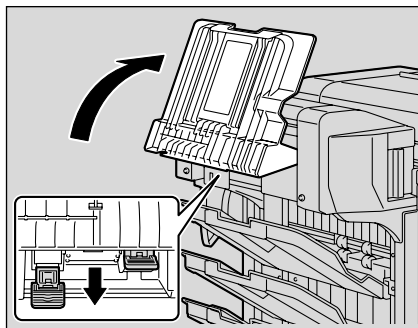
8

前ドアを閉じます。

■ 中綴じ機のステープルカートリッジ交換のしかた

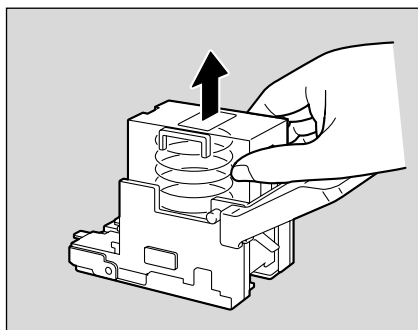
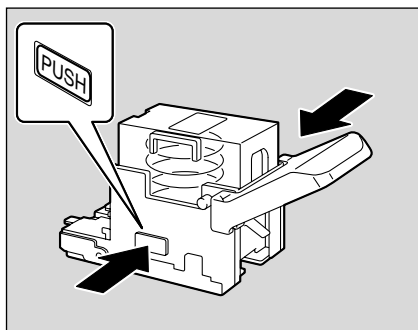
1

排紙トレイを持ち上げ、ステープルホルダを押下げて取外します。



2

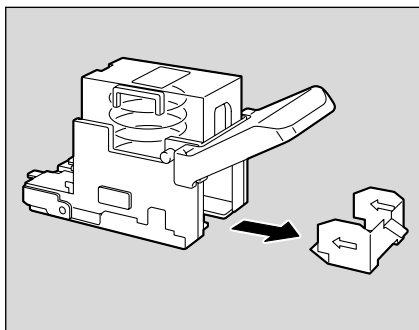
【PUSH】部分を押します。ステープルホルダのロックが解除されます。



9

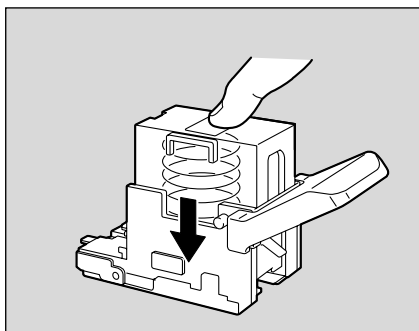
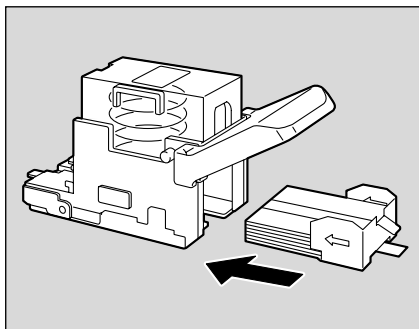
3

ステープルホルダから空になったステープルカートリッジを引抜きます。



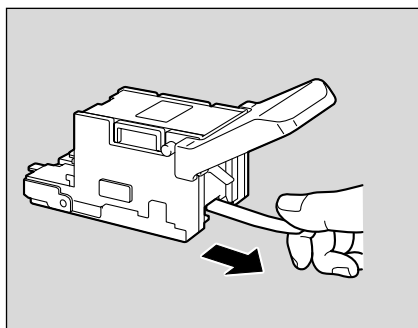
4

新しいステープルカートリッジをステープルホルダにセットします。



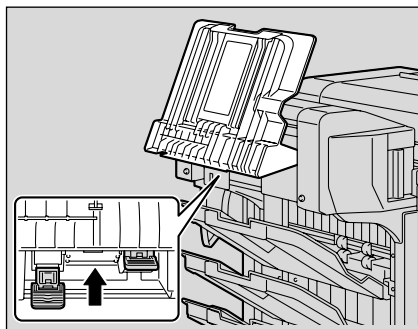
5

ストッパーシールを静かに引抜きます。



6

新しいステープルホルダを差込んで“カチッ”と音がするまで押上げます。



必ず守ってください

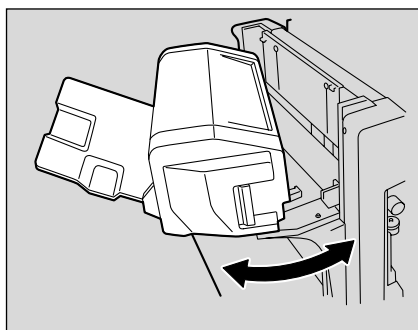
ステープルホルダを取付けるときは、向きを間違えないように差込んでください。

7

排紙トレイを元の位置にもどします。

8

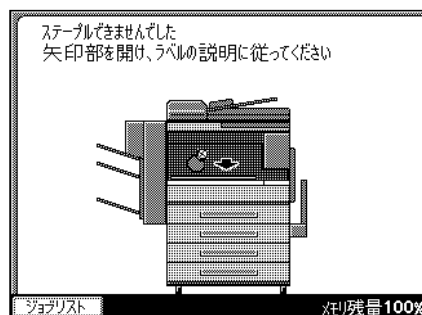
ジャム処理ドアのつまみを引き、ドアを開閉します。



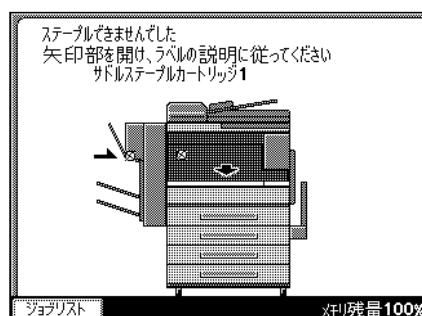
9

9.3 ステープル針がつまったら

ステープル針がつまると、下図のようなメッセージが表示されます。



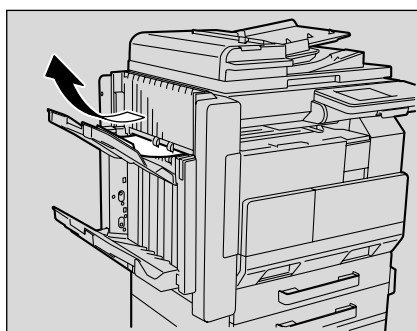
＜サドルユニット針づまり時＞



■ フィニッシャーの針づまり処理のしかた

1

フィニッシャーの用紙を取除きます。

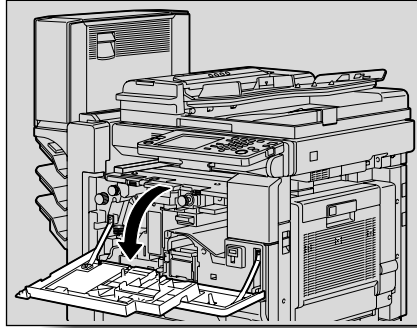


必ず守ってください

- けがをするおそれがありますので、針づまり処理にはご注意ください。
- 針づまりになった場合は、以下の手順にしたがって処理を行ってください。無理に用紙を引抜くと、「ステープルユニット」の破損の原因となります。

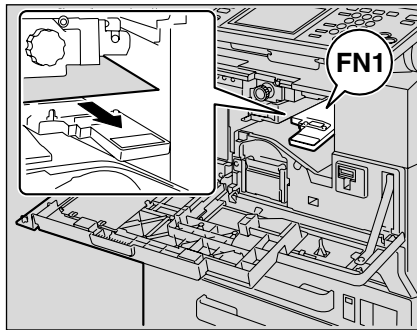
2

前ドアを開きます。



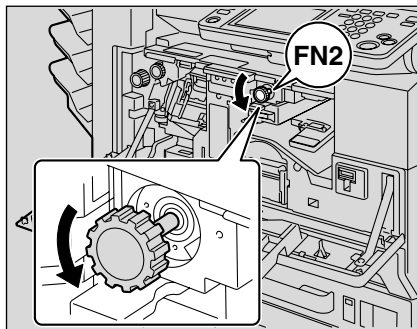
3

レバー【FN1】を下げ、用紙を取除きます。



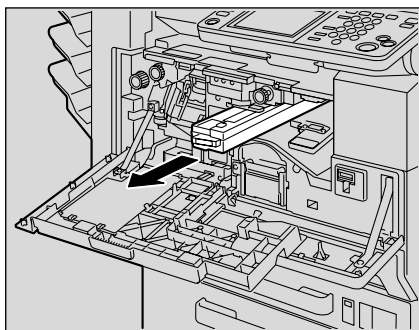
4

ダイヤル【FN2】を回します。



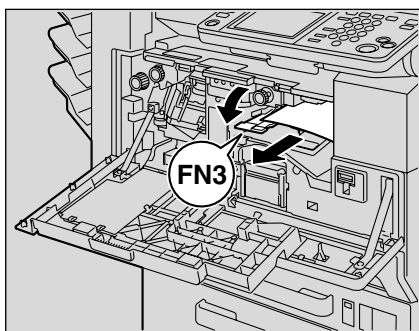
9

- パンチユニットを装着している場合は、パンチボックスを引出します。



5

レバー【FN3】を下げ、用紙を取除きます。



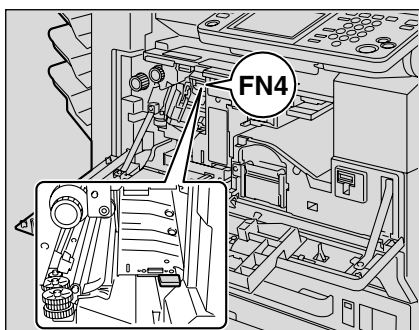
6

レバー【FN1】、レバー【FN3】をもどします。

- パンチユニットを装着している場合は、パンチボックスを元の位置にはめ込みます。

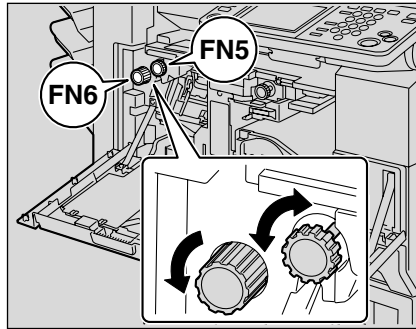
7

レバー【FN4】を下げます。



8

ダイヤル【FN5】、またはダイヤル【FN6】を回して、用紙を取除きます。

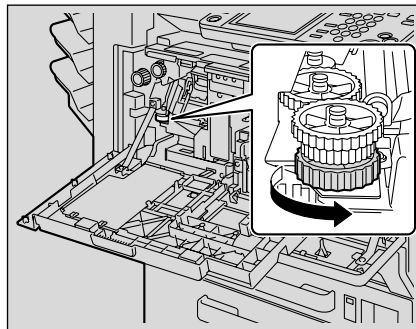


9

レバー【FN4】をもどします。

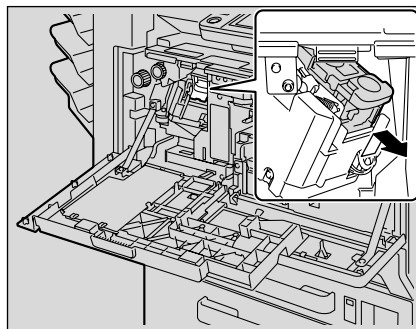
10

ダイヤルを左側に回し、ステープルを手前に寄せます。



11

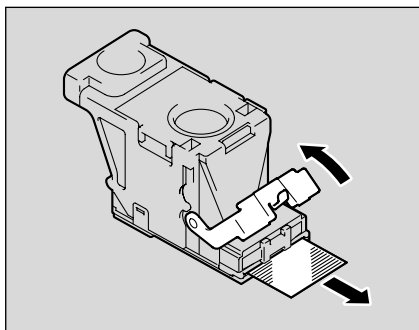
ステープルホルダを押上げて手前に引抜きます。



9

12

ステープルホルダのガイドを上押し上げ、針シートを1枚引抜きます。

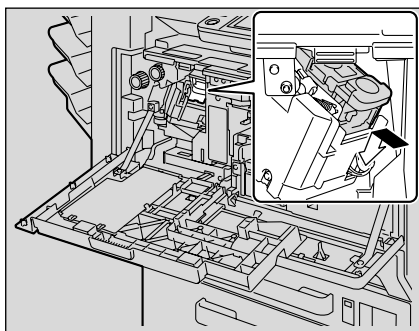


13

ガイドを元にもどします。

14

ステープルホルダを“カチッ”と音がするまで差込みます。



15

前ドアを閉じます。

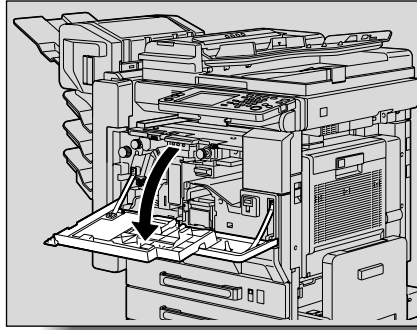
必ず守ってください

針づまり処理を行ってもステープルされない場合は、サービス技術者にご連絡ください。

■ 中綴じ機の針づまり処理のしかた

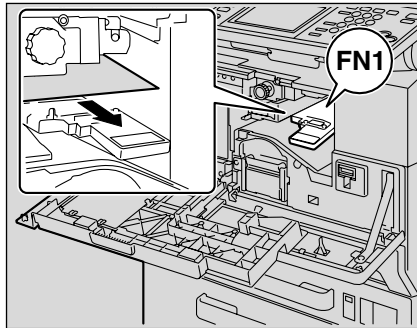
1

前ドアを開きます。



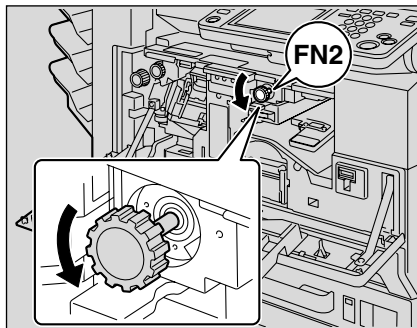
2

レバー【FN1】を下げ、用紙を取除きます。

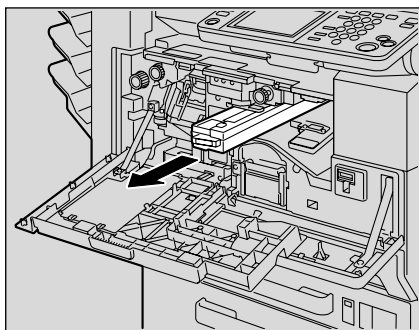


3

ダイヤル【FN2】を回します。

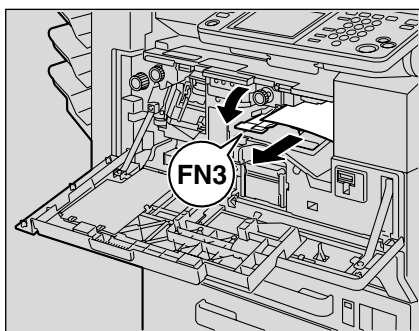


- パンチユニットを装着している場合は、パンチボックスを引出します。



4

レバー【FN3】を下げ、用紙を取除きます。



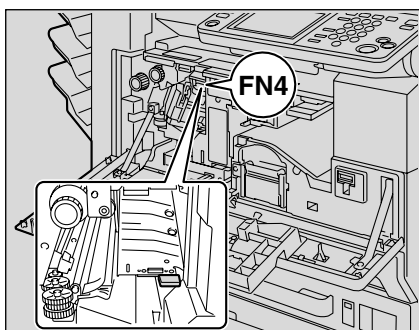
5

レバー【FN1】、レバー【FN3】をもどします。

- パンチユニットを装着している場合は、パンチボックスを元の位置にはめ込みます。

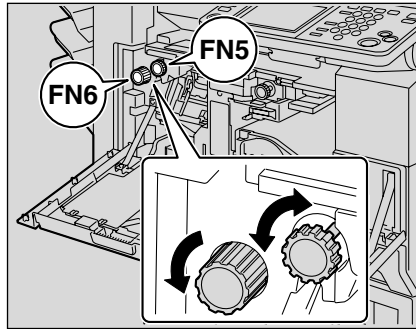
6

レバー【FN4】を下げます。



7

ダイヤル【FN5】、またはダイヤル【FN6】を回して、用紙を取除きます。

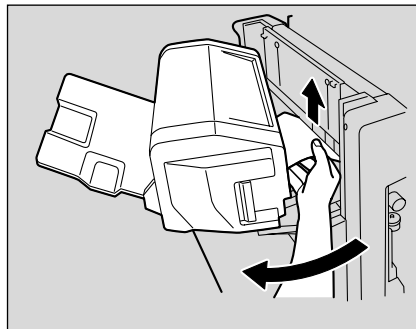


8

レバー【FN4】をもどします。

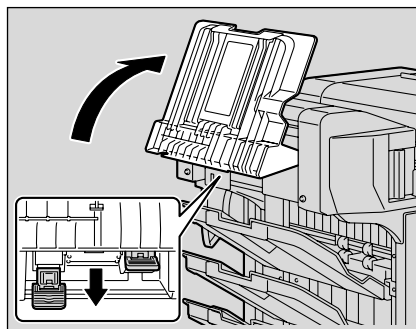
9

ジャム処理ドアを開き、用紙を取り除きます。



10

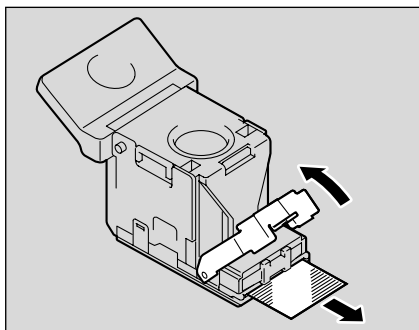
排紙トレイを持ち上げ、ステープルホルダを押下げて取外します。



9

11

ステープルホルダのガイドを上押し上げ、針シートを1枚引抜きます。

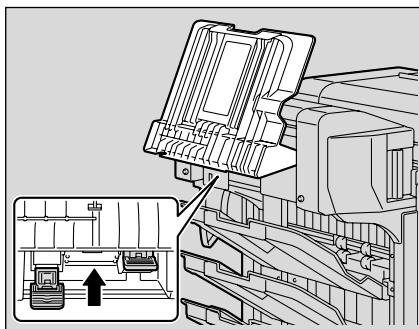


12

ガイドを元にもどします。

13

ステープルホルダを差込んで“カチッ”と音がするまで押上げます。



14

排紙トレイを元の位置にもどします。

15

ジャム処理ドアを閉じます。

16

前ドアを閉じます。

必ず守ってください

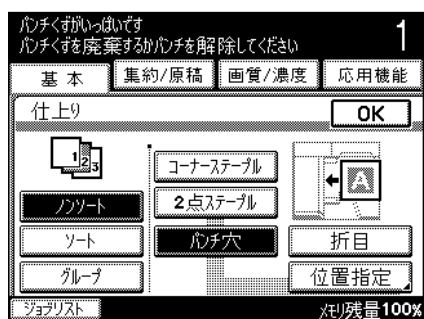
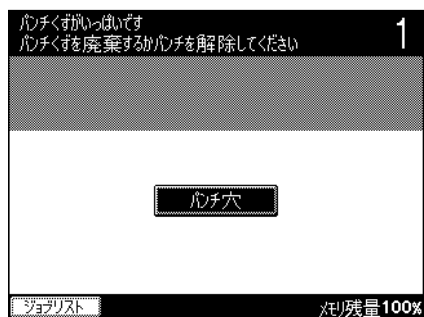
ステープルホルダを取付けるときは、向きを間違えないように差込んでください。

必ず守ってください

針づまり処理を行ってもステープルされない場合は、サービス技術者にご連絡ください。

9.4 パンチくずを処理する

フィニッシャーにパンチユニットを装着している場合は、パンチくずがいっぱいになると下図のメッセージが表示されます。

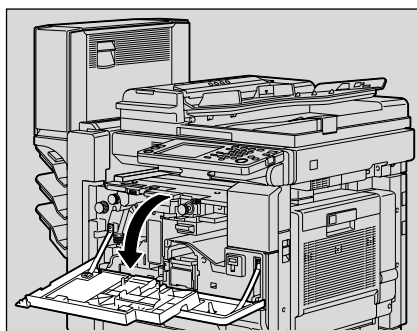


■ パンチくず処理のしかた

以下の手順にしたがって、パンチくずを廃棄してください。

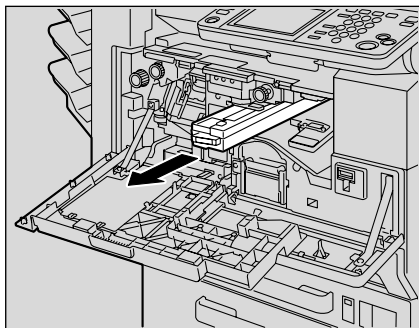
1

前ドアを開きます。



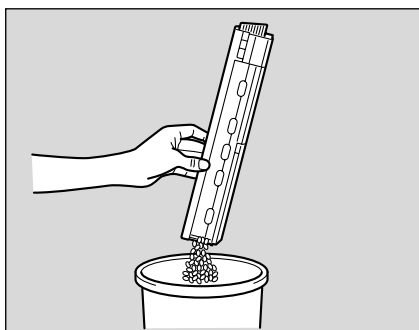
2

パンチボックスを引出します。



3

パンチくずを廃棄します。



4

パンチボックスを元の位置にはめ込みます。

5

前ドアを閉じます。



第 10 章

日頃の管理

本機の日頃の管理について説明します。

10.1 清掃のしかた	10-2
10.2 カウントを確認する（カウンタ）	10-5
10.3 「定期点検時期です」と表示されたら	10-6

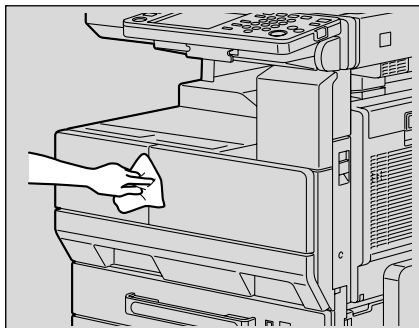
10.1 清掃のしかた

ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。

■ 外装カバー

1

柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭取ります。



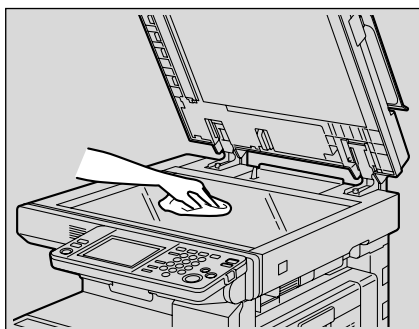
必ず守ってください

- 清掃時は必ず本体の【主電源スイッチ】を OFF 【○】にしてください。
- 外装カバーの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 原稿ガラス

1

柔らかな布で原稿ガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。



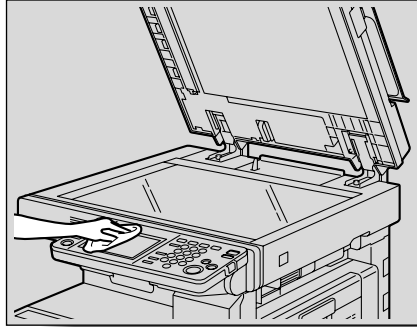
必ず守ってください

原稿ガラスの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 操作パネル

1

柔らかな布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。



必ず守ってください

操作キー、タッチパネルを傷めるおそれがあるため、強く押さえないでください。また、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナー、ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。

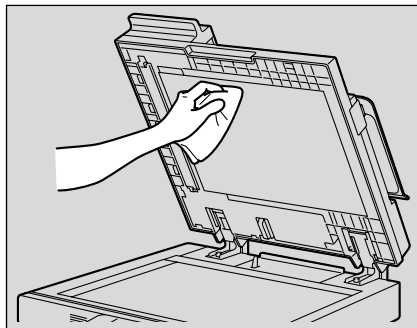
ひとこと

操作パネルを清掃する場合は、パネルクリーニング画面を表示すると誤操作を防止できます。詳しくは、「パネルクリーニング」(p. 11-20) をごらんください。

■ 原稿押えパッド

1

柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、パッド面の汚れを拭取ります。

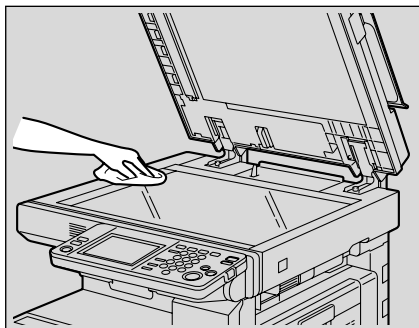


■ スリットガラス

スリットガラスはオプションの ADF を装着している場合に清掃します。

1

柔らかな布でスリットガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。



必ず守ってください

スリットガラスの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

10.2 カウントを確認する（カウンタ）

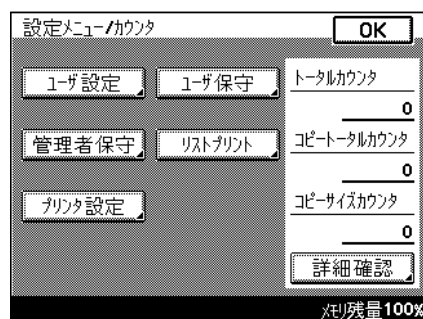
カウンタ画面を表示させて、カウント開始日からのトータルカウントを確認できます。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

〔詳細確認〕を押します。



カウンタ画面が表示されます。



3

〔OK〕を2回押します。

基本画面にもどります。

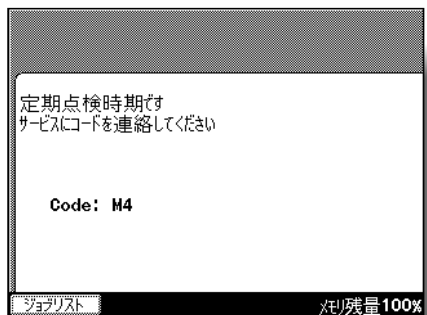
詳しく説明します

カウンタ画面で〔次画面〕を押すと次の画面に、〔前画面〕を押すと前の画面に切り替わります。

10

10.3「定期点検時期です」と表示されたら

「定期点検時期です」と表示されたら、サービス技術者にご連絡し、定期点検を受けてください。



第 11 章

設定メニュー

日頃の使い方に合わせて、本機の設定を変更、管理する方法について説明します。

11.1 設定メニューの概要	11-2
11.2 ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス）	11-9
11.3 ユーザ保守を設定する（ユーザ保守）	11-19
11.4 管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）	11-21
11.5 初期設定を行う（初期設定）	11-23
11.6 管理者設定を行う（管理者設定）	11-24
11.7 管理方法を設定する（認証設定）	11-26
11.8 部門データ管理を設定する（部門データ）	11-29
11.9 管理者を設定する（ユーザ認証）	11-36
11.10機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）	11-47
11.11セキュリティ設定を行う（セキュリティ設定）	11-57
11.12メモリ管理を行う（メモリ管理）	11-63
11.13パスワード規約	11-65

11.1 設定メニューの概要

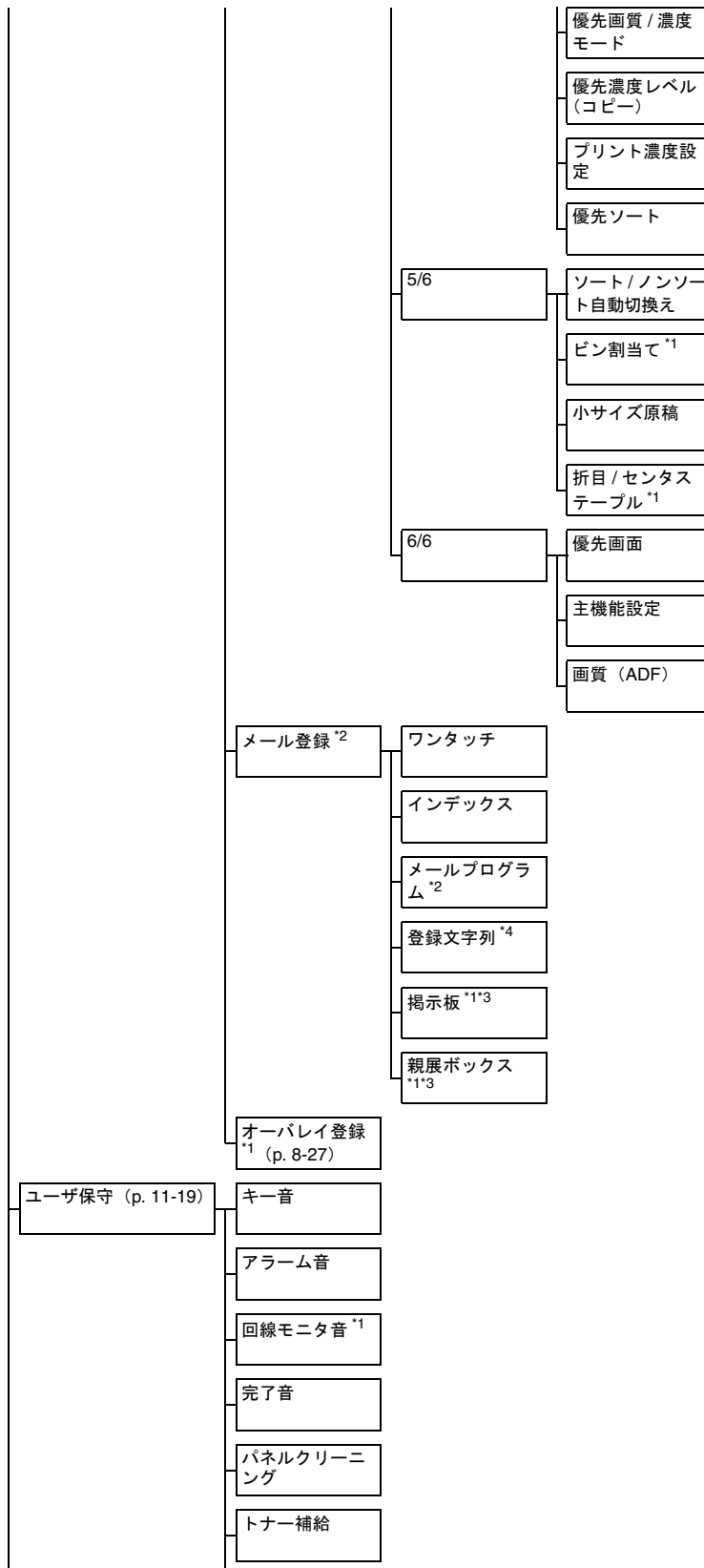
■ 登録・設定項目一覧表

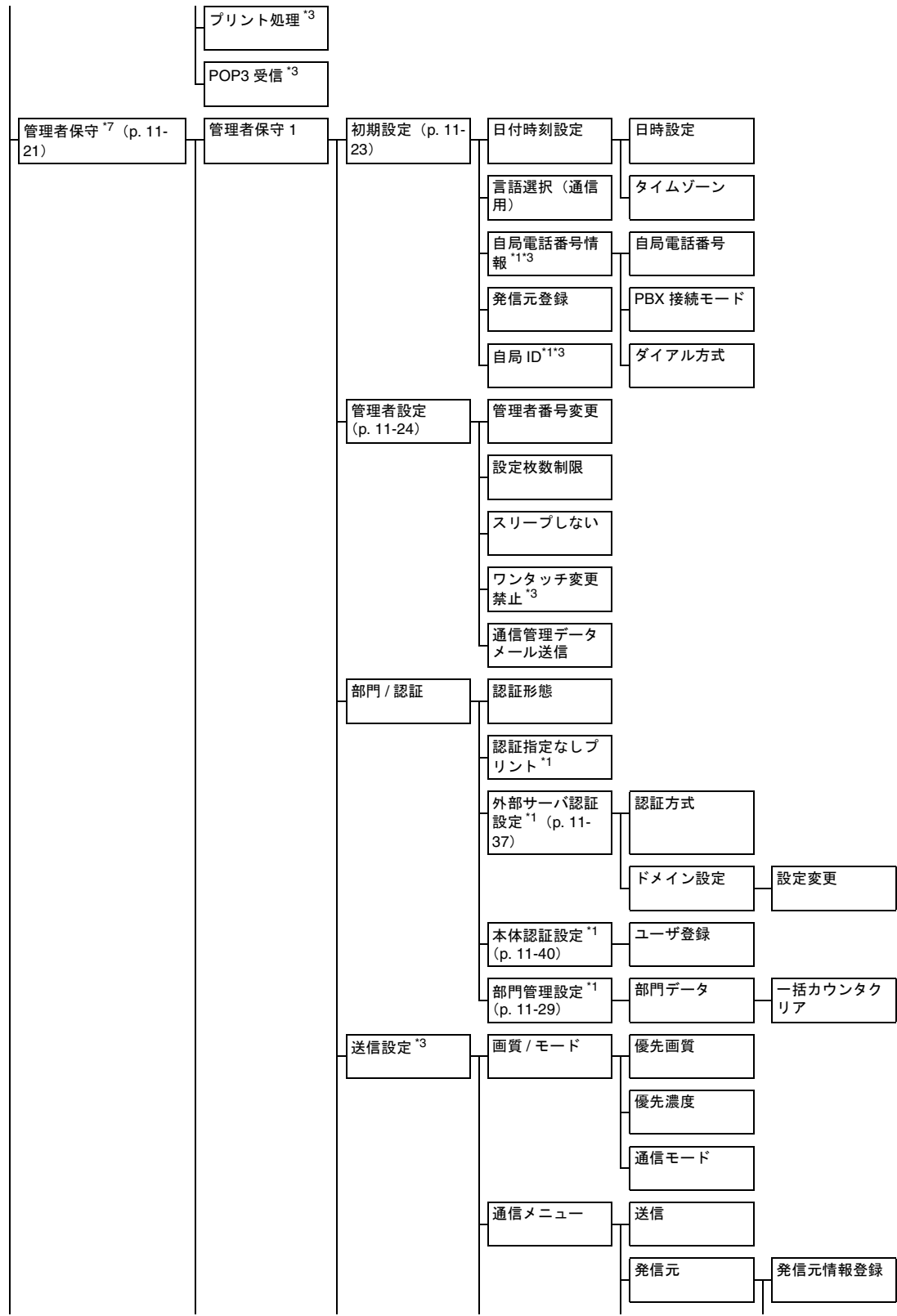
【設定メニュー / カウンタ】を押したときに表示されるキーを説明します。

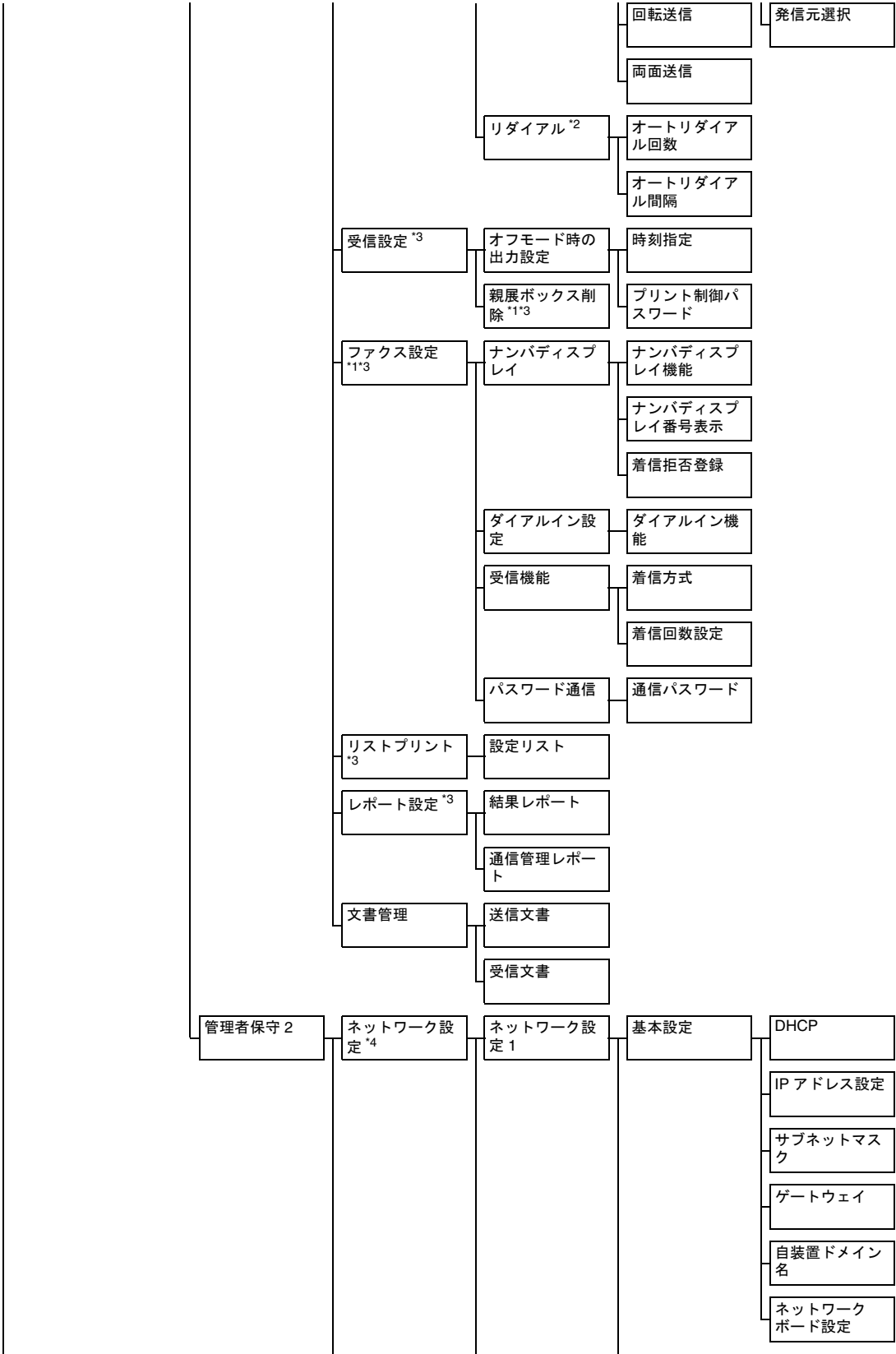
ひとこと

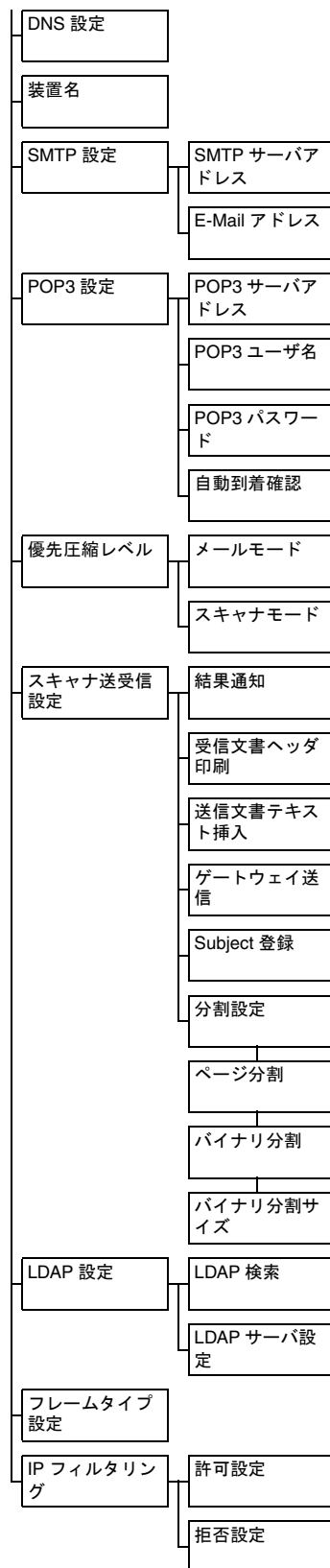
- 各画面に表示されるキーは設定により異なります。
- *¹ マークがついているキーは、オプションを装着している場合や、設定によって表示されることがあります。詳しくは、各キーの参照ページをごらんください。
- *² マークがついているキーについては、FAX キットを装着している場合は、キーの名前が異なります。
- *³ マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。
- *⁴ マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド ネットワーク / スキャナ機能編」をごらんください。
- *⁵ マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド プリンタ機能編」をごらんください。
- *⁶ マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ユーザ認証を設定しているときにユーザ認証を行わずに【設定メニュー / カウンタ】を押した場合は、*⁷ マークがついているキーだけが表示されます。

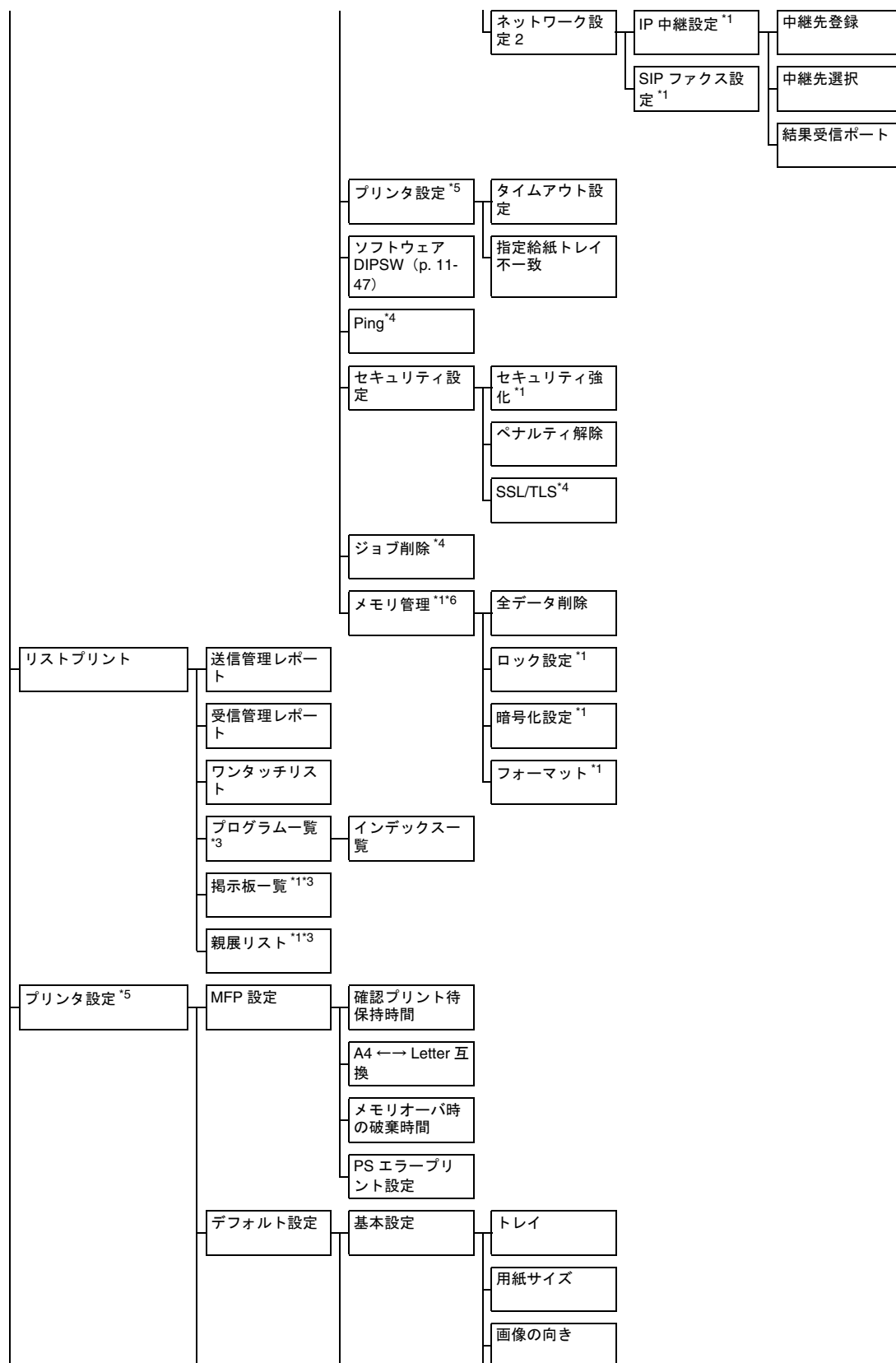
設定メニュー / カウンタ			
ユーザ設定	ユーザチョイス (p. 11-9)	1/6	優先混載原稿
			言語選択 (表示用)
			本体認証パスワード変更 * ¹
		2/6	優先原稿 ▶ コピー
			優先オート
			優先用紙
			特殊紙設定
			集約 / 小冊子倍率
		3/6	ローパワー
			スリープ
			LCD バックライトオフ
			オートリセット
			使用者変更時オートリセット
		4/6	4in1 ページ順指定

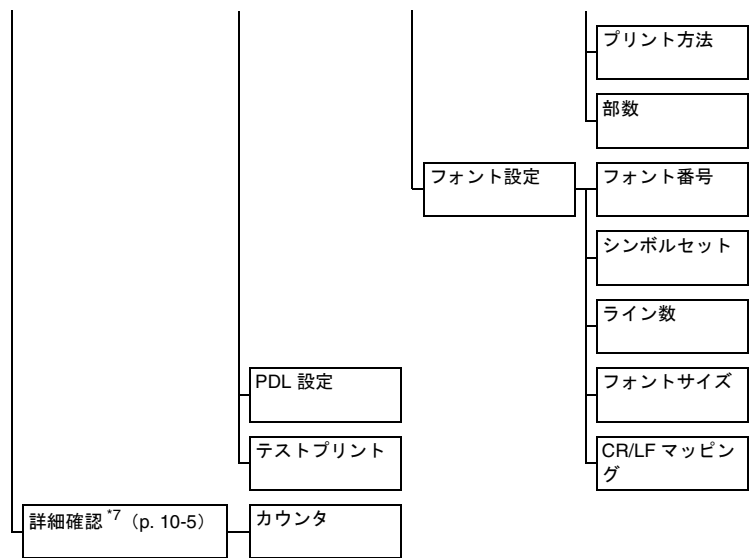












11.2 ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス）

ユーザチョイス画面では電源を ON にしたときやリセットしたときの初期値を設定できます。

ここではユーザチョイス画面の表示手順と、設定項目を説明します。

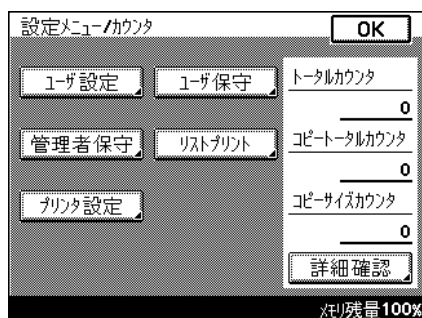
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

設定メニュー / カウンタ画面が表示されます。

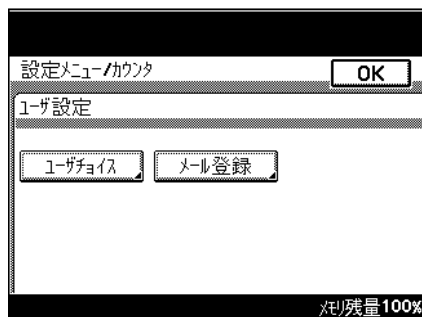
2

【ユーザ設定】を押します。



3

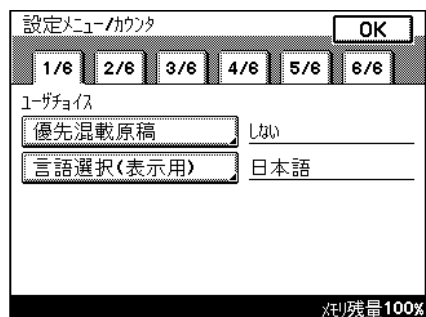
【ユーザチョイス】を押します。



ユーザチョイス画面が表示されます。

4

タブを選択し、設定項目を選択します。



5

各項目の設定を変更し、[OK] を押します。

詳しく説明します

設定変更を取消すときは
[キャンセル] を押します。

ひとこと

ユーザチョイス画面を終了
するときは、基本画面にな
るまで [OK] を押します。

■ 優先混載原稿

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
1/6	優先混載原稿	原稿混載モードを初期設定と するかどうか設定できます。	しない

■ 言語選択（表示用）

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
1/6	言語選択 （表示用）	タッチパネルに表示される言語を以下の中から設定できます。 日本語、英語	日本語

■ 本体認証パスワード変更

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
1/6	本体認証パスワード変更	ユーザ認証で本体認証を行う ときに入力するパスワードを 変更できます。 ・ [パスワード] : 現在設定されている本体認 証パスワードを入力しま す。 ・ [新しいパスワード] 新しい本体認証パスワード を入力します。 ・ [新しいパスワードの確認] 確認のため、再度新しい本 体認証パスワードを入力し ます。	—

■ 原則

ユーザ認証の本体認証を行って本機を使用している場合にのみ表示されます。

ひとこと

ユーザ認証を行って本機にログインしてから表示言語を変更すると、次回の認証では正常にログインできなくなります。この場合、ソフトウェア DIPSW の設定変更が必要になります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

■ 優先原稿 ▶ コピー

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
2/6	優先原稿 ▶ コピー	原稿／コピーモードの初期設定を以下の中から設定できます。 サービスチョイスのコピーモードが両面コピーのみの場合は、[片面→片面]が表示されません。詳しくはサービス技術者にご相談ください。 片面→両面、両面→両面、片面→片面	片面 ▶ 片面

■ 優先オート

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
2/6	優先オート	優先的に使用するオート機能を以下の中から設定できます。 自動用紙、自動倍率、マニュアル	自動用紙

■ 優先用紙

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
2/6	優先用紙	自動用紙機能を使用していないときに、優先的に使用する給紙トレイを第1～第4給紙トレイの中から設定できます。	第1給紙トレイ

■ 特殊紙設定

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
2/6	特殊紙設定	各給紙トレイを以下の専用紙として設定できます。専用紙として設定された給紙トレイは、自動用紙機能やATS機能（オートトレイスイッチ）の自動選択で選択されなくなったり、優先順位が変更されたりします。 普通紙、両面不可、再生紙、特殊紙	普通紙



給紙トレイを選択して専用紙を選択すると、選択したトレイに専用紙のアイコンが表示されます。



専用紙については、「専用紙について」(p. 7-5)をご覧ください。

■ 集約 / 小冊子倍率

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
2/6	集約 / 小冊子倍率	<p>集約または小冊子機能を使用したときに、自動的に適した倍率を呼出すかどうか設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [呼出す] : [4in1] の倍率が 0.500、 [2in1] および [小冊子] の倍率が 0.707 になります。 ・ [呼出さない] : 倍率は自動的に設定されません。 	呼出す

■ ローパワー

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
3/6	ローパワー	ローパワー機能がはたらくまでの時間を 1 分～ 240 分の間に設定できます。	15 分

■ スリープ

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
3/6	スリープ	スリープ機能がはたらくまでの時間を 1 分～ 240 分の間に設定できます。	1 分

■ LCD バックライトオフ

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
3/6	LCD バックライトオフ	LCD バックライトオフ機能がはたらくまでの時間を 1 分～ 240 分の間に設定できます。	1 分



詳しく説明します

管理者設定でスリープしない設定が許可されている場合は、[しない] が表示され、スリープ機能を使用するかどうか選択できます。詳しくは、「スリープしない」(p. 11-25) をご覧ください。

■ オートリセット

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
3/6	オートリセット	オートリセット機能がはたらいて初期設定に戻るまでの時間を以下の中から設定できます。セキュリティ強化を適用しており、ユーザ認証でログオンした場合、[しない] に設定することはできません。また、セキュリティ強化を適用する前に [しない] に設定していた場合、セキュリティ強化を適用すると、[1 分] に変更されます。 30 秒、1 分、2 分、3 分、5 分、しない	1 分

■ 使用者変更時オートリセット

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
3/6	使用者変更時オートリセット	暗証番号を入力したとき、またはキーカウンタを引抜いたときに、初期設定に戻すかどうか設定できます。	する

■ 4in1 ページ順指定

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
4/6	4in1 ページ順指定	集約機能の 4in1 を使用したときのページ順を以下の中から設定できます。 左上→右上→左下→右下、左上→右上→左下→右下、左上→左下→右上→右下	左上→右上→左下→右下

■ 優先画質 / 濃度モード

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
4/6	優先画質 / 濃度モード	濃度 コピー濃度の初期設定を以下の中から設定できます。 オート、マニュアル	オート
		画質 コピー画質の初期設定を以下の中から設定できます。 文字、写真、文字 / 写真、薄文字	文字

■ 優先濃度レベル（コピー）

タブ	設定項目		機能説明	出荷時設定
4/6	優先濃度レベル（コピー）	オート時	コピー濃度のオート時の初期設定を以下の中から設定できます。 うすめ、ふつう、こいめ	ふつう
		マニュアル時	コピー濃度のマニュアル時の初期設定を、 [うすく] または [こく] を押して 9 段階で設定できます。	9 段階の中央

■ プリント濃度設定

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
4/6	プリント濃度設定	印字の濃度を以下の中から設定できます。 -2、-1、0、1、2	0

■ 優先ソート

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
4/6	優先ソート	仕分けの初期設定を以下の中から設定できます。 ノンソート、ソート、グループ	ノンソート
		仕上りの初期設定を以下の中から設定できます。 コーナーステープル、 2 点ステープル、パンチ穴	未設定

■ 原則

- ・ [コーナーステープル] および [2 点ステープル] はオプションのフィニッシャーを装着している場合にだけ表示されます。
- ・ [パンチ穴] はオプションのパンチユニットを装着している場合にだけ表示されます。

■ ソート／ノンソート自動切換え

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
5/6	ソート／ノンソート自動切換え	コピーの枚数によってソートとノンソートを自動的に切換えるかどうか設定できます。	する

詳しく説明します

ソート／ノンソート自動切換え機能を使用すると、コピー後の枚数が1枚の場合はノンソート、2枚以上の場合はソートに切り替わります。

■ ビン割当て

タブ	設定項目			機能説明	出荷時設定
5/6	ビン割当て	受信プリント	ファクス（ポート 1）	ファクスポートで受信したデータの出力先トレイを設定できます。	1（第 1 排紙トレイ）
			ポート 2	マルチポート時の受信ポート 2 で受信したデータの出力先トレイを設定できます。	1（第 1 排紙トレイ）
			ネットワーク	ネットワークで受信したデータの出力先トレイを設定できます。	1（第 1 排紙トレイ）
		コピー / プリント	PC プリント	PC プリントの出力先トレイを設定できます。	1（第 1 排紙トレイ）
			コピー	コピーの出力先トレイを設定できます。	2（第 2 排紙トレイ：セパレータ装着時） 1（第 1 排紙トレイ：フィニッシャー装着時）

詳しく説明します

フィニッシャーに排紙トレイを増設している場合は、[コピー] の出荷時設定が [3]（増設排紙トレイ）になります。

原則

ビン割当て機能はオプションのフィニッシャーまたはセパレータを装着している場合にだけ表示されます。

■ 小サイズ原稿

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
5/6	小サイズ原稿	<p>自動用紙設定時で原稿ガラス上にセットした原稿が A5 より小さい場合、または原稿がセットされていない場合に、用紙トレイを指定するかどうか設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [コピー可] : 優先用紙を使用してコピーします。 ・ [コピー不可] : 用紙トレイの選択画面を表示します。 	コピー不可

■ 折目 / センタステープル

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
5/6	折目 / センタステープル	<p>用紙のサイズごとに、折目とセンタステープルの仕上り位置を設定できます。設定する用紙のサイズを選択して [OK] を押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [折目] : 折目の位置を -10 ~ +10 の間で設定できます。 ・ [センタステープル] : センタステープルの位置を -10 ~ +10 の間で設定できます。 	折目 : 0、センタステープル : 0

■ 原則

折目／センタステープル機能はオプションのフィニッシャーおよび中綴じ機を装着している場合にだけ表示されます。

■ 優先画面

タブ	設定項目		機能説明	出荷時設定
6/6	優先画面	優先初期画面	優先する機能画面を以下の中から設定できます。 コピー、E-Mail、スキャナ	コピー
		優先メール画面	優先するファクス画面を以下の中から設定できます。 ワンタッチ、検索、アドレス入力、インデックス	ワンタッチ

■ 主機能設定

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
6/6	主機能設定	優先する機能を以下の中から設定できます。 コピー、プリンタ	コピー

■ 画質（ADF）

タブ	設定項目	機能説明	出荷時設定
6/6	画質（ADF）	ADFの画質レベルを以下の中から設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> 左： モード1（黒筋対応用） 鉛筆書きの原稿など、淡い原稿の再現に適しています。 右： モード2（標準） 通常の原稿に適しています。 	左： モード1（黒筋対応用）

ひとこと

FAX キットを装着している場合は、設定項目および設定の名前が異なります。

詳しく説明します

優先初期画面設定は、オートリセット時および電源のOFF/ON時に機能します。確認のために設定後主電源をOFFにしたあと、約10秒たってからONにしてください。すぐにONにすると正常に機能しないことがあります。

電源のOFF/ONについては、「主電源と副電源を入れる」（p. 2-21）をごらんください。

11.3 ユーザ保守を設定する（ユーザ保守）

ユーザ保守画面では音の設定など本機を快適に使用するための機能を設定できます。

ここではユーザ保守画面の表示手順と、設定項目を説明します。

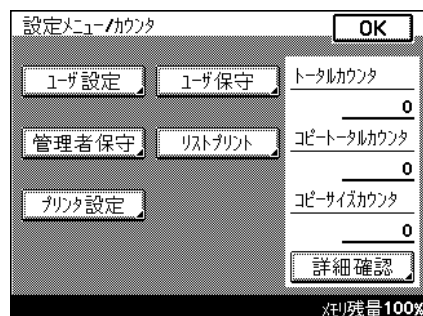
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

設定メニュー / カウンタ画面が表示されます。

2

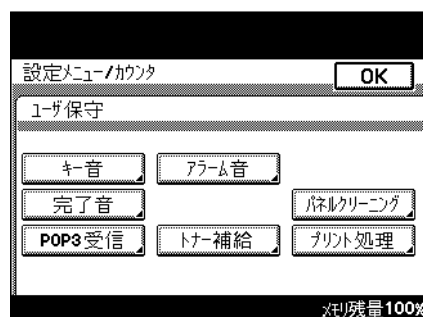
〔ユーザ保守〕を押します。



ユーザ保守画面が表示されます。

3

設定項目を選択します。



4

各項目の設定を変更し、〔OK〕を押します。



プリント処理および POP3 受信機能については「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。



設定変更を取消すときは〔キャンセル〕を押します。

ひとこと

ユーザ保守画面を終了するときは、基本画面になるまで〔OK〕を押します。

■ 音の設定

ユーザ保守画面で [キー音]、[アラーム音]、[回線モニタ音]、[完了音] の音量を設定できます。

設定項目	機能説明	出荷時設定
キー音	キー操作音量を 0 ～ 5 の間に設定できます。	3
アラーム音	アラームブザー音量を 0 ～ 5 の間に設定できます。	3
回線モニタ音	回線モニタ音量を 0 ～ 5 の間に設定できます。	3
完了音	完了音の音量を 0 ～ 5 の間に設定できます。	3

■ 原則

[回線モニタ音] はオプションの FAX キットを装着している場合にだけ表示されます。

■ パネルクリーニング

設定項目	機能説明
パネルクリーニング	操作パネルを清掃するための画面を表示できます。

■ トナー補給

設定項目	機能説明
トナー補給	トナーカートリッジを交換した直後や黒い部分の多い原稿を大量にコピーした後など、一時的にコピーが薄くなった場合に、トナーの補給を行います。



詳しく説明します

パネルクリーニングを取消すときは【リセット】を押します。

11.4 管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）

管理者用の設定を変更するには、管理者保守画面を表示させます。

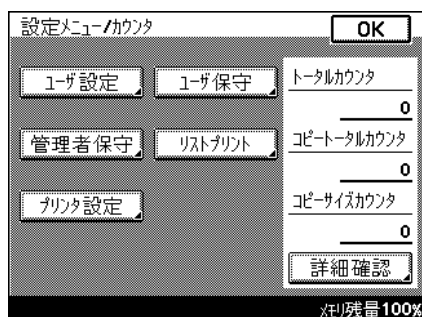
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

設定メニュー / カウンタ画面が表示されます。

2

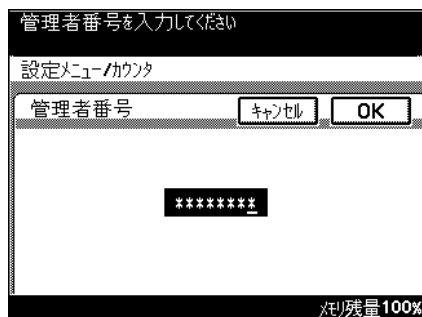
〔管理者保守〕を押します。



管理者番号の入力画面が表示されます。

3

テンキーで8桁の管理者番号を入力し、〔OK〕を押します。



管理者保守画面が表示されます。

 **必ず守ってください**

管理者番号は絶対に忘れないように注意してください。セキュリティ強化機能が設定された状態で管理者番号を忘れた場合、管理者保守設定ができなくなります。その場合、管理者番号の再設定は行えません。サービス実施店にお問い合わせください。

 **詳しく説明します**

- 入力された数値を修正するときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- 操作を中止するときは〔キャンセル〕を押します。

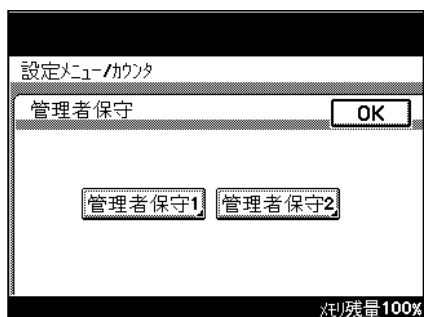
 **参照**

管理者番号については、「管理者番号変更」(p. 11-25)をごらんください。

11

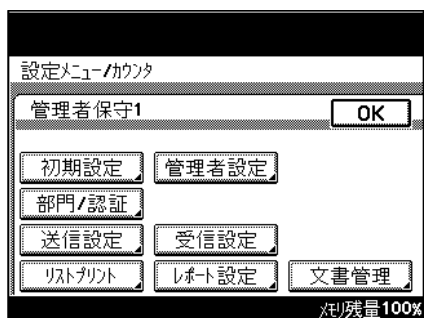
4

〔管理者保守 1〕または〔管理者保守 2〕を選択します。

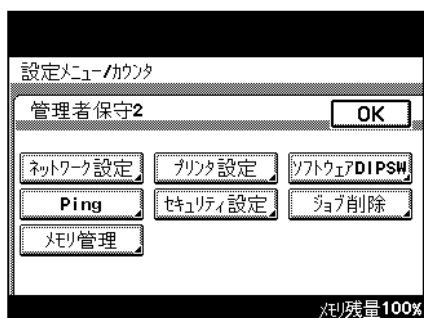


管理者保守 1 画面または管理者保守 2 画面が表示されます。

<管理者保守 1>



<管理者保守 2>



ひとこと

管理者保守画面を終了するときは、基本画面になるまで〔OK〕を押します。

11.5 初期設定を行う（初期設定）

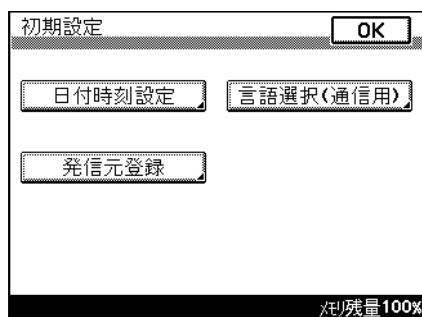
初期設定画面では日付時刻、タイムゾーンなどが設定できます。
ここでは初期設定画面の表示手順と、設定項目を説明します。

1

管理者保守 1 画面を表示し、[初期設定] を押します。
初期設定画面が表示されます。

2

設定項目を選択します。



3

各項目の設定を変更し、[OK] を押します。

■ 日付時刻設定

設定項目		機能説明	出荷時設定
日付時刻設定	日時設定	本機内蔵の時計の日付と時刻を [年] (西暦)、[月]、[日]、[時] (24 時間制)、[分] で設定できます。	—
	タイムゾーン	タイムゾーンを -12:00 ~ +13:00 の間に 30 分単位で設定できます。	—



日付時刻設定以外の機能については「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。



管理者保守 1 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには (管理者保守)」(p. 11-21) をごらんください。



詳しく説明します

設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。

ひとこと

初期設定画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

11

11.6 管理者設定を行う（管理者設定）

管理者設定画面では管理者番号の変更、コピー枚数の制限などを設定できます。

ここでは管理者設定画面の表示手順と、設定項目を説明します。

1

管理者保守 1 画面を表示し、[管理者設定] を押します。
管理者設定画面が表示されます。

2

設定項目を選択します。

3

各項目の設定を変更し、[OK] を押します。



ワンタッチ変更禁止、ワンタッチ機能および通信管理データメール送信については「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。



管理者保守 1 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21) をごらんください。



設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。

ひとこと

管理者設定画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

■ 管理者番号変更

設定項目	機能説明
管理者番号変更	<p>管理者保守画面を表示するときに入力する 8 桁の管理者番号を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [現在の管理者番号] : 現在設定されている管理者番号を入力します。 ・ [新しい管理者番号] 新しい管理者番号を入力します。 ・ [新しい管理者番号確認] 確認のため、再度新しい管理者番号を入力します。



入力された数値を修正するときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

■ 設定枚数制限

設定項目	機能説明	出荷時設定
設定枚数制限	一度に設定できるコピー枚数を 1 ～ 99 の間、または [しない] に設定できます。	しない

■ スリープしない

設定項目	機能説明	出荷時設定
スリープしない	スリープ機能を使用しない設定を許可するかどうか設定できます。 本機をユーザ認証で使用する場合、この項目は表示されません。	設定不可

11.7 管理方法を設定する（認証設定）

ユーザ認証または部門管理を設定して、本機の使用状態を管理できます。

ユーザ認証は個人を管理する場合に、部門管理はグループを管理するのに適しています。

- ユーザ認証には本体認証と外部サーバ認証があります。
- 本体認証ではユーザ毎の出力と読込みのカウントができます。
- 外部サーバ認証ではユーザの使用制限ができます。
- 部門管理では部門毎の出力と読込みのカウント、出力枚数の制限ができます。

ここでは認証設定画面での設定手順と、設定項目を説明します。

原則

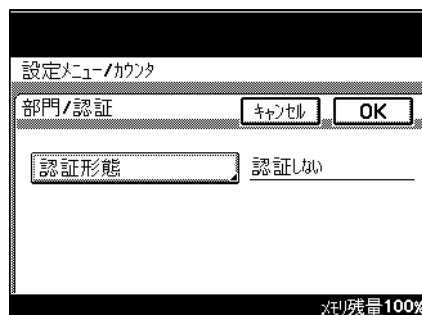
部門 / 認証画面には、認証形態画面で設定した、ユーザ認証の形態（[外部サーバ]、[本体認証]）または部門管理が表示されます。

1

管理者保守 1 画面を表示し、[部門 / 認証] を押します。
部門 / 認証画面が表示されます。

2

[認証形態] を押します。



認証形態画面が表示されます。

ひとこと

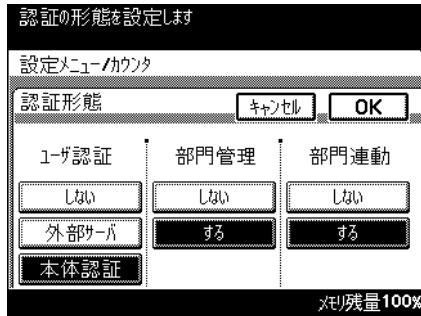
- 認証設定が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。本機を使用するには、ユーザ認証または部門認証の部門名やパスワードなどを入力します。詳しくは、「ユーザ認証（本体認証）にしたがって本機を使用する」(p. 2-27)をご覧ください。
- ユーザ認証と部門管理は、それぞれ同時に使用できます。また、設定したユーザ認証と部門管理は連動して使用できます。



管理者保守 1 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21)をご覧ください。

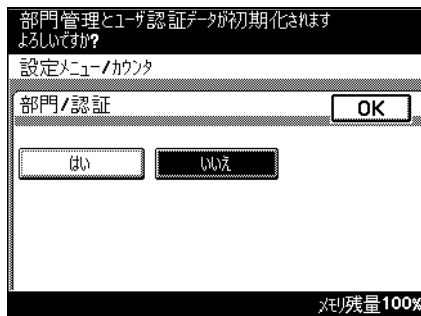
3

各項目の設定を変更し、[OK] を押します。
設定の変更を確認する画面が表示されます。



4

[はい] を選択し、[OK] を押します。



本機が再起動し、ウォームアップのあと、ログイン画面が表示されます。

ひとこと

「ユーザ認証」「部門管理」「部門連動」を設定します。「部門連動」は「ユーザ認証」と「部門管理」をそれぞれ設定している場合にのみ、設定できます。設定方法については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」(p. 11-29)「管理者を設定する（ユーザ認証）」(p. 11-36)をごらんください。

詳しく説明します

設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。

詳しく説明します

[はい] を選択して [OK] を押すと本体が再起動され、部門管理とユーザ認証のデータが初期化されます。

ひとこと

部門 / 認証画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

■ 認証形態

設定項目	機能説明	出荷時設定
ユーザ認証	ユーザ認証をするかどうか設定できます。ユーザ認証の形態を以下の中から設定できます。 ・ [外部サーバ] : 外部サーバ認証を行います。 ・ [本体認証] : 本体認証を行います。 ・ [しない] : 認証を行いません。	しない
部門管理	部門管理をするかどうか設定できます。	しない
部門連動	ユーザ認証と部門管理を連動して管理するかどうかを設定します。	しない

■ 認証指定なしプリント

設定項目	機能説明	出荷時設定
認証指定なしプリント	ユーザ認証でログインしたとき、または部門管理をしているとき、PC プリントでユーザおよび部門が指定されていないデータのプリントを許可するかどうか設定できます。	しない

原則

「認証指定なしプリント」は、ユーザ認証に「外部サーバ」を設定している場合は表示されません。

11.8 部門データ管理を設定する（部門データ）

本機を使用する部門ごとにパスワードや出力枚数の上限値を設定して、トータルカウンタを管理できます。

ここでは目的の部門の表示手順を説明します。

原則

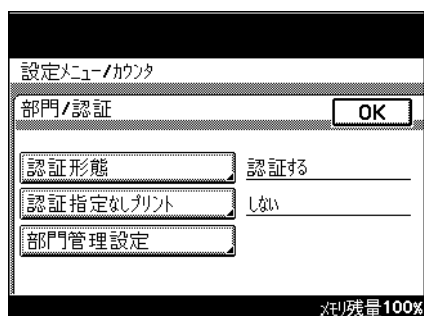
[部門管理設定] は、[部門管理] が [する] に設定されている場合にだけ表示されます。

1

管理者保守 1 画面を表示し、[部門 / 認証] を押します。
部門 / 認証画面が表示されます。

2

[部門管理設定] を押します。



部門データ画面が表示されます。

3

目的の部門番号のページを選択します。



部門番号の選択画面が表示されます。

ひとこと

本機では最大 1,000 件の部門を管理できます。



管理者保守 1 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21) をごらんください。

ひとこと

[部門番号] を押してテンキーで部門番号を入力すると、直接目的の部門を表示できます。

4

部門番号を選択します。

○ タブを選択し、目的の部門番号キーを押します。

■ 部門データを登録する

部門名、パスワード、プリント枚数の上限値を設定して、本機を使用する部門を登録できます。

1

部門データ画面を表示し、空いている部門番号を押します。

部門登録画面が表示されます。

2

「部門名」を押します。

部門名の入力画面が表示されます。

ひとこと

部門 / 認証画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

ひとこと

本機では最大 1,000 件の部門を管理できます。
ユーザ認証と部門管理を連携している場合は、100 件の部門を管理できます。

詳しく説明します

登録されている部門番号キーには部門名が表示されます。

参照

部門登録画面の表示方法については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」(p. 11-29) をごらんください。

3

部門名を入力し（半角 8 文字まで）、[OK] を押します。



詳しく説明します

- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。
- 文字の入力のしかたについては、「文字を入力するには」(p. 12-2) をご覧ください。

部門登録画面にもどります。

4

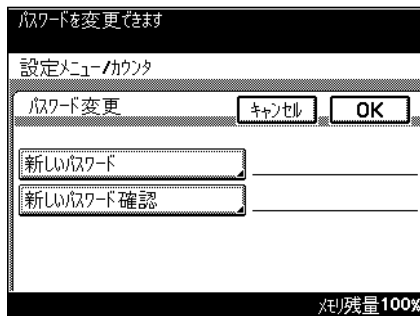
[パスワード] を押します。

パスワード変更画面が表示されます。

5

パスワードを入力し（半角 8 文字まで）、[OK] を押します。

- [新しいパスワード] を押し、文字入力画面で新しいパスワードを入力して [OK] を押します。
- [新しいパスワード確認] を押し、文字入力画面で再度新しいパスワードを入力して [OK] を押します。



詳しく説明します

- パスワードを変更する場合は、[パスワード] を押し、文字入力画面で現在のパスワードを入力して [次へ] を押します。
- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。
- 文字の入力のしかたについては、「文字を入力するには」(p. 12-2) をご覧ください。

部門登録画面にもどります。

6

[プリント上限値] を押します。

プリント上限値画面が表示されます。

7



、 でカーソルを合わせ、テンキーでプリントの上限値を設定します。

8

[OK] を 3 回押します。

部門番号の選択画面にもどります。

新しい部門が登録されます。

■ 部門データを管理する

登録した部門の設定の変更やカウンタの管理ができます。

1

部門データ画面を表示し、目的の部門番号を選択します。

部門の詳細表示画面が表示されます。

2

管理する項目を選択します。

詳しく説明します

- プリント枚数の上限値は 0 ～ 999,999 枚の間に設定できます。
- 上限値を 0 枚に設定した場合は、プリント枚数を制限しません。
- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。

ひとこと

部門 / 認証画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

ひとこと

「詳細表示」画面で [スタート] を押すと、部門ごとのプリントカウンタの一覧が印刷できます。



部門の詳細表示画面の表示方法については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」(p. 11-29) をご覧ください。

- [設定変更] を押すと、部門登録画面が表示され、各設定を変更できます。
- [カウンタクリア] を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。選択している部門のカウンタをすべて0に戻すには、[はい] を選択します。
- [カウンタ] を押すと、カウンタ画面が表示されます。選択している部門の各カウンタを表示します。

＜カウンタ画面＞

設定メニュー/カウンタ	
カウンタ	次画面 OK
トータルカウンタ	0
トータル大サイズカウンタ	0
コピートータルカウンタ	0
コピー大サイズカウンタ	0
プリンタトータルカウンタ	0
燃料残量 100%	

3

[OK] を2回押します。
部門番号の選択画面にもどります。

■ 部門データを削除する

1

部門データ画面を表示し、目的の部門番号を選択します。
部門の詳細表示画面が表示されます。

詳しく説明します

カウンタ画面で [次画面] を押すと次の画面に、[前画面] を押すと前の画面に切り替わります。

参照

部門登録画面での変更方法については、「部門データを登録する」(p. 11-30) をご覧ください。

ひとこと

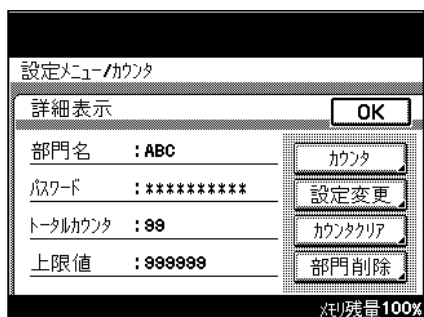
- 部門番号の選択画面で [一括カウンタクリア] を押し、[はい] を選択して [OK] を押すと、すべての部門のカウンタがすべて0にもどります。
- 部門 / 認証画面を終了するときには、基本画面になるまで [OK] を押しします。

参照

部門の詳細表示画面の表示方法については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」(p. 11-29) をご覧ください。

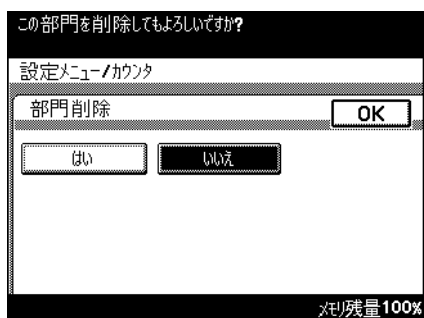
2

「部門削除」を押します。



3

「はい」を押し、「OK」を押します。



部門番号の選択画面にもどります。

部門が削除されます。

ひとこと

部門認証を行って本機を使用している場合は、認証を行った部門の「部門削除」は表示されません。

ひとこと

部門 / 認証画面を終了するときは、基本画面になるまで「OK」を押します。

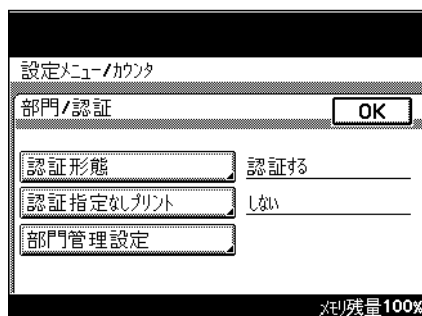
■ 認証指定なしプリントを設定する

1

管理者保守 1 画面を表示し、[部門 / 認証] を押します。
部門 / 認証画面が表示されます。

2

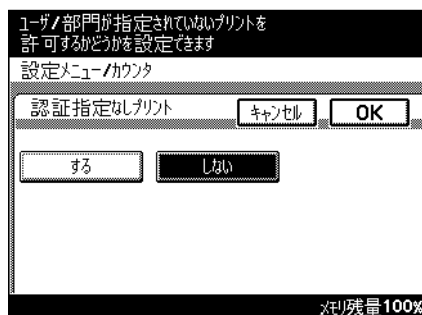
[認証指定なしプリント] を押します。



部門未指定プリント画面が表示されます。

3

[する] を選択し、[OK] を押します。



部門 / 認証画面にもどります。



管理者保守 1 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21) をご覧ください。



- [する] を設定した場合、部門指定をしたかどうかに関係なく、プリントできます。
- [しない] を設定した場合、部門指定をしていない文書はプリントできません。
- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。

11.9 管理者を設定する（ユーザ認証）

ユーザ認証では外部サーバ認証または本体認証のどちらかを設定できます。外部サーバ認証では本機を使用するユーザを制限でき、本体認証ではユーザごとにパスワードを設定してトータルカウンタを管理できます。

ここではユーザ認証画面を表示させる手順を説明します。

原則

認証形態画面で「外部サーバ」を設定した場合、部門／認証画面上に「外部サーバ認証設定」が表示されます。「本体認証」を設定した場合、部門／認証画面上に「本体認証設定」が表示されます。詳しくは、「管理方法を設定する（認証設定）」（p. 11-26）をごらんください。

1

管理者保守 1 画面を表示し、「部門／認証」を押します。
部門／認証画面が表示されます。

2

「外部サーバ認証設定」または「本体認証設定」を押します。



外部サーバ認証または本体認証のユーザ認証画面が表示されます。

<外部サーバ認証設定>



ひとこと

本機では最大 100 件のユーザを管理できます。



管理者保守 1 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」（p. 11-21）をごらんください。

ひとこと

ユーザ認証画面を終了するときは、基本画面になるまで「OK」を押します。



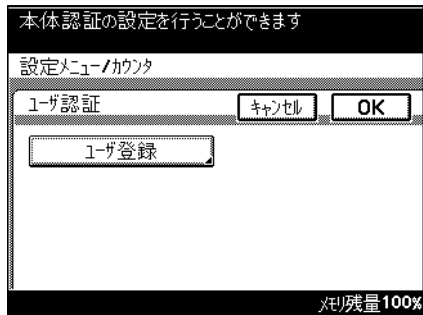
詳しく説明します

お客様のネットワーク環境によって、外部サーバ認証のログインに時間がかかる場合があります。以下の設定により、時間を短縮できる可能性がありますのでお試しください。

- DNS サーバアドレス 1 に Active Directory 対応サーバを設定する。
- DNS サーバアドレス 1 に Active Directory 対応サーバの Kerberos および LDAP の SRV レコードを登録する。

詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

<本体認証設定>



■ 外部サーバ認証を登録する

外部サーバを使用してユーザを登録します。

- 1 外部サーバ認証のユーザ認証画面を表示します。
- 2 「認証方式」を押します。



認証方式画面が表示されます。



ユーザ認証画面の表示方法については、「管理者を設定する（ユーザ認証）」(p. 11-36) をご覧ください。

3

認証方式を選択し、[OK] を押します。

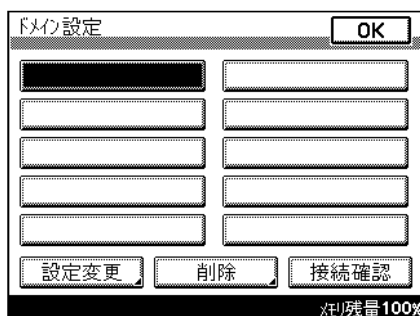


ユーザ認証画面にもどります。

4

[ドメイン設定] を押します。

ドメイン設定画面が表示されます。



5

目的の操作を行います。

- 新規にドメイン名を登録する場合は、空いているキーを選択し、[設定変更] を押します。
- すでに登録されているドメイン名を変更する場合は、名前を変更したいキーを選択し、[設定変更] を押します。

ドメイン名の入力画面が表示されます。

詳しく説明します

- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。
- ソフトスイッチの設定によって、外部サーバ認証と LDAP 認証と連動させる場合、[ActiveDirectory] を選択してください。ソフトスイッチの設定については「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。

詳しく説明します

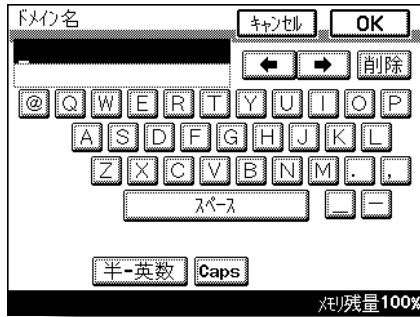
- すでにドメイン名が登録されている場合、外部サーバのユーザ認証画面に [デフォルトドメイン名] が表示され、デフォルトのドメイン名を設定できます。
- ドメイン設定画面の一行目の左上に登録されているドメイン名がデフォルトドメインとなります。
- Active Directory には、最大 10 件のドメイン名を登録できます。

ひとこと

- すでに登録されているドメイン名を削除する場合は、削除したいキーを選択し、[削除] を押します。
- 登録されているドメイン名のキーを選択し、[接続確認] を押すと、外部サーバへの接続が確認できます。

6

ドメイン名を入力し、[OK] を押します。



ドメイン設定画面にもどります。

7

[OK] を押します。

ユーザ認証画面にもどります。

8

[OK] を押します。

外部サーバのユーザが登録されます。

ひとこと

認証方式画面で [NDS] を選んだ場合は、[ドメイン名] の代わりに [ツリー名] および [コンテキスト名] が表示されます。[ツリー名] または [コンテキスト名] を押し、ツリー名またはコンテキスト名を入力して [OK] を押します。

詳しく説明します

- ドメイン名、ツリー名、コンテキスト名については「ユーザズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。
- 文字の入力のしかたについては、「文字を入力するには」(p. 12-2) をごらんください。

ひとこと

部門／認証画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

■ 本体認証を登録する

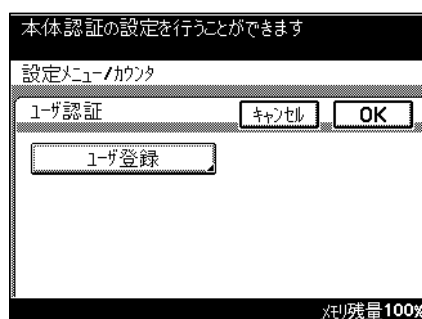
本体の認証システムを使用してユーザを登録します。

1

本体認証のユーザ認証画面を表示します。

2

[ユーザ登録] を押します。



ユーザ番号の選択画面が表示されます。

3

ユーザ番号を選択します。

- タブを選択し、空いているユーザ番号キーを押します。



ユーザ登録画面が表示されます。

ひとこと

本機では最大 100 件のユーザを管理できます。



ユーザ認証画面の表示方法については、「管理者を設定する（ユーザ認証）」(p. 11-36) をご覧ください。

ひとこと

[ユーザ番号] を押してテンキーでユーザ番号を入力すると、直接目的のユーザを表示できます。

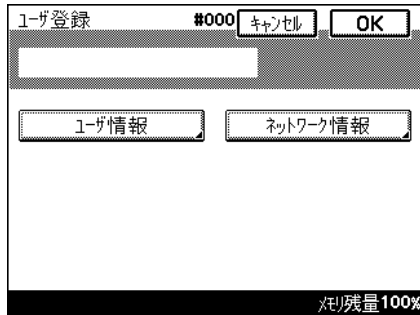


詳しく説明します

登録されているユーザ番号キーにはユーザ名が表示されます。

4

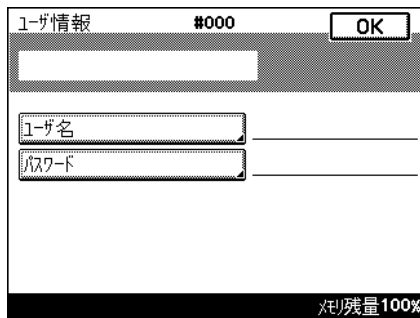
[ユーザ情報] を押します。



ユーザ情報画面が表示されます。

5

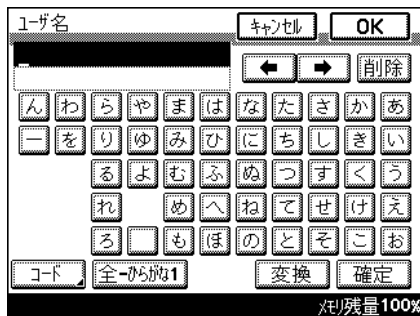
[ユーザ名] を押します。



ユーザ名画面が表示されます。

6

ユーザ名を入力し（半角 64 文字まで）、[OK] を押します。



ユーザ情報画面にもどります。

7

[パスワード] を押します。

パスワード画面が表示されます。

ひとこと

本体認証と部門管理を連動して登録する場合、ユーザ情報画面に「所属部門」が表示されます。「所属部門」を押して、連動する部門番号を設定してください。

参照

部門番号の設定方法については、「部門データ管理を設定する（部門データ）」（p. 11-29）をごらんください。

詳しく説明します

設定変更を取消すときは「キャンセル」を押します。

11

8

パスワードを入力し（半角 32 文字まで）、[OK] を 2 回押します。

- [新しいパスワード] を押し、文字入力画面で新しいパスワードを入力して [OK] を押します。
- [新しいパスワードの確認] を押し、文字入力画面で再度新しいパスワードを入力して [OK] を押します。

ユーザ登録画面にもどります。

9

[OK] を 2 回押します。

ユーザ番号の選択画面にもどります。

本体認証のユーザが登録されます。

詳しく説明します

- パスワードを変更する場合は、[パスワード] を押し、文字入力画面で現在のパスワードを入力して [次へ] を押します。
- 設定変更を取消すときは [キャンセル] を押します。
- 文字の入力のしかたについては、「文字を入力するには」(p. 12-2) をご覧ください。

ひとこと

- ネットワークに接続している場合は、[ネットワーク情報] を押し、[メールアドレス]、[POP3 ユーザ名]、[POP3 パスワード]、[SMTP 認証ユーザ名]、[SMTP 認証パスワード] を登録します。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク/スキャナ機能編」をご覧ください。
- ソフトスイッチの設定により、ユーザ認証で登録したユーザ名とパスワードを、LDAP の検索に使用することができます。ソフトスイッチの設定については「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。LDAP の検索については、「ユーザズガイド ネットワーク/スキャナ機能編」をご覧ください。

ひとこと

ユーザ認証画面を終了するときは、基本画面になるまで [OK] を押します。

■ 本体認証を管理する

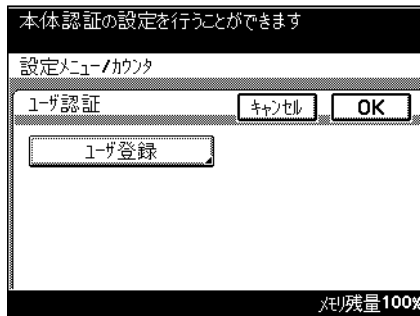
登録した本体認証ユーザの設定の変更やカウンタの管理ができます。

1

本体認証のユーザ認証画面を表示します。

2

[ユーザ登録] を押します。



ユーザ番号の選択画面が表示されます。

3

目的のユーザ番号を選択します。

○ タブを選択し、目的のユーザ番号キーを押します。



ユーザデータ画面が表示されます。



ユーザ認証画面の表示方法については、「管理者を設定する（ユーザ認証）」(p. 11-36) をごらんください。

ひとこと

[ユーザ番号] を押してテンキーでユーザ番号を入力すると、直接目的のユーザを表示できます。

4

管理する項目を選択します。

- [設定変更] を押すと、ユーザ登録画面が表示され、各設定を変更できます。
- [カウンタクリア] を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。選択しているユーザのカウンタをすべて0に戻すには、[はい] を選択します。
- [カウンタ] を押すと、カウンタ画面が表示されます。選択しているユーザの各カウンタを表示します。

<カウンタ画面>

5

[OK] を2回押します。

ユーザ番号の選択画面にもどります。

詳しく説明します

ユーザデータ画面またはカウンタ画面で[次画面]を押すと次の画面に、[前画面]を押すと前の画面に切り換わります。

参照

本体認証の設定の変更方法については、「本体認証を登録する」(p. 11-40) をご覧ください。

ひとこと

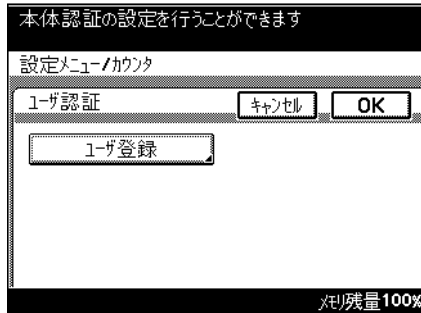
- ・「詳細表示」画面で[スタート]を押すと、部門ごとのプリントカウントの一覧が印刷できます。
- ・プリントカウントの一覧は、認証形態に、ユーザ認証だけが設定されている場合に、印刷できます。

ひとこと

ユーザ認証画面を終了するときは、基本画面になるまで[OK]を押します。

■ 本体認証を削除する

- 1 本体認証のユーザ認証画面を表示します。
- 2 [ユーザ登録] を押します。



ユーザ番号の選択画面が表示されます。

- 3 目的のユーザ番号を選択します。
 - タブからひとつを選択し、目的のユーザ番号キーを押します。



ユーザデータ画面が表示されます。



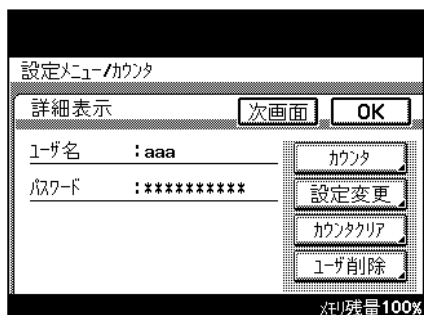
ユーザ認証画面の表示方法については、「管理者を設定する（ユーザ認証）」(p. 11-36) をごらんください。

ひとこと

[ユーザ番号] を押してテンキーでユーザ番号を入力すると、直接目的のユーザを表示できます。

4

「ユーザ削除」を押します。



5

「はい」を選択し、「OK」を押します。



ユーザ番号の選択画面にもどります。

ひとこと

本体認証を行って本機を使用している場合は、認証を行ったユーザの「ユーザ削除」は表示されません。

ひとこと

ユーザ認証画面を終了するときは、基本画面になるまで「OK」を押します。

11.10機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）

本機のご利用状況に合わせてソフトウェア DIPSW の数値（モード、ビット、HEX）を指定することで、各機能の状態を変更できます。

モード指定	ソフトウェア DIPSW で設定する項目を 3 桁の数字で指定します。
ビット指定	モードを構成する 8 桁の数字です。7 ～ 0 の各ビットを 2 進数（0 または 1）で指定することにより、各機能の設定を行います。
HEX 指定	各機能の設定をモードごとに 16 進数（0 ～ 9、A ～ F の組合わせ）で指定します。 例えば、ビット指定が“0011 0000”の場合は、HEX 指定では“30”となります。

参考：ビット指定（2 進数）と HEX 指定（16 進数）の例

10 進数	ビット指定（2 進数）	HEX 指定（16 進数）
0	0000 0000	00
1	0000 0001	01
2	0000 0010	02
3	0000 0011	03
4	0000 0100	04
5	0000 0101	05
6	0000 0110	06
7	0000 0111	07
8	0000 1000	08
9	0000 1001	09
10	0000 1010	0A
11	0000 1011	0B
12	0000 1100	0C
13	0000 1101	0D
14	0000 1110	0E
15	0000 1111	0F
16	0001 0000	10
・	・	・
・	・	・
・	・	・
255	1111 1111	FF



本書に記載されているものの以外モードおよびビットは変更しないでください。

ひとこと

セキュリティ強化モードが設定されている場合は、ソフトウェア DIPSW は変更できません。

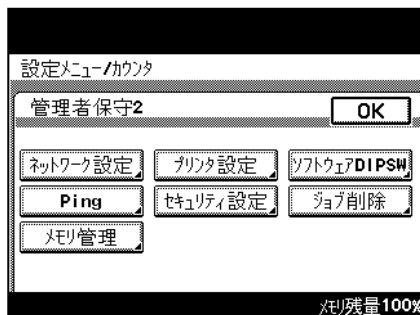
■ ソフトウェア DIPSW の設定のしかた

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 2] を押します。

2

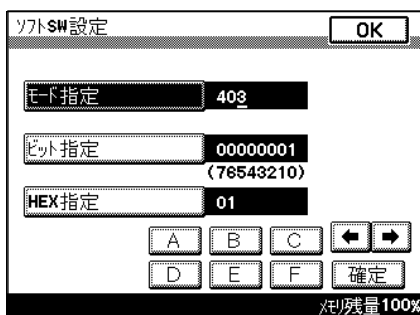
[ソフトウェア DIPSW] を押します。



ソフト SW 設定画面が表示されます。

3

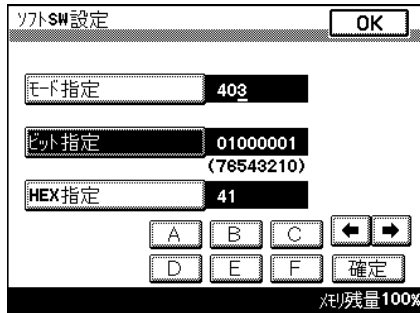
[モード指定] を押し、テンキーでモード番号を入力します。



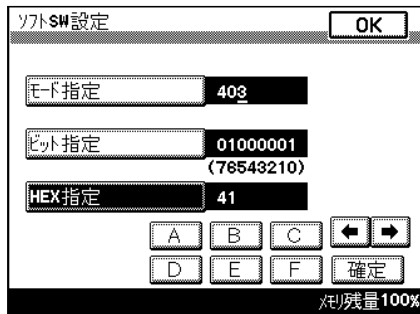
4

〔ビット指定〕または〔HEX 指定〕で機能を指定します。

- ビット指定で指定する場合は、〔ビット指定〕を押します。◀、▶ でカーソルを合わせ、テンキーの【0】または【1】でビットを指定して〔確定〕を押します。



- HEX 指定で指定する場合は、〔HEX 指定〕を押します。テンキーと [A] ～ [F] で HEX を指定して〔確定〕を押します。



5

続けて他のモードを変更するときは、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

6

最初の画面に戻るまで [OK] を押します。

7

電源を OFF/ON します。

11

ひとこと

主電源を OFF/ON するとき、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

■ コピー機能の使用禁止を設定する（モード 307）

コピー機能が使用できないように設定します。【コピー】を押しても基本画面は表示されません。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0（HEX：00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7	コピー機能が使用できる／できないの設定	0	コピー機能を使用可能に設定
		1	コピー機能を使用禁止に設定
6,5,4,3,2,1,0	-----	0000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

■ 拡大表示方法を設定する（モード 311）

画面の拡大表示方法を設定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。
6	【拡大画面】を押したときに、拡大表示する画面位置の指定待ち状態か、画面の左上を拡大表示するか、を設定	0	拡大表示する画面位置の指定待ち
		1	画面左上を拡大表示
5,4,3,2,1,0	-----	000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

■ 自動用紙と自動倍率を同時に設定する（モード 403）

自動用紙を設定するときに給紙トレイを選択すると、自動的に、自動倍率機能が設定されるようにします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 1 (HEX : 01)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。
6	自動的に、自動倍率機能が設定される／されないの設定	0	自動倍率の同時設定を不可に設定
		1	自動倍率の同時設定を可に設定

ビット	内容	状態	説明
5,4,3,2,1,0	-----	000001	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

■ ADF を使用したコピー終了時の設定に関する指定をする（モード 429）

ADF を使用したコピー終了時に、オートクリアをするかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0（HEX : 00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7,6	-----	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。
5	ADF を使用したコピー終了時に、基本画面の内容をオートクリアする／しないの指定	0	オートクリアしない
		1	オートクリアする
4,3,2,1,0	-----	00000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

■ ログアウトするときの【ID】押下の指定（モード 438）

【ID】を押して、ログアウトするかどうかを設定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0（HEX : 00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7,6,5	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。
4	ログアウトするときに【ID】を押す / 押さないの設定	0	ログアウト時に【ID】を押さない。
		1	ログアウト時に【ID】を押す
3,2,1,0	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

■ ユーザ認証で登録した情報を使用して LDAP サーバにログインする（モード 466）

ユーザ認証で登録したユーザ名とパスワードを使用して、LDAP サーバにログインするかどうかを設定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7	外部サーバ認証時に用いたユーザ名 / パスワードを、LDAP サーバへのログインに使用する / しないの設定	0	ログインに使用しない
		1	ログインに使用する
6,5,4,3,2,1,0	-----	0000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。



LDAP サーバを使用するには、接続する LDAP サーバの情報登録が必要です。また、LDAP とユーザ認証を連動させる場合、ユーザ認証方式は [ActiveDirectory] を選択してください。LDAP の認証方式は GSS-SPNEGO を設定してください。

ユーザ認証方式については、「外部サーバ認証を登録する」(p. 11-37) をごらんください。LDAP の認証方式については、「ユーザーズガイド ネットワーク / スキャナ編」をごらんください。

■ アクセスロック、パスワード規約、画像データの消去方法を指定する（モード 469）

パスワードを間違えた場合にアクセスロックをするかどうか、パスワード規約をかけるかどうか、また画像データの消去方法を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7	パスワード（部門管理や管理者パスワードなど）を3回連続して間違えると、アクセスロックするかどうかの指定	0	アクセスロックしない
		1	アクセスロックする
6	HDD の画像データを上書き消去するかどうかの指定（*1）	0	HDD の画像データを消去するとき、データ上書き消去しない
		1	HDD の画像データを消去するとき、データ上書き消去する
5	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。
4	セキュリティのため、パスワード規約をかけるかどうかの指定	0	パスワード規約をかける
		1	パスワード規約をかける
3, 2, 1, 0	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

（*1）この項目は電源 OFF/ON 後反映されます。



- セキュリティ強化を適用すると、アクセスロック、パスワード規約、一時データ上書き消去は、すべて有効に設定されます。セキュリティ強化の詳細については、「セキュリティ設定を行う（セキュリティ設定）」（p. 11-57）をごらんください。
- アクセスロックは、パスワードごとに解除できません。詳細については、「アクセスロックを解除する（ペナルティ解除）」（p. 11-61）をごらんください。
- パスワード規約の詳細については、「パスワード規約」（p. 11-65）をごらんください。

ひとこと

ビット 6 を「1」に設定していると、読取りやプリントの速度が低下する場合があります。

■ ユーザ認証画面でのユーザー一覧表示を設定する（モード 471）

本体認証時に「ユーザー一覧」のキーを表示させるかどうかの選択、および「ユーザー一覧」のキーを表示させた場合にデフォルト画面をどうするかを設定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0（HEX：00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7,6,5,4,3	-----	00000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。
2,1	一覧画面を表示する／しない、一覧画面をデフォルトにする／しないの設定	00	一覧画面を表示しない
		01	一覧画面を表示し、デフォルトにしない
		11	一覧画面をデフォルトにする
0	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。

■ 文字入力画面の「削除」キーの削除方式を指定する（モード 478）

文字入力画面の「削除」キーの削除方法を指定します。

カーソルを合わせている文字を削除する方法と、カーソルの前の文字を削除する方法の 2 とおりから選択できます。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7	文字入力画面の「削除」キーの削除方式の指定	0	カーソルを合わせている文字を削除
		1	カーソルの前の文字を削除
6,5,4,3,2,1,0	-----	0000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。

■ ユーザ認証をスキャン機能のみに限定する（モード 479）

ユーザ認証を【ファクス/スキャン】、【拡張スキャン】を押したときのみに限定できます。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明
7,6,5	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。
4,3,2,1,0	ファクス、スキャン機能に認証を限定する	11001	限定する
		00000	限定しない

 詳しく説明します

スキャン機能に限定したユーザ認証を行う場合、管理者保守 1 の「部門 / 認証」で認証形態を「外部サーバ」に指定してください。認証形態の設定については、「管理方法を設定する（認証設定）」（p. 11-26）をごらんください。

 必ず守ってください

モード 479 については、「指定のしかた」に記述されている以外の状態には設定しないでください。

11.11セキュリティ設定を行う（セキュリティ設定）

本機にセキュリティ設定のセキュリティ強化を適用すると、さまざまなセキュリティ機能が強制的に切換えられ、本機の不正使用を防止し、また、蓄積されたデータの管理において安全性をより高めることができます。ユーザの操作には制限がかかり、ボックス操作やプリントジョブが制限されたりします。

セキュリティ強化を適用するには、あらかじめ設定しておく必要のある機能や、強制的に切換えられる機能があります。よって、セキュリティ強化を適用にする前に、各セキュリティ機能の設定を確認しておく必要があります。



- 暗号化設定を行う場合、電源ケーブル以外のネットワークケーブルは本機から必ず取外してください。
- セキュリティ強化に合致しない機能設定がある場合、セキュリティ強化を適用することはできません。



セキュリティ強化を適用すると、セキュリティ強化を適用するために必要な設定や強制的に切換えられた設定は変更できません。

■ セキュリティ強化を設定する前に

セキュリティ強化を適用するには、あらかじめ以下の設定が必要です。

原則

管理者保守の HDD 管理は、オプションのハードディスクを装着している場合にだけ表示される機能です。

管理者保守の 設定メニュー	必要な設定
管理者設定／ 管理者番号変更	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。規約を満たさないパスワードを設定している場合でもセキュリティ強化を ON にできますが、管理者保守画面のパスワード入力で無効なパスワードとなりますのでご注意ください。
HDD 管理／ ロック設定	オプションのハードディスクを装着している場合、20 桁の HDD ロックパスワードを設定します。
暗号化設定	セキュリティキット SC-504 を装着している場合は、暗号化を設定します。ロックパスワードか、暗号化のどちらか一方が設定されている必要があります。

詳しく説明します

セキュリティ強化を適用するには、SSL 証明書の登録、サービスコードの変更、CS リモートケアの解除など、必要な条件があります。SSL 証明書の登録については「ユーザズガイド ネットワークスキャナ編」をごらんください。サービスコードの変更、リモートケアの解除については、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

- パスワード規約については、「パスワード規約」(p. 11-65)をごらんください。
- 暗号化設定を解除する場合、セキュリティ強化モードと一時データ上書き消去の設定を解除してから主電源を OFF/ON し、さらに初期化してください。HDD 管理について、詳しくは「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。

■ セキュリティ強化で変更される機能について

セキュリティ強化を適用すると、セキュリティを強化するため強制的に以下のように機能変更されます。変更された機能は、セキュリティ強化を解除しても元の設定には戻りません。セキュリティ強化を適用する前に、変更される機能について十分に確認してください。

変更される機能	変更の内容
パスワード規約	パスワード規約が適用されます。
アクセスロック	機能が有効になります。パスワードの入力が必要な操作において、パスワードの入力を3回連続して間違えると、以降は、パスワードの入力を受け付けなくなります。
ソフトウェア DIPSW	ソフトウェア DIPSW の設定変更ができなくなります。
ユーザ認証時のキー表示	[ユーザー一覧] が表示されなくなります。
認証指定無しプリント	使用不可になります。
オートリセット	[しない] に設定できなくなります。セキュリティ強化を適用する前に [しない] に設定していた場合、[1分] に変更されます。
ワンタッチ変更禁止	ワンタッチ変更禁止が有効になります。
一時データ上書き消去	一時データ上書き消去が有効になります。
HDD ロックパスワード解除	HDD ロックパスワードの設定変更ができなくなります。

■ セキュリティ強化を設定する（セキュリティ強化）

本機を使用するにあたり、セキュリティを強化した設定に変更します。

原則

セキュリティ強化を適用するには、各種設定において必要な条件があります。詳細については、「セキュリティ強化を設定する前に」(p. 11-58) をご覧ください。

1

管理者保守 2 画面を表示し、[セキュリティ設定] を押します。

セキュリティ設定画面が表示されます。



- パスワード規約については、「パスワード規約」(p. 11-65) をご覧ください。
- アクセスロックについては、「アクセスロックを解除する（ペナルティ解除）」(p. 11-61) をご覧ください。
- 変更されるネットワーク設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をご覧ください。
- 変更されるボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をご覧ください。
- 変更されるファクシミリ機能については、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をご覧ください。

ひとこと

セキュリティ強化を適用した場合、次のソフトウェアは使用できなくなります。

- HDD バックアップユーティリティ
- HDDTwain
- PS Box Operator
- PS Data Administrator



管理者保守 2 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21) をご覧ください。

2

「セキュリティ強化」を押します。



セキュリティ強化画面が表示されます。

3

「ON」を選択し、「OK」を押します。



「新しい設定を有効にするためには電源スイッチを OFF し、しばらくしてから ON にしてください」というメッセージ画面が表示されます。

4

【主電源スイッチ】を OFF にし、10 秒以上経過してから【主電源スイッチ】を ON にします。

詳しく説明します

- セキュリティ強化を適用すると、パスワード規約に合致しないパスワードは使用できなくなります。詳しくは、「パスワード規約」(p. 11-65) をご覧ください。
- セキュリティ強化を適用すると、ソフトウェア DIPSW の設定変更は行えなくなります。また、セキュリティ強化を適用することによって変更された機能は、セキュリティ強化を解除しても元の設定には戻りません。

詳しく説明します

セキュリティ強化を適用できる条件が満たされていない場合、画面にセキュリティ強化を適用できない原因が表示されます。そのような場合はメッセージにしたがい、対処してください。

ひとこと

セキュリティ強化を解除する場合は、管理者が設定を行ってください。セキュリティ強化画面で「OFF」を選択して「OK」を押し、手順 4 の操作を行ってください。

■ アクセスロックを解除する（ペナルティ解除）

アクセスロックの対象となる操作で、パスワードの入力を3回連続して間違えると、以降は、パスワードの入力を受け付けなくなるロック機能が働きます。装置を再起動するか、ペナルティ解除を設定しなければパスワードの認証操作を行えなくなります。

ペナルティ解除では、特定の操作をアクセスロックの対象外に設定し、ロック機能を解除できます。

アクセスロックの対象となるのは、以下のパスワードです。ただし、管理者パスワードをアクセスロックの対象外に設定することはできません。

機密文書パスワード、ボックスパスワード、ユーザ認証パスワード、プリント制御パスワード、掲示板Fコードパスワード、親展ボックスFコードパスワード、管理者パスワード

1

管理者保守2画面を表示し、[セキュリティ設定] を押します。

セキュリティ設定画面が表示されます。

2

[ペナルティ解除] を押します。



ペナルティ解除画面が表示されます。

詳しく説明します

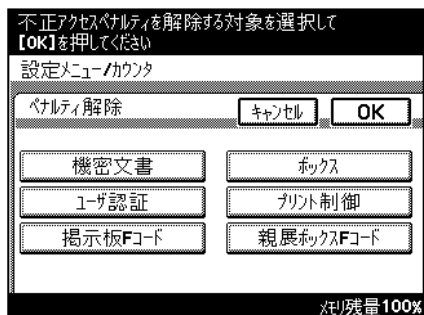
- 初期設定では、アクセスロックは無効に設定されています。
- アクセスロックは、ソフトウェア DIPSW で有効に設定できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。
- ソフトウェア DIPSW の設定でアクセスロックが無効になっていても、セキュリティ強化を適用すると、アクセスロックは有効に設定されます。

参照

管理者保守2画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21) をご覧ください。

3

アクセスロックの対象外に設定したい機能キーを選択し、[OK] を押します。



セキュリティ設定画面に戻ります。

ひとこと

機能キーに該当するオプションが装着されていない場合、機能キーは表示されません。また、ユーザ登録されていない場合、[ユーザ認証]のキーは表示されません。

詳しく説明します

- アクセスロックの対象外に設定してもパスワードの認証操作を行えない場合、装置を再起動してください。
- 主電源を OFF にしたあとで再び ON にすると、アクセスロックが解除されます。
- 主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

11.12 メモリ管理を行う（メモリ管理）

内部メモリに蓄積されたデータを消去し、登録、設定した内容を初期化できます。

原則

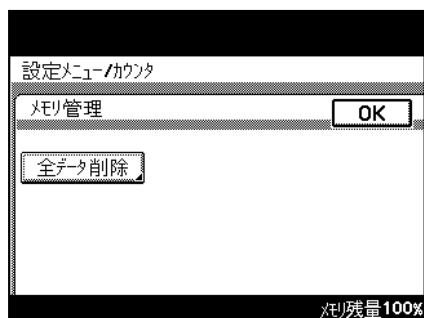
実行中のジョブがある場合、内部メモリのデータ消去は実行できません。

1

管理者保守 2 画面を表示し、[メモリ管理] を押します。
メモリ管理画面が表示されます。

2

[全データ削除] を押します。



全データ削除画面が表示されます。

必ず守ってください

- メモリ管理を行う場合、電源ケーブル以外のネットワークケーブルは本機から必ず取外してください。
- メモリ管理画面で[全データ削除]を実行すると、登録、設定したすべての内容が初期化されますので、全データ削除後、装置が正常に動作しなくなる可能性があります。全データ削除は、装置を廃棄する場合などに実行し、それ以外の状況においては使用しないでください。
- 全データ削除は、本機の電源を ON にして 2 分以上経過してから行ってください。

参照

管理者保守 2 画面の表示方法については、「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 11-21) をご覧ください。

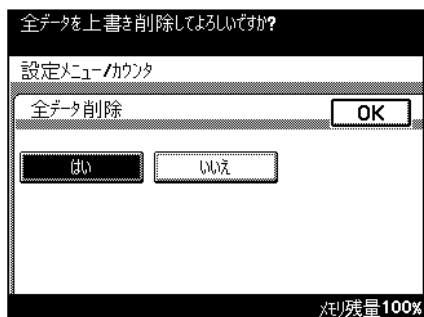
ひとこと

- オプションのハードディスクを装着している場合、[メモリ管理] に換わり、[HDD 管理] が表示されます。HDD 管理については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をご覧ください。
- 全データ削除の実行中は不具合が発生する可能性がありますので、本機に触れないでください。

11

3

[はい] を選択し、[OK] を押します。



しばらくすると「全データ削除が完了しました」のメッセージが表示されます。

詳しく説明します

- 実行中のジョブがある場合、「終了していないジョブがあるため開始できません」のメッセージが表示されます。[OK] を押して元の画面に戻り、ジョブの終了を確認してから「全データ削除」を実行してください。
- 「全データ削除に失敗しました...」のメッセージが表示された場合は、主電源を OFF にし、約 10 秒たってから主電源を ON にして、再度、「全データ削除」を実行してください。

11.13パスワード規約

セキュリティ強化を適用すると、パスワード規約が有効となり、パスワードに対して以下のような制約がかかることから、セキュリティを強化することができます。

セキュリティ強化を適用したときに、すでに設定してあるパスワードがパスワード規約に合致しない場合、そのパスワードを入力しても受け付けられなくなります。そのようなときは、管理者にセキュリティ強化をいったん解除してもらい、以下の条件に合うようなパスワードを設定しなおしてください。

<パスワード規約による制約>

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
<ul style="list-style-type: none">8文字の半角英数字管理者パスワードの場合、半角数字のみ入力可ユーザ認証ユーザパスワードの場合、8文字以上	<ul style="list-style-type: none">管理者パスワードの場合、管理者番号がパスワード規約に合致している必要があります。「00000000」のように、すべて同一の文字・数字は、パスワードとして登録できません。

<規約により制約がかかるパスワード>

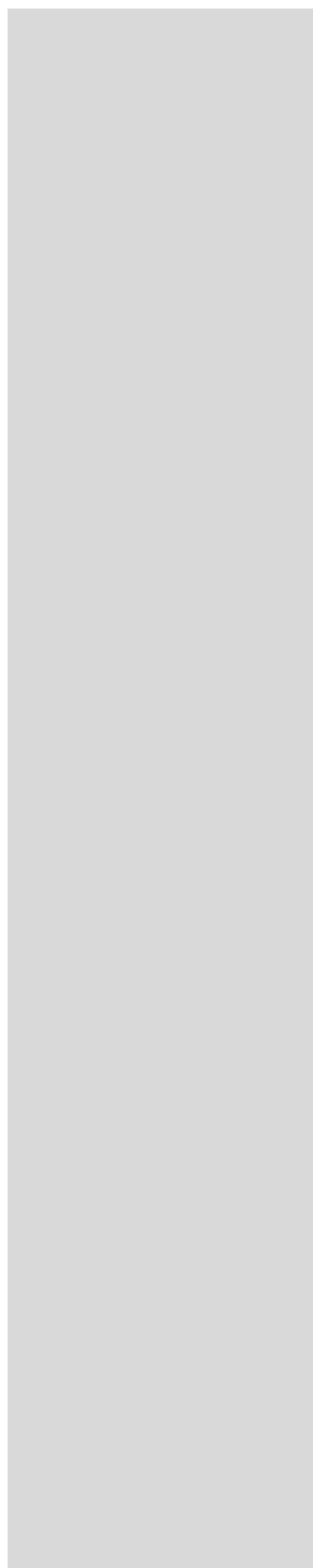
パスワード	パスワードを使用する操作
管理者パスワード	管理者保守の設定を行う場合に使用します。
部門管理パスワード	部門管理のログオン時に使用します。
ボックスのパスワード	ボックスの操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
機密文書のパスワード	機密文書の操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
ユーザ認証ユーザパスワード	ユーザ認証のログオン時に使用します。


詳しく説明します

- 初期設定では、パスワード規約は無効に設定されています。
- パスワード規約は、ソフトウェア DIPSW で有効に設定できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47)をごらんください。
- ソフトウェア DIPSW の設定でパスワード規約が無効になっていても、セキュリティ強化を適用すると、パスワード規約は有効に設定されます。

詳しく説明します

- パスワード規約が有効に設定されると、各パスワードに使用できる文字の種類や桁数が制限されます。
- 管理者パスワードは、必ずパスワード規約に合致した管理者番号を入力してください。パスワード規約に合致しない管理者パスワードでログインし、セキュリティ強化機能を設定すると、その操作以降、管理者モードにログインできなくなります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。





第 12 章

付録

文字入力のしかたの説明と用語集について書いてあります。

12.1 文字を入力するには	12-2
12.2 用語集	12-8
12.3 使用別索引	12-11
12.4 項目別索引	12-16

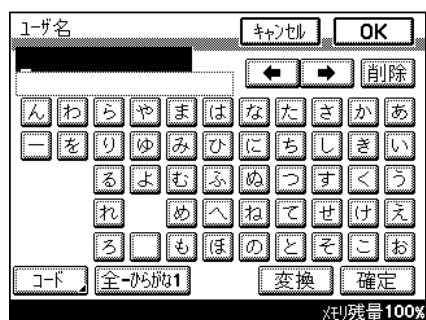
12.1 文字を入力するには

ワンタッチ登録やパスワードの入力などで文字を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

ここでは文字入力画面で入力モードを切替える手順を、本体認証登録のユーザ名画面で説明します。

1

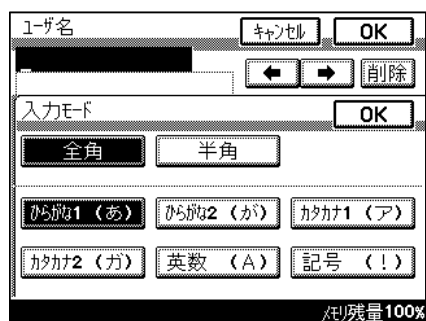
文字入力画面で入力モード切替キーを押します。



入力モード画面が表示されます。

2

〔全角〕または〔半角〕を押し、入力モードを選択します。



3

〔OK〕を押します。

入力モードが選択されます。

ひとこと

- 入力モード切替キーには選択されている入力モード名（「全-ひらがな1」など）が表示されます。
- 文字入力画面によっては入力モード画面または入力モード切替キーが表示されません。

詳しく説明します

〔半角〕が選択されている場合は、〔ひらがな1〕および〔ひらがな2〕は表示されません。

■ 英数字を入力する

1

入力モード画面で〔英数〕を押し、〔OK〕を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

○ 数字はテンキーで入力します。



入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 12-2)をごらんください。



- 入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する (ソフトウェア DIPSW)」(p. 11-47)をごらんください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、〔クリア〕を押します。
- 大文字を入力する場合は、〔Caps〕を押します。
- 大文字入力を解除するときは再度〔Caps〕を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、〔キャンセル〕を押します。

■ ひらがなを入力する

1

入力モード画面で〔ひらがな 1〕を押し、〔OK〕を押します。

○ 濁音 (「がぎぐげご」など)、半濁音 (「ぱぴぷぺぽ」)、拗音 (「きゃきゅきょ」など) を入力したいときは、〔ひらがな 2〕を押します。

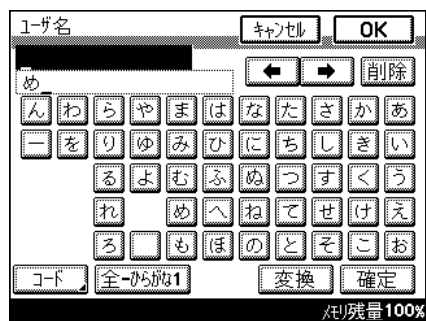


入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 12-2)をごらんください。

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

- 続けて濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 1] を押し入力モードを [ひらがな 2] に設定します。



3

[確定] を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

■ カタカナを入力する

1

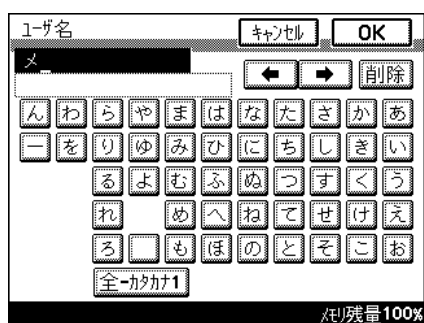
入力モード画面で「カタカナ 1」を押し、[OK] を押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）、半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力したいときは、「カタカナ 2」を押します。

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



■ 漢字を入力する

1

入力モード画面で「ひらがな 1」を押し、[OK] を押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、「ひらがな 2」を押します。



入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 12-2) をご覧ください。



詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。



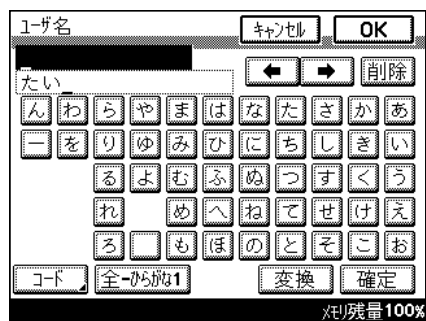
入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 12-2) をご覧ください。

12

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

- 続けて濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 1] を押し入力モードを [ひらがな 2] に設定します。



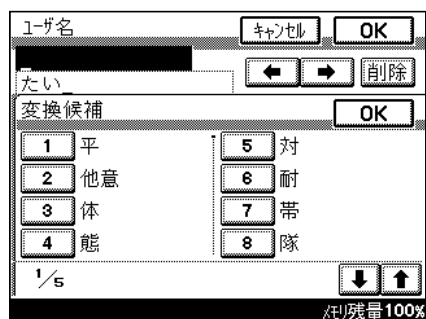
3

[変換] を押します。

変換候補画面が表示されます。

4

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



詳しく説明します

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。

詳しく説明します

候補が 9 個以上ある場合に、[↑]、[↓] のキーが現れます。

- [↑] を押すと前候補が表示されます。
- [↓] を押すと次候補が表示されます。

5

[OK] を押します。
文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 11-47) をご覧ください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

■ 入力文字一覧

ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわをんがぎぐげござじずせそだちづでとばびぶべぼ あいうえおやゆよつ — {}(スペース)・「」
カタカナ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワンガギグゲゴザジゼゾダヂヅデトバビブベボ アイウエオヤユヨツ — {}(スペース)・「」
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz { } () * % & ' () + , - . / : ; < = > ? @ [] ^ _ ` ~ * 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

12.2 用語集

本体コピー機能に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	ADF	自動両面原稿送り装置のことです。原稿を自動で読込ませることができます。(ADF = Automatic document feeder)
	AMS	自動倍率機能のことです。(AMS=Auto Magnification Select)
	APS	自動用紙機能のことです。(APS = Auto Paper Select)
	ATS	自動トレイ切換え機能のことです。(ATS=Auto Tray Switch)
	LCT	オプションの給紙キャビネットのことです。2,500 枚までの用紙をセットできます。
	OHP 合紙	OHP フィルムを 1 枚コピーするごとに、白紙を OHP フィルムの間に合紙として挿入する機能です。OHP フィルムどうしが密着するのを防ぐ機能です。
あ行	アクセスロック	アクセスロックの対象となる操作で、パスワードの入力を 3 回連続して間違えると、以降は、パスワードの入力を受け付けなくなるロック機能が働きます。
	イメージリピート	原稿から読込んだ画像を 1 枚の用紙の中に繰返してコピーできます。
	イレース	原稿の外周にある不要な部分を消してコピーできます。
	インタシート	指定した給紙トレイの用紙を章分け紙として挿入する機能です。
	オートリセット	本機が操作されないままで一定時間経過したときに、自動的に初期設定に戻る機能です。
	折目消し	原稿中央の折目を消してコピーできます。
か行	拡大表示	タッチパネルを拡大表示して操作できるようにする機能です。
	カバーシート	指定した給紙トレイの用紙を表紙としてつける機能です。
	確認コピー	大量部数のコピーをするとき、1 部数だけを仕上げていったんストップさせる機能です。大量のミスコピーを未然に防止できます。
	画質	原稿の画質に合わせてモードを選択し、よりよいコピー画質に調整できる機能です。
	画像付加	目的に合わせて画像などを入れてコピーできます。 “ナンバリング” 機能を使うと、管理用のナンバを用紙の背景に網掛け印字しコピーできます。 “スタンプ” 機能を使うと、至急、回覧、極秘などの定型パターンをスタンプ印字しコピーできます。 “オーバーレイ” 機能を使うと、読込んだ画像を他のコピー画像に重ねてコピーできます。
	片面 / 両面	原稿の読込み面と用紙の印刷面を片面にするか、両面にするか指定する機能です。
	紙折り	コピー用紙を指定した折り方で出力する機能です。フィニッシャーなどのオプションにより“中折り”、“中とじ”があります。
	グループ	コピーをページ単位で出力する機能です。1 ページ目が指定した部数分出力されたあと、2 ページ目以降も指定した部数分出力されます。

	用語	説明
か行	原稿セット方向	ADF や原稿ガラスにセットした原稿のセット方向を設定する機能です。推奨の置き方以外の方向に原稿をセットした場合にも、画像の向きやとじ方向を正しく決定できます。
	原稿のとじ代	セットした原稿の、片側の余白位置を指定する機能です。片面原稿を両面コピーする場合や、両面原稿を片面コピーする場合に、コピーの上下が逆にならないように設定できます。
	コピー濃度	コピー濃度を 9 段階で微調整する機能です。
	混載原稿	異なるサイズが混じった原稿を、ADF にセットしても、原稿ごとに原稿サイズを検知し、適正なコピー用紙にコピーされる機能です。
さ行	仕上り	コピーを排紙トレイに出力するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	自動倍率	ADF や原稿ガラスに原稿をセットし、コピー用紙のサイズを選択すると、適正な倍率を自動で選択する機能です。
	自動用紙	ADF や原稿ガラスにセットされた原稿サイズを検知し、等倍の時は同じサイズのコピー用紙を、変倍の時は倍率に対応したサイズの用紙を自動で選択する機能です。
	白黒反転	原稿の濃淡および階調を反転してコピーする機能です。
	仕分け	コピーを仕分けして出力する機能です。
	自動トレイ切換え	連続コピー中にコピー用紙が無くなった時、他のトレイに同じサイズがあるか検知し、あれば自動的に切り替えてコピーし続ける機能です。
	集約	1 枚のコピー用紙に、複数の原稿を縮小し並べてコピーする機能です。集約する枚数により 2in1、4in1 の機能を選択できます。
	消去	周囲の影や折り目など、原稿以外の不要な部分を消去できる機能です。
	ジョブ	コピーの操作を行ったときに本機に登録される、1 件分のコピー動作のことです。本機には複数のジョブを登録できます。
	ステープル	コピー書類を止め金でとじる機能です。
	ズーム	セットした原稿をテンキーで指定した倍率で拡大／縮小し、用紙にコピーする機能です。
	スリープ	本機が操作されないままで一定時間経過したときに、自動的に節電状態になる機能です。ローパワーよりも節電効果の高い状態になります。
	セキュリティ強化	本機の不正使用を防止し、また、蓄積されたデータの管理において安全性高めるため、さまざまなセキュリティ機能を強化する設定です。
	選択トレイの設定変更	用紙トレイにセットされていない用紙サイズや、普通紙以外の用紙にコピーする設定ができます。
	ソート	コピーを部数単位で出力する機能です。1 部目が出力されたあと、2 部目のコピーが出力されます。
た行	小さめ	原稿の画像をわずかに縮小しコピーする機能です。

	用語	説明
な行	中とじ	コピー用紙を半分に折り、中央にステーブルでとじて出力する機能です。
	濃度	印刷画像濃度を9段階で設定してコピーする機能です。
は行	倍率	コピー倍率を変更できます。
	パスワード規約	同一文字のみのパスワードを禁止し、また、パスワードには8文字以上の文字数が必要になるなど、パスワードの条件を厳しく制限します。
	パンチ	コピーにファイリング用のパンチ穴をあける機能です。
	フィニッシャー	コピーを出力するときに仕分けや仕上げを行う装置のことです。
	部門管理	部門単位のグループに分けて本機の使用状態（出力と読込みのカウント、出力枚数）を管理する機能です。
や行	用紙	コピーする用紙の種類とサイズを設定できます。
	ユーザ認証	個人単位で本機の使用状態を管理する機能です。ユーザごとに出力と読込みのカウントを行う本体認証と、ユーザの使用制限を行う外部サーバ認証があります。
	ユーザ補助	操作パネルやタッチパネルの設定と調整ができます。
ら行	連続読込み	原稿の枚数がADFにセットできる最大枚数（80枚）を超える場合に、原稿をいくつかに分けて読込む機能です。原稿を読込ませ、ひとつのコピージョブとして一括してコピーできます。また、途中で原稿ガラスにセットして読込ませたり、ADFに切換えることもできます。
	ローパワー	本機が操作されないままで一定時間経過したときに、自動的に節電状態になる機能です。タッチパネルが消えた状態になります。

12.3 使用別索引

■ あ行

印字する

付属情報を印字してコピーする（画像付加）8-23

選ぶ

仕上りモードを選ぶ3-45

■ か行

かえる

操作パネルの角度をかえる2-19

確認する

1部プリントしてコピーの仕上りを確認する（確認コピー）4-4
カウントを確認する（カウンタ）10-5
コピーの設定を確認する（設定内容）4-2
実行中のジョブを確認する4-21
プリント順を確認する4-22
用語集12-8

重ねる

画像を重ねてコピーする（オーバーレイ）8-27

画質を選ぶ

画質 / 濃度を選ぶ3-39

片面 / 両面を選ぶ

原稿とコピーの片面 / 両面を選ぶ3-36

紙づまり

「紙づまりです」と表示されたら5-4

管理する

管理者設定を行う（管理者設定）11-24
管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）11-21
管理者を設定する（ユーザ認証）11-36
管理方法を設定する（認証設定）11-26
部門データ管理を設定する（部門データ）11-29

繰り返す

画像を繰り返しコピーする（イメージリポート）8-14

警告

安全にご使用いただくために1-2

消す

原稿の不要部分を消去してコピーする（イレース）	8-12
ジョブを削除する	4-23

原稿

ADFに原稿をセットする	3-8
ADFにセットする原稿についての注意	7-18
ADFにセットできる原稿	7-17
原稿および用紙の呼び方と表示	20
原稿ガラス上に原稿をセットする	3-10
原稿ガラス上にセットする原稿についての注意	7-19
原稿ガラス上にセットできる原稿	7-19
原稿を設定する	3-16
原稿をセットする	3-8
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする	3-14

原稿をセットする

原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）	3-18
------------------------------	------

交換する

ステープル針を交換する	9-7
トナーボトルを交換する	9-2

■ さ行**サービス**

保守サービス	6-9
--------------	-----

仕上りを選ぶ

コピーの仕上りを選ぶ	3-45
------------------	------

指定する

用紙サイズを指定する（設定変更）	7-8
------------------------	-----

自動

ATS 機能（オートトレイスイッチ）	7-7
自動的に初期設定にもどる（オートリセット）	2-25
自動的に優先画面に切替える	2-25

設置する

設置スペース	1-13
--------------	------

設定する

機能の状態（ソフトウェア DIPSW）を設定する	11-47
初期設定を行う（初期設定）	11-23
専用紙として設定する（設定変更）	7-15
操作パネルの設定をする（ユニバーサル）	4-13
不定形サイズ用の用紙をセットする（不定形サイズ）	7-10
ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス）	11-9
ユーザ保守を設定する（ユーザ保守）	11-19

節電

自動的に節電状態にする（スリープ）	2-26
自動的に節電状態にする（ローパワー）	2-25
タッチパネルを暗くする（LCD バックライトオフ）	2-26

掃除する

外装カバー	10-2
原稿押えパッド	10-3
原稿ガラス	10-2
スリットガラス	10-4
操作パネル	10-3

挿入する

OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）	8-8
挿入紙をつける（インタシート）	8-5

■ た行**注意する**

安全にご使用いただくために	1-2
使用上のご注意	1-14

注意表記・注意ラベル

注意表記・注意ラベル	1-12
------------------	------

つける

コピーにとじ代をつける（とじ代作成）	8-10
表紙をつける（カバーシート）	8-2

停止する

ジョブを中断／削除する	3-57
-------------------	------

点検

「定期点検時期です」と表示されたら	10-6
-------------------------	------

電源

電源の入れかた	2-21
電源の切りかた	2-24

登録する

コピープログラムを登録する	4-7
コピープログラムを呼出してコピーする	4-9
目的の倍率を登録する	3-34
目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズ）	7-12

とじ

用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）	3-54
--------------------------	------

とじ代

とじ代を設定する（原稿のとじ代）	3-20
------------------------	------

トラブル

簡単なトラブルの処理	5-29
「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）	5-2

■ な行

名前とはたらきを確認する

各部の名称とはたらき	2-2
------------------	-----

入力する

文字を入力するには	12-2
-----------------	------

認証

外部サーバ認証と部門管理を連動させて本機を使用する	2-36
外部サーバ認証にしたがって本機を使用する	2-30
管理設定にしたがって使用者を制限する（部門管理）	2-33
本体認証と部門管理にしたがって本機を使用する	2-41
本体認証と部門管理を連動させて本機を使用する	2-45
本体認証にしたがって本機を使用する	2-27

濃度を選ぶ

画質を設定する	3-40
---------------	------

■ は行

配置する

中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）	8-21
ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）	8-17

倍率を選ぶ

倍率を選ぶ	3-24
-------------	------

針づまり

ステープル針がつまったら	9-14
--------------------	------

パンチ

パンチくずを処理する	9-23
------------------	------

反転する

原稿の濃淡を反転してコピーする（白黒反転）	8-34
-----------------------------	------

表示させる

ユニバーサル画面を表示させる	4-13
----------------------	------

分割する

原稿を連続して読込む（連続読込み）	3-12
-------------------------	------

保管する	
用紙の保管	7-6

■ ま行

メッセージ	
おもなメッセージと処理のしかた	5-32

メモリ	
「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	5-26

■ や行

用紙	
LCT へ用紙をセットする	2-50
原稿および用紙の呼び方と表示	20
使用できる用紙サイズ	7-2
専用紙について	7-5
第 1 / 第 2 給紙トレイへ用紙をセットする	2-48
手差しトレイへ用紙をセットする	2-52
用紙種類および用紙容量	7-4
用紙使用上の注意	7-6
用紙の保管	7-6
「用紙を補給してください」と表示されたら	5-25

用紙を選ぶ	
用紙を選ぶ	3-22

読込み	
ウォームアップ中に読込みする	2-22
原稿を連続して読込む（連続読込み）	3-12

予約する	
プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約）	3-56

■ ら行

ラベル	
注意表記・注意ラベル	1-12

■ わ行

割込み	
割込んでコピーする（割込み）	4-6

12.4 項目別索引

数字・記号

2 in 1	3-42
4 in 1	3-43

アルファベット

ADF	3-8, 7-17, 12-8
ATS 機能	7-7
LCD バックライトオフ	2-26
LCT	2-50
OHP 合紙	8-8

あ行

アイコン	2-17
アクセスロック	11-54, 11-61
イメージリピート	8-14
イレース	8-12
インタシート	8-5
ウォームアップ	2-22
オートリセット	2-25
オーバレイ	8-27
オプション	2-2

か行

外部サーバ認証	2-30, 11-36
カウンタ	10-5
拡大表示	2-18
確認コピー	4-4, 12-8
各部の名称	2-2
画質	3-39, 12-8
画像付加	8-23
片面 / 両面	3-36, 12-8
片面コピー	3-37
カバーシート	8-2
紙づまり	5-4, 5-5
管理者設定	11-24
管理者保守	11-21
基本画面	2-16
給紙	2-48, 2-50, 2-52
給紙キャビネット PC-202	2-9, 6-5
給紙キャビネット PC-402	2-9, 6-5
グループ	3-45, 3-49
原稿	7-17
原稿ガラス	3-10, 7-19
原稿セット方向	3-18, 12-9

原稿セット方法	3-8
原稿の置き方	20
原稿のとじ代	3-20, 12-9
コーナーステープル	3-46
固定倍率	3-28
コピープログラム	4-7
コピー予約	3-56
混載 / Z 折れ	3-16
混載原稿	12-9

さ行

サービスコール	5-2
仕上り	3-45, 12-9
自動トレイ切換え機能	7-7
自動倍率	3-24
自動用紙	3-22
自動両面原稿送り装置 DF-605	2-8, 6-4
自動両面ユニット	6-3
集約	3-42, 3-44, 12-9
主電源スイッチ	2-21
使用環境	1-14
小冊子	8-21
初期設定	11-23
ジョブリスト	4-20
白黒反転	8-34
スタンプ	8-23
ステープル	3-46, 3-50
ステープルカートリッジの交換	9-7
スリープ	2-26
清掃のしかた	10-2
セキュリティ強化	11-54, 11-57
設置スペース	1-13
設置電源	1-14
設定内容	4-2
設定メニュー	11-2
セパレータ JS-502	6-8
専用紙	7-5, 7-15
操作パネル	2-14, 2-19
ソート	3-45, 3-48
ソフトウェア DIPSW	11-47

た行

第 1 給紙トレイ	2-48
第 2 給紙トレイ	2-48
小さめ	3-26

定期点検	10-6
手差しトレイ	2-52
等倍	3-25
独立ズーム	3-31
とじ代	3-20, 8-10
トナーボトルの交換	9-2, 9-4
トラブルの処理	5-29

な行

中とじ	3-46
中綴じ機 SD-502	2-11, 6-7
ナンバリング	8-23
2点ステーブル	3-46
認証設定	11-26
濃度	3-39, 3-41, 12-10
ノンソート	3-45

は行

排紙トレイ OT-601	2-12, 6-7
倍率	3-24, 12-10
倍率登録	3-34
パスワード規約	11-54, 11-57, 11-65
針づまり	9-14
パンチ	3-52
パンチ穴	3-46
パンチくず	9-23
パンチユニット PU-501	2-12, 6-6
フィニッシャー FS-508	2-12, 6-5
副電源スイッチ	2-21
ブック連写	8-17
部門管理	2-33, 11-26, 11-29
部門データ	11-29
プログラム	4-7
プログラム登録	4-7
本体認証	2-27, 11-36

ま行

メールビン MT-501	2-11, 6-7
メッセージ	5-32
メモリ管理	11-63

や行

ユーザチョイス	11-9
ユーザ認証	2-27, 11-26, 11-36

ユーザ保守	11-19
ユニバーサル	4-13
用紙	12-10
用紙サイズ	7-2
用紙種類	7-4
用紙設定	7-8
用紙の保管	7-6
用紙容量	7-4

ら行

ラベル	
注意表記・注意ラベル	1-12
両面コピー	3-38
連続読み込み	3-12, 8-35
ローパワー	2-25

わ行

割込み	4-6
-----------	-----

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	
電話番号	
担当部門	
担当者	

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
 お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

- 本文には古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



- 本書は大豆油インキで印刷しています。



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング